

平成30年度  
決算状況報告書

令和元年9月  
倉吉市

# 決算状況報告書目次

## 決算の概要

### 1. 一般会計及び特別会計について

会計別実質収支一覧	1-1
歳入歳出決算の状況	1-2
一般会計歳出予算の不用額	1-6
基金の状況	1-7
市税の状況	1-8

### 2. 普通会計における財政指標等

決算にあらわれた特徴	2-1
決算状況	2-3
歳入歳出その他財政指標の推移	2-5
健全化判断比率	2-6
グラフ（各種推移）	2-8

## 部門別事業報告（別途目次あり）

- ・ 一般会計
- ・ 特別会計

# 決算の概要

# 1. 一般会計及び特別会計について

平成30年度 会計別実質収支一覧

(単位：円)

会計		歳入決算額 (流動資産) A	歳出決算額 (流動負債) B	歳入歳出差引 C=A-B	翌年度へ繰り 越すべき財源 D	実質収支 E=C-D
一般会計 (現年度)	a1	28,266,681,781	27,652,604,654	614,077,127	133,773,941	480,303,186
同 (繰越明許費)	a2	573,116,809	561,796,235	11,320,574		11,320,574
一般会計 計	a=a1+a2	28,839,798,590	28,214,400,889	625,397,701	133,773,941	491,623,760
住宅資金貸付事業	b	40,417,900	14,751,787	25,666,113		25,666,113
土地取得事業	c	6,874	6,874	0		0
普通会計 計	T1=a~c	28,880,223,364	28,229,159,550	651,063,814	133,773,941	517,289,873
国民健康保険事業	d	5,145,770,656	5,115,801,874	29,968,782		29,968,782
介護保険事業	e	5,277,984,193	5,177,825,957	100,158,236		100,158,236
後期高齢者医療事業	f	588,740,292	584,834,987	3,905,305		3,905,305
簡易水道事業	g	202,929,118	202,929,118	0		0
温泉配湯事業	h	8,995,597	8,901,857	93,740		93,740
下水道事業 (現年度)	i1	2,512,349,897	2,501,162,810	11,187,087	11,187,087	0
同 (繰越明許費)	i2	154,576,709	154,576,709	0		0
下水道事業 計	i=i1+i2	2,666,926,606	2,655,739,519	11,187,087	11,187,087	0
駐車場事業	j	15,743,344	15,743,344	0		0
集落排水事業	k	569,912,220	568,043,620	1,868,600	1,868,600	0
上水道(法適)	m	1,182,431,771	326,347,670	856,084,101	5,379,280	850,704,821
公営事業会計 計	T2=d~m	15,659,433,797	14,656,167,946	1,003,265,851	18,434,967	984,830,884
財産区を除く計	T3=T1+T2	44,539,657,161	42,885,327,496	1,654,329,665	152,208,908	1,502,120,757
高城財産区	n	1,630,684	1,630,684	0		0
小鴨財産区	p	1,363,812	10,000	1,353,812		1,353,812
北谷財産区	q	786,870	0	786,870		786,870
上北条財産区	r	16,866,854	1,303,000	15,563,854		15,563,854
財産区計	T4=n~r	20,648,220	2,943,684	17,704,536	0	17,704,536
総計	T5=T3+T4	44,560,305,381	42,888,271,180	1,672,034,201	152,208,908	1,519,825,293

平成30年度 歳入歳出決算の状況（一般会計）

単位：千円

科目（款）	予算額A	決算額B	増減 歳入B-A（超過額） 歳出A-B（不用額）	増減の主な内訳
(歳入)				
1 市税	5,615,713	5,638,486	22,773	市民税3,880（個人6,766法人△2,886） 固定資産税14,162 たばこ税4,528
2（1項）地方揮発油譲与税	59,372	61,405	2,033	
2（2項）自動車重量譲与税	150,417	151,264	847	
3 利子割交付金	13,627	12,740	△ 887	
4 配当割交付金	18,383	18,020	△ 363	
5 株式等譲渡所得割交付金	13,477	14,056	579	
6 地方消費税交付金	973,783	973,110	△ 673	
7 ゴルフ場利用税交付金	1	0	△ 1	
8 自動車取得税交付金	57,667	57,648	△ 19	
9 地方特例交付金	18,237	18,237	0	
10 地方交付税	7,262,445	7,283,073	20,628	特別交付税20,628
11 交通安全対策特別交付金	6,000	5,905	△ 95	
12 分担金及び負担金	269,395	255,361	△ 14,034	R元に繰越し8,422
13 使用料及び手数料	256,997	265,704	8,707	市営住宅家賃12,935 し尿汲取手数料 △4,568
14 国庫支出金	3,973,645	3,499,286	△ 474,359	R元に繰越し411,433
15 県支出金	3,066,631	2,382,837	△ 683,794	R元に繰越し514,747 被災者住宅 支援金交付事業費補助金△57,410
16 財産収入	20,026	38,139	18,113	土地売払収入18,466
17 寄附金	620,022	613,728	△ 6,294	
18 繰入金	2,182,844	1,675,048	△ 507,796	財政調整△360,996 退職手当△ 100,000 ふるさと未来△42,847
19 繰越金	743,553	743,553	0	
20 諸収入	3,133,629	2,875,915	△ 257,714	商工振興資金貸付金元利収入△ 270,475
21 市債	3,414,883	2,256,283	△ 1,158,600	R元に繰越し1,061,100
歳入合計	31,870,747	28,839,798	△ 3,030,949	

科目（款）	予算額A	決算額B	増減 歳入B-A（超過額） 歳出A-B（不用額）	増減の主な内訳
(歳出)				
1 議会費	207,334	199,947	7,387	補助金 1,701
2 総務費	4,660,613	4,452,344	208,269	R元に繰越し 一般管理費 40,000 1事業 財産管理費 72,858 企画費 37,876 諸費 24,451 12,168
3 民生費	9,857,835	9,341,775	516,060	R元に繰越し 社会福祉総務費 53,393 1事業 障がい者福祉費 34,003 老人福祉費 46,712 児童福祉総務費 51,656 保育所費 58,398 扶助費（生活保護費） 69,471 170,252
4 衛生費	1,201,104	1,139,405	61,699	保健衛生総務費 16,644 環境衛生費 6,847 塵芥処理費 13,910 簡易水道費 12,173
5 労働費	10	0	10	
6 農林水産業費	1,636,169	1,366,926	269,243	R元に繰越し 106,989 11事業 農業振興費（現年） 30,689 農業振興費（繰越） 16,594 農地費（現年） 44,014 林業振興費（現年） 35,173
7 商工費	3,656,436	3,369,150	287,286	商工業振興費 281,574 観光費 5,272
8 土木費	2,655,480	2,372,813	282,667	R元に繰越し 96,841 6事業 建築指導費 33,021 道路橋梁総務費 31,729 都市計画総務費（現年） 31,039 住宅建設費 64,012
9 消防費	829,730	809,072	20,658	常備消防費 3,879 非常備消防費 6,764 消防施設費（現年） 3,390
10 教育費	3,105,616	1,938,116	1,167,500	R元に繰越し 1,041,597 4事業 小学校費 9,352 中学校費 6,900 社会教育費 70,737 保健体育費 30,710
11 災害復旧費	1,295,113	471,252	823,861	R元に繰越し 790,657 5事業 農林水産業施設 21,626 公共土木施設 1,587 その他の公共施設 9,991
12 公債費	2,759,020	2,753,490	5,530	
13 諸支出金	110	110	0	
14 予備費	6,177	0	6,177	
歳出合計	31,870,747	28,214,400	3,656,347	

平成30年度 歳入歳出決算の状況（特別会計）

単位：千円

特別会計	予算額 A	決算額		増減・差引き C1=B1-A C2=B2-A D=C1-C2	増減の主な内訳
		歳入B1	歳出B2		
国民健康保険事業	5,343,286	5,145,771		△ 197,515	国民健康保険料 25,775
			5,115,802	△ 227,484	繰入金 △ 62,093
					保険給付費 △ 181,202
					総務費 △ 14,411
				29,969	
介護保険事業	5,402,109	5,277,984		△ 124,125	国庫支出金 △ 21,981
			5,177,826	△ 224,283	繰入金 △ 36,873
					保険給付費 △ 188,586
					地域支援事業費 △ 26,212
				100,158	
後期高齢者医療事業	597,899	588,740		△ 9,159	後期高齢者医療保険料 △ 2,758
			584,835	△ 13,064	繰入金 △ 3,624
					保健事業費 △ 4,462
				3,905	
簡易水道事業	209,277	202,929		△ 6,348	事業収入 5,253
			202,929	△ 6,348	市債 △ 1,700
					維持管理費 △ 2,567
					改良事業費 △ 2,780
				0	
温泉配湯事業	9,167	8,996		△ 171	事業収入 △ 270
			8,902	△ 265	維持管理費 △ 165
					予備費 △ 100
				94	
住宅資金貸付事業	53,737	40,418		△ 13,319	県補助金 △ 111
			14,752	△ 38,985	諸収入 △ 3,032
					住宅資金貸付事業費 △ 767
					予備費 △ 38,218
				25,666	
土地取得事業	36,007	7		△ 36,000	財産収入 △ 16,000
			7	△ 36,000	土地取得事業費 △ 20,000
					諸支出金 △ 16,000
				0	



単位：千円

特別会計	予算額 A	決算額		増減・差引き C1=B1-A C2=B2-A D=C1-C2	増減の主な内訳
		歳入B1	歳出B2		
下水道事業	2,766,087	2,666,927		△ 99,160	国庫支出金 △ 18,075
					繰入金 △ 25,168
			2,655,740	△ 110,347	R元に繰越し △ 56,506
					下水道費 △ 52,839
		11,187			
駐車場事業	16,187	15,743		△ 444	使用料及び手数料 △ 100
					繰入金 △ 614
			15,743	△ 444	繰越金 271
					駐車場費 △ 244
		0	予備費 △ 200		
集落排水事業	607,227	569,912		△ 37,315	県支出金 △ 11,636
					繰入金 △ 8,409
			568,043	△ 39,184	R元に繰越し △ 18,588
					集落排水費 △ 20,593
		1,869			
高城財産区	6,403	1,631		△ 4,772	分担金及び負担金 △ 3,552
					繰入金 △ 1,219
			1,631	△ 4,772	繰越金 △ 1
					総務費 △ 4,722
		0	予備費 △ 50		
小鴨財産区	2,700	1,364		△ 1,336	分担金及び負担金 △ 1,501
					繰入金 △ 165
			10	△ 2,690	繰越金 △ 1,503
					総務費 △ 1,187
		1,354	予備費 △ 1,187		
北谷財産区	787	787		0	繰越金 0
					繰入金 △ 1
			0	△ 787	繰越金 △ 786
					総務費 △ 786
		787	予備費 △ 786		
上北条財産区	16,858	16,867		9	財産収入 △ 52
					繰越金 61
			1,303	△ 15,555	繰越金 △ 111
					総務費 △ 15,444
		15,564	予備費 △ 15,444		

平成30年度 一般会計歳出予算の不用額

(単位：円)

	予算額 A	決算額(歳出) B	翌年度繰越額 C	不用額 D=A-B-C	不用額の割合 D/A	執行率 (参考) B/A
現年	31,250,338,000	27,652,604,654	2,129,476,655	1,468,256,691	4.7%	88.5%
繰越明許費	620,409,417	561,796,235		58,613,182	9.4%	90.6%
計	総額 31,870,747,417	28,214,400,889	2,129,476,655	1,526,869,873	4.8%	88.5%

上のうち不用額が多い主な事業

事業	予算額 a	決算額 b	翌年度繰越額 c	不用額 d=a-b-c	総額に占める 不用額の割合 d/T	不用額が生じた主な理由
生活保護	1,155,851,000	985,612,908		170,238,092	0.5%	保護世帯数等が減少傾向になり、生活扶助、医療扶助等の給付が見込みより少なくなったため。
【震災関連】特別金融支援事業	1,060,326,000	901,413,000		158,913,000	0.5%	過年度実績を踏まえて決算見込みで減額補正しなかったが、それだけの借入れがなかったため。
金融対策	1,753,615,000	1,641,991,500		111,623,500	0.4%	同上
保育所運営	2,001,890,000	1,881,711,383	53,393,000	66,785,617	0.2%	私立保育所等における下半期の入所が見込みより少なかったため。
【震災関連】被災者住宅再建支援事業	202,696,000	139,341,371		63,354,629	0.2%	再建支援金等の申請件数が見込みを下回り、また、繰り越さず次年度予算に計上したため。

平成30年度 基金の状況

(単位:円)

基金	前年度 (平成29年度) 末残高 A	決算年度(平成30年度)中増減							決算年度末残高 D=A+B-C
		積立額 B(=a~d)	左の源			取崩額 C	左の充当先		
			基金 a	利子 寄附金 b	税等 c			その他 d	
財政調整基金	1,711,271,960	161,980	161,980			400,000,000		1,311,433,940	
減債基金	1,461,165,443	343,313,374	146,374	343,167,000		206,792,000	公債費	1,597,686,817	
公共施設等建設基金	27,301,687	2,729	2,729					27,304,416	
若者の定住化促進基金	964,482,787	345,919	345,919			89,000,000	定住対策事業 ほか	875,828,706	
緑を守り育てる基金	34,816,116	17,801	12,801	5,000		5,795,944	打吹公園管理 ほか	29,037,973	
退職手当基金	244,086,394	24,575	24,575					244,110,969	
博物館資料整備基金	2,969,838	742	742					2,970,580	
文化基金	3,442,059	1,745	1,745					3,443,804	
教育振興基金	170,176,029	459,526	459,526			1,271,483	輝く人育成ほか	169,364,072	
ふるさと農村活性化基金	17,967,587	1,796	1,796					17,969,383	
集落排水事業推進基金	197,841,343	20,537	20,537			44,555,073	集落排水事業特 別会計繰出金	153,306,807	
遥かなまち倉吉ふるさと基金	1,632,765	408	408					1,633,173	
企業立地推進基金	101,594,555	30,478	30,478					101,625,033	
地域産業振興基金	77,254,883	28,733	28,733			5,000,000	鳥取和牛振興総 合対策事業	72,283,616	
倉吉ふるさと未来づくり基金	534,993,595	612,812,849	140,349	612,672,500		546,000,607	ふるさと納税ほか	601,805,837	
(一般会計分 計)	5,550,997,041	957,223,192	1,378,692	343,167,000	0	1,298,415,107		5,209,805,126	
国民健康保険財政調整基金	512,025,201	150,604,000	47,424	150,556,576				662,629,201	
高城財産区財政調整基金	40,453,166	12,425	12,425			1,618,259		38,847,332	
介護保険財政調整基金	93,148,834	18,804,000	43,844	18,760,156				111,952,834	
温泉配湯事業積立基金	29,287,276	3,307,346	7,346	3,300,000				32,594,622	

平成30年度 市税の状況

(単位：千円、%)

税目	予算 (H30) A	収入済額		増減		収納率の推移 (対調定額)		
		決算年度 (H30) B	前年度 (H29) C	対前年度 D=B-C	対予算 E=B-A	決算年度 (H30)	前年度 (H29)	前々年度 (H28)
個人市民税	1,864,100	1,870,866	1,845,034	25,832	6,766	99.17	99.04	98.56
現年度分	1,856,500	1,862,297	1,831,085	31,212	5,797	99.62	99.58	99.45
滞納繰越分	7,600	8,569	13,949	△ 5,380	969	50.17	57.87	44.00
法人市民税	521,100	518,214	561,041	△ 42,827	△ 2,886	98.63	98.73	98.65
現年度分	519,500	517,325	559,619	△ 42,294	△ 2,175	99.77	99.58	99.70
滞納繰越分	1,600	889	1,422	△ 533	△ 711	12.89	22.77	26.66
固定資産税	2,704,900	2,719,062	2,752,589	△ 33,527	14,162	96.12	95.31	94.93
現年度分	2,676,200	2,689,592	2,724,461	△ 34,869	13,392	99.45	99.05	98.78
滞納繰越分	28,700	29,470	28,128	1,342	770	23.70	20.44	19.85
国有資産等所在市町村交付金	21,012	21,012	20,922	90	0	100.00	100.00	100.00
軽自動車税	176,200	176,780	171,600	5,180	580	98.66	98.40	97.61
現年度分	175,500	175,874	169,837	6,037	374	99.44	99.43	99.16
滞納繰越分	700	906	1,763	△ 857	206	38.82	49.38	23.13
市たばこ税	326,000	330,528	341,135	△ 10,607	4,528	100.00	100.00	100.00
入湯税	1,901	1,884	1,862	22	△ 17	100.00	98.00	98.02
現年度分	1,900	1,847	1,827	20	△ 53	100.00	98.07	98.02
滞納繰越分	1	37	35	2	36	100.00	94.59	0.00
都市計画税	500	140	469	△ 329	△ 360	4.00	10.60	15.53
現年度分	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
滞納繰越分	500	140	469	△ 329	△ 360	4.00	10.60	15.53
合計	5,615,713	5,638,486	5,694,652	△ 56,166	22,773	97.60	97.14	96.76
現年度分	5,576,612	5,598,475	5,648,886	△ 50,411	21,863	99.57	99.35	99.17
滞納繰越分	39,101	40,011	45,766	△ 5,755	910	25.94	26.01	23.94

## 2. 普通会計における財政指標等

平成30年度決算にあらわれた特徴(地方財政状況調査ほかの統計値によるもの)

### (1) 歳入の特徴

平成30年度の倉吉市の普通会計の歳入総額は、前年度と比較して1,341百万円減の28,859百万円となった。これは、地方交付税の減(対前年度比較(以下(1)(2)で同じ。)△107百万円)、国庫支出金の減(△769百万円)、県支出金の減(△617百万円)、繰越金の減(△356百万円)等による。

地方税は、個人市民税及び軽自動車税が前年度と比較してそれぞれ、26百万円及び5百万円の増となった一方で、法人市民税及び固定資産税がそれぞれ、43百万円及び33百万円の減となっており、総額で56百万円の減となった。

繰入金は、財政調整基金繰入金・土地開発基金繰入金の皆増等により、前年度と比較して962百万円の増となった。

### (2) 歳出の特徴

平成30年度の倉吉市の普通会計の歳出総額は、前年度と比較して1,223百万円減の28,207百万円となった。これは、第2庁舎整備等事業や土地開発基金保有土地買戻しによる総務費の増(+631百万円)、企業誘致(企業立地促進補助金)や地域総合整備資金貸付金による商工費の増(+371百万円)、被災者住宅再建支援事業分の減による土木費の減(△817百万円)、トイレ改修等学校施設環境改善事業(小中学校)分の減による教育費の減(△523百万円)、鳥取県中部地震に係る災害復旧事業分の減による災害復旧費の減(△915百万円)等による。

### (3) 経常収支比率について

平成30年度の倉吉市の普通会計の経常収支比率は、前年度と比較して0.7ポイント増の95.9%となった。これは、分子となる経常経費充当一般財源等が75百万円減少した一方、分母となる経常一般財源等が182百万円減少したことによる。

分子・分母それぞれの内訳で前年度からの増減の主なものは、分子(経常経費充当一般財源等)では、給料や退職手当等により人件費が38百万円の減、下水道事業特別会計への繰出金等により繰出金が38百万円の減となっており、分母(経常一般財源等)では、地方税が55百万円の減、地方交付税(普通交付税)が135百万円の減、各種交付金が15百万円の増となっている。

(4) 実質公債費比率について

平成 30 年度の倉吉市の実質公債費比率（平成 28 年度から平成 30 年度までの各年度値の 3 ヶ年平均値）は、前年度と比較して 0.2 ポイント増の 13.4%となった。これは、分子に当たるもののうち、公営企業会計等に係る公債費の負担が減となったことなどの一方、分母に当たるもので、普通交付税等の額がより大きな幅で減となったことによる。

(5) 一時借入金について

一時借入金は、一会計年度内において、歳計現金が不足した場合に、その不足を補うために借り入れる金銭のことで、平成 30 年度においては本市の一時借入は発生しなかった。これは、繰替運用によって歳計現金が賸えたためである。

平成30年度  
決算状況

都道府県名		鳥取県		コード番号	3 1 2 0 3 7		市町村類型	I - 1		
ふりがな		くらよしし		倉吉市		交付税		I - 3		
市町村名		倉吉市		種地区分						
人口				面積	人口密度	S35.10.1以降合併の状況				
国調	H27年	49,044 人		k m <sup>2</sup>	人	H17.3.22 関金町と合併	産業構造			
	H22年	50,720 人					区 分	第一次	第二次	第三次
	増減率	△ 3.3 %		就業人口	平成27年 国調		2,393 人	5,310 人	15,876 人	
住民基	31.3.31	47,017 人		国調世帯数	人口集中地区人口	(構成比)	平成22年 国調	10.0 %	22.2 %	66.3 %
	30.3.31	47,496 人					2,678 人	5,383 人	15,578 人	
本台帳	増減率	△ 1.0 %		H27年	18,548 世帯	17,269 人	11.3 %	22.8 %	65.9 %	
				H22年	18,266 世帯	18,076 人				
収支状況				増減率		△ 1.5 %		△ 4.5 %		
区 分				平成30年度		平成29年度		基準財政需要額		
1. 歳入総額 A				28,858,519 千円		30,199,879 千円		11,578,879 千円		
2. 歳出総額 B				28,207,455 千円		29,430,004 千円		基準財政収入額		
3. 歳入歳出差引 A - B C				651,064 千円		769,875 千円		5,260,949 千円		
4. 翌年度へ繰越すべき財源 D				133,774 千円		57,220 千円		標準財政規模		
5. 実質収支 C - D E				ア 517,290 千円		イ 712,655 千円		(H30) 0.454		
6. 単年度収支 F				ア-イ △ 195,365 千円		△ 19,755 千円		財政力指数		
7. 積立金 G				162 千円		547,758 千円		(3年平均) 0.450		
8. 繰上償還金 H				0 千円		0 千円		実質収支比率		
9. 積立金取崩し額 I				400,000 千円		0 千円		3.7 %		
10. 実質単年度収支 F+G+H-I J				△ 595,203 千円		528,003 千円		実質公債費比率		
								13.4 %		
								積立金現在高		
								5,209,805 千円		
								うち財政調整基金		
								1,311,434 千円		
								地方債現在高		
								30,798,839 千円		
								債務負担行為額		
								2,919,961 千円		
								事務の共同処理状況		
								退職手当		
								◎ 税務事務		
								◎ 後期高齢者		
								◎ 介護認定		
								◎ 伝染病		
								◎ 救急医療		
								◎ し尿処理		
								◎ ごみ処理		
								◎ 火葬場		
								◎ 観光		
								◎ 常備消防		
								小学校		
								中学校		
								◎ 交通災害		
一般職員等				特別職員等						
区 分		職員数	給料月額	一人当たり支給月額		区 分		改定年月日	一人当たり支給月額(報酬)	
A		B	B/A	B/A		市 長		H26.4.1	866,000 円	
一般職員		349 人	110,124 千円	315,542 円		副市長		"	708,000 円	
うち技能労務職		11 人	3,760 千円	341,818 円		教育長		"	625,000 円	
教育公務員		5 人	1,907 千円	381,400 円		議会議長		H17.10.23	500,000 円	
合計		354 人	112,031 千円	316,472 円		議会副議長		"	420,000 円	
嘱託職員		21 人				議会議員		"	390,000 円	
臨時職員		137 人								
一般職非常勤職員		217 人								
再計		729 人								
公 営 事 業 の 状 況		事業名	法適用	収支額	普通会計からの繰入金	職員数	国 保 会 計 の 状 況			
				(千円)	(千円)	(人)	加入世帯数		6,867 世帯	
							(うち退職被保険者等世帯数)		(46)	
		国民健康保険事業	無	29,969	528,920	11	被保険者数		10,753 人	
		介護保険事業	無	100,158	747,968	8	(うち退職被保険者等数)		(47)	
		後期高齢者医療事業	無	3,905	177,120	4	一世帯当り保険料調定額		159,600 円	
		簡易水道事業	無	0	78,953		被保険者一人当り保険料調定額		101,923 円	
		温泉配湯事業	無	94	0		被保険者一人当り費用額		482,703 円	
		公共下水道事業	無	9,832	903,053	14	健全化判断比率			
		特定環境保全公共下水道事業	無	1,355	95,871		実質赤字比率		-	
		農業集落排水事業	無	1,869	323,856		連結実質赤字比率		-	
		林業集落排水事業	無	0	1,910		実質公債費比率		13.4%	
		駐車場事業	無	0	8,978		将来負担比率		108.5%	
		水道事業	有	907,020	18,132	32				



歳 入					性 質 別 歳 出					
区 分	決 算 額 千円	構 成 比 %	経常一般財源 K 千円	Kの構成比 %	区 分	決 算 額 千円	構 成 比 %	税 等 千円	経常一般財源 千円	経常収支比率 %
地 方 税	5,638,486	19.5	5,638,346	42.1	人 件 費	3,431,924	12.2	3,128,300	3,060,892	21.7 (22.9)
地 方 譲 与 税	212,669	0.7	212,669	1.6	うち職員給	2,077,820	7.4	1,851,667		
利子割交付金	12,740	0.0	12,740	0.1	扶 助 費	5,748,478	20.4	1,632,535	1,608,689	11.4 (12.0)
配当割交付金	18,020	0.1	18,020	0.1	公 債 費	2,767,767	9.8	2,609,358	2,609,358	18.5 (19.5)
株式等譲渡所得割交付金	14,056	0.0	14,056	0.1	内 訳					
地方消費税交付金	973,110	3.4	973,110	7.3	元利償還金	2,767,270	9.8	2,608,861	2,608,861	18.5 (19.5)
ゴルフ場利用税交付金					一時借入金	497	0.0	497	497	0.0 (0.0)
自動車取得税交付金	57,648	0.2	57,648	0.4	小 計	11,948,169	42.4	7,370,193	7,278,939	51.6 (54.4)
地方特例交付金	18,237	0.1	18,237	0.1	物 件 費	3,149,895	11.2	2,082,071	1,931,215	13.7 (14.4)
地方交付税	7,283,073	25.2	6,412,445	47.9	維持補修費	196,900	0.7	149,899	145,100	1.0 (1.1)
普通交付税	6,412,445	22.2	6,412,445	47.9	補助費等	2,896,291	10.3	2,342,957	1,277,472	9.1 (9.5)
特別交付税	870,628	3.0			うち一部組合負担金	1,019,181	3.6	1,010,949	963,522	6.8 (7.2)
小 計	14,228,039	49.3	13,357,271	99.8	積 立 金	957,223	3.4	343,329		
交通安全対策特別交付金	5,905	0.0	5,905	0.0	投資及び出資金、貸付金	2,545,059	9.0	2,708	0	0.0 (0.0)
分担金・負担金	195,093	0.7	2,544	0.0	繰 出 金	3,481,535	12.3	3,088,591	2,891,741	20.5 (21.6)
使用料	244,624	0.8	11,556	0.1	前年度繰上充用金					
手数料	102,787	0.4			投 資 的 経 費	3,032,383	10.8	450,807		
国庫支出金	3,499,286	12.1			うち人件費	56,215	0.2	56,215		
都道府県支出金	2,383,188	8.3			普通建設事業	2,561,131	9.1	391,853		
財産収入	40,161	0.1	449	0.0	内 訳					
寄附金	613,728	2.1			補助	800,797	2.8	71,914		
繰入金	1,675,048	5.8			単 独	1,694,306	6.0	315,375		
繰越金	769,875	2.7			そ の 他	66,028	0.2	4,564		
諸収入	2,844,502	9.9	1,757	0.0	災害復旧事業	471,252	1.7	58,954		
地方債	2,256,283	7.8			失業対策事業					
合 計	28,858,519	100.0	13,379,482	100.0	合 計	28,207,455	100.0	15,830,555		
					<p>◎ 経常収支比率</p> <p>( ) 内は減収補てん債(特例分)及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた経常収支比率</p> <p>95.9% (101.1%)</p> <p>歳出経常一般財源</p> <p>13,524,467 千円</p> <p>税等総額</p> <p>16,477,619 千円</p>					
市 町 村 税						目 的 別 歳 出				
区 分	決 算 額 千円	構 成 比 %	増 減 率 %	基準税額 ×100/75 千円	超過課税分 収入 済 額 千円	区 分	決 算 額 千円	構 成 比 %	税 等 千円	
市 町 村 民 税						議 会 費	199,947	0.7	199,946	
個人分	1,870,866	33.2	1.4	1,818,717		総 務 費	4,213,802	14.9	2,191,491	
法人分	518,214	9.2	△ 7.6	492,696	97,311	民 生 費	9,516,552	33.7	4,530,081	
固定資産税	2,740,074	48.6	△ 1.2	2,532,592	180,292	衛 生 費	1,066,039	3.8	963,215	
軽自動車税	176,780	3.1	3.0	176,797		労 働 費	1,447	0.0	128	
市町村たばこ税	330,528	5.9	△ 3.1	340,176		農 林 水 産 業 費	1,365,893	4.8	706,057	
鉱 産 税						商 工 費	3,369,150	11.9	703,810	
特別土地保有税						土 木 費	2,398,866	8.5	1,598,038	
法定外普通税・旧法税						消 防 費	809,072	2.9	735,177	
目 的 税	2,024	0.0	△ 13.2			教 育 費	2,026,580	7.2	1,533,212	
入 湯 税	1,884	0.0	1.2			災 害 復 旧 費	471,252	1.7	58,954	
内 事 業 所 税						公 債 費	2,768,855	9.8	2,610,446	
都 市 計 画 税	140	0.0	△ 70.1			諸 支 出 金				
内 訳						前年度繰上充用金				
						特別区調整納付金				
合 計	5,638,486	100.0	△ 1.0	5,360,978	277,603	合 計	28,207,455	100.0	15,830,555	
適 用 税 率 の 状 況						徴 収 率				
市 町 村 民 税	均 等 割	3,500 円	法 人 税 割	12.1/100	60,000 円 ～ 3,600,000 円	区 分	現年課税分 %	滞納繰越分 %	合 計 %	
個人	均 等 割		固 定 資 産 税	1.5/100		市町村民税	99.6	39.4	99.0	
法人	均 等 割					固定資産税	99.5	23.7	96.1	
分 所 得 割	標準課税に 対する比率 1.0					合 計	99.6	25.9	97.6	



### 平成30年度倉吉市健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	— (-3.74)	— (-12.16)	13.4	108.5
早期健全化基準	12.87	17.87	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質収支または連結実質収支が黒字である場合は、「実質赤字比率」または「連結実質赤字比率」は「-」で表示となる。

※( )内は、実質黒字または連結実質黒字の比率を負の値で表示したものの。

### 平成30年度倉吉市資金不足比率

(単位：%)

	水道事業	簡易水道事業	下水道事業	集落排水事業	温泉配湯事業
資金不足比率	—	—	—	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※資金不足が生じない場合は、「資金不足比率」は「-」で表示となる。

倉吉市		健全化判断比率の状況		平成30年度	
実質赤字比率					
区分		実収支額 (単位:千円、%)			
1	一般会計	491,624		25,666	
2	住宅資金貸付事業	0		517,290	
3	土地取得事業	13,819,872		-3.74	
A	(1~3)				
B	標準財政規模				
実質赤字比率		A/B×100			

倉吉市		健全化判断比率の状況		平成30年度	
実質公債費比率					
区分		決算額 (単位:千円、%)			
1	公債費充当一般財源等額(繰上償還額及び繰期一括償還地方債の元金に係る分を除く)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
2	船舶一括償還地方債の1年当たりの元金償還額に相当するもの(平成30年度相当額)等	2,593,710	2,609,138	2,608,732	0
3	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てると認められる繰入金	1,398,710	1,338,646	1,294,783	
4	一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	185,807	165,193	125,033	
5	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,306	938	194	
6	一時借入金の列示	0	0	0	
7	災害復旧費等に係る基幹財政需要額	1,531,072	1,553,253	1,558,336	
8	事業費補正により基幹財政需要額に算入された公債費	1,040,300	1,020,439	1,031,941	
9	密度補正により基幹財政需要額に算入された元利償還金	0	0	0	
10	密度補正により基幹財政需要額に算入された元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	17,991	17,811	17,975	
A	(1~6)-(7~10)	1,590,170	1,522,412	1,420,490	
11	標準収入額等	6,573,611	6,512,900	6,683,944	
12	普通交付税額	6,621,535	6,547,422	6,412,445	
13	臨時財政対策債発行可能額	716,794	732,809	723,483	
B	(11~13)-(7~10)	11,322,577	11,201,628	11,211,620	
実質公債費比率		A/B×100		12.66980	
実質公債費比率 (三カ年平均)		14.04424		13.4	

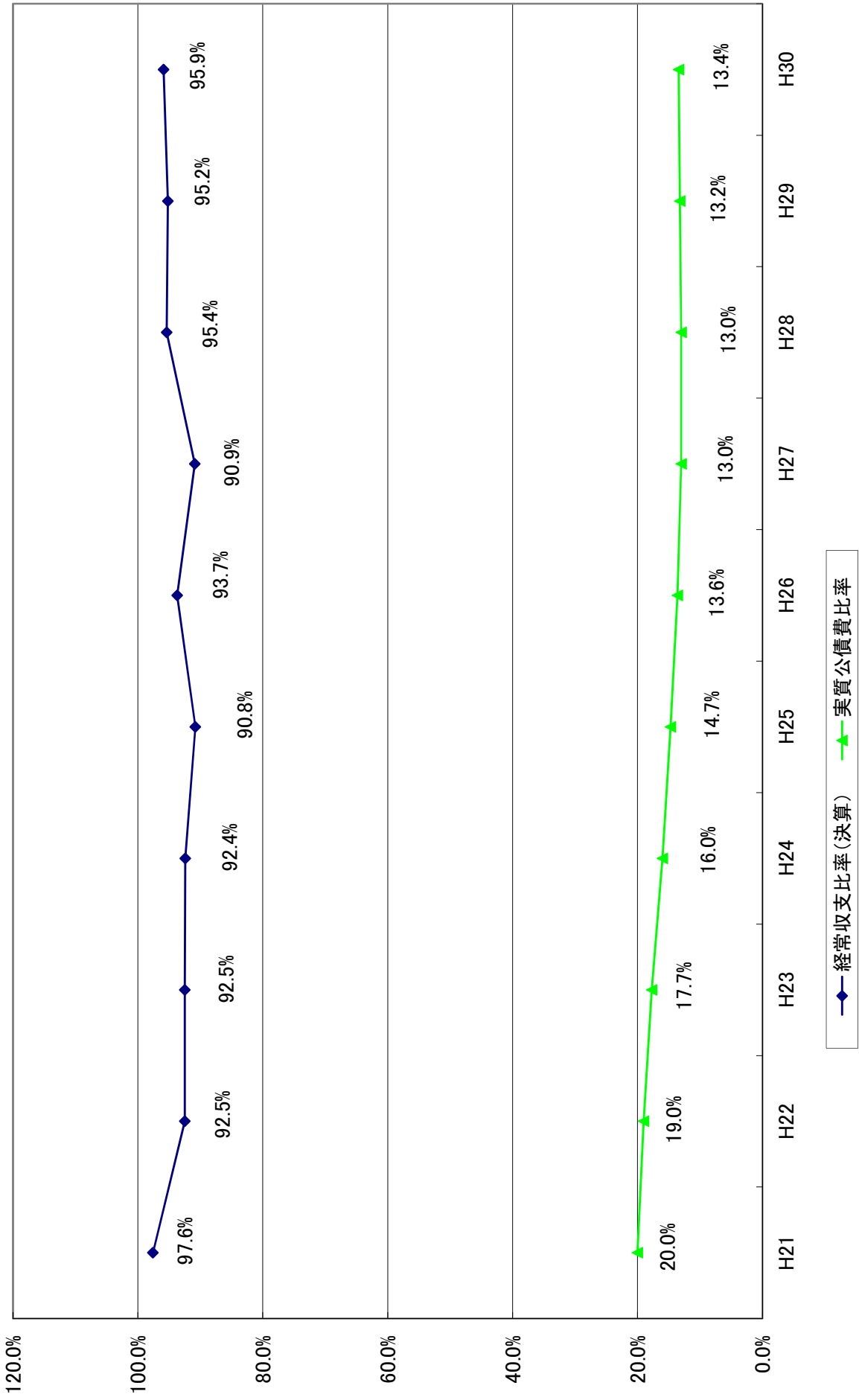
倉吉市		健全化判断比率の状況		平成30年度	
実質赤字比率					
区分		実収支額 (単位:千円、%)			
1	国民健康保険事業	29,969		100,158	
2	介護保険事業	3,905		0	
3	後期高齢者医療事業	1,029,562		1,680,978	
4	駐車場事業	0		13,819,872	
5	水道事業	0		-12.16	
6	簡易水道事業				
7	下水道事業				
8	集落排水事業				
9	温泉配湯事業				
A	実質赤字比率の(1~3)+(1~9)				
B	標準財政規模				
連結実質赤字比率		-A/B×100			

倉吉市		健全化判断比率の状況		平成30年度	
将来負担比率					
区分		決算額 (単位:千円、%)			
1	地方債の現在高	30,798,839		117	
2	債務負担行為に基づく支出予定額	18,104,025		1,467,689	
3	公営企業債等繰入見込額	2,792,182		438	
4	組合等負担等見込額	0		0	
5	退職手当負担見込額	0		438	
6	設立法人の負債額等負担見込額	0		0	
7	連結実質赤字額	0		0	
8	組合等連結実質赤字額負担見込額	5,134,082		2,491,668	
9	充当可能基金	2,491,668		0	
10	充当可能特定繰入	33,370,106		12,167,434	
11	基準財政需要額算入見込額	11,211,620		11,211,620	
A	(1~8)-(9~11)	108.5		350.0	
B	実質公債費比率のB	35.0		35.0	
将来負担比率		A/B×100		108.5	

倉吉市健全化判断比率		実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率	
倉吉市健全化判断比率	—	—	—	13.4	108.5	—	—
早期健全化基準	12.87	17.87	25.0	25.0	350.0	—	—
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	35.0	—	—	—

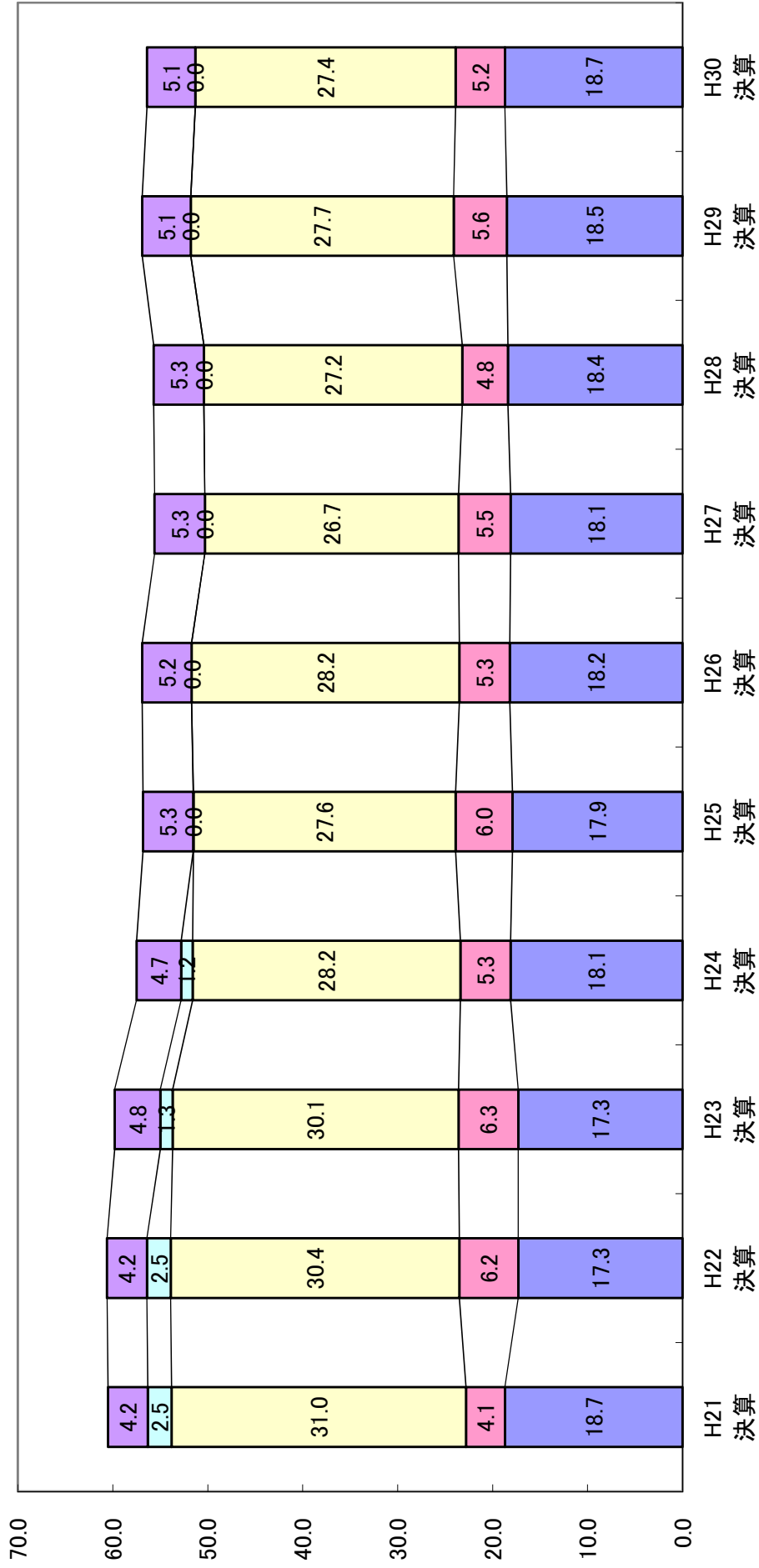
※実収支または連結実収支が赤字である場合は「実質赤字比率」または「連結実質赤字比率」は「—」で表示となる。

経常収支比率、実質公債費比率の推移



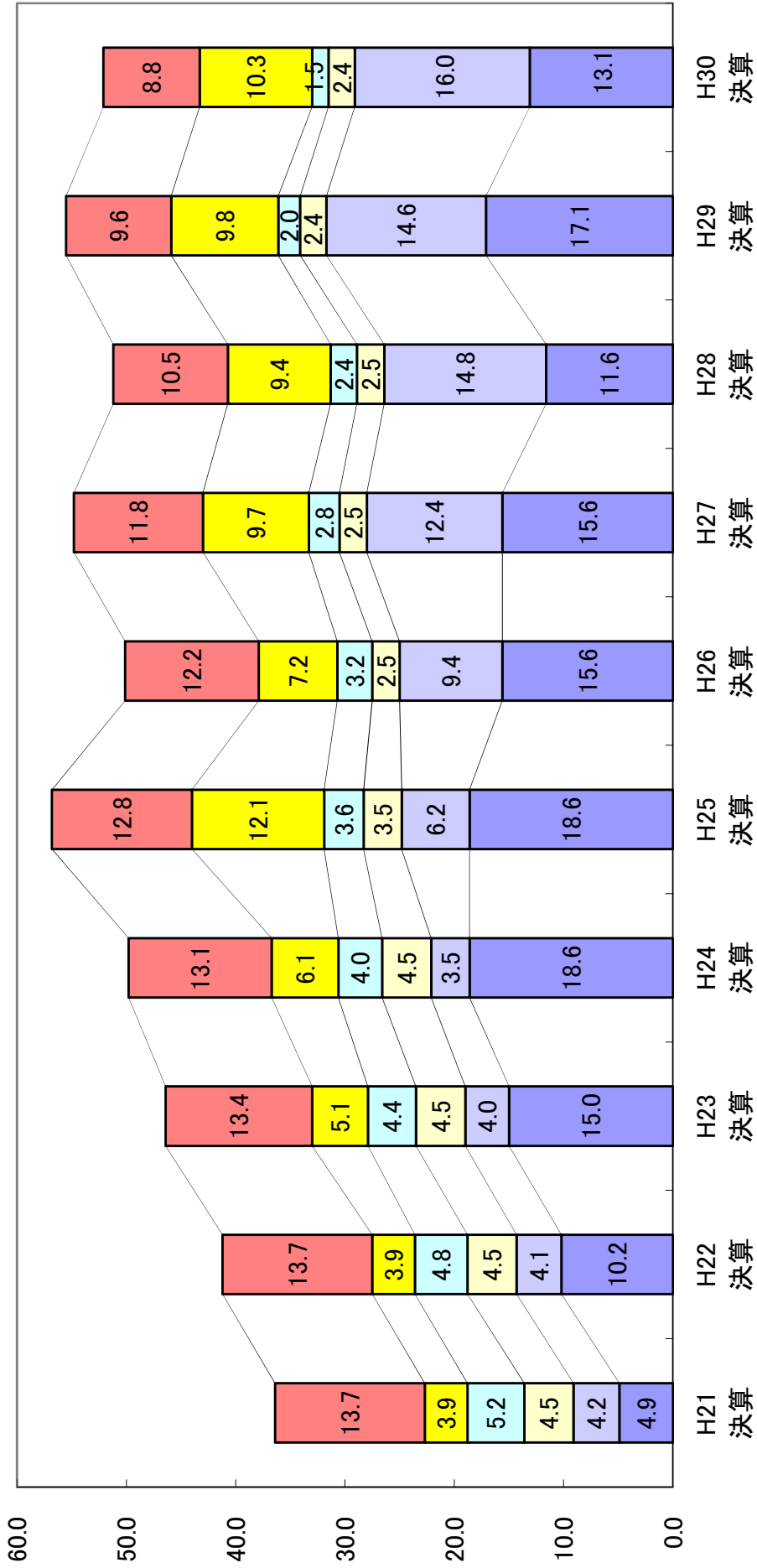
# 市税の推移

(億円)



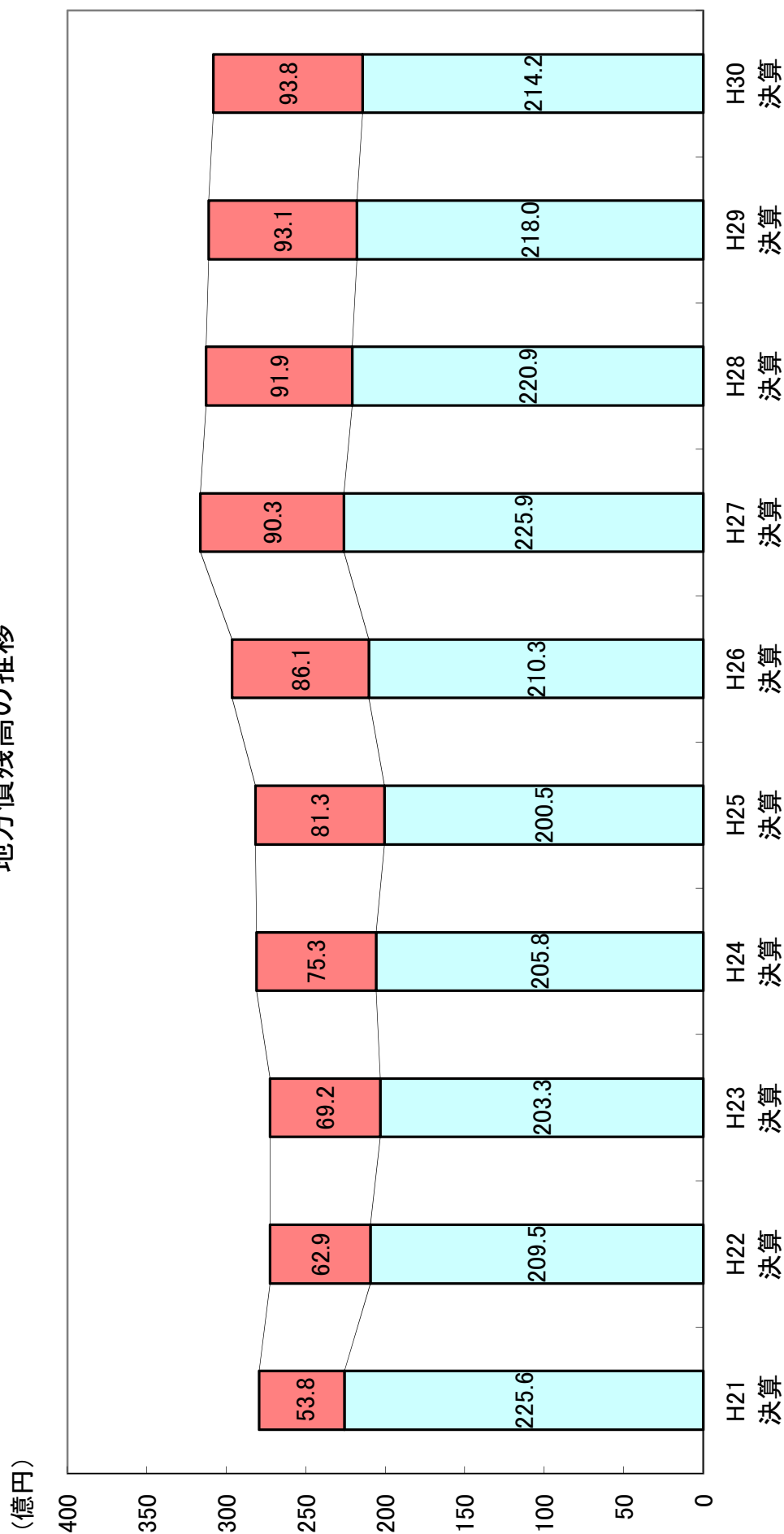
# 基金残高の推移

(億円)



■ 財政調整基金 
 ■ 減債基金 
 ■ 職員退職手当基金 
 ■ 集落排水事業推進基金 
 ■ その他の特定目的基金 
 ■ 若者の定住化促進基金

# 地方債残高の推移



□ その他の地方債      ■ 臨時財政対策債



# 部門別事業報告

※ 施策欄は、“くらしよし”ふるさとビジョン（第 11 次倉吉市総合計画）に記載してある、全 45 施策に基づいています。ただし、鳥取県中部地震の発生に伴って実施した事業の場合は、「その他（鳥取県中部地震対策）」としています。

また、特に重点的・優先的に推し進めていく施策群を戦略プロジェクトとして位置づけ、それらの施策には【戦略】と表記してあります。

# 一般会計目次

	ページ		ページ
		<b>建設部</b>	
<b>【歳入】</b>		管理計画課	177
<b>総務部</b>		建設課	185
財政課	1	下水道課	194
税務課	3	建築住宅課	196
<b>【歳出】</b>		<b>教育委員会事務局</b>	
<b>総務部</b>		教育総務課	199
総務課	5	学校教育課	210
防災安全課	13	生涯学習課	222
職員課	23	文化財課	231
財政課	26	図書館	237
税務課	35	博物館	240
市民課	37	学校給食センター	249
関金支所	40		
		<b>その他</b>	
<b>企画産業部</b>		会計課	250
企画課	44	議会事務局	251
商工観光課	50	監査委員事務局	252
地域づくり支援課	69	選挙管理委員会事務局	253
農林課	80	公平委員会	256
人権政策課	117	農業委員会事務局	257
環境課	125		
<b>健康福祉部</b>			
福祉課	136		
子ども家庭課	148		
保険年金課	159		
長寿社会課	162		
保健センター	167		
		特別会計目次へ	261

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	【歳入】地方特例交付金							
会計・予算科目	会計一般	款	9 地方特例交付金	項	1 地方特例交付金	目	1 地方特例交付金	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
18,237	18,237						18,237	
事業の目的								
平成30年度までの地方特例交付金は、住宅借入金等税額控除による個人住民税の減収額を補てんするため、平成20年度に創設されたもの。普通交付税算定の際その75%が基準財政収入額に算入される。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>決算額 18,237千円(対前年度決算額 3,672千円増)</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	【歳入】地方交付税							
会計・予算科目	会計一般	款	10 地方交付税	項	1 地方交付税	目	1 地方交付税	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,262,445	7,283,073						7,283,073	
事業の目的								
普通交付税は、地方公共団体が自主的に行政を執行する機能を損なうことなく財源の均衡を図るため、財政需要額が財政収入額を超える地方公共団体に対し交付されるもの。地方交付税全体の94%。 特別交付税は、各地方公共団体の災害等の特別な財政需要を考慮して交付されるもので、地方交付税全体の6%。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>普通交付税 決算額 6,412,445千円          特別交付税 決算額 870,628千円          計 7,283,073千円(対前年度決算額 107,009千円減)</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	【歳入】基金繰入金						
会計・予算科目	会計一般	款	18 繰入金	項	1 基金繰入金	目	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,181,544	1,673,748					1,273,748	400,000
事業の目的							
基金は特定の目的のために設置されたものであり、その目的達成のために必要な金額を一般会計に繰り入れるもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 基金別の繰入額（充当先とその額） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 財政調整基金 400,000千円（収支調整）</li> <li>● 減債基金 206,792千円（公債費）</li> <li>● 若者の定住化促進基金 89,000千円（企業誘致 50,000、保育所運営 30,000ほか）</li> <li>● 緑を守り育てる基金 5,796千円（企画政策推進 995、打吹公園管理 4,000、緑を守り育てる 801）</li> <li>● 集落排水事業推進基金 44,555千円（集落排水事業特別会計繰出金 44,555）</li> <li>● 教育振興基金 1,271千円（輝く人育成 928、韓国姉妹都市等交流 343）</li> <li>● 地域産業振興基金 5,000千円（和牛振興 5,000）</li> <li>● 倉吉ふるさと未来づくり基金 546,001千円（ふるさと納税 324,601、保育所運営 70,000ほか）</li> <li>● 土地開発基金 372,933千円（財産管理 372,933千円）</li> <li>● 用品調達基金 2,400千円</li> </ul>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	【歳入】臨時財政対策債						
会計・予算科目	会計一般	款	21 市債	項	1 市債	目	6 臨時財政対策債
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
723,483	723,483						723,483
事業の目的							
臨時財政対策債は、国が地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、交付額を減じて、その分を地方公共団体が発行する地方債。その償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置される。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 決算額 723,483千円（対前年度決算額 9,326千円減）							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	税務課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	【歳入】市税						
会計・予算科目	会計一般	款	1 市税	項		目	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
5,615,713	5,638,486						5,638,486

事業の目的

法令等に基づく適正な賦課徴収を行い、歳入を確保する。

事業の実績、成果(振返り、効果等)

課税件数(現年度課税分)

区分		件数 (件)	調定額 (千円)	区分		件数 (件)	課税標準額 (千円)
市民税	個人	23,078	1,869,494	固定資産税	土地	15,572	57,811,305
	法人	1,545	518,529		家屋	17,047	92,277,203
軽自動車税		16,902	176,856		償却資産	795	34,009,704

収納率(現年度課税分)

(%)

区分		30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
市民税	個人	99.6	99.6	99.5	99.4	99.5
	法人	99.8	99.6	99.7	99.7	99.6
固定資産税		99.5	99.1	98.8	99.0	98.9
軽自動車税		99.4	99.4	99.2	99.2	99.2
入湯税		100.0	98.1	98.0	100.0	100.0
現年分合計		99.6	99.4	99.2	99.3	99.3

固定資産の概要 [土地]

区分	評価総筆数 (筆)	評価総地積 (千㎡)	決定価格 (千円)	課税標準額 (千円)
田	25,140	26,851	3,084,243	3,082,942
畑	19,355	13,738	639,712	639,712
宅地	47,165	9,817	107,426,660	44,370,112
山林	22,895	46,303	561,166	561,166
原野	23,940	27,591	155,321	155,321
池沼	81	30	814	814
雑種地	6,060	2,323	12,856,836	9,001,238
計	144,636	126,653	124,724,752	57,811,305

[家屋]

区分	棟数 (棟)	床面積 (㎡)	決定価格 (千円)	課税標準額 (千円)
木造	33,714	2,996,759	46,255,634	46,252,531
非木造	6,885	1,480,356	46,199,055	46,024,672
計	40,599	4,477,115	92,454,689	92,277,203

[償却資産]

区分	決定価格(千円)	課税標準額(千円)
市長決定	27,622,450	27,021,890
総務大臣決定	7,028,700	6,987,814
計	34,651,150	34,009,704

主な特定財源(名称、金額等)

担当課	税務課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	【歳入】地方消費税交付金						
会計・予算科目	会計一般	款	6 地方消費税交付金	項	1 地方消費税交付金	目	1 地方消費税交付金
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
973,783	973,110						973,110
事業の目的							
消費税等の税率8%のうち、県税である地方消費税1.7%相当額の1/2が県内市町村に交付されるもの。 平成26年4月1日の消費税率改正に伴う地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされた。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
地方消費税交付金のうち 一般財源分 594,180千円 社会保障財源分 378,930千円							
◆引上げ分の地方消費税の用途の明確化(社会保障施策に要する経費に充てるもの) <歳入>地方消費税交付金のうち、社会保障財源分の増収 378,930千円 <歳出>社会保障施策に要する経費 7,103,899千円(うち一般財源3,031,995千円)							
(千円)							
施策分類		計	国費	県費	その他	一般財源	
社会福祉 児童福祉、障がい者福祉、 高齢者福祉、生活保護扶助等		4,915,527	2,695,097	782,495	178,894	1,259,541	
社会保険 国民健康保険、介護保険、 後期高齢者保険		1,694,500	55,551	176,569	20,801	1,442,079	
保健衛生 医療施策、予防対策、 健康増進等		493,872	166	132,821	30,510	330,375	
合計		7,103,899	2,750,814	1,091,885	229,205	3,031,995	
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める					
事業名	庁舎等管理							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
55,285	52,251	財源内訳				2,443	49,808	
事業の目的								
庁舎を常時使用できるよう適切な維持管理を行うもの。(本・東・南・北庁舎、車庫及び周辺)								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節	報酬：宿日直員5人(代替分含)+運転手							11,230千円
4節	共済費：宿日直員5人+運転手							1,614千円
9節	旅費：普通旅費							132千円
11節	需用費：消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料							23,016千円
12節	役務費：通信運搬費(庁舎電話使用料)							4,953千円
	手数料(消防用設備点検手数料等)							2,233千円
13節	委託料：庁舎清掃、エレベーター保守、高圧電気設備保守等							6,343千円
14節	使用料及び賃借料：電話交換機、AED借り上げ等							2,730千円
【事業の成果】								
本庁舎エアコンの修繕等を行い施設の安全性を確保すると共に、庁舎周辺設備(駐車場の車止め、フェンス等)についても適切な維持管理を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】								
・行政財産使用料 719千円 ・庁舎光熱水費使用料 1,480千円 ・庁舎案内板広告掲載料 240千円								

担当課	総務課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める					
事業名	車両業務							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,422	4,088	財源内訳				362	3,726	
事業の目的								
公用車(連絡車両)の配車及びマイクロバスの運行により、行政事務の円滑化を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節	需用費：消耗品費、燃料費、修繕料							2,549千円
12節	役務費：手数料(バスタイヤ組換え料等)							107千円
14節	使用料及び賃借料：自動車借上料(リース車5台分)							1,244千円
19節	負担金補助及び交付金：安全運転運行管理者協議会負担金等							112千円
27節	公課費：自動車重量税							76千円
【事業の成果】								
新規リース車の借上を行い、公用車の円滑な運用を進めると共に、車検、修繕等を適切に行い、安全性を確保しながら公用車の管理を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】								
・車共済災害共済金 325千円								

担当課	総務課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	行政改革懇談会						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
113	55						55
事業の目的							
○行政改革懇談会 簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、倉吉市行政改革懇談会を置き、倉吉市の行政改革の推進について必要な事項を研究協議するもの。委員15人以内(外部のみ)							
○事務改善提案 市の施策について、職員が積極的に改善意見を提案できる機会を与え、事務能率の向上を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 8節 報償費 54千円(職員提案の提案内容採用者への報償 函書カード 1千円×9人) (行政改革懇談会委員謝金 5千円×9人分) 11節 需用費 1千円(湯茶代)							
・行政改革懇談会を11月に開催し、行財政改革集中プランの進捗状況について、意見助言を受けた。 委員は9名。 ・職員提案で22件の提案中、9件が採用、趣旨採用となった。							
【事業の成果】 各担当課で行財政改革の推進に向け、第3次行財政集中改革プランの項目について事務事業見直しの協議を行い、民間委託等の事業見直しを進めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	45 双方向型の情報提供を充実させる				
事業名	電算業務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
75,940	75,164		5,972				69,192
事業の目的							
行政事務の効率化のための電算処理及び運営管理 … 住民情報システム等の維持管理 【対象システム】住民基本台帳、印鑑登録、宛名管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、国民健康保険、国民年金、保育料、児童手当、児童扶養手当、選挙人名簿、学齢簿、特別医療ほか							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 1節 報酬 1,906千円(非常勤職員1名) 4節 共済費 296千円(非常勤職員1名) 11節 需用費 625千円(プリンタトナー・バックアップテープほか、軽微な機器修繕) 12節 役務費 1,765千円(サーバ関連機器等保守・番号連携サーバシステム保守料) 13節 委託料 11,016千円(基幹業務システムサポート保守) 5,972千円(マイナンバー対応関連改修…旧姓使用) 14節 使用料及び賃借料 51,554千円(システム・関連機器借上・共通基盤用ソフトウェア使用料) 19節 負担金補助及び交付金 2,030千円(社会保障・税番号制度中間サーバ利用負担金)							
【事業の成果】 平成30年度からオペレーション・パンチ業務の委託を廃止し、嘱託職員1名を雇用する運用に変更した。 目立った障害は発生していない。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】社会保障・税番号制度システム整備費補助金 5,972千円(住民基本台帳 10/10)							



担当課	総務課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	争訟事務							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,398	648						648	
事業の目的								
市が行う事務及び事業に関する法律問題について弁護士に随時相談できる体制を構築することにより、当該法律問題の速やかな解決を図り、行政サービスの向上を図るもの。 争訟が提起等された場合に、弁護士等にその事務を委託し、市の事務の軽減を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料： 弁護士相談料 648千円 法律問題に関する指導及び助言 契約締結に関する指導及び助言 法律文書の作成に関する指導及び助言								
<b>【事業の成果】</b> 市が行う事務及び事業に関する法律問題について弁護士に随時相談し、法律問題の速やかな解決を行うことができた。 法律相談件数 19件								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	総務課	施策	45 双方向型の情報提供を充実させる					
事業名	行政情報システム管理							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
38,440	35,634					15	35,619	
事業の目的								
通信手段の高度化による連絡や調査事務等の事務効率の向上 … 庁舎内ネットワークを中心とした各施設間の情報通信基盤を安定的に運用する。 セキュリティに関する機器やソフトウェアの管理、通信インフラ、職員用端末等の整備・維持								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 191千円 (パソコン周辺機器・パソコン等修繕ほか) 12節 役務費 (20,648千円) 専用線・インターネット回線等通信 2,714千円 ネットワーク保守ほか 17,299千円 L G W A N接続冗長化(機器更新) 635千円 14節 使用料及び賃借料 (9,509千円) 職員用パソコン・ネットワーク機器借上等 8,951千円 ソフトウェア使用料(Windows10対応ほか) 558千円 19節 負担金補助及び交付金 5,286千円 (鳥取県自治体 I C T 共同化推進協議会負担金ほか)								
<b>【事業の成果】</b> L G W A N接続を冗長化し、ネットワークの可用性を高めた。 鳥取県 I C T 共同化推進協議会で、将来のシステム共同化に向けた調査・研究を実施した。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	総務課	施策	その他（鳥取県中部地震対策）					
事業名	【震災関連】庁舎整備等事業							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
605,826	582,103	財源内訳	2,361		508,300		71,442	
事業の目的								
鳥取県中部地震により被害を受けた庁舎の復旧に関し、未活用の民間施設を改修し活用するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 26,744千円 第2庁舎整備工事实施設計業務 2,851千円 第2庁舎内部解体処分工事監理業務 7,220千円 第2庁舎整備工事監理業務（前金払分=24,084千円×30%） 15節 工事請負費 54,779千円 第2庁舎内部解体処分工事 489,450千円 第2庁舎整備工事（前金払分=1,223,640千円×40%） 16節 原材料費 1,059千円 高力ボルト								
<b>【事業の成果】</b> 第2庁舎整備工事の実施設計を行い、庁舎の活用形態を決定し、整備工事を発注した。第2庁舎整備に係る内部解体処分工事を完了し、整備工事に移行した。								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【国】</b>	社会資本整備総合交付金		2,361千円					
<b>【地方債】</b>	合併特例事業債		318,100千円					
	緊急防災・減災事業債		19,300千円					
	公共施設等適正管理事業債		13,700千円					
	庁舎整備事業債		157,200千円					

担当課	総務課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	公共施設等緊急安全確保対策						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
698	697	財源内訳					697
事業の目的							
安全基準を満たしていないブロック塀について、撤去及び復旧を行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費：南庁舎花壇ブロック修繕料 108千円 13節 委託料：北庁舎ブロック塀撤去 330千円 北庁舎ブロック塀復旧 259千円							
<b>【事業の成果】</b> 安全基準を満たすよう南庁舎・北庁舎のブロック塀について、修繕及び撤去・復旧を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	総務課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	文書広報						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	3 文書広報費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
19,055	18,525	財源内訳				1,080	17,445
事業の目的							
郵便の発送事務、全庁的に用いられるシステム(文書管理システム、例規システム等)及び印刷室の管理を行うことにより、事務の効率化を図る。 行政手続の基礎となる仕組みを提供するとともに、不服申立ての公正な審査体制を確保する。 公文書等の管理に関する法律の趣旨に則り、歴史公文書等評価選別委員会の運営及び公文書の適切な管理を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬:(歴史公文書等評価選別員ほか)					493千円	
9節	旅費:費用弁償 歴史公文書等評価選別員					1千円	
11節	需用費:(印刷室関係消耗品ほか)					2,706千円	
12節	役務費:(通信運搬費ほか)					8,387千円	
13節	委託料:文書管理システム保守管理委託料					1,187千円	
	例規システム管理業務委託料					2,538千円	
14節	使用料及び賃借料:複写機・両面印刷機借上料					2,188千円	
	文書管理システム借上料					985千円	
19節	負担金補助及び交付金:行政不服審査会共同設置負担金					40千円	
<b>【事業の成果】</b>							
全庁的に用いられるシステム、印刷室及び郵便物発送の一括管理を通じて、事務の効率化をすることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 郵便使用料 966千円							

担当課	総務課	施策	27 自然・居住・産業がバランスよく調和した土地利用を進める				
事業名	行政区域整備						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
220	0	財源内訳					0
事業の目的							
区画整理事業等で土地の形状に変更が加えられる場合、宅地造成による場合、飛び地の整理や自治会の地域変更等により区域変更の必要性が生じた場合に、審議会を開催して審査を依頼するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
町及び字の区域変更がなかったため審議会の開催はなし、予算未執行。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	表彰式・叙勲・褒章						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,425	724	財源内訳					724
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙勲及び褒章受章者に対する表敬と記念品の贈呈をするもの。</li> <li>・市表彰条例に基づき、市に対し功績のあった方々を表彰するもの。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>○【事業の実績】</p> <p>8節 報償費：報償金 495千円(受賞者記念品 460千円、公演謝金 35千円)</p> <p>11節 需用費：消耗品費 86千円(賞状用紙、額縁等)</p> <p>印刷製本費 78千円(市表彰式プログラム、記念写真)</p> <p>12節 役務費：通信運搬費 2千円(返信用はがき)</p> <p>手数料 21千円(表彰式祝演コンサートピアノ調律)</p> <p>筆耕翻訳料 42千円(表彰状筆耕)</p> <p>○叙勲受章者及び褒章受章者に対する表敬、記念品の贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叙勲受章者3人 褒章受章者1人 高齢者叙勲3人</li> </ul> <p>○市表彰条例等に基づき、市に対し功績のあった方を表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・功労表彰(個人11人、企業1法人)、特別功労表彰(個人1人)、善行表彰(個人12人)</li> <li>・市民栄誉賞(個人1人)</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>市政の振興、市民福祉の増進等に功労・善行があった者へ敬意を表すことができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	負担金・補助金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
27	27	財源内訳					27
事業の目的							
更生保護事業の広報・啓発活動を推進するとともに、事業の充実発展を図ることを目的とし補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>19節 負担金補助及び交付金：県更生保護観察協会補助金 27千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>社会福祉の向上、犯罪等を防止し平和な社会の実現に取り組む団体の活動の推進が図れた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	42 周辺4町との連携のもと、より効果的・効率的なまちづくりを進める				
事業名	広域連合負担金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
57,682	56,781						56,781
事業の目的							
周辺自治体を含めた、広域的課題の効果的な対応を図るため、広域連合の議会費及び総務費の負担金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 56,781千円 ・人口割 20%(最近の国勢調査人口による負担割合) ・実績割 80%(前年度の全事務の負担金総額による負担割合) H31.3.1 連合3月補正額(最終)  鳥取中部ふるさと広域連合の議会費及び総務費に対する負担金(管理費)を交付。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	社会福祉事業団助成						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
516	516						516
事業の目的							
地域社会の治安の維持と福祉の向上を図るため、非行及び犯罪予防活動等に取り組む倉吉保護区保護司会へ補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 516千円 ・倉吉保護区保護司会事業補助金 H29年1月1日現在の世帯数×単価25円 20,654世帯×単価25円=516千円(千円未満切り捨て) <b>【事業の成果】</b> 倉吉保護区保護司会への活動を支援することにより、犯罪予防活動の取組みを推進した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	社会を明るくする運動						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
62	50						50
事業の目的							
犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築くため、毎年7月を強調月間として関係機関・団体と連携して推進委員会や広報活動を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費:(消耗品)啓発用物資・うちわ等 48千円 14節 使用料及び賃借料:(借上料)広報活動等会場借上料 2千円  6月28日 推進委員会(交流プラザ) 27人参加 講演会(交流プラザ) 81人参加 7月1日 パープルタウン周辺での街頭広報 26人参加 9月1日 更生チャリティーバザー(倉吉未来中心アトリウム)主催者 36人参加 *売上げ金 83,950円を更生保護施設に寄附。  <b>【事業の成果】</b> 7月を強調月間として、推進委員会の開催、広報活動、集客活動(更生チャリティーバザー)等、運動を幅広く推進及び展開し、犯罪や非行の防止と更生について、理解と周知が図れた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	総務課	施策	その他(鳥取県中部地震対策)				
事業名	庁舎災害復旧事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	3 その他の公共施設災害復旧費	目	2 総務施設災害復旧費(繰越明許)
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
62,054	54,340		3,228	192	50,900		20
事業の目的							
鳥取県中部地震で被災した本庁舎ほかの庁舎について、復旧工事を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 4,610千円 議会棟災害復旧工事監理業務、(公財)文化財建造物保存技術協会技術指導 15節 工事請負費 49,730千円 庁舎災害復旧工事  <b>【事業の成果】</b> 前年度からの繰越となった議会棟の復旧が完了した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b>	国宝重要文化財等保存整備費補助金		3,228千円				
<b>【県】</b>	文化財等保存・保護事業費補助金		192千円				
<b>【地方債】</b>	総務施設災害復旧事業債		50,900千円				

担当課	防災安全課	施策	37 犯罪や事故のないまちをつくる				
事業名	交通安全対策						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 交通対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
8,016	6,414	財源内訳					6,414
事業の目的							
交通安全の推進を図り、安心して暮らせる生活環境を構築する。 地域、警察、交通安全協会等の関係機関や団体と協働し、交通安全運動を推進するとともに、交通安全意識の啓発を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
1節	報酬	2,550千円					
9節	旅費	313千円					
11節	需用費	723千円					
12節	役務費	113千円					
19節	負担金補助及び交付金	2,715千円					
【事業の成果】							
交通安全指導員(51名)の派遣事業を円滑に行うとともに、交通安全運動期間を中心に年間を通じて啓発活動を実施した。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導員出動 74回・延べ310人</li> <li>交通安全指導員連絡協議会総会及び交通安全指導員研修会 各1回</li> <li>倉吉市交通安全対策協議会(委員63人) 4回</li> <li>交通安全運動(春、夏、秋、年末) 4回</li> <li>高齢運転者運転免許証自主返納支援 認定申請 101件、補助対象事業者 3社(日交、日ノ丸、中部タクシー)、助成額 2,613千円</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	防災安全課	施策	45 双方向型の情報提供を充実させる				
事業名	自衛官募集						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
100	91	財源内訳	91				0
事業の目的							
自衛隊法及び自衛隊法施行令に基づき、法定受託事務として自衛官の募集事務を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	57千円					
12節	役務費	34千円					
【事業の成果】							
募集対象者への通知、市報掲載、自衛隊説明会の開催など、自衛官募集に関する広報を実施した。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度受験者数 30名(中部地区)</li> <li>平成30年度入隊者数 14名(中部地区)</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】自衛官募集事務費委託金 91千円							

担当課	防災安全課	施策	37 犯罪や事故のないまちをつくる				
事業名	団体活動費負担金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
154	154						154
事業の目的							
被害者支援その他の活動に取り組む各種団体等の活動を推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 154千円  <b>【事業の成果】</b> とっとり被害者支援センター、平和首長会議に負担金等を交付し、活動の推進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	防災安全課	施策	37 犯罪や事故のないまちをつくる				
事業名	防犯活動						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
734	725						725
事業の目的							
地域における防犯力の強化のため、防犯活動に取り組む団体の活動を推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 725千円  <b>【事業の成果】</b> 倉吉地区防犯協議会へ負担金を交付し、活動を推進することにより、防犯活動の強化を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	防災安全課	施策	その他（鳥取県中部地震対策）				
事業名	【震災関連】被災者住宅再建支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	2 住宅建設費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
202,696	139,341			122,326			17,015
事業の目的							
平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震による被災住宅の再建を図るため、住宅に被害を受けた被災世帯等に対し、住宅の再建及び修繕に係る費用を支援する。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
4節	共済費		588千円				
7節	貸金		3,573千円				
11節	需用費		71千円				
12節	役員費		225千円				
14節	使用料及び賃借料		211千円				
19節	負担金補助及び交付金		123,463千円	（被災者住宅再建支援金）			
20節	扶助費		11,210千円	（被災者住宅修繕支援金）			
【事業の成果】							
住宅に被害を受けた被災世帯等に対し、住宅の再建及び修繕に係る費用を支援した。							
・被災者住宅再建支援金 半壊 27世帯、一部損壊 349世帯							
・被災者住宅修繕支援金 一部損壊 253世帯							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】被災者住宅支援金交付事業費補助金 122,326千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	常備消防事業						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	1 常備消防費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
636,029	632,150						632,150
事業の目的							
常備消防の消防力の充実及び強化を図るため、鳥取中部ふるさと広域連合に負担金を支出する。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
19節	負担金補助及び交付金		632,150千円				
【事業の成果】							
鳥取中部ふるさと広域連合消防局及び消防署の運営、消防施設・設備等の整備に係る経費を負担し、消防力の充実及び強化を図った。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	非常備消防						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	2 非常備消防費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
71,695	64,931	財源内訳		1,165		17,658	46,108
事業の目的							
消防組織法に基づく非常備消防(消防団)の運営に関し、組織の強化及び消防装備の充実を図るとともに、住民の防火意識の高揚を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
1節	報酬		18,370千円				
5節	災害補償費		2,368千円				
8節	報償費		13,056千円				
9節	旅費		9,138千円				
11節	需用費		9,424千円				
12節	役務費		193千円				
14節	使用料及び賃借料		180千円				
18節	備品購入費		86千円				
19節	負担金補助及び交付金		11,894千円				
27節	公課費		222千円				
【事業の成果】							
倉吉市消防団の組織の強化及び消防装備の充実を図るとともに、消防団員による防火広報等を実施し、住民の防火意識の高揚を図った。							
・災害等による出動 火災等出動10回							
・訓練等による出動 消防団本部会議4回、分団長会議4回、市消防ポンプ操法大会1回、消防訓練等13回、秋季・春季全国火災予防運動2回、消防出初式1回等							
〔火災発生状況：平成30年1月～12月〕火災件数16件(建物火災10件、その他火災6件)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 1,165千円							
【その他】消防団員等公務災害補償等共済基金損害補償 15,424千円							
消防団員安全装備品整備等助成金 218千円、車両売払収入 2,016千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	消防施設整備						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	3 消防施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
14,216	11,143	財源内訳		215			10,928
事業の目的							
市民を火災から守るため、消防水利の基準等に基づく消防施設・設備(防火水槽、消火栓等)の整備及び維持管理を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費		2,455千円				
12節	役務費		802千円				
16節	原材料費		130千円				
17節	公有財産購入費		211千円				
19節	負担金補助及び交付金		6,597千円				
28節	繰出金		948千円				
【事業の成果】							
消防水利の不足地域における消火栓の新設をはじめ、消火栓の修繕等を適正に行い、市内の消防施設・設備の整備充実を図った。							
・消火栓新設3基(巖城、上余戸、不入岡)							
・消火栓取替5基(東巖城町、葵町、昭和町2基、横田)							
・消火栓修繕9基(河原町、上余戸、小田東、山根、宮川町2丁目、上灘町、秋喜、別所、大谷)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 215千円							

担当課	防災安全課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	防災対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	3 消防施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
22,495	22,248				22,200		48
事業の目的							
消防力の整備指針に基づき、自主防災組織へ貸与している小型動力消防ポンプ等の更新を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 18節 備品購入費 22,248千円							
【事業の成果】 自主防災組織に貸与している小型動力消防ポンプ等を計画的に更新し、地域の消防力の充実及び強化を図った。 ・小型動力ポンプの更新 5台(福庭、梓谷、古川沢、国府、国分寺) ・軽4輪駆動消防車の更新 2台(北谷分団、高城分団)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】緊急防災・減災事業債 22,200千円							

担当課	防災安全課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	耐震性貯水槽整備事業						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	3 消防施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
15,771	15,701				15,700		1
事業の目的							
消防水利が不足している地域(消火栓が整備できない地域等)に耐震性貯水槽を整備し、火災発生時の消防水利を確保し、市民の生命と財産を守る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 15節 工事請負費 15,701千円							
【事業の成果】 消防水利が不足している地域(消火栓が整備できない地域等)に耐震性貯水槽を計画的に整備し、消防水利の整備充実を図った。 ・耐震性貯水槽の設置 2基(尾田、耳)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】緊急防災・減災事業債 15,700千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	水防対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	4 水防費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,271	4,575			191			4,384
事業の目的							
水害に備えるため、水防倉庫、災害用ポンプ等の維持管理及び水防資機材の整備を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	640千円					
12節	役務費	1,444千円					
15節	工事請負費	2,472千円					
16節	原材料費	19千円					
【事業の成果】							
水害に備えるため、水防資機材等の整備充実を図るとともに、浸水害の多い地域の水害対策を実施した。							
・消防団員用防災ウェーダー(胴付長靴)、背負い補助バンドの整備							
・7月豪雨、台風第24号等に伴う古川沢浸水対策(排水ポンプ作業)の実施 18回							
・水防倉庫(福山、オケ崎)解体 2棟							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 191千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	災害対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
17,124	16,234			1,321	4,200		10,713
事業の目的							
地域防災計画に基づき、防災施設・設備の整備、被災者の生活支援体制の整備等を行い、災害に強いまちづくりを推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
1節	報酬	60千円					
9節	旅費	1,165千円					
11節	需用費	2,947千円					
12節	役務費	1,028千円					
14節	使用料及び賃借料	309千円					
18節	備品購入費	4,899千円					
19節	負担金補助及び交付金	881千円					
26節	寄附金	4,938千円					
27節	公課費	7千円					
【事業の効果】							
地域防災計画の修正、備蓄物資・防災資機材の整備、県防災行政無線の維持管理等を計画的に実施し、災害に強いまちづくりを推進した。							
・倉吉市防災会議の開催(地域防災計画の修正案等の審議) 2回							
・備蓄物資(飲料用保存水)等の更新、防災資機材(福祉避難所用間仕切り等)の整備							
・鳥取県中部地震震災記録誌(300部)の作成							
・災害対策車両(1台)の整備							
・鳥取県地域衛星通信ネットワーク通信回数 4,827回							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 857千円、災害救助費負担金 61千円 福祉避難所事前配置資機材整備事業費補助金 403千円							
【地方債】緊急防災・減災事業債 4,200千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	地域防災力向上対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,742	1,755			318			1,437
事業の目的							
災害に強いまちづくりの推進のため、自主防災組織を対象に研修会、防災マップの作成指導等を行い、自主防災組織の組織率の向上と自主防災活動の活性化を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 536千円							
19節 負担金補助及び交付金 1,219千円							
【事業の成果】							
自主防災組織の防災資機材の購入に係る経費の補助、研修会の開催、防災マップの作成指導等を行うとともに、地区防災リーダーを養成し、地域防災力の強化を図った。							
・自主防災組織の新規結成 6団体							
・自主防災組織防災資機材整備費補助金の交付 29団体							
・自主防災組織リーダー研修会の開催 1回							
・防災マップの新規作成 8団体							
・地区防災リーダーの新規認定登録 18名							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 318千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	総合防災訓練						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
397	373			58			315
事業の目的							
市民に対する防災意識の普及啓発、災害時における防災関係機関、団体等との連携体制の構築を図るため、総合的な防災訓練を実施し、災害に強いまちづくりを推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 320千円							
12節 役務費 18千円							
14節 使用料及び賃借料 35千円							
【事業の効果】							
平成30年10月14日に倉吉市上小鴨地区において、防災関係機関・団体や地域住民の参加のもと、大規模地震災害を想定した「平成30年度倉吉市総合防災訓練」を実施し、防災関係機関等との連携体制の確認、市民の防災意識の普及啓発等を図った。							
・日時 平成30年10月14日(日)9時～11時30分							
・場所 倉吉市上小鴨地区(上小鴨小学校・各自治公民館周辺)							
・参加機関・団体数(市民の参加者数) 12機関・団体(約500人)							
・訓練種目 要配慮者避難支援訓練、避難所運営訓練など全14種目を実施。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取県防災・危機管理対策交付金 58千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	防災行政無線維持管理事業						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
31,266	30,444			3,841	1,600	424	24,579
事業の目的							
倉吉市防災行政無線の運用と維持管理を適正に行い、市民の安全安心の確保に努める。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
11節	需用費	3,203千円					
12節	役務費	164千円					
13節	委託料	24,845千円					
14節	使用料及び賃借料	330千円					
18節	備品購入費	1,685千円					
19節	負担金補助及び交付金	217千円					
<b>【事業の成果】</b>							
倉吉市防災行政無線の維持管理を外部委託し、計画的かつ適正に防災行政無線の運用及び維持管理を行い、市民の安全安心の確保に努めた。							
・倉吉市防災行政無線通信回数 防災・行政放送1,510回、コミュニティ放送6,510回、Jアラート18回							
・Jアラート受信機(1台)の更新							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県防災・危機管理対策交付金 3,841千円							
<b>【地方債】</b> 緊急防災・減災事業債 1,600千円							
<b>【その他】</b> 戸別受信機機器売払収入 424千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	国民保護対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
150	90						90
事業の目的							
国民保護計画の修正等を行い、国民保護体制の整備を推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
11節	需用費	90千円					
<b>【事業の効果】</b>							
平成30年3月に施行した「倉吉市特殊標章及び身分証明書に関する交付要綱」に基づき、市職員など国民保護措置に係る業務等を行う者に交付する特殊標章を整備し、国民保護措置の実施体制を整備した。							
・特殊標章(腕章・帽章:各50名分)の整備							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	防災センター管理事業						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,632	3,263			330		76	2,857
事業の目的							
市民、自主防災組織、消防団等を対象とした研修会等の開催による地域防災力の強化を図るため、倉吉市防災センターの維持管理を適正に行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬		1,723千円				
4節	共済費		266千円				
9節	旅費		9千円				
11節	需用費		247千円				
12節	役員費		210千円				
14節	使用料及び賃借料		68千円				
19節	負担金補助及び交付金		740千円				
<b>【事業の効果】</b>							
倉吉市防災センターの維持管理を適正に行い、市民、自主防災組織等を対象とした研修会等を開催し、防災意識の普及啓発を図った。							
・平成30年度の来館者数 4,386人							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県防災・危機管理対策交付金 330千円							
<b>【その他】</b> 防災センター使用料 76千円							

担当課	防災安全課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	小災害り災者見舞金支給事業						
会計・予算科目	会計一般	款	13 諸支出金	項	1 災害援護費	目	1 災害援護費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
110	110						110
事業の目的							
り災者の保護及び再起更生を期するため、被災世帯に見舞金を支給する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
20節	扶助費		110千円				
<b>【事業の成果】</b>							
倉吉市小災害り災者見舞金給付要綱に基づき、倉吉市に住民登録のある方で、災害(災害救助法が適用されたものを除く。)により住家を被災した世帯に見舞金を支給し、り災者の保護等に努めた。							
・小災害り災者見舞金の支給世帯 11世帯(建物火災5世帯、台風第24号による浸水害6世帯)							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	防災安全課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	耐震性貯水槽整備事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	6 消防施設費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,942	6,165				6,000		165
事業の目的							
消防水利が不足している地域（消火栓が整備できない地域等）に耐震性貯水槽を整備し、火災発生時の消防水利を確保し、市民の生命と財産を守る。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 6,165千円  <b>【事業の成果】</b> 消防水利が不足している地域（消火栓が整備できない地域等）に耐震性貯水槽を計画的に整備し、消防水利の整備充実を図った。 ・耐震性貯水槽の設置 1基（古川沢） 平成29年度からの繰越							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【地方債】</b> 緊急防災・減災事業債 6,000千円							



担当課	職員課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	人件費（特別職）						
会計・予算科目	会計一般	款		項		目	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
42,368	42,092						42,092
事業の目的							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 市長 副市長 教育長  給料 26,388千円 職員手当 9,348千円 共済費 6,356千円							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	職員課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	人件費（一般職）						
会計・予算科目	会計一般	款		項		目	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,045,590	2,994,289					21,870	2,972,419
事業の目的							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 職員 403人 うち再任用職員 13人、任期付職員 4人  給料 1,452,522千円 職員手当 1,071,237千円 共済費 470,530千円  <b>【参考（平成31.3.31現在）】</b> 臨時職員 146人 一般職非常勤職員 231人 特別職非常勤職員 19人							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【その他】</b> 派遣職員給与負担金 21,678千円							

担当課	職員課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	職員管理							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
68,722	56,961						56,961	
事業の目的								
産前産後休暇、育児休業、病気休暇等により正職員が長期に渡り執務ができない場合に、できる限り事務に支障をきたさないよう当該正職員の代替として臨時職員等を充てるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 対象 非常勤職員 2人 臨時職員 36人  非常勤職員報酬 2,524千円 事務賃金 46,067千円 共済費 8,370千円								
【事業の効果】 長期にわたり執務できない正職員の代替職員として業務が滞らないよう執務を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	職員課	施策	41 職員一人ひとりの能力を高める					
事業名	人事管理							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	2 人事管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
27,136	24,673					4,136	20,537	
事業の目的								
人事管理を行うためのシステム(勤務管理、人事給与・庶務事務)の管理を行う。 職員採用試験を行う。 職員の資質向上のための研修及び職員の保健・元気回復事業を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 中央研修13人 階層別研修 12講座 119人 能力開発向上講座 26講座 145人 手話講座2人 通信教育1人 臨時・非常勤職員研修 各種システム研修 人事評価評価者研修 交通安全研修 防災・危機管理研修 キャリアデザイン研修 メンタルヘルス研修 L G B T研修 接遇研修 定期健康診断 542人 1節 報酬 744千円 5節 災害補償費 42千円 8節 報償費 43千円 9節 旅費 669千円 11節 需用費 415千円 12節 役務費 8,086千円 (人事給与・庶務システムサポート保守料 3,565千円 職員定期健康診断手数料2,852千円) 13節 委託料 1,285千円 (ストレスチェック委託料 598千円 研修業務委託料 687千円) 14節 使用料及び賃借料 3,189千円 (勤務管理システム賃貸借及び保守料 3,046千円) 18節 備品購入費 36千円 19節 負担金補助及び交付金 10,164千円 (人間ドック等負担金 2,849千円 児童手当負担金 2,273千円 職員研修事務負担金 3,962千円)								
【事業の効果】 研修の受講により職員の資質が向上した。 人間ドック、定期健康診断、各種行事を実施することにより、職員の福利厚生に寄与した。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】電算処理業務受託収入 2,867千円 【その他】退職手当負担金 786千円								

担当課	職員課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	退職手当基金積立						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
77	25						25 0
事業の目的							
退職手当基金の利息を元本に積み立てるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 退職手当基金利子 25千円  <b>【事業の効果】</b> 退職手当基金積立金 25千円 30年度末基金残高 244,111千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 退職手当基金利子 25千円							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	庁舎等管理						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的（款）に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 予算執行無し。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	財政事務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	4 財政管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,608	2,394						2,394
事業の目的							
予算編成、公債費償還等の財政事務に係る経費。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 平成30年度補正予算（11回）及び令和元年度当初予算の編成並びに地方債の借入れ、償還その他の管理 11節 需用費 消耗品費 146千円 12節 役務費 財務会計・起債管理システム保守業務 1,037千円 定期償還手数料 51千円 13節 委託料 財務会計システム新元号対応改修 680千円 14節 使用料及び賃借料 財務会計システムサーバ賃借料 480千円							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	財政調整基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
499	162					162	0
事業の目的							
災害復旧、地方債の繰上償還その他財源の不足を生じたときに充てるべき財源を積み立てるために設置された基金・財政調整基金に運用利子等の積立てを行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>25節 積立金 162千円</p> <p>平成30年度末の基金残高 1,311,434千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】運用利子 162千円							

担当課	財政課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	財産管理						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
394,747	391,855					373,004	18,851
事業の目的							
普通財産を適正に管理するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>8節 報償費(寄付物件評価委員会1回) 5千円</p> <p>11節 需用費 消耗品等 195千円</p> <p>12節 役務費</p> <p>手数料(市有地除草、樹木剪定、不動産鑑定ほか) 1,666千円</p> <p>保険料(自動車保険、建物保険ほか) 9,548千円</p> <p>14節 使用料及び賃借料 土地等借上料 7,149千円</p> <p>17節 公有財産購入費 土地開発基金保有土地買戻し 372,933千円</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 自治公民館地震保険交付金 351千円</p> <p>27節 公課費 自動車重量税 8千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p>【その他】土地開発基金繰入金 372,933千円</p> <p>実費弁償金 71千円</p>							

担当課	財政課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	減債基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
343,545	343,313					146	343,167
事業の目的							
市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理を行い、市財政の健全な運営に資するために設置された基金・減債基金に運用利子等の積立てを行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>25節 積立金 343,313千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉市減債基金条例（廃止前）第4条の規定に基づく運用利子等の積立て 146千円</li> <li>・地方財政法第7条第1項の規定に基づく平成29年度決算剰余金（686,333,058円）の1/2以上の積立て 343,167千円</li> </ul> <p>平成30年度末の基金残高 1,597,687千円</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
【その他】運用利子 146千円							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	公共施設等建設基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9	3					3	0
事業の目的							
市が設置する公共施設等の建設費に充てるために設置された基金・公共施設等建設基金への運用利子等の積立てを行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>25節 積立金 3千円</p> <p>平成30年度末の基金残高 27,304千円</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
【その他】運用利子 3千円							

担当課	財政課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する				
事業名	駐車場事業特別会計繰出金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 交通対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,592	8,978						8,978
事業の目的							
駐車場事業特別会計の収支差を補うため一般会計から繰出しを行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>28節 繰出金 8,978千円 駐車場事業特別会計へ繰出</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	地域振興交付金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,300	1,300					1,300	0
事業の目的							
上北条財産区の所在地域に財政支援をするもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 1,300千円 上北条地域振興交付金 (内訳)</p> <p>(上北条) 運営費 390千円           地区振補助金 50千円 (新田) 地区ふれあい活動費 860千円 計 1,300千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】上北条財産区繰入金 1,300千円							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	社会福祉総務						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的（款）に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】 予算執行無し。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	衛生総務						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的（款）に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】 予算執行無し。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							



担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	農林行政対策						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	2 農業総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的(款)に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】 予算執行無し。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	企業誘致						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
72	0						0
事業の目的							
各歳出の目的(款)に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】            流用 928千円(=当初予算額1,000千円-最終予算額72千円)            (流用先)            観光施設維持管理事業(関金地区) 928千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	道路橋梁総務（管理）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的（款）に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】 予算執行無し。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	水防対策						
会計・予算科目	会計一般	款	9 消防費	項	1 消防費	目	4 水防費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0						0
事業の目的							
各歳出の目的（款）に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】 予算執行無し。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	教育委員会事務局						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0	財源内訳					0
事業の目的							
各歳出の目的(款)に応じ、不測の修繕等に備えるため、一定の予算を確保するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 予算執行無し。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	財政課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	公債費(元金、利子)						
会計・予算科目	会計一般	款	12 公債費	項	1 公債費	目	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,759,020	2,753,490	財源内訳		19,248		332,331	2,401,911
事業の目的							
一般会計長期債定期償還元金の支払い。 一般会計長期債定期償還利子、各繰替運用基金利子及び一時借入金利子の支払い。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 23節 償還金利子及び割引料 2,753,490千円 <元金> 長期債定期償還元金 2,553,467千円(平成30年度末未償還元金 30,785,196千円)  <利子> 長期債利子 199,526千円 繰替運用利子 497千円 計 200,023千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】工業団地再整備事業費補助金 19,248千円 【その他】減債基金繰入金 206,792千円 商工振興資金貸付金元利収入 46,307千円 公営住宅使用料 79,232千円							

担当課	財政課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	予備費						
会計・予算科目	会計一般	款	14 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
6,177	0						0
事業の目的							
地方自治法第217条第1項の規定に基づき、予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、一定の予備費を計上するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>充用 3,823千円 (=当初予算額10,000千円-最終予算額6,177千円)</p> <p>(充用先)</p> <p>商工費(観光施設維持管理事業) 3,813千円</p> <p>諸支出金(小災害り災者見舞金支給事業) 10千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	税務課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	還付金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
229,179	219,938						219,938
事業の目的							
法令等に基づき、市税等過誤納還付金、還付加算金及び国県補助金等返還金を支出するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>23節 償還金利子及び割引料 219,938千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市税等還付金 35,071千円</li> <li>・市税還付加算金 277千円</li> <li>・国県補助金等返還金 184,590千円</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	税務課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	税務総務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	2 徴税费	目	1 税務総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
17,221	16,758						16,758
事業の目的							
税負担の公平性を確保し、効率的な行政運営を図るため、固定資産評価審査委員会業務及び市税滞納整理業務を委託している鳥取中部ふるさと広域連合へ負担金を支出するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>19節 負担金補助及び交付金 16,758千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産評価審査事務費負担金 140千円</li> <li>・滞納整理費負担金 16,618千円</li> </ul> <p><b>【事業の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産評価審査件数 0件</li> <li>・広域連合徴収実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>市税：10,975千円</li> <li>延滞金：7,283千円</li> <li>合 計：18,258千円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【事業の振り返り】</b></p> <p>広域連合による共同事務により、高度な専門性が求められる徴収・審査事務について、厳正に実施することができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	税務課	施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	賦課徴収						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	2 徴税费	目	2 賦課徴収費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
49,738	47,206	財源内訳		42,913		4,293	0
事業の目的							
税負担の公平性及び市財源の確保を図るため、法令等に基づき市税の賦課徴収を適正に行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 1,705千円、4節 共済費 448千円、7節 賃金 1,297千円、8節 報償費 4千円、 9節 旅費 145千円、11節 需用費 5,002千円、12節 役務費 16,753千円、13節 委託料 11,973千円、 14節 使用料及び賃借料 7,010千円、18節 備品購入費 78千円、19節 負担金補助及び交付金 2,782千円、 27節 公課費 9千円 ・地価下落に伴う固定資産税標準宅地の時点修正 1,605千円 ・適正な滞納処分を執行するための財産調査補助員の雇用 1,705千円 <b>【事業の成果】</b> ・市税収納率 97.60% (前年比+0.46%) ・未収入額 125,204千円 (前年比△29,243千円) ・滞納処分(差押) 204件 5,591千円 ・税務証明等 証明 10,168件、閲覧 207件、公図複製 640件 <b>【事業の振り返り】</b> 固定資産税標準宅地の不動産鑑定評価等を実施し、適正な課税を行った。また、財産調査補助員の雇用等により、厳正な滞納整理事務を実施し、安定的な自主財源の確保に効果を上げた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 県民税徴収事務費負担金 73,113千円(うち事業充当分 42,913千円) <b>【その他】</b> 徴税手数料 4,270千円							

担当課	税務課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	地籍調査						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
91,614	43,301	財源内訳		31,425		122	11,754
事業の目的							
地籍の明確化を図るため、国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、精度の高い地図及び簿冊を作成するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 721千円、7節 賃金 4,916千円、8節 報償費 10千円、9節 旅費 61千円、 11節 需用費 1,516千円、12節 役務費 1,291千円、13節 委託料 34,286千円、 14節 使用料及び賃借料 376千円、19節 負担金補助及び交付金 124千円 ・地籍調査事業測量業務 34,188千円 <b>【事業の成果】</b> (測量、現地調査) ・H30年度西郷地区(大原、広栄町、虹ヶ丘町、上余戸の各一部) 0.80km <sup>2</sup> (図面及び簿冊の作成、閲覧) ・H29年度倉吉地区(住吉町、駄経寺町、駄経寺町二丁目、新陽町、米田町、米田町二丁目、下田中町、上灘町の各一部) 0.71km <sup>2</sup> <b>【事業の振り返り】</b> 地籍調査を実施し、地図及び簿冊を整理することにより、地籍の明確化を図ることができた。 令和元年度(平成31年度)への繰越額: 46,000千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県国土調査事業補助金 31,425千円							

担当課	市民課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	戸籍住民登録事務（市民）							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	目	1 戸籍住民基本台帳費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
26,664	24,956	財源内訳	4,580			19,818	558	
事業の目的								
倉吉市の住民基本台帳に登録されている者、倉吉市に本籍を有している者等の届出を受理、記載等処理するとともに、正確かつ迅速に証明書を発行する。マイナンバー制度については返戻分の通知カードの交付、通知カードの再交付の受付、申請された個人番号カードの交付等を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度末 住民基本台帳人口 男 22,250人 女 24,767人 合計 47,017人 世帯数 20,606世帯</li> <li>平成30年度末 本籍人口 59,167人 本籍数 25,099戸籍</li> <li>平成30年度証明書交付件数（支所除く） 戸籍 17,152件 住民票 21,382件 印鑑証明 12,153件 住民票広域交付 38件 通知カード再交付 381件 個人番号カード再交付 9件</li> </ul>								
1節	報酬	5,963千円						
4節	共済費	979千円						
7節	賃金	248千円						
11節	需用費	1,064千円						
12節	役務費	753千円						
13節	委託料	5,756千円	戸籍システム保守委託料	2,989千円	住基ネットシステム保守委託料	2,767千円		
14節	使用料及び賃借料	6,344千円	戸籍システム機器借上料	2,894千円	戸籍システムソフト使用料	3,110千円		
19節	負担金補助及び交付金	3,849千円	個人番号カード等関連事務費交付金	3,752千円				
【成果】								
各種届出の受理、記載等の処理を行い、証明書の発行を行うことが出来た。マイナンバー制度については返戻分の通知カードの交付、通知カードの再交付申請の受付、マイナンバーカードの交付等を行った。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】個人番号カード交付事業費補助金 4,580千円								
【その他】戸籍手数料等 19,818千円								

担当課	市民課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	中長期在留者住居地届出等事務							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	目	1 戸籍住民基本台帳費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1	1	財源内訳	1				0	
事業の目的								
倉吉市に住民登録をしている中長期在留者等の届出、法務省からの情報を正確に把握し、管理する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度末現在人口 男 118人 女 198人 合計 316人</li> <li>主な国籍 <ul style="list-style-type: none"> <li>中国 79人</li> <li>韓国 52人</li> <li>フィリピン 58人</li> <li>ベトナム 74人</li> </ul> </li> </ul>								
11節	需用費	1千円						
【成果】								
各種届出、法務省からの通知をもとに記載等の処理を行い、住民基本台帳の管理、証明書の発行を行うことが出来た。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】中長期在留者住居地届出等事務委託費 230千円（内事業充当分 1千円）								

担当課	市民課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	人口動態調査							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	2 人口統計調査費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
65	52	財源内訳			52			0
事業の目的								
出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の実態を表すことで、国、県、地方自治体の行政資料として利用される。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
倉吉市に届出のあった下記の届について報告。 出生届 404件 婚姻届 210件 離婚届 68件 死亡届 711件 死産届 14件  11節 需用費 32千円 12節 役務費 20千円  <b>【成果】</b> 滞りなく調査票を作成し、報告することが出来た。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 人口動態調査費交付金 52千円								

担当課	市民課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	人口移動調査							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	2 人口統計調査費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
36	34	財源内訳			34			0
事業の目的								
住民基本台帳人口移動報告にもとづき、国が集計、公表し、地域人口の現状及び動向を正確に把握するための基礎資料として利用される。								
、								
出生者数 348人 死亡者数 680人 転入者数 1,381人 転出者数 1,528人  11節 需用費 18千円 12節 役務費 16千円  <b>【成果】</b> 滞りなく調査票を作成し、報告することが出来た。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 人口移動調査市町村委託金 34千円								



担当課	市民課		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する			
事業名	出産手当金支給						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,800	1,740						1,740
事業の目的							
第3子以降を出産した母親に対して支給することにより、家庭支援を行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
平成30年度 出産手当 87人分支給 20節 扶助費 1,740千円							
【成果】 87人に出産手当を支給し、家庭支援を行うことが出来た。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	市民課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	自動車臨時運行許可						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14	13					13	0
事業の目的							
道路運送車両法の運行要件を満たさない自動車であっても、行政庁の許可により特例的に運行出来る制度。臨時ナンバーの貸し出し。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
自動車臨時運行許可台数 819件 11節 需用費 13千円							
【成果】 自動車の臨時運行許可の申請に対し、的確に審査し、臨時ナンバーの貸し出しを行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【その他】自動車臨時運行許可手数料 614千円（内事業充当分 13千円）							

担当課	関金支所	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める					
事業名	支所管理							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
17,224	16,613	財源内訳				587	16,026	
事業の目的								
関金庁舎、総合文化センターの円滑な運営を行うため、施設・設備等を適切に維持管理するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 住民サービスの拠点施設として、関金庁舎、総合文化センターの維持管理・保守点検等を実施。 1節 報酬 非常勤職員報酬 5,777千円 4節 共済費 社会保険料 853千円 7節 賃金 非常勤職員賃金等 631千円 11節 需用費 6,379千円 光熱水費4,901千円、庁舎修繕798千円、消耗品費等 680千円 12節 役務費 834千円 通信運搬費 425千円、消防用設備保守点検料 330千円 等 13節 委託料 エレベーター保守管理 764千円 庁舎清掃業務 294千円 自家用電気工作物保安管理 270千円 電話交換機保守業務 162千円 14節 使用料及び賃借料 624千円 自動車借上料 378千円、コピー機借上料 195千円 等 27節 公課費 自動車重量税 25千円 <b>【事業の効果】</b> 来庁者が庁舎等を快適に使用できるよう、施設の維持管理ができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 庁舎使用料等 587千円								

担当課	関金支所	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	情報通信設備維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
8,554	6,831	財源内訳				6,831	0
事業の目的							
情報格差解消のため整備した情報通信設備(住民ネットワーク、情報通信ケーブル)の保守・点検、移設、機器修繕をするもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 情報通信設備(住民ネットワーク、情報通信ケーブル)、センター機器、ケーブル網の保守・移設・修繕等を実施。 11節 需用費 光熱水費(情報通信設備電気代) 1,087千円 修繕料 2,475千円 12節 役務費 情報通信設備移転業務等手数料 1,163千円 13節 委託料 情報通信設備保守業務 2,106千円 <b>【事業の効果】</b> 情報通信設備(住民ネットワーク、情報通信ケーブル)、センター機器、ケーブル網を適正に管理できた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 情報通信設備貸付収入等 8,281千円(事業充当6,831千円)							

担当課	関金支所	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	大山池ふれあい広場等維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,893	2,892	財源内訳					2,892
事業の目的							
大山池ふれあい広場(木の実の里)、大山池遊歩道及び大山池周辺の除草、トイレの清掃、植栽等の維持管理業務をするもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 大山池ふれあい広場(木の実の里)、大山池遊歩道及び大山池周辺の維持管理を実施。 1節 報酬 非常勤職員報酬 1,771千円 4節 共済費 非常勤職員社会保険料 265千円 11節 需用費 423千円 消耗品費31千円、光熱水費180千円、修繕料139千円、燃料費73千円 12節 役務費 トイレ保守業務 255千円 16節 原材料費 16千円 18節 備品購入費 162千円 芝刈り機							
<b>【事業の効果】</b> 大山池ふれあい広場(木の実の里)、大山池遊歩道及び大山池周辺を適正に管理できた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	関金支所	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	関金エリアトイレ・公園管理						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
3,853	3,659	財源内訳					3,659
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ(大山池、大滝山、観光団地、温泉公衆、バス停、亀井公園)の清掃管理。</li> <li>・延命茶屋足湯の維持管理をするもの。</li> <li>・公園・広場(運動公園子供広場、鳥越遊歩道、亀井公園)除草、清掃管理。</li> <li>・展望駐車場(地蔵峠、一向ヶ平、犬狭峠)除草、清掃管理をするもの。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 観光関係トイレ、子ども広場、駐車場、足湯(延命茶屋)、遊歩道等の維持管理(除草・清掃等)を実施。 1節 報酬 非常勤職員報酬 1,736千円 4節 共済費 社会保険料 275千円 11節 需用費 1,258千円 消耗品38千円、燃料671千円、光熱水費523千円、修繕26千円 12節 役務費 トイレ浄化槽清掃等 114千円 トイレくみ取り料 22千円 13節 委託料 浄化槽保守点検 32千円 14節 使用料及び賃借料 202千円 自動車等借上料180千円、公衆トイレ土地借上料22千円 19節 負担金補助及び交付金 20千円 天神野土地改良区施設利用負担金							
<b>【事業の効果】</b> 観光関係トイレ、子ども広場、駐車場、足湯(延命茶屋)、遊歩道等を適正に管理できた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	関金支所		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	関金公園等管理							
会計・予算科目	会計	一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,195	2,999							
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関金1・2・3号公園の除草、清掃をするもの。</li> <li>・市道の除草、清掃及び補修をするもの。</li> <li>・親水公園（矢送川、大鳥居、滝川、せせらぎ、滝川砂防ダム）の清掃をするもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 関金公園、市道、親水公園（5）、都市公園（3）の草刈、清掃、剪定、点検管理等を実施。								
1節	報酬							
	非常勤職員報酬		1,710千円					
4節	共済費							
	非常勤職員社会保険料		275千円					
11節	需用費							
	消耗品費		56千円					
	燃料費		88千円					
	光熱水費		31千円					
	修繕料		47千円					
12節	役務費							
	草刈等手数料		585千円					
14節	使用料及び賃借料							
	自動車借上料		207千円					
<b>【事業の効果】</b> 関金公園、市道、親水公園（5）、都市公園（3）を適正に管理できた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	関金支所		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	総合交通対策（支所）							
会計・予算科目	会計	一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 交通対策費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,000	2,457							
事業の目的								
国鉄倉吉線廃止に伴う旅客運賃事業者が行うスクールバス事業を促進し、通学利用者の負担軽減を図るため、通学定期乗車券料金の100分の30を乗じた額を基準に関金町に居住する学生及び生徒に補助するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 関金町に居住する学生及び生徒に通学定期代の3割を補助。								
19節	負担金補助及び交付金							
	スクールバス事業費補助金		2,457千円 (1か月定期：802千円、3か月定期：839千円、6か月定期：816千円)					
補助対象者：高等学校・高等専門学校・養護学校等への通学 補助対象人員：91人 利用者 56人 件数 288件								
<b>【事業の効果】</b> 通学定期代の3割補助により、通学利用者の負担軽減が図れた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	関金支所	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	戸籍住民登録事務						
会計・予算科目	会計一般	款 2 総務費	項 3 戸籍住民基本台帳費	目 1 戸籍住民基本台帳費			
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
157	129					129	0
事業の目的							
倉吉市の住民基本台帳に登録されている者、倉吉市に本籍を有している者に、正確かつ迅速な証明書の発行をすることにより、住民サービスの向上を資することを目的とし、証明書を発行するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 平成30年度証明書交付件数 戸籍交付 756件 住民票交付 985件 印鑑証明 880件  11節 需用費 消耗品費 61千円 印刷製本費 68千円  <b>【事業の効果】</b> 各種届出の受理、記載等の処理を行い、証明書の発行を行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 印鑑証明手数料等 999千円(うち事業充当分 129千円)							

担当課	企画課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	秘書							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
8,753	7,905	財源内訳						7,905
事業の目的								
市長及び副市長の公務を円滑に運営するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
○報酬	2,069千円	非常勤職員1人						
○共済費	294千円	非常勤職員1人						
○旅費	1,260千円							
・中国市長会	春季役員会	1回(随同3人×1回)						
・全国市長会	正副会長候補者選考委員会	2回(随同1人×1回)、全国市長会議				1回(随同2人×1回)		
	理事評議員合同会議	3回(随同1人×2回)、地域医療確保対策会議				1回		
・鳥取県人会関係	東海鳥取県人会、鳥取県ファンの集いin関西、在岡山鳥取県人会							
	広島鳥取県人会、東京鴨水同窓会							
・交付金御礼、合区の早期解消促進大会、秋の園遊会	ほか							
○交際費	486千円							
○需用費	584千円							
○役務費	241千円							
○使用料及び賃借料		26千円						
○負担金補助及び交付金		2,945千円						
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	企画課		施策	45 双方向型の情報提供を充実させる				
事業名	広報公聴							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	3 文書広報費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
18,318	14,846	財源内訳		2,205		1,295		11,346
事業の目的								
市政に関する情報などを発信するため、市報発行、ホームページ更新、メール配信、NCN2ch行政放送等の広報活動を行うもの。また、日本広報協会及び鳥取県広報連絡協議会に加入し、主催する研修会に職員が参加し、広報技術を向上させるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
○報酬	1,530千円	非常勤職員1人						
○共済費	234千円	非常勤職員1人						
○旅費	72千円	日本広報協会セミナー参加旅費						
○需用費	7,196千円							
・記者室新聞購読料	ほか	576千円						
・市報くらし印刷製本費		6,620千円						
	市民へ幅広く市政に関する情報を発信した。毎月1回(1回20,000部)							
○役務費	427千円	郵便代ほか						
○委託料	3,010千円							
・市報等発送業務委託料		2,405千円						
・点字市報作成委託料		605千円						
○使用料及び賃借料		2,322千円						
○負担金補助及び交付金		55千円						
	複合機借上ほか 日本広報協会セミナー参加者負担金							
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b>								
	県政だより配布事務費委託金	1,654千円						
	県議会だより配布事務費委託金	551千円						
<b>【その他】</b>								
	市報広告掲載料	1,085千円						
	ホームページ広告掲載料	210千円						

担当課	企画課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	企画政策推進						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,289	4,257						4,257
事業の目的							
市政の政策形成の推進を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 332千円 地域おこし協力隊</li> <li>○共済費 54千円 地域おこし協力隊</li> <li>○報償費 200千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略推進委員会 委員27人 3回開催 200千円</li> </ul> </li> <li>○旅費 163千円 徳島県神山町視察、平成30年度鳥取・岡山県境連携推進協議会(新見市)ほか</li> <li>○需用費 334千円 消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料</li> <li>○役務費 278千円 通信運搬費</li> <li>○委託料 995千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の森管理委託料 293千円 「青少年・市民交流の森」除草整備作業等を地元へ委託 除草2回</li> <li>・倉吉市小田支障枝伐採作業 702千円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 1,003千円 自動車借上料、iJAMP購読使用料、行政ジャーナル利用料</li> <li>○負担金補助及び交付金 898千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取・岡山県境連携推進協議会会費 15千円</li> <li>・倉吉市鳥取看護大学コミュニティ師範養成事業費等補助金 860千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆まちの保健室 拠点型 12回、準拠点型 16回(地区公民館、田内公民館)</li> <li>出前・イベント型 24回、子育て支援型 6回</li> <li>◆リーダー養成講座「まめんなかえ師範塾」 修了生21人(うち倉吉市内は8人)</li> </ul> </li> <li>・倉吉市学生ボランティア活動交通費補助金 17千円</li> <li>◆市内でのイベント等ボランティア活動に参加する学生の交通費相当額を補助 2件 12人</li> </ul> </li> <li>・徳島県神山町視察研修負担金 6千円</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	企画課	施策	42 周辺4町との連携のもと、より効果的・効率的なまちづくりを進める				
事業名	定住自立圏構想推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
471	145						145
事業の目的							
定住自立圏の将来像の実現のため、定住自立圏共生ビジョン懇談会による検討を踏まえ、周辺町と協議しながら、定住自立圏形成協定及び定住自立圏共生ビジョンの変更を行い、具体的な事業の実施につなげるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
定住自立圏共生ビジョン関係事業の取組状況の報告と、委員から意見をいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会1回 委員18人(うち1名欠席)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 80千円 懇談会委員謝金</li> <li>○旅費 52千円 定住自立圏構想推進セミナーin茨城</li> <li>○需用費 13千円 メンディングテープ購入 ほか</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	企画課		施策	【戦略】39 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組みを充実させる			
事業名	イメージキャラクター作製事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	決算額の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,444	1,328					11	1,317
事業の目的							
倉吉市イメージキャラクターくらすけくんの積極的なPR活動を行うことにより、住民とのさらなる一体感や親近感を醸成するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
○旅費	94千円	彦根城まつり、鳥取県移住フェア(大阪)					
○需用費	1,159千円						
・消耗品費	22千円	着ぐるみ補修用消耗品					
・印刷製本費	1,137千円	オリジナルグッズ作製等					
○役務費	64千円	くらすけくんクリーニング代					
○使用料及び賃借料	11千円	高速道路利用料(彦根まつり)					
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】LINEスタンプ売払収入 11千円							

担当課	企画課		施策	31 まちなかへの公共交通アクセス機能を強化する			
事業名	総合交通対策(企画)						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 交通対策費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
131,431	130,050			14,835		67	115,148
事業の目的							
地域住民の福祉を確保するために必要な公共交通機関の維持確保を行い、スムーズな移動を図るため、バス路線対策としてバス事業者に補助金を交付するもの。バス利用環境の向上のため、地域が主体となって行うバス停留所上屋設置に対し補助金を交付するもの。また、JR線及び智頭線、鳥取空港の利便性の確保のため、各種負担金を支出するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
○報償費	50千円						
・倉吉市福祉有償運送運営協議会委員謝金、倉吉市地域公共交通会議謝金							
○使用料及び賃借料	18千円						
○負担金補助及び交付金	129,982千円						
・JR線・智頭線中部地区利用促進協議会負担金	5千円						
・山陰本線福知山線複線電化促進期成同盟会負担金	5千円						
・鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金	170千円						
・山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金	30千円						
・倉吉市バス運行対策費補助金	129,203千円						
・公共交通空白地有償運送導入・運行支援事業費補助金	569千円						
【主な事業実績】							
各種団体への参画により、公共交通機関の利便性向上、維持確保のための活動を行った。							
◆山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会→要望活動の実施							
・H30.10月 西日本旅客鉄道株式会社福知山支社							
・H30.11月 西日本旅客鉄道株式会社米子支社							
・H30.11月 国土交通省							
◆JR線・智頭線中部地区利用促進協議会→要望活動の実施							
・H30.11月 西日本旅客鉄道株式会社米子支社							
・H30.11月 智頭急行株式会社							
◆鳥取空港の利用を促進する懇話会→山陰向け旅行商品造成を働きかけ							
・首都圏旅行社							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】	生活交通体系構築支援補助金	9,945千円					
	広域バス路線維持費補助金	4,607千円					
	公共交通空白地有償運送導入・運行支援事業費補助金	283千円					
【その他】	関金バスセンター使用料	67千円					



担当課	企画課		施策	42 周辺4町との連携のもと、より効果的・効率的なまちづくりを進める			
事業名	総合交通対策（定住自立圏）						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 交通対策費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,327	1,062						1,062
事業の目的							
<p>定住自立圏構想の協定項目である「公共交通に係る効率的な運行体系の確立」を推進するため、H29年度に鳥取県中部地域公共交通網形成計画を策定し、この計画に基づいて具体的な路線再編や利用促進の取り組みを検討するための事業費及び協議会運営費を支出するもの。また、H23に実施した既存バス停施設調査結果をもとに年次的にバス停の修繕を行うもの。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>○需用費 875千円 バス停留所修繕（2件） ○負担金補助及び交付金 187千円 鳥取県中部地域公共交通協議会負担金</p> <p><b>【事業の成果】</b> バス停を修繕することにより利用環境の向上を図った。 ・バス停留所修繕2件（関金バスセンター：外灯修繕（北・南2箇所）雨漏り修理、関金温泉バス停上屋外壁修繕）</p> <p>鳥取県中部地域公共交通協議会 ・鳥取県中部地域公共交通網形成計画に基づき、具体的な路線再編の検討や利用促進の取り組みを行った。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	企画課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	統計業務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	1 統計調査総務費
最終予算額	決算額（千円）	決算額の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
115	98						98
事業の目的							
<p>統計業務に関わる事務を行うもの。また、市勢要覧の作成、発行を行うもの。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>○需用費 97千円 印刷製本費 市勢要覧作成 300部 ○役務費 1千円</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	企画課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する									
事業名	経済統計調査費												
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	3 経済統計調査費						
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源						
6,917	5,836	財源内訳		5,836			0						
事業の目的													
<p>以下の調査の実施及び準備事務を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業統計調査…工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料とするもの。</li> <li>・住宅・土地統計調査…居住状況に関する実態や推移を明らかにし、住生活関連施策の基礎資料とするもの。</li> <li>・経済センサス-基礎調査…事業所及び企業の従業者規模等を明らかにし、各種統計調査実施のための母集団情報を整備するもの。</li> <li>・経済センサス調査区管理…調査区を管理し、必要な修正等を行うことにより、事業所や企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料とするもの。</li> <li>・国勢調査…人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策・その他の基礎資料を得るもの。</li> <li>・農林業センサス…農林業・農山村の実態を明らかにし、農林行政に係わる諸施策及び必要な資料を得るもの。</li> <li>・統計調査員確保対策…国及び地方公共団体が行う統計調査の円滑な実施を期するため、調査員の登録管理及び研修等を行い、登録調査員の確保及びその資質向上を図るもの。</li> </ul>													
事業の実績、成果(振返り、効果等)													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>【工業統計調査】</b> 236千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 203千円 調査員8人</li> <li>○賃金 10千円</li> <li>○需用費 16千円 消耗品費</li> <li>○役務費 5千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料 2千円 機械借上料</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>【国勢調査(準備)】</b> 1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 1千円</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【住宅・土地統計調査】</b> 5,513千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 4,888千円 指導員13人、調査員82人</li> <li>○職員手当等 42千円</li> <li>○賃金 288千円</li> <li>○需用費 75千円</li> <li>○役務費 49千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料171千円 機械借上料</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【農林業センサス(準備)】</b> 5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 3千円 消耗品費</li> <li>○役務費 2千円 通信運搬費</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【統計調査員確保対策】</b> 28千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 12千円</li> <li>○役務費 16千円</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </table>								<p><b>【工業統計調査】</b> 236千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 203千円 調査員8人</li> <li>○賃金 10千円</li> <li>○需用費 16千円 消耗品費</li> <li>○役務費 5千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料 2千円 機械借上料</li> </ul>	<p><b>【国勢調査(準備)】</b> 1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 1千円</li> </ul>	<p><b>【住宅・土地統計調査】</b> 5,513千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 4,888千円 指導員13人、調査員82人</li> <li>○職員手当等 42千円</li> <li>○賃金 288千円</li> <li>○需用費 75千円</li> <li>○役務費 49千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料171千円 機械借上料</li> </ul>	<p><b>【農林業センサス(準備)】</b> 5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 3千円 消耗品費</li> <li>○役務費 2千円 通信運搬費</li> </ul>	<p><b>【統計調査員確保対策】</b> 28千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 12千円</li> <li>○役務費 16千円</li> </ul>	
<p><b>【工業統計調査】</b> 236千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 203千円 調査員8人</li> <li>○賃金 10千円</li> <li>○需用費 16千円 消耗品費</li> <li>○役務費 5千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料 2千円 機械借上料</li> </ul>	<p><b>【国勢調査(準備)】</b> 1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 1千円</li> </ul>												
<p><b>【住宅・土地統計調査】</b> 5,513千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 4,888千円 指導員13人、調査員82人</li> <li>○職員手当等 42千円</li> <li>○賃金 288千円</li> <li>○需用費 75千円</li> <li>○役務費 49千円 通信運搬費</li> <li>○使用料及び賃借料171千円 機械借上料</li> </ul>	<p><b>【農林業センサス(準備)】</b> 5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 3千円 消耗品費</li> <li>○役務費 2千円 通信運搬費</li> </ul>												
<p><b>【統計調査員確保対策】</b> 28千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 12千円</li> <li>○役務費 16千円</li> </ul>													
主な特定財源(名称、金額等)													
<p><b>【県】</b> 経済統計調査費委託金 5,836千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業統計調査費委託金 236千円</li> <li>・統計調査員確保対策事業費委託金 28千円</li> <li>・住宅・土地統計調査費委託金 5,513千円</li> <li>・経済センサス委託金(基礎調査) 39千円</li> <li>・経済センサス委託金(調査区管理) 14千円</li> <li>・国勢調査(準備)費委託金 1千円</li> <li>・農林業センサス(準備)費委託金 5千円</li> </ul>													

担当課	企画課		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	学校基本調査							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	4 教育統計調査費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
16	13	財源内訳			13			0
事業の目的								
<p>学校の教員数、生徒数、卒業後の状況等の事項を調査し、学校教育上の基礎資料とするもの。  毎年、調査期日を5月1日として実施。対象は、市内すべての小中学校、幼保連携型認定こども園、専修学校、各種学校、市教育委員会。</p>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>○需用費 6千円 消耗品費  ○役務費 7千円 通信運搬費</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【県】学校基本調査費委託金 13千円</p>								

担当課	商工観光課		施策	43 安定的に自主財源を確保する			
事業名	遥かなまち倉吉ふるさと基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2	1					1	0
事業の目的							
遥かなまち倉吉ふるさと基金の前年度利子を積み立てるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>25節 積立金 1千円(基金利子)</p> <p>(参考)平成30年度末基金残高 1,633千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】遥かなまち倉吉ふるさと基金利子 1千円							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える			
事業名	企業立地推進基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
31	30					30	0
事業の目的							
<p>企業立地による雇用の創出については、本市における最重要の取り組みとしてその促進を図っている。</p> <p>新規企業誘致や既存企業の規模拡大等による今後の企業立地に伴う補助金の増加に対応するため、企業立地推進基金を設置した。</p> <p>基金の運用による運用益金を、基金に繰り入れるものとする。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>25節 積立金(利子分) 30千円</p> <p>(参考)平成30年度末基金残高 101,625,033円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】企業立地推進基金利子 30千円							

担当課	商工観光課		施策	43 安定的に自主財源を確保する				
事業名	ふるさと納税							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
351,398	324,601	財源内訳				324,601		0
事業の目的								
安定的な財源確保と地域産物も含めて倉吉市を広く全国へ発信するため、ふるさと納税を推進するもの。総務省通知に添って返礼品を充実させ、地域産品のPRと地域産業活性化を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 594千円(社会保険料) 7節 賃金 3,900千円(事務補助職員) 8節 報償費 16千円(街頭PR謝礼) 9節 旅費 159千円(イベント参加) 11節 需用費 259,447千円 ・消耗品費(返礼品代ほか)257,380千円 ・印刷製本費(パンフレットほか)2,067千円 12節 役務費 44,663千円 ・通信運搬費(寄附金受領証、寄附者へのパンフレット)7,038千円 ・広告料(ふるさと納税サイトWEB広告)30,885千円 ・手数料(クレジット払等)6,740千円 13節 委託料 15,660千円(観光情報発信業務) 14節 使用料及び賃借料 162千円(カラープリンター機械借上料)								
<b>【事業の成果】</b> ふるさと納税(広報・贈呈品)を通じて、本市の認知度を高めるとともに、自主財源の確保に寄与することで地方創生の取り組みに繋がった。 ※ふるさと納税収入 22,799件 612,673千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 324,601千円								

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	地域産業振興基金積立金							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
30	29	財源内訳				29		0
事業の目的								
寄附金を積み立て、くらしよし産業元気条例に基づく地域産業振興ビジョンの取り組みに活用するための利子積立。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金(利子分) 29千円  (参考) 平成30年度充当：鳥取和牛振興総合対策事業 5,000,000円 平成30年度末残高 77,283,616円								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 地域産業振興基金利子 29千円								

担当課	商工観光課		施策	43 安定的に自主財源を確保する			
事業名	倉吉ふるさと未来づくり基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
620,141	612,813	財源内訳				612,813	0
事業の目的							
<p>未来へ向けた個性豊かで活力ある地域づくりを推進するために設置された『倉吉ふるさと未来づくり基金』に、ふるさと納税寄附金を財源とした基金積立を行うもの。 この基金を活用し、『倉吉未来いきいき総合戦略』に掲げた事業を推進し、地方創生の取組を推進するもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  25節 積立金 612,813千円  ・平成30年度ふるさと納税基金寄附金 612,673千円(件数 22,799件)  ・基金利子 140千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>  基金を活用し、『倉吉未来いきいき総合戦略』に掲げた事業を推進し、地方創生に取り組んだ。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金寄附金 612,673千円  倉吉ふるさと未来づくり基金利子 140千円</p>							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する			
事業名	中心市街地活性化推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
55,367	9,535	財源内訳					9,535
事業の目的							
中心市街地活性化に関する施策を総合的かつ一体的に推進するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  1節 報酬 1,807千円(147,500円×10月、166,000円×2月)  4節 共済費 270千円  9節 旅費 443千円  ・費用弁償 154千円(ビジネスセミナー、販促マーケティング)  ・普通旅費 289千円(中活事業国審査会、中国経産局協議、企業訪問)  11節 需用費 49千円  ・消耗品費 26千円(事務用品)  ・燃料費 23千円(地域おこし協力隊用公用車)  12節 役務費 226千円  ・通信運搬費 4千円(郵送費)  ・手数料 222千円(地域おこし協力隊 ドローン講習、ネット動画クリエイター研修)  14節 使用料及び賃借料 881千円  ・会場借上げ料 5千円(地域おこし協力隊 活動イベント会場借上げ)  ・自動車借上料 208千円(地域おこし協力隊公用車 17,280円×12月)  ・機械借上料 188千円(地域おこし協力隊ノートPC 15,660円×12月)  ・建物借上料 480千円(地域おこし協力隊宿舎 40,000円×12月)  19節 負担金補助及び交付金 5,859千円  ・補助金 183千円(まちなか賑わい再生支援事業費補助金)  5,676千円(中心市街地活性化協議会補助金)</p>							
令和元年度への繰越額 40,000千円							
<p><b>【事業の成果】</b>  ・平成27年6月30日に認定を受けた中心市街地活性化基本計画の変更。  ・地域おこし協力隊を1名設置。  ・倉吉市中心市街地活性化協議会の運営を支援。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】4 みんなが働きやすい安定した雇用基盤を整える				
事業名	勤労者福祉							
会計・予算科目	会計一般	款	5 労働費	項	1 労働諸費	目	1 労働諸費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
10	0	財源内訳						0
事業の目的								
「勤労者・生活者の福祉向上」のため、勤労者福祉を推進する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
勤労者福祉推進を対象とした事業がなく、予算執行していない								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	商工観光課		施策	【戦略】4 みんなが働きやすい安定した雇用基盤を整える				
事業名	商工総括事業							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
1,388	1,226	財源内訳					52	1,174
事業の目的								
<p>事業所の事業拡大・販路開拓、中小企業組合の運営の支援、中小企業者の経営上の諸課題解決等の相談に対応し、市内企業の定着・発展を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業の振興に関して必要な一般事業費。</li> <li>・日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター(ジェトロ鳥取)の負担金</li> <li>・鳥取県中小企業団体中央会補助金</li> <li>・倉吉中小企業相談所補助金</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>11節 需用費 160千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 71千円</li> <li>・燃料費 89千円</li> </ul> <p>12節 役員費 25千円</p> <p>14節 使用料及び賃借料 168千円</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 873千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェトロ鳥取運営負担金 356千円</li> <li>・鳥取県中小企業団体中央会補助金 250千円</li> <li>・倉吉中小企業相談所補助金 267千円</li> </ul> <p><b>【事業の成果】</b></p> <p>事業所の事業拡大・販路開拓、中小企業組合の運営の支援、中小企業者の経営上の諸課題解決等の相談に対応し、市内企業の定着・発展を図った。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
<p><b>【その他】</b> 商工関係証明手数料(営業証明手数料) 12千円</p> <p>土地建物貸付収入 40千円</p>								

担当課	商工観光課		施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める			
事業名	同和対策						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
413	413						413
事業の目的							
倉吉市同和問題企業連絡会の会員相互が連携し、主体性を持って、企業の立場から同和問題に対する正しい認識と理解を深め、同和問題の解決に資するため、倉吉市同和問題企業連絡会に対して補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 413千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉市同和問題企業連絡会補助金</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>第43回部落解放・人権西日本夏期講座(2社2名)、先進地視察・トップ研修会(2社2名)、部落解放研究第52回全国集会(2社2名)、第70回全国人権・同和教育研究大会(1社1名)、第35回同和問題に取り組む全国企業連絡会全国集会(2社2名)、第33回人権啓発研究集会(1社1名)に参加し、研修旅費として支出した。また、各企業より募集した標語の中から1点を選び、市内小中学校で作成された原画を基に倉吉市同和問題企業連絡会の人権啓発ポスターを300枚作成した。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】4 みんなが働きやすい安定した雇用基盤を整える			
事業名	商工業振興						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
264	191						191
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業の活性化と西倉吉工業団地の立地企業の定着・発展のため、産業支援機関及び各種団体等の会員として連携した取り組みを行う。</li> <li>・商業街路灯の維持の取り組みを支援し、地域産業の振興を図る。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 191千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産業振興機構負担金 20千円</li> <li>・西倉吉工業団地共栄会負担金 100千円</li> <li>・鳥取大学振興協力会負担金 15千円</li> <li>・商業街路灯維持費補助金 倉吉地区 24千円 関金地区 32千円</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>地域産業の活性化と西倉吉工業団地の立地企業の定着・発展のため、産業支援機関及び各種団体等の会員として連携した取り組みを行った。</p> <p>商業街路灯の維持の取り組みを支援し、地域産業の振興を図った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	商工観光課	施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	企業誘致						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
580,519	575,211	財源内訳		1,364		53,626	520,221
事業の目的							
企業立地による雇用の創出については、本市における最重要の取り組みとしてその促進を図っている。市内外の企業訪問による企業誘致活動、立地に対する補助金の交付、工場用地(西倉吉工業団地、テクノパーク灘手)の整備を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 391千円 11節 需用費 297千円 ・消耗品費 89千円 ・印刷製本費 12千円 ・修繕料 196千円 12節 役務費 784千円 13節 委託料 76千円 ・西倉吉工業団地案内図板取替等業務 76千円 14節 使用料及び賃借料 774千円 ・関西機械要素技術展出展 709千円 ・バーコードリーダー 65千円 15節 工事請負費 13,330千円 ・西倉吉工業団地造成工事 13,330千円 19節 負担金補助及び交付金 559,559千円 ・西倉吉工業団地貸工場用地下水道受益者負担金 496千円 ・企業立地促進補助金(7社) 546,485千円 ・情報通信関連企業立地促進補助金(1社) 3,233千円 ・事務管理関連雇用事業費補助金(2社) 9,345千円 <b>【事業の成果】</b> 企業訪問(15社)、モノづくりフェアへの出展、企業立地等の補助金交付(10件)、工場団地内の整備を行い、企業の規模拡大による雇用の創出を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 西倉吉工業団地再整備事業補助金 1,364千円 <b>【その他】</b> 貸工場用地使用料 3,626千円 若者の定住化促進基金 50,000千円							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	地場産業振興						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
885	885	財源内訳					885
事業の目的							
ふるさと産業の保存、振興、規模拡大を図るため、事業者、団体等に対する補助等を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 885千円 ・倉吉絆後継者育成事業費補助金 145千円 ・はこた人形保存活動支援事業費補助金 740千円 <b>【事業の成果】</b> はこた人形保存会については、体験料・指導料支援を行うとともに、外国人向けのチラシ(中国語・韓国語・台湾語・英語)を各3,000部作成した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	金融対策						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,753,615	1,641,992	財源内訳			200,000	1,437,729	4,263
事業の目的							
市内の中小企業者の経営安定化、経営基盤強化のための金融支援を行うもの。 ○長期・低利の制度融資を実施するため、資金貸付を行う金融機関に対し、その資金の一部を預託する。 (※金融機関への預託は年度当初または融資実行後に行い、年度末に一括償還)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
13節 委託料 3,659千円 ・制度融資事務委託料							
19節 負担金補助及び交付金 281千円 ・中小企業災害等緊急対策事業利子補助金							
21節 貸付金 1,637,646千円 ・商工組合中央金庫貸付金 90,000千円 ・地域総合整備資金貸付金 200,000千円 ・中国労働金庫貸付金 150,000千円 ・特別金融対策資金貸付金 1,197,646千円							
22節 補償補填及び賠償金 406千円 ・中小企業災害等緊急対策事業利子補助金							
【事業の成果】 預託等の金融支援を行うことにより、市内中小企業の経営安定化、経営基盤強化につながった。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】・地域総合整備資金貸付事業債 200,000千円 【その他】・商工振興資金貸付金元利収入 1,437,655千円 ・損失補償金返還金 74千円							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する				
事業名	商店街等活性化						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
6,630	3,489	財源内訳	745				2,744
事業の目的							
商店街等の活性化を図り、にぎわいのあるまちづくりのため下記の事業を実施する。 ・チャレンジショップ設置運営事業(店舗運営の体験など新規開業に向け支援) ・にぎわいのある商店街づくり事業補助金 (中心市街地の空き店舗を活用し新規に商業活動を行う者等に対し、家賃・店舗改装費の一部を補助) ・中心市街地にぎわい創出事業費補助金(「あきない中心倉」活動支援)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
13節 委託料 860千円 ・チャレンジショップ設置運営事務委託料 [家賃]411千円、[広報費、店舗管理費及び会議事務費]449千円							
19節 負担金補助及び交付金 2,629千円 ・にぎわいのある商店街づくり事業補助金 [家賃]5件 432千円、[店舗改装]2件 1,947千円 ・中心市街地にぎわい創出事業費補助金 250千円							
【事業の成果】 ・チャレンジショップ卒業生3名のうち2名が新規開業を行い、起業へとつながった ・にぎわいのある商店街づくり事業補助金により空き店舗が活用され、商店街のにぎわいにつながった							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備交付金)745千円 ・チャレンジショップ家賃 205千円 ・にぎわいのある商店街づくり事業 540千円							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える					
事業名	関西事務所運営費							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,299	570	財源内訳						570
事業の目的								
近畿圏から本市への企業誘致を推進し、本市経済の活性化と雇用創出を図るため、近畿圏における企業誘致活動を実施するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 286千円 12節 役務費 274千円 ・通信運搬費 254千円 ・手数料 20千円 19節 負担金補助及び交付金 10千円 ・県関西本部共益費負担金 <b>【事業の成果】</b> 8回の企業訪問を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	商工観光課	施策	6 地域の中でお金がまわる、拠点性の高いまちをつくる					
事業名	倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
437	0	財源内訳						0
事業の目的								
市民、事業者、産学官が協力して地域産業の振興に取り組むため、倉吉市地域産業振興戦略会議を開催し、地域産業振興ビジョンの進捗状況の管理、成果の評価等を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 事務局と戦力会議座長等との日程調整がつかず、戦略会議を開催することができなかった。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える			
事業名	市場開拓支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,096	905						905
事業の目的							
<p>地域商品の認知度の向上を図り、地域商品の販路開拓を支援する。 市内中小企業者の新たな販売ルートを促進し、販売力・競争力をさらに向上させ、中小企業者の事業拡大を支援する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】 9節 旅費 18千円 19節 負担金補助及び交付金 887千円 ・商品等販路開拓支援事業費補助金 5件</p> <p>【事業の成果】 商談成立した企業もあれば、商談成立とまでいかなかった企業もあるものの、相談・見積依頼を獲得するなど、県内・県外と新たな販売ルートでの事業拡大に支援した。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	起業家育成事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
334	250						250
事業の目的							
<p>市内小中学校の児童・生徒を対象に、社会や仕事について考えるための授業(体験型プログラム)を行う。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】 8節 報償費 30千円 11節 需用費 220千円 ・消耗品費 220千円</p> <p>【事業の成果】 ・平成30年度実施校 3校(西郷小学校54人、西中学校107人、上灘小学校35人) ・生徒アンケート結果より 「失敗を活かしていくことが大事だと思った」「仕事のイメージが『大変そう』から『やりがいある』に変わった」 「『失敗おめでとう』を合言葉に失敗しても次があると思ってがんばりたい」「団結力というか、チームワークが大事なことがあらためて分かった」「自分だけがよくなれば良いと思っていたけど、相手もよくなるといけないことに気づけてよかった」「社会や仕事に関心がもてるようになった」といった感想があった。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える			
事業名	大谷工業団地再整備事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,461	4,984						4,984
事業の目的							
雇用の創出及び地域の活性化につなげるため、大谷工業団地に市内企業の事業拡大に係る用地を確保する。用地の買収、造成に向けて、不動産鑑定及び用地調査を行うもの(対象範囲約1.4ha)。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>13節 委託料 4,984千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷工業団地第3期造成に係る設計用地調査業務 4,263千円</li> <li>・大谷工業団地第3期造成に係る不動産鑑定業務 721千円</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>大谷工業団地内の工場用地確保に向け、対象土地の不動産鑑定を行った。また、物件移転補償に関する用地調査を行うとともに、用地造成の基本設計を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】4 みんなが働きやすい安定した雇用基盤を整える			
事業名	就職情報提供事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,012	2,002						2,002
事業の目的							
就労意欲のある市民が、就業情報(事業所の求人情報)を得られるようにするもの(無料職業紹介事業の実施)。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>無料職業紹介事業の実施</p> <p>年間登録求職者数 69名</p> <p>年間登録求人数 850名(18社)</p> <p>年間相談回数 192件</p> <p>1節 報酬 1,733千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬(雇用推進コーディネーター 1人)</li> </ul> <p>4節 共済費 269千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険料</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>無料職業紹介事業により、事業所の求人情報の提供・求職者のマッチングを図った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える			
事業名	【震災関連】特別金融支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,060,326	901,413					901,413	0
事業の目的							
平成28年10月21日に発生した地震により影響を受けた中小企業に対し、経営の安定化のための支援を行う（※金融機関への預託は年度当初または融資実行後に行い、年度末に一括償還）。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>21節 貸付金 901,413千円</p> <p>・災害等緊急対策資金（中部地震関連）への預託</p> <p>【事業の成果】</p> <p>預託等の金融支援を行うことにより、市内中小企業の経営安定化、経営基盤強化につながった。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
【その他】商工振興資金貸付金元利収入（うち、中部地震関連）901,413千円							

担当課	商工観光課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	災害等緊急対策資金利子補助（台風関連）						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
355	0						0
事業の目的							
平成30年台風24号により経営の安定に深刻な影響を受けた中小企業者等が、鳥取県災害等緊急対策資金を受けた際に生じる利子の負担軽減を図る。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
平成30年台風24号により鳥取県災害等緊急対策資金の貸付を受けた中小企業者がなかった。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	平成30年7月豪雨災害等緊急対策事業							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
351	189	財源内訳		94			95	
事業の目的								
平成30年7月豪雨災害により経営の安定に深刻な影響を受けた中小企業者等が、鳥取県災害等緊急対策資金を受けた際に生じる利子の負担軽減を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 189千円 ・豪雨災害等緊急対策事業利子補助金								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】豪雨災害等緊急対策事業費補助金 94千円								

担当課	商工観光課		施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	観光一般							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
15,300	14,871	財源内訳				405	14,466	
事業の目的								
観光事業の推進に必要な一般業務、観光PR業務、倉吉春まつりの開催支援、観光パンフレット作成を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
9節 旅費	578千円 (観光PR出展、プロモーション参加費)							
11節 需用費	2,314千円							
・消耗品費	222千円							
・燃料費	61千円 (公用車ガソリン代)							
・印刷製本費	2,031千円 (観光パンフレット、まちあるきガイド作成費等)							
12節 役務費	375千円							
・通信運搬費	238千円 (観光パンフレット送付料)							
・広告料	97千円 (雑誌等掲載広告料)							
・筆耕翻訳料	40千円 (音声ガイド英語翻訳料)							
13節 委託料	10,515千円							
・保守委託料	378千円 (カウントセンサー保守委託料)							
・倉吉春まつり運営委託料	5,602千円							
(倉吉春まつり運営委託料2,900千円、清掃業務・警備業務・公園詰所管理業務2,702千円)								
・観光案内所運營業務委託料	2,235千円 (倉吉駅観光案内所運営委託料)							
・観光ポスター・パンフレットデザイン委託料	2,300千円 (英語版総合パンフレット作成委託料)							
14節 使用料及び賃借料	1,015千円							
・会場借上料	11千円							
・自動車借上料	591千円							
・機械借上料	413千円 (コピー機パフォーマンスチャージ料)							
18節 備品購入費	20千円 (事務用椅子購入費)							
19節 負担金補助及び交付金	54千円 (鳥取空港・米子空港倉吉市観光案内業務)							
【事業の成果】 春まつり支援、観光情報誌への掲載、パンフレット作成等を実施し、倉吉への観光誘客を図った。 また、観光総合パンフレットを外国人向けに一新するとともに、音声ガイドの英語版の運用を開始し、インバウンド対応を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】車両使用料 399千円 公文書又は保有個人情報の開示に要する費用 6千円								

担当課	商工観光課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する					
事業名	まちかどステーション管理							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,700	1,420						1,420	
事業の目的								
まちかどステーションおよび倉吉線鉄道記念館の運営・維持管理を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 13節 委託料 1,420千円								
【事業の成果】 施設並びに公園駐車場の管理運営を行い、観光誘客と活性化を図った。 まちかどステーション稼働率 65.2% 倉吉線鉄道記念館入館者数 5,191人								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	商工観光課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する					
事業名	飲食・物販施設管理							
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
25,788	25,788				7,600	18,188	0	
事業の目的								
飲食・物販施設(倉吉パークスクエア食彩館)の維持・管理を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費 23,649千円 ・消耗品費 24千円 ・光熱水費 11,383千円 ・修繕料 12,242千円 12節 役務費 92千円 ・催事室グリストラップ清掃手数料 32千円 ・排水管洗浄 49千円 ・集合看板作成 11千円 13節 委託料 2,008千円 ・消防用設備警備委託料 117千円 ・食彩館清掃委託料 1,783千円 ・自家用電気工作物保安管理 108千円 14節 使用料及び賃借料 39千円 ・トイレ洗浄脱臭器具借上料 39千円								
【事業の成果】 12月末に1店舗閉店したが、新たに1月に1店舗、2月に1店舗出店し、9店舗出店中である。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】地域活性化事業債 7,600千円 【その他】飲食・物販施設使用料 8,945千円 食彩館使用料(光熱費等) 8,021千円 温水プール上下水道代 2,261千円 合計19,227千円(うち事業充当分18,188千円)								



担当課	商工観光課		施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る			
事業名	観光施設維持管理事業（関金地区）						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
28,204	27,660	財源内訳				1,389	26,271
事業の目的							
関金地区に位置する観光施設の適正な管理運営のため、指定管理者との協定に基づき、修繕を実施する。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【該当施設】  倉吉市せきがね湯命館、倉吉市関金都市交流センター、倉吉市関金生産物直売食材供給施設（道の駅犬挟）  倉吉市関金簡易宿泊施設（湯楽里）</p> <p>【事業の実績】</p> <p>1節 報酬 30千円（指定管理候補者選定委員会委員報酬 3回）</p> <p>11節 需用費 6,482千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 791千円（湯楽里 羊毛混敷ふとん80枚 777千円 他）</li> <li>・修繕料 5,691千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>湯楽里（漏水に伴う給水管系統バルブ設置 259千円、給水管漏水修繕（客室系統） 875千円 給湯管・給水管漏水修繕（機械室・浴場系統） 2,322千円）</li> <li>湯命館（木風呂循環ろ過ポンプ修繕 270千円、源泉用ポンプ取替工事 443千円 井戸ポンプ取替工事 324千円、木風呂修繕工事 453千円）</li> <li>犬挟（滅菌装置修繕 745千円）</li> </ul> </li> </ul> <p>12節 役務費 282千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手数料 282千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>湯楽里（給湯管漏水箇所調査 76千円、冷凍冷蔵庫リサイクル処分料1台 7千円）</li> <li>犬挟（滅菌装置修繕 クリーニングメンテナンス 199千円）</li> </ul> </li> </ul> <p>13節 委託料 820千円（せきがね湯命館 漏水修繕工事設計業務）</p> <p>14節 使用料及び賃借料 96千円（AEDリース料 犬挟・湯楽里）</p> <p>15節 工事請負費 9,676千円（せきがね湯命館 漏水修繕工事）</p> <p>18節 備品購入費 149千円（湯楽里 冷凍冷蔵庫）</p> <p>22節 補償補填及び賠償金 10,125千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補償金 10,125千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>湯命館（漏水に伴う水道料金及び燃料費（灯油代） 6,704千円、 漏水修繕工事に伴う休業補償金 2,324千円）</li> <li>湯楽里（ろ過機循環配管浴場内漏水修繕業務に伴う休業補償 652千円、 漏水配管修繕業務に伴う休業補償 445千円）</li> </ul> </li> </ul> <p>・施設年間利用実績  湯命館102,924人、都市交流センター5,210人、湯楽里16,112人、道の駅「犬挟」62,026人</p> <p>【事業の成果】  指定管理者の更新及び関金地区観光施設の管理運営を行い、関金地区への観光誘客と活性化を図った。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
<p>【その他】指定管理者納付金 1,389千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯命館 500千円</li> <li>・湯楽里 800千円</li> <li>・道の駅犬挟 89千円</li> </ul>							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る			
事業名	観光関連団体助成事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
53,501	53,046	財源内訳	4,929			30,000	18,117
事業の目的							
各種観光関連団体との連携により、効果的かつ効率的な情報発信やプロモーション、コンベンション事業を展開し、倉吉の魅力や情報を発信していくことにより観光客の誘客を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
19節	負担金補助及び交付金						53,046千円
	・負担金						17,972千円
	鳥取中部ふるさと広域連合負担金(DMO)						9,858千円
	米子・ソウル国際定期便利用促進支援負担金						2,453千円
	観光キャンペーン負担金						750千円
	鳥取中部観光推進機構負担金						671千円
	県観光連盟負担金						955千円
	山陰観光連盟負担金						123千円
	全国京都会議負担金						50千円
	とっとりコンベンションビューロー運営費負担金						3,032千円
	倉吉ひなビタ♪応援団負担金						80千円
	・補助金						35,074千円
	とっとりコンベンションビューロー開催補助金						644千円
	関金温泉まつり開催費補助金						700千円
	倉吉観光マイス協会補助金						33,655千円
	コンベンション等誘致支援助成金						75千円
<b>【事業の成果】</b>							
コンベンションビューロー補助金 開催件数11件(スポーツ大会2件、合宿8件、学術1件)、延宿泊客数 2,571人							
コンベンション等誘致支援助成金 開催件数 1件(学術1件)、延宿泊客数 28人							
観光関連団体への支援や県コンベンションビューローと連携することで、本市へのコンベンション誘致につなげた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 地方創生推進交付金 4,929千円							
<b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 30,000千円							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る			
事業名	地域資源観光活用事業（関金地区）						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
9,489	8,857	財源内訳	1,443	1,489		1,400	4,525
事業の目的							
関金地区の温泉や豊かな自然を活用しながら、体験型教育旅行誘致協議会や旅館組合と連携し、温泉及び中山間地域への観光客の誘客を行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b>							
9節	旅費			148千円	（健康と温泉フォーラム2018in阿賀野市）		
11節	需用費			300千円			
	・関金温泉イヤーラウンドコースマップ印刷製本費			300千円	（日本語版9,000部、英語版2,000部）		
12節	役務費			161千円			
	・旧国鉄倉吉線廃線跡除草業務手数料			144千円	（3自治公民館×2回）		
	・英語翻訳料			17千円	（ウォーキングマップ英語翻訳料）		
13節	委託料			2,386千円			
	・関金温泉イヤーラウンドコース環境整備業務			147千円	（コース設定及びコース上のサイン設置方針作成）		
	・関金温泉トレイルコース誘導標示設置業務			907千円	（コース上の路面上に誘導標示を設置）		
	・旧国鉄倉吉線廃線跡看板製作及び設置業務			328千円	（廃線跡の紹介及び注意喚起をする看板を設置）		
	・亀井公園内樹木の伐採・剪定及び下草刈り業務			1,004千円			
19節	負担金補助及び交付金			5,862千円			
	・負担金			2,999千円			
	健康と温泉フォーラム参加負担金			12千円			
	大山開山1300年祭実行委員会負担金			2,987千円			
	・補助金			2,863千円			
	・関金温泉活性化事業費補助金			155千円			
	健康と温泉フォーラム2018in阿賀野市への参画、関金温泉旅館組合HPの更新、地域おこし協力隊現地説明会と連動した滞在プランモニター体験実施（2名参加）						
	・農村型体験旅行推進事業費補助金			2,500千円	（農家民泊受入：763人）		
	・農村滞在型地域創造事業費補助金			208千円	（トイレ・洗面台改修：1件）		
<b>【事業の成果】</b>							
関金地区の団体支援等を行うことで、関金地区の地域資源を活用した地域活性化と観光誘客につなげた。市民や湯治客が安心・気軽にウォーキングを楽しめる環境整備を行い、関金温泉国民保養温泉地計画の推進を図った。大山開山1300年祭と連携した各種事業を実施することで東大山山麓の地域ブランディング及び情報発信を図った。（東大山古トレッキング：322人、ミニたたらワークショップ：48人、雅楽演奏会：77人、謎解き宝探し：940人、刀剣・たたら関連イベント（米子）：950人、JAFデジタルスタンプラリー：244人、）							
主な特定財源（名称、金額等）							
【国】	地方創生推進交付金			1,443千円	（1/2補助）		
【県】	ウォーキングコース旅行商品化支援事業補助金			1,351千円	（1/2補助）		
【県】	観光客の心に響く滞在型地域総合事業補助金			138千円	（2/3補助）		
【その他】	倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金			1,400千円			

担当課	商工観光課	施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	琴桜記念館運営事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
5,940	5,435	財源内訳					5,435
事業の目的							
本市出身で名誉市民でもある第53代横綱琴櫻に関する貴重な資料展示を行ない、琴櫻閣を顕彰するとともに観光客が気軽に立ち寄ることができる施設として提供することで、観光客の滞在時間を延長を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
4節 共済費	532千円(記念館説明員2名)						
7節 賃金	3,528千円(記念館説明員2名)						
11節 需用費	324千円(消耗品費75千円、印刷製本費65千円、光熱水費184千円)						
12節 役務費	361千円(通信運搬費101千円、展示物保険料180千円、広告料80千円)						
13節 委託料	65千円(警備委託料)						
14節 使用料及び賃借料	625千円(NHK受信料25千円、建物借上料600千円)						
【事業の成果】							
施設年間利用実績 入館者数：15,420人 記念館を設置運営することで、琴櫻閣の顕彰とともに倉吉ならではの特色を持った観光施設として、回遊性の向上を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	観光施設維持管理事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
9,215	8,911	財源内訳				926	7,985
事業の目的							
○ふるさと物産館・ふるさと工芸館において、地元の菓子・農産物・土産物等の販売、倉吉の伝統工芸品である倉吉緋の展示・実演・販売を行うもの。 ○観光駐車場等(琴桜・赤瓦バス回転広場、琴桜赤瓦観光駐車場、明治町観光駐車場、裁判所横観光駐車場、宮川町観光駐車場、鍛冶町観光駐車場)の維持管理業務。 ○エキパル倉吉の管理運営を指定管理者に委託するもの。 指定管理者：特定非営利活動法人ふるさと遊誘駅舎館 指定管理期間：平成27年度～平成31年度(5年間)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費	747千円						
・消耗品費	89千円						
・光熱水費	305千円(物産館・工芸館・バス回転広場・宮川町観光駐車場)						
・修繕料	353千円						
12節 役務費	381千円						
・手数料(観光駐車場等除草・植樹剪定・清掃、案内標識撤去・移設、宮川町観光駐車場カーゲート保守点検)							
13節 委託料	4,003千円						
・宮川町観光駐車場外管理業務	599千円						
・観光駐車場警備委託料(お盆及び秋行楽連休)	404千円						
・エキパル倉吉等指定管理料	3,000千円						
15節 工事請負費	3,780千円(明倫体育館跡地舗装整備工事)						
【施設年間利用実績】							
・物産館及び工芸館来場者数	(物産館：48,980人、工芸館：11,548人)						
・琴桜・赤瓦バス回転広場利用台数	(バス：2,382台 自家用車：29,053台)						
・エキパル倉吉 交流ホール	(97,968人、多目的ホール：9,164人)						
・エキパル倉吉 駐車場利用延べ台数	(南口：78,673台、北口：9,938台、定期：710台)						
【事業の成果】							
観光施設の適正管理により、観光施設としての魅力づくりや利便性の向上に繋げた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】・観光施設光熱水費(物産館・工芸館水道使用料) 52千円 ・ふるさと物産館使用料 634千円 ・観光駐車場使用料 189千円 ・行政財産使用料 51千円							

担当課	商工観光課		施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る			
事業名	地域おこし協力隊による関金活性化事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
3,766	3,231	財源内訳					3,231
事業の目的							
地域おこし協力隊の活動・起業準備を支援し、関金地域の地域資源を発信及び地域おこし協力隊の任期終了後の定住を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬	1,032千円	(147,500円×7月)				
4節	共済費	166千円					
8節	報償費	40千円	(トンネル劇場上映会謝金)				
9節	旅費	54千円	(たたら製鉄研修)				
11節	需用費	339千円					
	・消耗品費	104千円	(はいくら体験フェス パレットトロッコ制作材料)				
	・燃料費	63千円					
	・印刷製本費	3千円					
	・修繕料	169千円					
12節	役員費	94千円	(携帯電話、レンタルサーバー料)				
14節	使用料及び賃借料	453千円					
	・自動車借上料	106千円	(地域おこし協力隊公用車 15,120円×7月)				
	・器具借上料	67千円	(トンネル劇場上映会 映像投影機材及び音響機材)				
	・建物借上料	280千円	(地域おこし協力隊宿舍 40,000円×7月)				
19節	負担金補助及び交付金	1,053千円					
	・負担金	53千円	(たたら製鉄研修、地域おこし協力隊マッチング研修会)				
	・補助金	1,000千円	(地域おこし協力隊員起業支援補助金)				
<b>【事業の成果】</b>							
次の事業を実施し、関金地区の地域資源の魅力発信を図った。							
竹林レストラン・トンネル劇場上映会(5/26)：約80人							
はいくら体験フェス パレットロを作ろう(6/2)：約10人							
大山開山1300年祭事業「ミニたたらワークショップ(全4回)」：延べ48人							
「私はおぼえている」キックオフ上映会(10/20)：100人							
起業準備に係る経費を補助し、市内での定住につなげた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	ポップカルチャーによる観光客等誘致促進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4,500	4,500	財源内訳		2,000		2,000	500
事業の目的							
ポップカルチャーを活用した観光客誘致を行うことで、本市の知名度・交流人口の拡大を目指す。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 4,000千円 ・ポップカルチャーによる観光客等誘致促進業務 4,000千円 19節 負担金補助及び交付金 500千円 ・まんが王国とっとり満喫周遊パス実行委員会負担金 500千円  <b>【事業の成果】</b> 打吹まつりと合わせて、ひなビタ♪との連携によるイベントを開催することで、ひなビタ♪ファンを中心にした20～30代の若い観光客の誘客と経済効果につなげた。ひなビタ♪声優による観光音声ガイドを新たに導入する等、新たな観光メニューとして整備し、来訪動機の創出を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> アニメ資源活用誘客促進事業費補助金 2,000千円(1/2補助) <b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 2,000千円							

担当課	商工観光課	施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	地域おこし協力隊による新・湯治推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,958	370	財源内訳					370
事業の目的							
地域おこし協力隊を配置し、関金温泉及び自然・食・文化など地域資源を楽しみ、心身ともにリフレッシュして中期的に保養・休養できる健康増進の場づくりの推進をめざす。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 166千円(166,000円×1月) 4節 共済費 27千円 9節 旅費 22千円(大阪移住相談会2回) 11節 需用費 2千円(消耗品費) 12節 役務費 73千円 ・地域おこし協力隊現地説明会開催手数料 30千円 ・地域おこし協力隊宿舎仲介手数料 43千円 14節 使用料及び賃借料 80千円(地域おこし協力隊宿舎 40,000円×1月+礼金)  <b>【事業の成果】</b> 平成30年9月から地域おこし協力隊の募集を開始。11月24日～25日には関金地区で現地説明を開催し、地域おこし協力隊希望者2名を受け入れる。地域おこし協力隊の応募3名から中野地域おこし協力隊の採用を決定、平成31年3月1日から任期開始し、次年度からの地域おこし協力隊による関金温泉の活性に向けた準備体制を整えた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる					
事業名	若者の定住化促進基金積立金							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
525	346	財源内訳				346	0	
事業の目的								
若者の定住化による地域振興を図るため、事業の費用として基金を積み立てる。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 若者の定住化促進基金積立金 346千円  参考：平成30年度取崩し(事業費充当) 89,000千円 <b>【内訳】</b> ・企業誘致事業(商工観光課) 50,000千円 ・保育所運営(子ども家庭課) 30,000千円 ・定住対策事業(地域づくり支援課) 4,000千円 ・若者定住・I J Uターン事業(地域づくり支援課) 5,000千円 平成30年度末基金残高 875,829千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】若者の定住化促進基金利子 346千円								

担当課	地域づくり支援課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	文化基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4	2	財源内訳				2	0
事業の目的							
市内の文化財保護並びに文化施設の整備・建設資金に充てるほか文化芸術活動事業に充てるため、基金を積み立てる。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 文化基金積立金 2千円  参考：平成30年度末基金残高 3,444千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】文化基金利子 2千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	緑を守り育てる基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
18	18	財源内訳				18	0
事業の目的							
緑の保全及び緑化を推進するため基金を積み立てる。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 緑を守り育てる基金積立金 18千円  参考：H30充当額 5,796千円 <b>【内訳】</b> ・倉吉市の緑を守り育てる事業(地域づくり支援課) 801千円 ・企画政策推進事業(企画課) 995千円 ・打吹公園管理事業(管理計画課) 4,000千円 H30年度末基金残高 29,038千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 緑を守り育てる基金利子 13千円 緑を守り育てる基金寄附金 5千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる				
事業名	元気の出る地域づくり支援						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
19,827	19,827	財源内訳					19,827
事業の目的							
住民自らの参画による地域の活性化を図るため、地域の特色を生かした取り組み及び安全で住みよい地域社会の実現に向けた取り組みに対して、各地区振興協議会に、それぞれ1,524千円を上限として交付金を交付する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 15千円 19節 負担金補助及び交付金 元気の出る地域づくり支援事業費交付金 19,812千円(1,524千円×13地区)							
<b>【事業の成果】</b> 住民自らの参画により、地域の活性化が図られた。 [上北条地区] 青少年の森整備事業、上北条まつり、自主防災組織づくり事業 ほか [上井地区] あげい祭、健康・スポーツ事業、生活環境事業 ほか [西郷地区] サラバンダin西郷、大日山フットパス、アイラブ西郷活動 ほか [上灘地区] 倉吉花回廊(会下谷川桜並木保存及び環境美化活動)、うわなだ桜まつり ほか [成徳地区] せいとく祭、打吹天女伝説まつり、長谷の観音市、倉吉語り部 ほか [明倫地区] めいりん祭、打吹まつり・山車巡行、花壇整備事業 ほか [灘手地区] 灘手こ〜まい秋祭、体力健康対策事業、地域と若者交流事業 ほか [社地区] やしろ五輪まつり、元気の出る趣味講座、次世代育成支援事業 ほか [北谷地区] むのこまつり、むのこ谷文化祭、じげづくり推進事業、体育振興事業 ほか [高城地区] 子ども銭太鼓クラブ、牛追掛節保存会、水辺の管理 ほか [小鴨地区] おがも笑顔のまつり、小鴨地区文化さんさん月間事業、健康づくりの推進 ほか [上小鴨地区] 文化花ざかり活動、ふるさと再発見活動、いきいき元気づくり活動 ほか [関金地区] せきがね夏まつり、せきがね芸能まつり、せきがね地区市民作品展 ほか							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	地域づくり支援課	施策	22 異なる国や地域の人たちとの交流を深める					
事業名	韓国姉妹都市等交流							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,076	1,755					643	1,112	
事業の目的								
地方レベルにおける韓国姉妹都市羅州市との継続的な日韓親善交流、特に青少年や市民交流団体等の主体的な交流の推進・支援により、国際感覚を身に付けた人材育成を図るとともに、相互交流を通じて自らの地域・文化・歴史の魅力を再認識する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 9節 旅費 708千円 11節 需用費 59千円 12節 役務費 768千円 19節 負担金補助及び交付金 交流推進団体活動支援事業費補助金 220千円								
【事業の成果】 本市中学生在が韓国羅州市を訪問し、両市の青少年が友好親善と相互理解を通じて自らの地域・文化・歴史の魅力を再確認した。 ・参加者：倉吉市中学生10名、羅州市中学生10名 ・事業期間：7月27日～7月31日 韓国羅州市と国際姉妹都市結縁25周年記念した式典を開催(10月19日：韓国羅州市)し、更なる交流発展のため、協力、連携することを確認した。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】青少年日韓交流事業参加者負担金(30,000円×10名) 300千円 倉吉市教育振興基金繰入金 343千円								

担当課	地域づくり支援課	施策	22 異なる国や地域の人たちとの交流を深める					
事業名	国際交流							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,216	3,158					132	3,026	
事業の目的								
韓国国際交流員を雇用することで、韓国姉妹都市との国際交流の推進を図るとともに、市民向けの韓国語講座の開催及び市内小中学校への派遣による異文化理解学習の支援等を行う。また、国際感覚を身に付けた人材育成を図るため、諸外国も含め国際理解を深める講座の開催や国際交流活動団体への支援等を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 1節 報酬 2,705千円 4節 共済費 418千円 8節 報償費 3千円 11節 需用費 29千円 19節 負担金補助及び交付金 中部地区日韓親善協会負担金 3千円								
【事業の成果】 市民を対象に韓国語の普及や文化について認識を深め、国際理解を深めることができた。 ・国際交流員の配置(韓国籍)1名(各種交流事業への派遣回数8回) ・国際理解講座来場者 295名 ・韓国語講座 4クラス(入門、初級、中級(昼)、中級(夜))各20回、受講人数66名								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】国際交流事業講座受講料(2,000円×66名) 132千円								

担当課	地域づくり支援課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	緑を守り育てる						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,346	801					801	0
事業の目的							
緑化の機運を高め、緑を保全する意識を涵養するため、市民が身近な自然に親しむ機会の創出と今ある自然を守り増やし後世に伝えていく意識の啓発を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 577千円 11節 需用費 140千円 12節 役務費 84千円  <b>【事業の成果】</b> 緑の保全及び緑化の推進を行った。 ・保存樹、保存林の管理謝金の支払い(保存樹5千円×51件、保存林10千円×31件) ・緑の観察会の開催:6月9日/打吹山の森/参加者8人 ・名木めぐりバスツアーの開催:10月13日/神明神社の森(住吉)木の実の里(泰久寺)大慈寺の森/参加者19人 ・樹木診断の実施 事前診断 北谷小学校のヒマラヤスギ、勝宿祢神社の森、小田神社の森、清谷のサザンカ、 富海のシキミ、仲ノ町のクスノキ、丸山町のエノキ・スダジイ 計7件 樹木診断 清谷のサザンカ、富海のシキミ 計2件							
<b>【その他】</b> 緑を守り育てる基金繰入金 801千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	倉吉未来中心管理運営委託						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
82,311	75,404					6,854	68,550
事業の目的							
県立倉吉未来中心の管理運営について、管理運営委託料を県と中部市町が半額ずつ負担することで、中部地域住民の文化振興及び交流の拠点施設として有効かつ円滑な利用を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 75,404円 倉吉未来中心管理運営委託料 74,322千円(1市4町分) 倉吉未来中心駐車場誘導線修繕等業務委託料 1,082千円  <b>【事業の成果】</b> 中部地区の住民ニーズに沿った鑑賞機会の増加を図り、文化芸術に親しむ機会を提供し、文化振興・交流拠点として活用することができた。 ・指定管理者:公益財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定管理機関:平成26年度~平成30年度(5年間) ・利用実績 大ホール 36,732人、小ホール 25,566人、リハーサル室・練習室 11,584人、 セミナールーム 53,074人、アトリウム 34,367人、団体事務局サロン 1,937人 合計 163,260人							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 倉吉未来中心管理運営負担金(4町分) 6,854千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する					
事業名	文化芸術活動振興							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務企画費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,474	2,474						2,474	
事業の目的								
文化芸術活動団体への支援と協働を通じて、地域の伝統文化の継承、芸術文化の鑑賞機会及び発表機会の提供を行うことで、市民の自主的な文化芸術活動の活性化を図り、心豊かで文化の薫りに満ちたまちづくりにつなげる。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節 需用費 19千円								
13節 委託料 1,600千円 倉吉天女音楽祭委託料								
19節 負担金補助及び交付金 855千円								
倉吉打吹太鼓振興会補助金 660千円								
御幸行列保存会補助金 50千円								
倉吉文化団体協議会補助金 145千円(第36回アザレアのまち音楽祭、第30回連合展)								
【事業の成果】								
文化芸術団体への支援による鑑賞機会の充実と伝統文化の継承を図ることができた。								
・第16回倉吉天女音楽祭 11/18(日)開催 来場者:518人								
・打吹太鼓振興会 年間出演回数:20回								
・関金御幸行列伝承会 9/16(日)開催								
・文化団体協議会 第36回アザレアのまち音楽祭 実施日:5/13(日)~6/24(日) 来場者数:2,383人								
第30回連合展 実施日:8/29(水)~9/2(日) 来場者数:556人								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】25 自ら志を持ち、アイデアを実現し地域に貢献できる人財を育成する				
事業名	協働のまちづくり						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,611	8,027						8,027
事業の目的							
まちづくり等に関わる市民活動団体の活動を支援し、その活動の促進を図ることで市民参画と協働のまちづくりを推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 297千円							
12節 役員費 17千円							
14節 使用料及び賃借料 453千円							
19節 負担金補助及び交付金 7,260千円							
地域に飛び出す公務員を応援する首長連合負担金 10千円							
倉吉打吹まつり実行委員会補助金 5,000千円							
倉吉ばえん祭開催費補助金 2,000千円							
協働のまちづくり活動助成事業交付金 250千円(100千円×1団体・50千円×3団体)							
【事業の成果】							
市民活動団体に向けた情報発信や団体間の情報交換の場を設け、活動支援及び取り組みの発展に資することができた。							
倉吉打吹まつり決算〔H30決算〕							
収入21,597千円(主な財源:市補助金5,000千円、寄附金・広告料6,982千円、Tシャツ売上等6,987千円 ほか)							
支出18,801千円							
倉吉ばえん祭開催費決算〔H30決算〕							
収入4,159千円(主な財源:市補助金2,000千円、その他補助金220千円、自己資金1,630千円、出店料等309千円)							
支出3,825千円							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	地域づくり支援課	施策	22 異なる国や地域の人たちとの交流を深める					
事業名	国内交流							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
645	422	財源内訳					56	366
事業の目的								
国内交流都市・友好都市(千葉県松戸市)との間で、小学生相互交流を継続的に行いながら地域間交流を推進する。相互交流を通じて自らの地域・文化・歴史の魅力を再認識する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 155千円 11節 需用費 10千円 12節 役務費 180千円 13節 委託料 77千円  <b>【事業の成果】</b> 千葉県松戸市との交流事業を通じて、人やもの、情報の交流を行う事ができた。 ・2018夏休み小学生交流(両市小学生26名による交流事業を本市で計画(8/22~24)したが台風接近のため中止) ・第45回松戸まつり倉吉市ブース開設 開催期間:10月7日~8日								
<b>【その他】</b> 物販実費負担金 56千円								

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】26 移住希望者へ魅力を伝え、あたたかく迎え入れる体制を進める					
事業名	定住対策事業							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
13,154	7,966	財源内訳			3,893		4,000	73
事業の目的								
移住者の住宅取得に対し、経費の一部支援を行う。また、移住者と地域住民との交流、移住定住に取り組む民間団体との情報共有や連携により、移住者がいち早く地域に定着できるよう支援する。 進学により、県外転出している学生に対し、交通費の一部助成を行うことによりUターンを促す。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績及び成果】</b> 11節 需用費 18千円 19節 負担金補助及び交付金 7,948千円 倉吉市移住定住者住宅取得支援補助金 5,859千円 (新築住宅3件、中古住宅購入7件及び改修2件) ⇒県外からの移住者を対象に住宅の新築または購入及び改修に係る経費を支援するもの。 移住定住推進事業費補助金 1,879千円 ⇒移住者希望者に対する一元的な相談対応等を行い移住者の増加を図るもの(2地区)。 定住希望者受け入れ事業交付金 60千円 ⇒移住者の転入先の自治公民館に対して、地域のルールを学ぶ講習会等の経費を助成(3地区)。 移住定住促進賃貸物件事業費補助金 50千円 ⇒倉吉空き家バンクを利用して住宅を賃貸する県外からの移住者を対象に支援するもの(1件)。 若者移住定住促進交通費助成金 100千円 ⇒県外の大学等に在学する学生が就職活動で市内企業を訪問する交通費を助成するもの(7件)。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 鳥取県移住定住推進交付金 3,893千円 <b>【その他】</b> 若者の定住化促進基金繰入金 4,000千円								

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】26 移住希望者へ魅力を伝え、あたたかく迎え入れる体制を進める				
事業名	若者定住・IJUターン事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
6,565	6,369	財源内訳		1,000		5,000	369
事業の目的							
移住定住人口の増加を図るため、移住定住を希望する人が円滑に市内に定住できるように支援を行うもの。専任相談員の配置、県外での相談会参加、婚活事業により移住・定住者の増加を目指す。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 3,492千円 4節 共済費 535千円 9節 旅費 1,454千円 11節 需用費 315千円 12節 役務費 67千円 19節 負担金補助及び交付金 506千円 おいでや!いなか暮らしフェア出展負担金 66千円 広域連携婚活事業費負担金(鳥取中部ふるさと広域連合負担金) 200千円 倉吉市地域で取り組む結婚に向けた出会いの機会等創出事業費補助金 240千円 ⇒交付団体(3団体):高城公民館婚活リーダー会、社地区自治公民館協議会婚活委員会、ハーフ還暦の会							
<b>【事業の成果】</b> 移住定住相談員の配置によるワンストップの相談体制や婚活支援事業を通じ、移住・定住者の増加の取り組みを進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住相談員配置(2人)</li> <li>・鳥取県主催相談会、団体主催相談会への参加(大阪、東京:計10回)</li> <li>・婚活支援事業(2事業を通じて、5組のカップル成立)</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県移住定住推進交付金 1,000千円 <b>【その他】</b> 若者の定住化促進基金繰入金 5,000千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	里見ブランド化推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,080	1,061	財源内訳					1,061
事業の目的							
「南総里見八犬伝」ゆかりのまちとして、千葉県館山市等と連携を図りながら全国発信できる本市のブランドとしての素材価値を高めていく。また、これまでの取り組みを継続・発展させ、まちの魅力・ブランド力を高めるとともに、市民の地域への誇りや一体感の醸成を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 61千円 19節 負担金補助及び交付金 1,000千円 関金子供歌舞伎保存会補助金 200千円 倉吉せきがね里見まつり実施委員会補助金 800千円							
<b>【事業の成果】</b> 「里見まつり」の開催と里見関係団体への支援を通じ、本市の里見ブランドの発信に繋げることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第33回倉吉せきがね里見まつり                実施内容:神事、倉吉里見時代行列、ステージイベント、里見忠義公・八賢士顕彰剣道大会                出演団体:八賢士太鼓愛好会、関金子供歌舞伎保存会等 計6団体                来場者数:約400人</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる					
事業名	集落支援員活用事業							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,734	6,073						6,073	
事業の目的								
地域が抱える課題の解決や活性化に向け、各地域の実情に応じた取り組みを支援するため集落支援員を配置する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 5,012千円 4節 共済費 801千円 11節 需用費 204千円 14節 使用料及び賃借料 56千円  <b>【事業の成果】</b> 地域の実情に応じた集落の維持・活性化策の検討を進めた。 ・集落支援員の配置 4人(継続:上北条地区、灘手地区、社地区、小鴨地区)								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	地域づくり支援課	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する					
事業名	文化活動センター							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
8,395	8,389						8,389	
事業の目的								
倉吉市文化活動センターについて、市民の文化芸術及び市民活動の拠点施設として有効かつ円滑な利用を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 45千円 11節 需用費 修繕料 2,419千円 12節 役務費 75千円 13節 委託料 文化活動センター指定管理料 5,850千円  <b>【事業の成果】</b> 指定管理により、市民への文化活動の場の提供と施設の適切な管理運営を図った。 ・指定管理者:倉吉文化団体協議会(指定管理期間:H26年度~H30年度(5年間)) ・施設年間利用実績:25,392人 ・指定管理者自主事業:リフレギャラリー、リフレサロンコンサート、文化教室、モーニングシネマ等 指定管理候補者選定委員会を開催し、次期指定管理者選定を進めた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】5 魅力ある観光の振興により交流人口の拡大を図る				
事業名	スポーツ活動振興						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,487	3,052						3,052
事業の目的							
市民が国内外のレベルの高い競技に接することで、スポーツに対する関心を高め、スポーツを見る機会の創出、交流人口の拡大などスポーツによる地域活性化を図るとともに、本市で開催されるスポーツ大会の支援を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 76千円 11節 需用費 124千円 18節 備品購入費 287千円 19節 負担金補助及び交付金 クライミングアジア選手権2018大会実行委員会負担金 2,565千円  <b>【事業の成果】</b> 日本では16年ぶりとなるアジア選手権は、鳥取県では初の国際大会で、トップ選手の活躍に市民をはじめとする多くの観客が魅了され、スポーツクライミングに対する認識度・関心度が高まった。 ・期日 平成30年11月6日(火)～11日(日) ・会場 鳥取県立倉吉体育文化会館 ・実行委員会：鳥取県山岳・スポーツクライミング協会、鳥取県、倉吉市、地元経済団体等で実行委員会を組織 ・大会リザルト：参加国：14カ国／参加選手：117名(男子68名・女子49名)／来場者：延べ約5,200人							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる				
事業名	自治公民館活動推進						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
26,503	25,861			300		3	25,558
事業の目的							
自治公民館のコミュニティ活動・施設整備の維持向上を目的として、自治公民館、自治公民館協議会、自治公民館連合会に対する市民協働活動支援金の支出、行事災害保険料等の補助、自治公民館施設整備費の補助等を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 19,057千円 自治公民館市民協働活動支援金 15,288千円(218館) 各地区自治公民館協議会市民協働活動支援金 3,769千円(13地区) 19節 負担金補助及び交付金 6,804千円 自治公民館連合会補助金 3,110千円 自治公民館施設整備事業費補助金 3,094千円(8件) ⇒尾原、大谷、秋喜西町、旭田町、長坂町、福庭東、清谷、金谷 地域共同施設災害復旧事業費補助金 600千円(1件) ⇒別所  <b>【事業の成果】</b> 住民自治活動、行政情報の伝達及び組織強化などに対する支援を行い、自治公民館活動の推進を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 地域共同施設災害復旧事業費補助金 300千円 <b>【その他】</b> 地縁団体証明手数料 3千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	37 犯罪や事故のないまちをつくる				
事業名	交通災害共済加入促進						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,729	3,518					3,518	0
事業の目的							
交通事故の被害者の負担軽減のため、鳥取中部ふるさと広域連合が所管する交通災害共済の加入促進、加入申し込みの取りまとめ、事故にあった際の共済金請求事務等を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 4節 共済費 46千円 7節 賃金 199千円 8節 報償費 加入促進報償金 1,954千円(世帯割20円×16,321世帯、加入者割80円×20,343人) 11節 需用費 355千円 12節 役務費 216千円 13節 委託料 加入申込書等作成業務委託料 586千円 14節 使用料及び賃借料 162千円							
【事業の成果】 加入者数 21,898人(加入率:46.6%) 見舞金支給件数 136件							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】交通災害共済加入促進費等 5,474千円(うち事業充当分 2,931千円) 交通災害共済加入者証等印刷代金 587千円							

担当課	地域づくり支援課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる				
事業名	コミュニティ推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
15,600	15,600					15,600	0
事業の目的							
自治公民館などのコミュニティ組織が活動の推進を図るために活用する、一般財団法人自治総合センターによるコミュニティ助成事業の申請、受付及び助成金の交付事務を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 コミュニティ助成事業費補助金 15,600千円 ⇒一般コミュニティ助成 2,500千円 上北条地区自治公民館協議会:除雪機の整備 ⇒コミュニティセンター助成 13,100千円 秋喜西町自治公民館:コミュニティセンターの新築及び備品の整備							
【事業の成果】 自治公民館などのコミュニティ組織への助成を通じ、コミュニティ活動の推進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】コミュニティ助成金 15,600千円							



担当課	地域づくり支援課	施策	38 消費生活の安全・安心を守る				
事業名	消費者行政推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
2,994	2,773				620		2,153
事業の目的							
消費者の安全確保のため、鳥取中部ふるさと広域連合を窓口、中部1市4町で消費生活相談業務を実施する。あわせて、消費者トラブルの未然防止を図るため、消費者啓発活動にも取り組み、安全な消費生活を営むことができる環境の実現に寄与する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 473千円 12節 役務費 81千円 18節 備品購入費 69千円 19節 負担金補助及び交付金 消費生活相談業務共同化負担金 2,150千円(中部ふるさと広域連合負担金)							
<b>【事業の成果】</b> 特に詐欺に合いやすい高齢者、小中学生向けに消費者啓発グッズの作成及び配布、希望する団体への講師派遣によって、消費者意識の高揚を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者啓発用カレンダー作成、小・中学生用パンフレット作成</li> <li>・振り込め詐欺見張り器(5台)購入</li> <li>・消費者啓発講座用講師派遣(5回)</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県市町村消費者行政活性化交付金 620千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	ふるさと農村活性化基金							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
6	2	財源内訳					2	0
事業の目的								
基金を造成してその運用益等を活用し、土地改良施設や農地を中心とした様々な地域資源を保全する共同活動を実施する際の地域の合意形成や保全に必要な経費を支援するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 25節 積立金 2千円 平成30年度末基金残高 17,969千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】運用利子 2千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農林行政対策							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	2 農業総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
1,885	1,619	財源内訳					832	787
事業の目的								
農林水産業の振興を図るための事務的経費及び倉吉市農林振興協議会、倉吉地区農業士会、倉吉市農業再生協議会(事務費)に係る経費を支出するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 4節 共済費 社会保険料 112千円 7節 賃金 事務賃金 698千円 9節 旅費 倉吉極実スイカトップセールス(東京) 143千円 新農業人フェア2018(大阪) 18千円 11節 需用費 179千円 12節 役務費 30千円 14節 使用料及び賃借料 346千円 19節 負担金補助及び交付金 倉吉地区農業士会負担金(事務局:農業改良普及所) 63千円 農業経営対策事業事務費負担金(交付先:倉吉市農業再生協議会) 30千円								
【事業の成果】 農業振興関係の事務を円滑に実施した。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】倉吉市農業再生協議会負担金 832千円								

担当課	農林課		施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	久米農村広場維持管理							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	2 農業総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
148	148						148	
事業の目的								
<p>農業者の健康及び福祉を増進するとともに、地域住民の相互交流による連帯意識の高揚を図り、もって農業の振興に資するために設置した農村広場の維持管理を行うもの。</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業の実績】</b>  13節 委託料 148千円 久米農村広場指定管理料 (H26～H30)  利用回数 延85回・利用者数 延1,937人</p>								
<p><b>【事業の成果】</b>  農業者の健康及び福祉を増進するとともに、地域住民の相互交流による連帯意識の高揚を図った。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	農村環境改善センター管理							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	2 農業総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
5,461	5,437						5,437	
事業の目的								
<p>農家生活の改善及び合理化、農業者等農村在住者の健康増進、地域連帯感の増進と地域文化及び福祉の向上を図ることを目的に設置された農村環境改善センターの管理運営を行うもの。</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業実績】</b>  センター年間利用回数(延) 1,321回 利用者数(延) 18,528人</p> <p>11節 需用費 修繕料 476千円  13節 委託料 指定管理料 4,961千円 (H30～R2)</p>								
<p><b>【事業の成果】</b>  農家生活の改善及び合理化、農業者等農村在住者の健康増進、地域連帯感の増進と地域文化の向上を図った。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	特定野菜等価格安定対策							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
826	1	財源内訳					1	
事業の目的								
野菜価格が著しく低落し保証基準を下回った場合、生産者に価格差補給金を交付して経営に及ぼす影響の緩和を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 1千円 ブランド野菜価格安定対策事業費補助金 (県50%、市町村15%、全農とっとり10%、JA25%) ・対象となる品目は、春ねぎ(4月-6月)、夏秋きゅうり(7月-9月)、夏秋きゅうり(10月-11月)であり、夏秋きゅうり(7月-9月)のみ補償基準を下回ったため、生産者へ価格差補給金を交付した。								
<b>【事業の成果】</b> 価格差補給金を支払うことにより、農業経営への影響が緩和されている。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	健康農園維持管理							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
704	700	財源内訳				318	382	
事業の目的								
野菜や花き等を栽培して自然と触れ合うとともに、農業に対する興味と理解を深める農業体験の場となる健康農園を市内に2ヶ所設置し、農園の運営・維持管理を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 110千円 消耗品費・光熱水費・修繕費 12節 役務費 130千円 通信運搬費・手数料 13節 委託料 72千円 関金健康農園管理委託料 14節 使用料及び賃借料 388千円 土地借上料・機械借上料								
<b>【事業の成果】</b> 農業への興味と理解を深める貴重な場となっている。 倉吉健康農園 78圃場利用/161圃場 利用率48.4% 関金健康農園 23圃場利用/ 33圃場 利用率69.7%								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 健康農園入園料 318千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	担い手規模拡大促進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,995	10,559					291	10,268
事業の目的							
認定農業者等が農業振興地域内にある農地について、3年以上の賃貸借権設定を行った場合に補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 10,559千円 担い手規模拡大促進事業費補助金 対象農地面積10a当たり8,000円(新規)又は4,000円(更新)							
<b>【事業の成果】</b> 規模拡大を志向する認定農業者への交付により、農業経営の安定化に寄与している。 交付先 72経営体・交付対象面積 201.0ha							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】担い手規模拡大促進事業費補助金返還金 291千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	農業経営基盤強化資金利子補助事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9	9			4			5
事業の目的							
認定農業者が効率的・安定的な経営を目指し、農業経営基盤強化資金を借り受けた場合において、当該農業者の利子負担を軽減し、農家の経営安定を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 9千円 農業経営基盤強化資金利子補助金							
<b>【事業の成果】</b> 農業経営基盤強化資金を借りた農業者の利子負担を軽減することにより、農家の経営安定を図った。 補助対象3件							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】農業経営基盤強化資金利子補助金 4千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	果樹等経営安定資金利子補助							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
5	5	財源内訳					5	
事業の目的								
平成28年の8月から9月にかけての台風、10月21日に発生した鳥取県中部地震により被害を受けた果樹農家が借り入れた経営安定資金について、その利子負担を軽減させることで、経営の安定と生産意欲の高揚を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 5千円 果樹等経営安定資金利子補助								
【事業の成果】 果樹等経営安定資金を借りた農業者の利子負担を軽減することにより、農家の経営安定を図った。 補助対象 H29年度対象： 2件								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農地を守る直接支払							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
100,451	100,085	財源内訳		71,536			28,549	
事業の目的								
平成27年度から平成31年度までの5年間にわたって耕作放棄地を出さないことを条件に、農地の生産条件・面積に応じた交付金を交付するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 4節 共済費 64千円 7節 賃金 463千円 11節 需用費 23千円 12節 役務費 10千円 19節 負担金補助及び交付金 農地を守る直接支払交付金 99,525千円								
【事業の成果】 中山間地の農業生産活動の支援や水路・農道の維持管理など耕作放棄防止を図った。 50協定 6,349,649㎡								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】農地を守る直接支払事業費交付金 70,976千円 推進交付金 560千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	地産地消推進							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
918	830						830	
事業の目的								
地産地消の推進を図るため、「中部発！食のみやこフェスティバル」について市負担金の支出を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 830千円 第8回中部発！食のみやこフェスティバル負担金								
<b>【事業の成果】</b> H30.6.23～24に「第8回中部発！食のみやこフェスティバル」が大御堂廃寺跡を会場に開催され、2日間で延27,500人の来場者があり、来場者数、出展者の売り上げとも過去最高となった。 県中部を中心とした特産物や「うまい、すごい」を県内外の消費者へ広く認識し消費してもらうことができた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	特産品生産振興対策事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
754	742						742	
事業の目的								
梨・ぶどう・かきを対象とする果樹共済への加入を促進することにより、経営の安定と特産品の生産振興を支援するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 742千円 倉吉市果樹共済加入掛金補助金								
<b>【事業の成果】</b> 市内の生産農家の支援を図った。 果樹共済掛金負担 117件（かき 計39.1ha）								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課	施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する					
事業名	鳥取梨生産振興事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,928	1,526			1,494			32	
事業の目的								
「新甘泉」「秋甘泉」「王秋」をはじめとした梨新品種の生産拡大、高齢化に対応する機械の共同利用、戦略的な出荷による価格安定など攻めの対策を実施することにより、鳥取県産産業活性化ビジョンの実現を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 1,526千円 鳥取梨生産振興事業費補助金								
【事業の成果】 県育成オリジナルブランド新品種の早期導入と生産基盤の整備により、梨産地の活性化を進めている。 事業主体：鳥取中央農業協同組合・JA鳥取中央倉吉梨生産部・倉吉市果実農業協同組合 ・果樹棚(7a) 564千円 ・新植・改植(43a) 865千円 ・ブロードキャスター(1台) 97千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】鳥取梨生産振興事業費補助金 1,494千円								

担当課	農林課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	小規模零細地域営農確立促進対策						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,989	8,883					4,448	4,435
事業の目的							
倉吉水耕栽培施設等の保守点検、維持管理、修繕等に係る必要経費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 11節 需用費 8,382千円 倉吉水耕栽培施設 修繕料 12節 役務費 224千円 倉吉水耕栽培施設 通信運搬費 162千円 浄化槽管理関係手数料 62千円 13節 委託料 270千円 倉吉水耕栽培施設 電気保安業務委託料 14節 使用料及び賃借料 7千円 第2フルーピア高城防除用導水管管理設土地借上料							
【事業の成果】 倉吉水耕栽培施設ほか各施設・設備の維持管理を適正に行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】4,448千円 施設等充実協力金3,137千円 水耕栽培施設電気保守管理料270千円 建物共済災害共済金721千円 電話使用料162千円 ほか							



担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	就農条件整備事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
11,938	8,252	財源内訳		5,501			2,751
事業の目的							
認定新規就農者等が就農時から5年以内に新たに必要な機械及び施設を自ら整備する事業に対する補助を行うことにより、就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節 負担金補助及び交付金 8,252千円 就農条件整備事業費補助金							
①認定新規就農者 : 2,187千円(トラクター、バイプロソイラー)の1/2							
②認定新規就農者 : 627千円(運搬車、土壌消毒機、ネギ管理機 プラソイラ、西瓜用片培土器)の1/2							
③認定新規就農者 : 275千円(農機具倉庫(ユニットハウス)の1/2							
④認定新規就農者 : 4,991千円(電照設備、パイプハウス)の1/2							
⑤認定新規就農者 : 172千円(スタンション 事業の補助残額)							
【事業の成果】							
認定就農者の就農初期の経営基盤整備の負担を軽減した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】就農条件整備事業費補助金 5,501千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	就農応援交付金事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,550	2,550	財源内訳		1,700			850
事業の目的							
認定新規就農者(45才以上、親族の基盤を引き継ぐため経営のリスクが少ない者)に対し、自らの営農計画の実現に向けて経営を開始するにあたり就農初期の負担を軽減する措置を講じ、その自立を支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節 負担金補助及び交付金 2,550千円 就農応援事業費補助金							
・認定新規就農者へ交付 (内訳)							
H27からの継続者 1人 : 360千円 (40千円×9月)							
H28からの継続者 2人 : 705千円 (65千円×9月) + (40千円×3月)							
755千円 (65千円×11月) + (40千円×1月)							
H29新規 1人 : 730千円 (65千円×10月) + (40千円×2月)							
【事業の成果】							
認定新規就農者の就農初期の負担軽減と自立が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】就農応援交付金 1,700千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	鳥獣被害総合対策事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
33,472	26,597			16,749			9,848
事業の目的							
イノシシ等の有害鳥獣の捕獲とその被害を防ぐための施設の設置を支援するとともに、捕獲奨励金を交付することにより、農林産物等への被害を総合的に防止するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 6,688千円 捕獲奨励金 11節 報酬 13千円 需用費 18節 備品購入費 7,646千円 19節 負担金補助及び交付金 12,250千円 <b>【事業の成果】</b> 有害鳥獣の農地等への侵入を防ぐ対策により未然に被害を防止するとともに、個体数を減らす対策により農作物への被害を軽減した。 ・侵入を防ぐ対策 電気柵 117基 49,874m   ワイヤーメッシュ 5,136m ・個体数を減らす対策 有害鳥獣の捕獲 2団体 捕獲奨励金 イノシシ572頭、ヌートリア144頭、シカ81頭、その他中型獣84頭 緊急捕獲対策 シカ57頭							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥獣被害総合対策事業費補助金 16,749千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	米価格低下緊急融資利子補助事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
73	65						65
事業の目的							
平成26年産米の市場への供給過剰に伴う米価下落及び国の制度見直しによる交付金の減に伴い経営安定資金を借り入れることとなった稲作農家の利子負担を軽減することで、その経営安定と水田営農の維持を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 65千円 平成26年産米価格低下緊急融資利子補助 <b>【事業の成果】</b> 稲作農家の経営安定を図った。 ・利子補助 21件 65千円							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	経営所得安定対策事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,300	6,036			6,036			0
事業の目的							
経営所得安定対策の円滑な実施を図るため、倉吉市農業再生協議会の活動に要する経費を補助するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 6,036千円 経営所得安定対策推進事業費補助金							
<b>【事業の成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉市農業再生協議会に活動経費として交付。</li> <li>・経営所得安定対策の実施により、生産調整目標面積1,563ha(補正後)に対し、作付1,445haを達成した。(達成率92.5%)</li> <li>・産地資金の単価設定等により、産地資金の有効な活用が図られた。</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 経営所得安定対策推進事業費補助金 6,036千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	農業次世代人材投資事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
19,500	15,187			15,187			0
事業の目的							
経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金を交付し、認定新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 15,187千円 農業次世代人材投資事業費補助金							
<b>【事業の成果】</b> 就農直後の就農者へ給付金を給付することにより、青年の就農意欲喚起と定着を図った。 (内訳) H30認定新規就農者 1人: 1,500千円 H29認定新規就農者 1人: 1,500千円 変動有 1人: 1,482千円 継続受給者 定額 6人: 9,000千円 定額半期分 1人: 750千円 変動有 1人: 955千円							
※ H27以降の認定新規就農者は、経営開始2年目以降、所得により給付額が変動する。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 農業次世代人材投資事業費補助金 15,187千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	がんばる農家プラン事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,867	14,466			9,960			4,506
事業の目的							
やる気のある農業者等が作成した、生産、流通等に関する計画(がんばる農家プラン)を県が認定し、プランの実現に必要な支援を県と市が行うことにより元気な農業者を育成するとともに地域農業の振興を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 14,466千円 がんばる農家プラン事業費補助金							
【事業の成果】 プラン実現に必要な支援を行うことにより、地域農業の振興が図られている。 ・品質向上、販路拡大による売れる米作りプラン(トラクター、コンバインほか) 3,200千円 ・フルーツトマト周年栽培によるリピーター倍増プラン(ミニトマト選別機ほか) 3,799千円 ・さらなる地域貢献を目指して!!～地域の担い手と決意した増産プランⅡ～(乾燥機ほか) 4,500千円 ・西瓜栽培で灘手地区を活性化～倉吉西瓜を日本一のブランドに～(トラクター、ブロードキャスターほか) 2,967千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 がんばる農家プラン事業費補助金 9,960千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	集落営農体制強化支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
7,097	6,544			4,362			2,182
事業の目的							
小規模農家が共同で行う集落営農に対して、機械施設の整備を支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
19節 負担金補助及び交付金 6,544千円 集落営農体制強化支援事業費補助金							
【事業の実績】 ・集落営農組合 コンバイン(1台) 4,812千円 ・農事組合法人 トラクター(1台) 1,732千円							
【事業の成果】 機械施設整備等の支援を行うことにより、集落営農組織の継続性確保が図られている。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 集落営農体制強化支援事業費補助金 4,362千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	農地集積・集約化対策事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
13,709	8,532			5,682		2,850	0
事業の目的							
農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援し、農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を実現するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
3節	職員手当等	161千円					
4節	共済費	276千円					
7節	賃金	1,751千円					
9節	旅費	17千円					
11節	需用費	330千円					
12節	役務費	1千円					
14節	使用料及び賃借料	機械借上料	314千円				
19節	負担金補助及び交付金	地域集積協力金交付事業費補助金		29千円			
		経営転換協力金交付事業費補助金		5,400千円			
		耕作者集積協力金交付事業費補助金		253千円			
【事業の成果】							
農地中間管理機構への農地集積 約14.4ha							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 機構集積協力金交付事業費補助金 5,682千円							
【その他】 農地中間管理事業等業務委託金 2,850千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	親元就農促進支援交付金事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,600	2,400			1,600			800
事業の目的							
認定農業者等、地域農業の担い手として位置づけられる農業経営体の親族の当該経営体への就農を促進し、農業経営の継続的な発展と地域農業の担い手としての定着を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節	負担金補助及び交付金	2,400千円	親元就農促進支援事業費補助金				
【事業の成果】							
認定農業者等の後継者の就農が促進され、農業経営の継続性と地域農業の担い手の定着が図られた。							
後継者(3親等以内の親族)に就農等のための研修を行う認定農業者等に補助金を交付 (内訳) 継続3人: ① 200千円(100千円×2月) ② 1,200千円(100千円×12月) ③ 1,000千円(100千円×10月)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 親元就農促進支援交付金 1,600千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	人・農地問題解決加速化支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
140	140			70			70	
事業の目的								
地域の合意に基づき、農地集積を含む地域農業のあり方を記載した人・農地プラン（地域農業マスタープラン）の作成及び必要に応じた見直しをするもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 46千円 14節 使用料及び賃借料 94千円  <b>【事業の成果】</b> 変更(1件) 倉吉市人・農地プランの変更（平成31年3月）								
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】人・農地問題解決加速化支援事業費補助金 70千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	薬用作物産地確立支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,151	771			269			502	
事業の目的								
漢方製剤・生薬の原料となる薬用作物の産地化を目指し、地域の条件にあった栽培技術等の最適化を図るため、実証ほを設置し、耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化に繋げるもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 233千円 19節 負担金補助及び交付金 538千円 薬用作物等生産振興対策事業費補助金  <b>【事業の成果】</b> 生産組織である倉吉市薬用作物栽培研究会を支援し、耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化に向けての活動を支援した。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】薬用作物等生産振興対策事業費補助金 269千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
68,174	64,627			56,155			8,472
事業の目的							
鳥取県が開発した「鳥取型低コストハウス」の導入を推進し、園芸産地の活性化を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 64,627千円 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金							
【事業の成果】 「鳥取型低コストハウス」の導入により、園芸品目の高収益化が図られている。 ・ハウス導入面積 1.5ha ・ハウス導入棟数 48棟							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 56,155千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	園芸産地活力増進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
0	0						0
事業の目的							
農業用共同利用機械や、簡易な出荷調整機械の導入、集出荷施設の改良等の取組を支援することにより、鳥取県農業の強みの一つである野菜や花き等、園芸品目の振興を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
当初予算で園芸産地活力増進事業費補助金1,100千円を計上したが、事業実施予定者が事業実施を取りやめたことにより不用が見込まれ、3月補正予算で全額を減額した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農業経営力向上支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
600	0						0	
事業の目的								
農業経営の法人化及び集落営農の組織化を支援するため、補助金を交付するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 0円 ※ 市内の集落営農の組織化の数は、26組織(平成30年度末現在。うち法人は13)。平成30年度中の実績がなかったことによる。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	定年帰農者等支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
300	300						300	
事業の目的								
これまで手伝い程度の農業従事者で定年、早期退職等を迎えた人(定年帰農者等)のうち、本格的に農業を始める意思のある者を新たな担い手としてとらえ、農業技術習得や就農初期に係る経費の負担軽減を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 300千円 定年帰農者等支援事業費補助金  <b>【事業の成果】</b> 国及び県の新規就農者に対する支援制度の要件を満たさない定年帰農者等に対し、経費の負担が図られている。 補助対象 1件(補助率1/2・上限300千円) 管理機、可変ロータリー他								
主な特定財源(名称、金額等)								



担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	荒廃農地等利活用促進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
5,446	3,576				2,682		894
事業の目的							
荒廃農地（耕作放棄地）を再生利用する取組及びこれに附帯する施設等の整備等を支援し、市内荒廃農地の早期解消を図るもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業実績】 19節 負担金補助及び交付金 3,576千円 荒廃農地等利活用促進事業費補助金							
【事業の成果】 荒廃農地を再生利用することにより、農地の確保及び有効利用が図られた。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】 荒廃農地等利活用促進事業費補助金 2,682千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	雪害農業施設等復旧支援資金利子補助						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
19	19				9		10
事業の目的							
平成29年1月中旬からの雪害により著しい被害を受けた農業者が被災施設の復旧のために借り入れた農業近代化資金等について、当初の6年間の金利が0円になるよう利子補助を行い、その負担軽減を図るもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 19千円 雪害農業施設等復旧支援資金利子補給補助金 補助対象4件 ①1月1日～6月30日 2件 ②7月1日～12月31日まで 2件							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】 雪害農業施設等復旧支援資金利子補助金 9千円							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,437	1,308	財源内訳		1,308			0	
事業の目的								
鳥取型低コストハウス等の生産性を向上することにより高品質安定生産を図り、作業効率の改善、収量の向上を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 1,308千円 園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業費補助金								
【事業の成果】 寒冷紗の導入 13経営体 48枚								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】鳥取県産地パワーアップ事業費補助金 1,308千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	園芸産地継承システムづくり支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,000	2,900	財源内訳		1,450			1,450	
事業の目的								
優良園の維持管理や継承者の育成確保などを支援することで、園芸産地を継承する体制づくりを進めるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 2,900千円 園芸産地継承システムづくり支援事業費補助金 JA鳥取中央 梨生産部 : 2,800千円 JA鳥取中央 西瓜生産部 : 100千円								
【事業の成果】 産地の優良園の維持管理や継承者の育成確保等に要する経費に対する支援を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】園芸産地継承システムづくり支援事業費補助金 1,450千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	緊急防除支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
897	550			275			275	
事業の目的								
平成30年の記録的な大雨の影響で被害のあった園芸品目（白ネギ、スイカ、アスパラガス等）圃場において、病等の蔓延を防ぐため対象農家に対し支援を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 550千円 緊急防除支援事業費補助金 ・倉吉・関金白葱生産部 534千円 ・長芋生産部 8千円 ・北栄白葱生産部 8千円								
<b>【事業の成果】</b> 緊急防除に関する経費の支援を行うことにより、減収を防ぎ、生産者の営農意欲の維持向上が図られた。								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【県】</b> 緊急防除支援事業費補助金 275千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	畜産経営改善							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
244	109						109	
事業の目的								
畜産に関する生産振興及び経営技術の指導、情報提供等普及啓発活動の支援を行うとともに、畜産物の消費及び流通の促進等を行うことにより、本市の畜産振興に寄与するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 75千円 中部酪農祭出品報奨金                      出品牛6頭 × 5千円/頭 = 30千円 中部畜産共進会出品報奨金                出品牛9頭 × 5千円/頭 = 45千円 19節 負担金補助及び交付金 34千円 鳥取県畜産推進機構負担金（均等割20%、戸数割40%、頭羽数割40%で算出）								
<b>【事業の成果】</b> 畜産農家の生産意欲の向上が図られた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	畜産振興対策事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,015	1,576						1,576	
事業の目的								
本市の畜産振興及び畜産農家の経営の維持・発展を図るため、繁殖等に係る費用について助成を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 1,576千円 ・肉用牛肥育経営安定対策事業 384千円 ・養豚経営安定対策事業 238千円 ・養豚疾病予防対策事業（新ワクチンへの切替差額の助成） 221千円 ・肉用牛繁殖空胎防除対策事業（空胎期間短縮のための妊娠鑑定費用の助成） 150千円 ・優良乳用牛造成支援事業（優良精液の導入支援） 583千円  <b>【事業の成果】</b> 畜産経営の維持・発展が図られた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	優良雌子牛購入資金貸付							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,420	0						0	
事業の目的								
繁殖農家に対して優良繁殖用雌子牛の購入資金を貸付することにより、繁殖雌牛の能力向上を図り、経済性の高い畜種の生産確保と改良増殖の促進を図るもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 0円 執行なし 21節 貸付金 0円 執行なし（貸付条件）・貸付利息：無利子 ・貸付期間：5年以内  <b>【事業の成果】</b> 平成30年度の実績はなかったが、引き続き経済性の高い畜種の生産確保と改良増殖を促進する必要がある。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	鳥取和牛振興総合対策事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
24,000	15,043			10,028		5,000	15
事業の目的							
<p>高能力種雄牛の誕生を機に和牛増頭の気運が盛り上がっている一方、和子牛価格の高騰により増頭が阻害されているため、増頭に取り組む農業者の当該増頭に係る経費の支援を行うもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  19節 負担金補助及び交付金 15,043千円  鳥取和牛振興総合対策  担い手の増頭に対する緊急支援  購入：20頭  自家保留：12頭 計15,043千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>  和牛繁殖雌牛の増頭に係る経費の支援を行うことにより、小規模農家の育成強化が図られた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【県】</b> 鳥取和牛振興総合対策事業費補助金 10,028千円  <b>【その他】</b> 地域産業振興基金 5,000千円</p>							

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	畜産・酪農収益力強化特別対策事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,549	10,549			10,549			0
事業の目的							
<p>畜産・酪農の収益力の強化を集中的に進めるため、畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備等を支援するもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  19節 負担金補助及び交付金 10,549千円 畜産・酪農収益力強化特別対策事業費補助金</p> <p><b>【事業の成果】</b>  繁殖用牛舎の整備により、繁殖基盤の強化が図られている。  ・肉用牛繁殖牛舎 499 m<sup>2</sup> 1棟 10,549千円</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【県】</b> 畜産・酪農収益力強化特別対策事業費補助金 10,549千円</p>							

担当課	農林課	施策	【戦略】3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える				
事業名	土地改良						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
155,882	77,220	財源内訳		33,775	20,700	5,244	17,501
事業の目的							
農業用施設等の補修整備を行う自治公民館、改良区等を対象に、必要な資材の支給及び建設機械等の借上げを実施する等農地の保全及び農業経営の発展のために、農業用施設の適正な維持管理を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
7節 賃金	410千円	水路浚渫(上灘円谷大口・上大口)					
11節 需用費	1,070千円						
13節 委託料	4,417千円	農村地域防災減災事業 2件					
14節 使用料及び賃借料	6,384千円	農業用施設補修用機械借上 56件 5,702千円ほか					
15節 工事請負費	34,001千円						
	19,640千円	団体営農業水利施設保全合理化事業					
	14,361千円	農地耕作条件改善事業					
16節 原材料費	6,264千円	農業用施設補修原材料 63件					
19節 負担金補助及び交付金	24,638千円						
	24千円	中部土地改良事業推進協議会負担金				16千円	
	448千円	県営事業事業費負担金				5件	23,363千円
	109千円	土地改良施設維持管理適正化事業補助金				4件	678千円
22節 補償補填及び賠償金	36千円						
【事業の成果】							
農業用施設の適正な維持管理を行うことにより、農業の保全・発展を図った。							
※県営事業(5事業)負担金：令和元年度へ繰越し(繰越額：37,095千円)							
農業基盤整備促進事業：令和元年度へ繰越し(繰越額：11,300千円)							
農地耕作条件改善事業：令和元年度へ繰越し(繰越額：2,639千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 農地耕作条件改善事業費補助金 9,622千円 団体営農業水利施設保全合理化事業費補助金 14,122千円 ため池防災減災対策推進事業費補助金 4,417千円 しっかり守る農林基盤交付金 5,614千円							
【地方債】 土地改良事業債 20,700千円							
【その他】 土地改良事業費受益者分担金 5,244千円							

担当課	農林課	施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農業農村整備事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
21,000	17,082	財源内訳		8,167		3,236	5,679
事業の目的							
老朽化した農業用施設の改修整備を行い、農業経営の安定化と維持管理の軽減を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
13節 委託料	4,208千円						
		1件	3,219千円	農業水路等長寿命化・防災減災事業			
		2件	989千円	測量設計委託料			
15節 工事請負費	12,874千円						
		1件	1,290千円	農業水路等長寿命化・防災減災事業			
		11件	11,584千円	農業用施設等整備工事			
【事業の成果】							
農業用施設の改修整備を行うことにより、農業経営の安定化と維持管理の軽減を図った。							
※農業用水路等長寿命化・防災減災事業：令和元年度へ繰越し(繰越額：2,092千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助金 3,021千円 しっかり守る農林基盤交付金 5,146千円							
【その他】 土地改良事業費受益者分担金 3,236千円							

担当課	農林課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,390	4,310			3,270			1,040
事業の目的							
環境にやさしい営農活動に取り組む農業者に対し化学肥料・化学合成農薬の使用を県慣行基準の5割以上低減を条件に取組内容・面積に応じた交付金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 4,160千円 環境保全型農業直接支払交付金(5団体) 事務費 11節・需用費118千円 12節・役務費20千円 14節・使用料及び賃借料12千円 農業者等が化学肥料、化学合成農薬の使用を県慣行基準の5割以上低減した上で、地球温暖化や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合、取り組み面積に応じた支援を行う。							
【事業の成果】 カバークロープ・冬期湛水等を実施することにより農薬の使用量を5割以上低減し、地球温暖化防止を目的とした環境保全を考慮した農業を実施した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 環境保全型農業直接支払交付金 3,120千円 推進交付金 150千円							

担当課	農林課	施策	27 自然・居住・産業がバランスよく調和した土地利用を進める				
事業名	多面的機能支払交付金事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
131,614	128,857			97,043			31,814
事業の目的							
地域の手で農地、農業用水や地域環境を守る取り組みについて支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 127,857千円 <多面的機能支払交付金(農地維持支払交付金)> 89組織 田:166,273a 畑:39,357a 草地:2,455a 57,711千円 水路の草刈、泥上、農道の砂利補修など「農地、水路等の資源の管理」の支援 <多面的機能支払交付金(資源向上支払交付金)> 共同活動 44組織 田:102,841a 畑:36,969a 草地:2,455a 19,774千円 農村地域の環境保全に関する活動の支援 長寿命化 42組織 田:110,811a 畑:36,203a 草地:2,455a 49,972千円 老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修、更新の支援 <広域化支援> 400千円 事務費 4節・共済費65千円 7節・賃金430千円 11節・需用費445千円 12節・役務費30千円 14節・使用料及び賃借料30千円							
【事業の成果】 農地、水路等の資源の管理、農村地域の環境保全、農業用排水路等の長寿命化のための補修、更新の支援を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 鳥取県多面的機能支払交付金 96,043千円 推進交付金 1,000千円							

担当課	農林課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	農道維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	6 農道整備事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
38,934	38,805			2,289			36,516
事業の目的							
市管理農道を常に良好な状態に管理し、農道としての機能を十分に発揮するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	508千円					
	・ふるさと農道街路灯電気料金	98千円					
	・農道修繕	410千円					
13節	委託料	33,201千円					
	・農道管理業務委託	14団体 27,806千円					
	・農道清掃委託	3件 5,395千円					
15節	整備工事	4,112千円					
16節	原材料費	467千円	路面補修用材料、道路標識板等				
19節	負担金補助及び交付金	517千円	農道台帳管理賦課金				
【事業の成果】							
農道を良好な状態に維持管理することにより、安全性の維持向上と機能発揮が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 しっかり守る農林基盤交付金 2,289千円							

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	林業行政対策						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	1 林業総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
115	115						115
事業の目的							
林業の振興を図ることを目的とし、団体運営事業費を負担するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節	負担金補助及び交付金	115千円					
	広域基幹林道円谷広瀬線緑を守り育てる会負担金	45千円					
	鳥取県緑化推進委員会負担金	70千円					
【事業の成果】							
負担金の執行により各団体の活動を支援し、林業の振興が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	林業経営改善						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
395	394	財源内訳					394
事業の目的							
緑地休養施設等の維持管理を行い、人と森林のふれあいの促進を図ることを目的とし、各施設の維持管理、団体運営事業費の負担を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	74千円					
12節	役務費	161千円	森林国営保険				
13節	委託料	95千円					
			高城山休養施設維持管理業務委託料	25千円			
			四王寺山山村広場施設維持管理業務委託料	70千円			
19節	負担金補助及び交付金	64千円					
			県治山林道協会負担金	54千円			
			天神川流域林業活性化センター負担金	10千円			
【事業の成果】							
・各施設の維持管理を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	林道維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
12,378	11,865	財源内訳		3,635			8,230
事業の目的							
市管理林道を常に良好な状態に管理し、林道としての機能を十分に発揮させるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
7節	賃金	713千円	林道除草等労務費				
11節	需用費	752千円					
			・消耗品等	55千円			
			・修繕料	697千円	林道修繕	2件	
12節	役務費	89千円					
13節	委託料	2,610千円	林道清掃委託	5件			
14節	使用料及び賃借料	530千円	林道補修用機械借上げ	1件ほか			
15節	工事請負費	6,734千円	林道修繕工事	4件			
16節	原材料費	437千円	林道補修用原材料	6件			
【事業の成果】							
林道を良好な状態に維持管理することにより、安全性の維持向上と機能発揮が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】しっかり守る農林基盤交付金 3,635千円							

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	森林基幹道整備							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,761	298				200		98	
事業の目的								
<p>民有林の合理的な管理経営及び公益的機能の維持増進を図るため、森林整備の基礎となる骨格的な林道を整備するもの。</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 298千円 林業専用道整備事業費負担金(富海福山線)</p> <p><b>【事業の成果】</b> 森林整備の基盤となる骨格的な林業専用道が開設され、民有林の合理的な経営管理及び公益的機能の維持増進が図られた。 ※令和元年度へ繰越し(繰越額:2,463千円)</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
<p><b>【地方債】</b> 林道整備事業債 200千円</p>								

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	森林整備担い手育成対策							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
705	512			256			256	
事業の目的								
<p>森林整備の担い手である林業労働者を育成・確保するため、林業労働者の技術向上、労働条件の改善を図るもの。</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 512千円 森林整備担い手育成対策事業費補助金 ・林業労働者の社会保険料に係る事業主負担分の1/2を補助(2件)</p> <p><b>【事業の成果】</b> 林業労働者の育成・確保につながった。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
<p><b>【県】</b> 森林整備担い手育成対策事業費補助金 256千円</p>								

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	林業労働者福祉向上推進							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
680	675	財源内訳						675
事業の目的								
林業労働者の年金への加入を促進するとともに年末一時金を支給することにより、生活の安定と福祉の向上を推進し、林業労働者の安定的確保を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 675千円 林業労働者福祉向上推進事業費補助金 公益財団法人鳥取県森林担い手育成財団の取り扱う共済年金及び年末一時金の支給に要する経費の一部を鳥取県及び県内関係市町村で按分して負担。倉吉市の負担割合11.02035%。 <b>【事業の成果】</b> 共済年金掛け金等の助成を行うことにより、林業労働者の安定的確保を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	造林							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,409	4,650	財源内訳		4,303				347
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林保護樹林帯造成事業 森林病虫害等の被害のまん延防止及び森林の保全を行うもの。</li> <li>・竹林整備事業 森林が持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、荒廃竹林の整備及び適正管理を行うもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 4,650千円 ・保全松林緊急保護整備事業 347千円(整備面積:2.64ha) マツから他種への樹種転換事業費の一部を補助 ・竹林整備事業 4,303千円(整備面積:2.1ha 対象事業者5(2団体・3施業者)) 荒廃した竹林をタケノコ、竹材生産林、景観竹林として整備する費用の一部を補助 <b>【事業の成果】</b> 森林が持つ公益的な機能の保全が図られた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 森林環境保全税関連事業費補助金 4,303千円								

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	森林病虫害等防除						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
7,481	7,087			6,583			504
事業の目的							
森林の保全を図るため、松くい虫、カシノナガキクイムシ等の森林病虫害を早期かつ徹底的に駆除し、まん延を防止するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	537千円					
	・消耗品費	407千円	カシナガトラップ等購入費(補助対象)ほか				
	・燃料費	80千円					
	・修繕料	50千円					
12節	役務費	11千円	通信運搬費				
13節	委託料	6,319千円					
	・松くい虫防除事業委託料(駆除材積17.7m <sup>3</sup> )	247千円					
	・ナラ枯れ被害木駆除事業委託料(駆除本数1,000本)	6,072千円					
14節	使用料及び賃借料	220千円					
【事業の成果】							
森林病虫害のまん延が防止され、森林の保全が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】松くい虫等防除事業費補助金 6,583千円							

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	森林整備地域活動支援交付金						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
100	0						0
事業の目的							
木材の安定供給を進めていくために森林の経営の委託を受けて森林経営計画を作成し集約化された施業を行うことで、生産コストの低減を図るもの。森林所有者、森林組合等が行う森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動を行うため、作業路網の改良実施に対し支援を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節	負担金補助及び交付金	0円					
予定していた箇所を調査した結果、間伐に適さない箇所であったため、交付金の申請がなかった。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	緊急間伐							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,000	3,000	財源内訳					3,000	
事業の目的								
間伐の遅れによる森林の公益的機能の低下を防ぐため、公益的機能の高い森林の計画的かつ一体的な間伐の推進を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 3,000千円 緊急間伐事業費補助金								
【事業の効果】 森林の公益的機能増進を図るための間伐を推進するため、間伐材1㎡当たり1,000円を補助 ・事業量 3,782㎡(関金町堀外) ※このうち782㎡は自己負担								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	緑の産業活力創生プロジェクト事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
15,932	0	財源内訳					0	
事業の目的								
利用されずに山等に捨てられている木質バイオマス資源を木質バイオマス発電所等に安定的に供給することにより、県内のバイオマス燃料供給の安定化と林業の収益性の向上を推進するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 0円 ※事業実施予定地について地元同意が得られず、年度内に着手する目処が立たなかったことから、事業実施予定者が補助事業の活用を断念されたため執行なし。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	単県斜面崩壊復旧事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
20,000	0						0	
事業の目的								
国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び他の単県事業（急傾斜地崩壊対策事業）の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において行う斜面復旧事業。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 別所地内2箇所の単県斜面崩壊復旧に伴う測量設計を委託契約し、令和元年度へ繰越し。（繰越額 5,400千円） <b>【事業の成果】</b> 同上。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	きのこ王国鳥取推進事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
500	431						431	
事業の目的								
本市で生産される椎茸の振興及び地域ブランドの構築を図るもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 431千円 椎茸原木等購入支援事業費補助金 <b>【事業の成果】</b> 椎茸原木の安定的な確保及び椎茸生産の振興が図られた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	林地台帳整備事業							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
9,623	9,018	財源内訳					9,018	
事業の目的								
県が整備した「森林クラウドシステム」を使用することで、森林の情報の修正・更新を適切に行うことにより林地の所有者情報の精度を向上させるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 13節 委託料 8,856千円 林地台帳整備業務 14節 使用料及び賃借料 162千円								
【事業の成果】 森林施業集約化及び森林施業の効率化に資する情報の整備の推進が図られた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農林課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	市行造林							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	3 市行造林事業費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,500	4,500	財源内訳			4,500		0	
事業の目的								
造林思想の啓発普及を図り、あわせて森林資源の造成を期することを目的に昭和48年から継続的に植林を行っている森林を保育するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 4節 共済費 38千円 7節 賃金 688千円 11節 需用費 48千円 13節 委託料 3,726千円 造林委託料								
【事業の成果】 造林地の保育を実施し、森林保護意識の啓発・普及と森林資源の涵養が図られた。 分収造林保育業務 3.8ha(施業地:円谷町)								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】市行造林事業債 4,500千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	漁業研修事業						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	1 水産業振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,664	1,447			1,319			128
事業の目的							
ギンザケ稚魚の養殖を行う漁業者が新規就業希望者を新たに雇用し、漁労研修を実施することにより、漁労者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 1,447千円 漁業研修事業費補助金							
【事業の成果】 平成30年度は、新規雇用研修生1人(平成30年度8月～3月) 給与、通勤手当等 1,319千円 社会保険料 128千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】漁業研修事業費補助金 1,319千円							

担当課	農林課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	現年度補助災害復旧						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	1 農林水産業施設災害復旧費	目	1 農林水産業施設補助災害復旧費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
510,048	0						0
事業の目的							
台風等で被災した農地及び農業用施設等の復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
平成30年災害 災害復旧工事(農地 63件・施設 79件・林道 6件) ※平成30年災害：令和元年度へ繰越し(繰越額：510,048千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
※過年度事業費に対する施越交付で、いずれも現年度事業費には未充当のもの。 【県】 農林水産業施設災害復旧費補助金 4,984千円 林道災害復旧費補助金 1,095千円 【地方債】 農林水産業施設補助災害復旧事業債 3,600千円 林道補助災害復旧事業債 400千円							



担当課	農林課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	現年度単独災害復旧						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	1 農林水産業施設災害復旧費	目	2 農林水産業施設単独災害復旧費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
165,101	128,682			34,315	43,700	7,787	42,880
事業の目的							
台風等で被災した農地及び農業用施設等で国庫補助基準に満たないものの復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬	1,622千円	非常勤職員報酬				
4節	共済費	281千円	社会保険料				
7節	賃金	804千円	事務賃金				
11節	需用費	769千円	消耗品費				
13節	委託料	87,080千円	測量設計委託料 17件				
14節	使用料及び賃借料	10,700千円	農業用施設補修用機械借上 98件				
15節	工事請負費	26,327千円	災害復旧工事(農地 10件・施設 57件・林道 15件)				
16節	原材料費	1,099千円	農業用施設補修用原材料 31件				
<b>【事業の成果】</b>							
被害を受けた農地及び農業用施設等の復旧を図ることにより、農業生産の維持及び農業経営の回復に資した。							
※工事請負費：令和元年度へ繰越し(繰越額：9,815千円)							
機械借上料：令和元年度へ繰越し(繰越額：1,430千円)							
工事材料費：令和元年度へ繰越し(繰越額：600千円)							
作業道災害復旧対策事業費補助金：令和元年度へ繰越し(繰越額：3,656千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b>	農林水産業災害復旧事業査定設計委託費等補助金 21,564千円						
	林道災害復旧事業査定設計委託費等補助金 6,371千円						
	しっかり守る農林基盤交付金 6,380千円						
<b>【地方債】</b>	農林水産業施設単独災害復旧事業債 43,700千円						
<b>【その他】</b>	災害復旧事業費分担金 7,787千円						

担当課	農林課	施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	7 農業振興費(繰越明許)
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
29,450	13,219			11,420			1,799
事業の目的							
鳥取県が開発した「鳥取型低コストハウス」の導入を推進し、園芸産地の活性化を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
19節	負担金補助及び交付金	13,219千円	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業				
<b>【事業の成果】</b>							
「鳥取型低コストハウス」の導入により、園芸品目の高収益化が図られている。							
・ハウス導入面積 0.3ha							
・ハウス導入棟数 9棟							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b>	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 11,420千円						

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する			
事業名	園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	7 農業振興費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,792	1,429			1,429			0
事業の目的							
鳥取型低コストハウス等の生産性を向上することにより高品質安定生産を図り、作業効率の改善、収量の向上を図るもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 1,429千円 園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業費補助金							
【事業の成果】 寒冷紗の導入 17件 41枚							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】 鳥取県産地パワーアップ事業費補助金 1,429千円							

担当課	農林課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	県営地域ため池総合整備事業費負担金【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,480	8,480				7,400		1,080
事業の目的							
ため池を有する地域の防災安全度向上のため、ハード・ソフトを総合的に整備するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 8,480千円 県営地域ため池総合整備事業費負担金 天神野地区 7,014千円 般若・般若区有地区 1,466千円							
主な特定財源（名称、金額等）							
【地方債】 土地改良事業債 7,400千円							

担当課	農林課		施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	県営地域ため池総合整備事業費負担金（国補正）【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
11,200	11,200				11,100		100	
事業の目的								
ため池を有する地域の防災安全度向上のため、ハード・ソフトを総合的に整備するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 11,200千円 県営地域ため池総合整備事業費負担金 天神野地区								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 土地改良事業債 11,100千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業費負担【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
761	760				500		260	
事業の目的								
石綿管を使用した農業用管水路が老朽化したため、計画的に石綿を含まない管水路に更新整備するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 760千円 県営特定農業用管水路等特別対策事業費負担金 久米ヶ原2期地区								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 土地改良事業債 500千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業費負担（国補正）【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
3,600	3,600	財源内訳				3,500		100
事業の目的								
石綿管を使用した農業用管水路が老朽化したため、計画的に石綿を含まない管水路に更新整備するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 3,600千円 県営特定農業用管水路等特別対策事業費負担金 久米ヶ原2期地区								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 土地改良事業債 3,500千円								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農地耕作条件改善事業費補助金【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
169	169	財源内訳						169
事業の目的								
農地の保全及び農業経営の発展のために、農業用施設の適正な維持管理を図るもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 169千円 農地耕作条件改善事業費補助金								
【事業の成果】 農業用施設の改修整備を補助することにより、農業経営の安定化と維持管理の軽減を図った。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	農林課		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農業農村整備事業【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 農地費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
5,102	5,102			3,418		816	868	
事業の目的								
老朽化した農業用施設の改修整備を行い、農業経営の安定化と維持管理の軽減を図るもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 15節 工事請負費 5,102千円 農地耕作条件改善事業								
【事業の成果】 農業用施設の適正な維持管理を行うことにより、農業の保全・発展を図った。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】 農地耕作条件改善事業費補助金 3,418千円 【その他】 土地改良事業費分担金 816千円								

担当課	農林課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	林業専用道整備事業費負担金【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業	項	2 林業費	目	4 林業振興費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,208	3,193				2,700		493	
事業の目的								
森林整備の基礎となる骨格的な林道を開設し、民有林の合理的な経営管理及び公益的機能の維持増進を図り、山村及び林業の活性化につなげるもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 3,193千円 林道専用道整備事業費分担金（富海福山線）								
【事業の成果】 森林整備の基盤となる骨格的な林道が開設され、民有林の合理的な経営管理及び公益機能の維持増進が図られた。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 林道整備事業債 2,700千円								

担当課	農林課		施策	その他（鳥取県中部地震対策）			
事業名	単県斜面崩壊復旧事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業	項	2 林業費	目	4 林業振興費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
108,534	97,202	財源内訳		46,171	46,100	4,860	71
事業の目的							
国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び他の単県事業（急傾斜地崩壊対策事業）の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において行う斜面復旧事業。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 15節 工事請負費 97,202千円 整備工事費							
【事業の成果】 別所地区ほか10箇所の単県斜面崩壊復旧工事を実施した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】単県斜面崩壊復旧事業補助金 46,171千円 【地方債】自然災害防止事業債 46,100千円 【その他】治山事業費分担金 4,860千円							

担当課	農林課		施策	36 災害に強いまちをつくる			
事業名	農林水産業施設補助災害復旧事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	1 農林水産業施設災害復旧費	目	3 農林水産業施設補助災害復旧費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
40,639	39,931	財源内訳		30,245	3,000	259	6,427
事業の目的							
被災した農地及び農業用施設等の復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 2節 給料 1,821千円 4節 共済費 291千円 15節 工事請負費 37,819千円 平成29年災害 災害復旧工事（農地 11件・施設 13件）							
【事業の成果】 被災した農地及び農業用施設等の復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】農林水産業施設災害復旧費補助金 30,245千円 【地方債】農林水産業施設補助災害復旧事業債 3,000千円 【その他】災害復旧事業費分担金 259千円							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	人権文化センター運営						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 人権文化センター費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
15,201	14,590	財源内訳		9,059		52	5,479
事業の目的							
部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざす拠点施設として、全市民を対象とした人権啓発・広報活動及び生活上の各種相談事業を推進する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬(非常勤職員報酬3人、運営協議会委員報酬12人)						6,265千円
4節	共済費(社会保険料)						976千円
8節	報償費(講師謝金等)						420千円
9節	旅費						107千円
11節	需用費(消耗品・光熱水費・修繕料等)						3,201千円
12節	役務費(清掃・冷暖房機保守管理手数料等)						1,079千円
14節	使用料及び賃借料(バス借り上げ料等)						484千円
15節	工事請負費(旧明倫体育館跡地法面保護工事)						967千円
18節	備品購入費						362千円
19節	負担金補助及び交付金						729千円
	鳥取県隣保館連絡協議会負担金						70千円
	中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会負担金						4千円
	鳥取県人権文化センター運営費負担金						604千円
	部落解放中部地区中学3年生交流会実行委員会負担金						51千円
<主な事業>							
	中部地区高校友の会一泊研修会						第34回中部地区中学3年生交流会
	第37回女性話そう会						第38回解放子ども会工作教室
	第20回倉吉市中学生人権フォーラム						日本語学習会
<b>【事業の成果】</b>							
	倉吉市人権文化センター運営協議会						1回
<相談件数>							
	生活相談37件、健康相談23件、教育・育児相談5件						
<各種学習会>							
	児童学習会研修会1回14人、就学前研修会1回171人、中高生生活部落解放研究4回161人						
	青年・女性・高齢者学習会4回92人、成人解放講座21回373人、手話教室8回153人						
	会議室利用275回						5,242人
	館報の発行12回						
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 隣保館運営費等補助金 9,059千円							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	やまびこ人権文化センター運営						
会計・予算科目	会計一般	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 7 人権文化センター費			
最終予算額	決算額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,553	10,439			7,640		796	2,003
事業の目的							
部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざし、地区住民の人権意識の高揚と差別に負けない・差別をなくしていく力を育むこと。また、福祉・文化・生活の向上に資することを目的とする。							
事業の実績、成果 (振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬 (非常勤職員報酬3人)			6,276千円			
4節	共済費 (社会保険料)			987千円			
8節	報償費 (講師謝金等)			359千円			
9節	旅費			90千円			
11節	需用費 (消耗品・光熱水費・修繕料等)			1,741千円			
12節	役務費 (清掃・冷暖房機保守管理手数料等)			329千円			
14節	使用料及び賃借料 (バス借り上げ料等)			543千円			
18節	備品購入費			40千円			
19節	負担金補助及び交付金			74千円			
	鳥取県隣保館連絡協議会負担金			70千円			
	中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会負担金			4千円			
<主な事業>							
就学前育成、小学生解放講座、保・小・中・高保護者解放講座							
女性解放講座、成人解放講座							
<b>【事業の成果】</b>							
やまびこ人権文化センター運営協議会 1回							
<相談件数>							
生活相談13件、住宅相談1件、健康相談3件、教育・保育24件、人権相談3件							
<各種学習会>							
就学前6回201人、小・中学生10回243人、女性、成人、高齢者40回459人							
会議室利用535回 6,679人							
館報の発行12回							
主な特定財源 (名称、金額等)							
<b>【県】</b> 隣保館運営費等補助金 7,640千円							



担当課	人権政策課		施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	さわやか人権文化センター運営							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 人権文化センター費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
9,679	9,325	財源内訳			4,975		1	4,349
事業の目的								
<p>部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざし、地区住民の人権意識の高揚と差別に負けない・差別をなくしていく力を育むこと。また、福祉・文化・生活の向上に資することを目的とする。</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
1節	報酬(非常勤職員報酬3人)				6,316千円			
4節	共済費(社会保険料)				999千円			
8節	報償費(講師謝金等)				292千円			
9節	旅費				86千円			
11節	需用費(消耗品・光熱水費・修繕料等)				869千円			
12節	役務費(清掃・冷暖房機保守管理手数料等)				237千円			
14節	使用料及び賃借料(バス借り上げ料等)				412千円			
19節	負担金補助及び交付金				114千円			
	鳥取県隣保館連絡協議会負担金				70千円			
	中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会負担金				4千円			
	「隣保事業士」資格認定講習参加負担金				40千円			
<主な事業>								
青年・女性・高齢者学習会、部落解放講演会・映画会								
部落解放講演会								
<b>【事業の成果】</b>								
さわやか人権文化センター運営協議会 1回								
<相談件数>								
福祉・健康相談12件、住宅相談9件、教育・保育相談6件、就職・就労相談2件、人権相談6件、その他13件								
<各種学習会>								
就学前・小中・保護者4回140人、女性11回137人、成人1回43人、高齢者5回99人、各種講座31回332人								
会議室利用231回 3,896人								
館報の発行12回								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 隣保館運営費等補助金 4,975千円								

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	はばたき人権文化センター運営						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 人権文化センター費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
10,748	10,748	財源内訳		7,062		8	3,678
事業の目的							
<p>部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざし、地区住民の人権意識の高揚と差別に負けない・差別をなくしていく力を育むこと。また、福祉・文化・生活の向上に資することを目的とする。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬(非常勤職員報酬4人)						7,049千円
4節	共済費(社会保険料)						985千円
8節	報償費(講師謝金等)						146千円
9節	旅費						59千円
11節	需用費(消耗品・光熱水費・修繕料等)						1,522千円
12節	役務費(清掃・冷暖房機保守管理手数料等)						328千円
14節	使用料及び賃借料(バス借り上げ料等)						574千円
19節	負担金補助及び交付金						85千円
	鳥取県隣保館連絡協議会負担金						70千円
	中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会負担金						4千円
	生活困窮者自立支援全国研究交流大会参加負担金						11千円
<主な事業>							
子育て支援講座、高校生・青年育成講座・成人育成講座、女性育成講座、高齢者支援事業							
<b>【事業の成果】</b>							
はばたき人権文化センター運営協議会 1回							
<相談件数>							
福祉・健康相談12件、住宅相談9件、教育・保育相談6件、就職・就労相談2件、人権相談6件、その他13件							
<各種学習会>							
小中学生10回197人、高校生・青年育成事業1回91人、成人育成講座7回120人							
女性育成講座5回53人、高齢者支援事業18回341人							
会議室利用269回 3,537人							
館報の発行12回							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 隣保館運営費等補助金 7,062千円							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	あたごふれあい人権文化センター運営						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 人権文化センター費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
10,154	10,151	財源内訳		7,384		129	2,638
事業の目的							
<p>部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざし、地区住民の人権意識の高揚と差別に負けない・差別をなくしていく力を育むこと。また、福祉・文化・生活の向上に資することを目的とする。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬(非常勤職員報酬3人)						6,612千円
4節	共済費(社会保険料)						1,022千円
8節	報償費(講師謝金等)						280千円
9節	旅費						100千円
11節	需用費(消耗品・光熱水費・修繕料等)						1,094千円
12節	役務費(清掃・冷暖房機保守管理手数料等)						384千円
14節	使用料及び賃借料(バス借り上げ料等)						469千円
18節	備品購入費						116千円
19節	負担金補助及び交付金						74千円
	鳥取県隣保館連絡協議会負担金						70千円
	中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会負担金						4千円
<主な事業>							
就学前・小学生育成、中学生・高校生育成、食育講座、ふれあいサロン							
<b>【事業の成果】</b>							
あたごふれあい人権文化センター運営協議会 1回							
<相談件数>							
生活相談15件、教育相談10件							
<各種学習会>							
就学前12回285人、小・中・高校生13回174人、女性・成人・高齢者21回787人、							
会議室利用302回 10,578人							
館報の発行12回							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 隣保館運営費等補助金 7,384千円							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	同和対策						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	8 人権啓発費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,044	1,747	財源内訳					1,747
事業の目的							
<p>本市の人権尊重のまちづくりの基本方針である「お互いを認め、尊重し合えるまち」の実現に向けた施策の推進を図る。</p> <p>また、ネットをはじめとする部落差別の解消をめざした「部落差別の解消の推進に関する法律」を踏まえた取り組みを推進する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬	50千円	あらゆる差別をなくする審議会				
8節	報償費	5千円					
11節	需用費	7千円					
19節	負担金補助及び交付金	1,560千円					
			倉吉市同和対策推進協議会事業補助金(同推進協議会の活動支援)		60千円		
			部落解放同盟鳥取県連合会倉吉市協議会事業補助金(同協議会の活動支援)		1,500千円		
20節	扶助費	125千円	特定新規学卒者就職支度金(5人支給)				
<b>【事業の成果】</b>							
<p>あらゆる差別をなくする審議会は、平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画を取りまとめ委員に送付し意見を求めた。また、倉吉市同和対策推進協議会及び部落解放同盟倉吉市協議会の活動支援については、同和問題の現状に鑑み市民を含めた人権啓発推進に努められるよう支援を行った。また、身体に障がいがある等、就職に特に援助が必要な新規学卒者に対し、就労促進を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	男女共同参画の推進						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	8 人権啓発費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
639	455	財源内訳					455
事業の目的							
<p>第5次くらし男女共同参画プランに基づき、女性も男性も誰もが性別にかかわらず、互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる豊かで活力にあふれたまちをめざす。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬	105千円	倉吉市男女共同参画推進市民会議委員報酬(2回)				
8節	報償費(謝金等)	161千円					
			あすをつくる倉吉女性塾主催講座(1回開催:参加者51人)				
			女性パワーアップ講座他(2回開催:参加者35人)				
9節	旅費	90千円	日本女性会議2018in金沢参加旅費				
11節	需用費	86千円	消耗品(啓発資料作成用等)				
12節	役務費	6千円	表彰状筆耕料 講座託児保険料 託児				
14節	使用料及び賃借料	7千円	会場使用料				
<b>【事業の成果】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あすをつくる倉吉女性塾」と協働で、具体的な介護サービスについて知る講座を1回開催。働き方改革や仕事と時間の効率的な活用術を学ぶワークライフバランス講座を各1回開催し、合計92人の市民が参加。</li> <li>・男女共同参画フォーラムinくらしで「男女共同参画時代のテレビの付き合い方」をテーマに、男女の固定的役割分担意識とメディアの関係について学ぶ男女共同参画推進講演会を開催。40名参加。</li> <li>・「倉吉市男女共同参画推進まちづくり表彰制度」で、市民団体1団体、1事業所個人1名の表彰を行い、男女共同参画によるまちづくりの啓発ができた。</li> <li>・今後も男女共同参画推進スタッフ、女性塾等、市と市民が協働で取り組みを進め、多様なニーズに合う講座企画に努める。</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	部落解放研究倉吉市集会・文化祭						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	8 人権啓発費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
697	554	財源内訳					554
事業の目的							
「一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる地域社会の実現」に向けて、「部落の完全解放と人権の確立を全市民の力で」をテーマに研究・討議を行う部落解放研究倉吉市集会の開催及び部落解放文化祭の開催。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
8節	報償費(講師謝金等)						166千円
11節	需用費(消耗品・食糧費)						113千円
12節	役務費						64千円
14節	使用料及び賃借料						211千円
	部落解放研究第46回倉吉市集会会場借上料						116千円
	第44回倉吉市部落解放文化祭会場借上料						95千円
(部落解放研究第46回倉吉市集会)							
8月19日(日)開催							
・主催 部落解放研究第46回倉吉市集会実行委員会							
・全体会参加者:696人 6分科会参加者:367人							
(第44回倉吉市部落解放文化祭)							
2月1日(金)～3日(日)開催							
・主催 倉吉市部落解放文化祭実行委員会							
・2月1日～3日作品展示 89団体作品出品 来場者 3,128人(3日間合計)							
2月3日実践発表 参加者272人							
<b>【事業の成果】</b>							
(部落解放第46回倉吉市集会)							
市民団体等により実行委員会を設置し、市民主体による運営を行った。全体会では、部落差別解消推進法が公布・施行されたことをふまえ内容の普及・啓発のため「部落差別解消推進法の具体化に向けて」をテーマに講演会が行われた。午後の分科会では、人権課題6分野の視点をもとに活発に討議が行われた。							
(第44回倉吉市部落解放文化祭)							
実践発表では、倉吉市同和問題企業連絡会結成25年の歩みに学ぶと題して、企業内で実践している人権同和学習について発表され、企業が連携して学習を進めていることを知る機会となった。							
講演会では、「明治6年筑前竹槍一揆の歴史に学ぶ」を演題に、歴史を知ることによって部落問題を考える講演会となった。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	人権啓発推進						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	8 人権啓発費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
7,672	6,878	財源内訳		884			5,994
事業の目的							
全市民を対象に、倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画に基づく部落差別をはじめとする各種人権課題の解消に向けた啓発事業を実施する。同和教育町内学習会等の充実、各地域に設置する同和教育推進員の育成を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節	報酬	705千円	同和教育推進員研修会(2回:141人)				
8節	報償費	579千円					
	人権のために学ぶ同和教育講座他講師謝金(4回:299人)	191千円					
	人権フォーラム講師謝金	258千円					
	第44回倉吉市部落解放文化祭講師謝金	90千円					
	合同会長連絡協議会(1回)	40千円					
11節	需用費	1,331千円					
	人権の花運動(4校) 苗代等	315千円					
	その他消耗品等	1,016千円					
12節	役務費(手話通訳)	63千円					
13節	委託料	3,128千円					
	同和教育町内学習会事業委託費(234回)	1,170千円					
	(うち同和教育町内学習推進指定研究事業(19町内)19回、95千円)						
	同和教育推進員研究事業委託費(13地区)	410千円					
	地区同和教育研究事業委託費(13地区)	468千円					
	倉吉市同和教育研究事業委託費	1,080千円					
14節	使用料及び賃借料	631千円					
19節	負担金補助及び交付金	441千円					
	鳥取県人権教育推進協議会負担金	60千円					
	倉吉人権擁護委員協議会負担金	190千円					
	部落解放・人権政策確立要求倉吉市実行委員会補助金	191千円					
<b>【事業の成果】</b>							
全市民に向けて、「基本的人権」の確立をめざし人権教育・啓発活動を推進した。同和教育町内学習委託事業では、部落問題や障がい者問題等、差別の現実から学ぶ学習会が各地域で開催された。人権のために学ぶ同和教育講座では、同和教育問題、障がいのある人の人権、子どもの人権、ハラスメントについて計4回の講座を開催し299人の参加者があった。							
年間を通じて同和教育町内学習会の充実に向けて、同和教育推進員研修会や地区合同会長会を開催し各地区の取り組み状況他の情報提供とともに資質向上に努めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 人権啓発活動費委託金 884千円							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	衛生総務						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
235	197						197
事業の目的							
衛生行政の事務費用。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 192千円 事務用消耗品等 39千円 公用車ガソリン 113千円 公用車修繕料 40千円  27節 公課費 5千円 公用車重量税 5千円							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	動物愛護事業						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,450	715			357		358	0
事業の目的							
動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年法律第105号)の趣旨にのっとり、飼い主がいない猫に不妊又は去勢手術を受けさせる取組みを支援することにより、野良猫の繁殖を抑制し、もって生活環境を保全するとともに、市民の動物愛護意識の高揚を図ることを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 715千円 野良猫避妊・去勢手術費補助金 84件 715千円  <b>【事業の成果】</b> 野良猫不妊・去勢手術費補助金 市内で捕獲した野良猫に不妊・去勢手術を受けさせ、その費用を負担した市民に対し、その手術料金の一部を補助することにより、野良猫の繁殖を抑制し、生活環境を保全するとともに、市民の動物愛護意識の高揚を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 平成30年度鳥取県猫不妊去勢手術助成事業費補助金 357千円 <b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 358千円							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	狂犬病予防						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 予防費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
490	481					481	0
事業の目的							
狂犬病を予防するため、狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射を市内13地区で実施し、接種率の向上及び飼い主の手続の効率を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 67千円							
犬鑑札等消耗品費 41千円							
登録申請書等印刷費 26千円							
12節 役務費 414千円							
案内通知郵送料 205千円							
鑑札・注射済票交付事務等手数料 209千円							
【事業の成果】							
犬の登録数(新規) 145頭(窓口等36頭+委託分109頭)							
狂犬病予防注射済頭数 1,303頭(窓口等555頭+委託分748頭)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】犬の登録手数料 451千円							
狂犬病予防注射済票交付手数料 737千円(事業充当 481千円)							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	環境衛生						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
28,311	26,757					44	26,713
事業の目的							
鳥取中部ふるさと斎場の運営に係る経費の負担ほか環境衛生総務費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節 負担金補助及び交付金 26,757千円							
鳥取中部ふるさと斎場の運営に係る経費の負担金 26,617千円							
琴浦斎場相互利用負担金 140千円							
【事業の成果】							
鳥取中部ふるさと斎場の運営に係る経費負担金の支出を適正に行った。							
・火葬実績 ふるさと斎場 680件(動物:集団43件、個別13件)							
琴浦斎場 5件							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】送電鉄塔維持管理に伴う立竹木伐採に係る立竹木伐採補償費 44千円							



担当課	環境課		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える			
事業名	公衆浴場確保対策						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
850	850			325			525
事業の目的							
公衆浴場の経営の安定化を図り地域住民の利用の機会を確保し、公衆衛生の向上を図るため公衆浴場に対し補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 850千円 公衆浴場確保対策費補助金 850千円  <b>【事業の成果】</b> 市内の公衆浴場の継続営業を支援するため、補助金を交付し、公衆浴場の確保対策を図った。 ・浴場数 1浴場							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 公衆浴場確保対策費市町村補助金 250千円 平成30年度公衆浴場原油価格高騰対策市町村補助金 75千円							

担当課	環境課		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える			
事業名	市民町内清掃支援						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,586	8,354						8,354
事業の目的							
公衆衛生を保全するため、地域住民による生活排水溝の維持管理活動等を支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 6,975千円 生活排水溝清掃土砂運搬委託料 6,912千円 明倫地区河川清掃支援業務委託料 63千円 14節 使用料及び賃借料 1,379千円 フックロールコンテナ車借上料 1,379千円  <b>【事業の成果】</b> 自治公民館等が実施する清掃作業への支援により、市内の公衆衛生が保全できた。 ・生活排水溝清掃土砂運搬配車台数 200台 ・明倫地区河川清掃支援配車台数 2台(パッカー車) ・フックロールコンテナ借上台数 2t車 92台、4t車 43台							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	市有墓地維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
320	150						150
事業の目的							
市有墓地の危険箇所の修繕、危険木の伐採等を行い、墓地の維持管理を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 12節 役務費 150千円 市有墓地内危険木伐採手数料 ・仲ノ町共同墓地の危険木の伐採手数料 150千円  <b>【事業の成果】</b> 市有墓地内の危険箇所を解消し、適正な管理を行った。 ・伐採箇所 1カ所(仲ノ町共同墓地)							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	環境課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	こどもエコクラブ事業						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,190	1,188			594			594
事業の目的							
子どもの環境学習活動を支援することにより、人間と環境の関わりへの理解を深め、将来にわたる環境保全への高い意識を醸成するため、こどもエコクラブに登録した団体に対し補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 1,188千円 こどもエコクラブ活動支援費補助金 11団体(1,698人) 1,188千円  <b>【事業の成果】</b> 幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校の環境教育と連携し、こどもエコクラブの活動(リサイクル、清掃活動、自然観察等)の普及・促進及び環境学習を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> こどもエコクラブ活動支援費補助金 594千円							

担当課	環境課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	住宅用太陽光発電システム導入促進						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,000	5,381			2,690			2,691
事業の目的							
環境負荷の少ない自然エネルギーの導入促進と環境保全意識の向上を図るため、住宅用太陽光発電システム設置者に対し補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 5,381千円 住宅用太陽光発電システム導入促進事業費補助金 27件(139.67kW) 5,381千円  <b>【事業の成果】</b> 太陽光発電の普及の促進及び地球温暖化対策に貢献した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 住宅用太陽光発電システム導入促進事業費補助金 2,690千円							

担当課	環境課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	EV導入推進						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,110	992						992
事業の目的							
CO2削減による地球温暖化対策に貢献するため、環境負荷の少ないEV(電気自動車)の普及推進を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 895千円 電気自動車用急速充電器維持費 790千円 電気自動車用普通充電器維持費 15千円 電気自動車用急速充電器修繕費 90千円 13節 委託料 97千円 電気自動車用急速充電器保守委託料 97千円  <b>【事業の成果】</b> 電気自動車の普及促進とCO2削減に貢献した。 ・電気自動車用急速充電器利用回数：1月当り 215回程度							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	環境課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	家庭用燃料電池導入促進						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
360	360			180			180
事業の目的							
環境負荷の少ない自然エネルギーの導入を促進し、家庭用燃料電池導入による環境保全意識の向上を図り、家庭用燃料電池設置者に対して補助金を交付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 360千円 家庭用燃料電池導入促進事業費補助金 2件 360千円							
<b>【事業の成果】</b> 家庭用燃料電池の普及促進に貢献した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 家庭用燃料電池導入促進補助金 180千円							

担当課	環境課	施策	35 みんなで地球環境にやさしい取組を実践する				
事業名	再生可能エネルギー計画策定事業						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,510	13,539					13,287	252
事業の目的							
森林資源に加えて都市・果樹剪定枝までも対象として、資源量・利用可能量の把握や設備導入のシステム検討・事業性評価等を実施して、木質バイオマスエネルギーの活用を着実に進めていくための具体的かつ実行可能な計画を策定することにより、木質バイオマスエネルギーの導入を着実に進め、自然共生を図るとともに低炭素づくりを促進し、もって地球環境の保全に資する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 26千円 9節 旅費 36千円 11節 需用費 9千円 13節 委託料 13,468千円							
<b>【事業の成果】</b> 再生可能エネルギー導入検討協議会 開催3回 有識者意見聴取 1回 木質バイオマスエネルギー導入計画 平成31年4月策定 木質バイオマス賦存量調査 木質バイオマス原燃料集荷・加工システム検討 木質バイオマスエネルギー利用設備導入可能性検討 県外視察(岡山県西栗倉村) 参加9人(協議会委員6人、職員3人) 木質バイオマスボイラー導入効果検証							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 13,287千円							

担当課	環境課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	公害対策							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	6 公害対策費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
4,378	3,049	財源内訳						3,049
事業の目的								
公害の未然防止を図るため、水質・悪臭・アスベスト等の環境検査・測定を行い、環境の保全の状況等を監視するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 30千円 12節 役務費 429千円 アスベスト含有検査(市有施設2箇所) 411千円、普通騒音計検定料 18千円 13節 委託料 2,590千円 公共用水域水質検査業務 1,350千円 自動車騒音常時監視業務 896千円 事業所排水等水質検査業務 270千円 悪臭物質測定業務 74千円								
<b>【事業の成果】</b> 環境測定の実施により、自然環境の保護及び公害を防止できた。 ・公共用水域水質検査 5カ所 ・悪臭物質測定 2カ所 ・事業所排水水質検査 4カ所 ・自動車騒音監視 一般国道313号線外5区間(実測2カ所)								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	環境課	施策	34 ごみを適正に処理する					
事業名	清掃総務							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
1,111	676	財源内訳					96	580
事業の目的								
一般廃棄物の適正処理を図るため、一般廃棄物処理業の許可に係る事務や家庭ごみの排出状況の点検(環境パトロール)及び市の環境美化、市民意識の向上のため、散乱した空き缶やごみを町内から一掃するため、ごみゼロ全市一斉清掃を実施するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 12節 役務費 18千円(郵送料) 14節 使用料及び賃借料 658千円 機械借上料等(コピー機) 103千円 ごみゼロ全市一斉清掃自動車借上料 555千円								
<b>【事業の成果】</b> 一般廃棄物の適正処理ができた。 ・一般廃棄物処理業の許可事務 32件 ・環境パトロール 実施日:8月2日 場所:三江ほか(不燃ごみの分別状況) ・倉吉市・倉吉市自治公民館連合会主催一斉清掃実施 実施時期 春季:各自治公民館ごとに実施 秋季:10月14日(日)154自治公民館実施 収集車両借上 16台(可燃ごみ8台、不燃ごみ8台) フックロールコンテナ借上 2t車3台、4t車1台								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 一般廃棄物処理業許可申請手数料 96千円								

担当課	環境課		施策	34 ごみを適正に処理する			
事業名	塵芥処理						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
410,626	399,963	財源内訳				50,821	349,142
事業の目的							
生活環境の保全を図るため、一般廃棄物(ごみ)の適正処理を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>11節 需用費 16,321千円</p> <p>指定ごみ袋 14,680千円</p> <p>ペットボトル収集ネットほか消耗品 1,247千円</p> <p>公用車燃料代 59千円</p> <p>ごみ収集日程表ほか印刷製本費 182千円</p> <p>公用車車検ほか修繕料 153千円</p> <p>12節 役務費 4,109千円</p> <p>郵送料 20千円</p> <p>指定ごみ袋販売手数料ほか 4,089千円</p> <p>13節 委託料 161,306千円</p> <p>一般廃棄物収集運搬業務(4業者) 154,727千円</p> <p>指定ごみ袋保管及び配送業務 3,458千円</p> <p>ガラスびんリサイクル処理業務 3,121千円(289t)</p> <p>19節 負担金補助及び交付金 218,208千円</p> <p>中部ふるさと広域連合負担金 217,729千円(交付税分含む)</p> <p>ごみ処理費 161,804千円</p> <p>ごみ処理施設建設費 26,764千円</p> <p>最終処分場費 29,161千円</p> <p>ごみ集積場整備費補助金 479千円</p> <p>27節 公課費 19千円</p> <p>自動車重量税 19千円</p> <p><b>【事業の成果】</b></p> <p>一般廃棄物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ集積場整備費補助金 11カ所の整備で479千円の補助金を交付</li> <li>ほうきりサイクルセンター搬入実績 15,245t</li> <li>可燃ごみ13,834t、不燃ごみ443t、可燃粗大634t、不燃粗大165t、缶98t、びん0t</li> <li>小型家電72t</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【その他】</b> ごみ処理手数料 50,821千円</p>							

担当課	環境課		施策	34 ごみを適正に処理する			
事業名	川をきれいにする運動						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
230	223						223
事業の目的							
河川美化による生活環境の向上を図るため、河川清掃活動の支援を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 12節 役務費 223千円 玉川を美しくする会収集ごみ運搬 82千円 玉川をきれいにする運動(清掃) 141千円							
<b>【事業の成果】</b> 玉川の清掃活動により、玉川の環境美化を図った。 ・運搬回数 6回 ・清掃回数 12回							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	環境課		施策	34 ごみを適正に処理する			
事業名	廃棄物減量等推進						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
45,294	43,546					2,008	41,538
事業の目的							
生活環境の向上を図るため、ごみの減量及び再資源化(リサイクル)を推進するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 1,594千円(資源回収報償金) 11節 需用費 193千円(ペットボトル収集ネットほか) 12節 役務費 79千円(郵送料) 13節 委託料 41,680千円 古紙等再生資源収集業務 32,537千円 ペットボトル収集業務 6,516千円 発泡スチロール処理業務 2,627千円							
<b>【事業の成果】</b> ・資源ごみ回収登録団体 252団体(実施団体 103団体、実施件数 216件) 回収量 古紙類 509,777kg、金属類 20,165kg、びん類 5,971本 ・資源ごみ収集実績 古紙等 573,620kg、ペットボトル 45,790kg、発泡スチロール 6,950kg ・ごみ減量推進員を設置し、ごみの分別を徹底							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 再生資源ごみ回収買い上げ代金 2,008千円							

担当課	環境課	施策	34 ごみを適正に処理する				
事業名	環境美化促進対策						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,040	549	財源内訳		190			359
事業の目的							
生活環境の保全を図るため、不法投棄禁止の啓発、不法投棄事案の処理を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 3千円(監視カメラ固定用ベルト) 13節 委託料 546千円(不法投棄廃棄物処理事業)							
<b>【事業の成果】</b> 不法投棄廃棄物の撤去及び処理の実施により、生活環境及び自然環境の保全ができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄対策連絡協議会において決定された事案の処理 2カ所(関金町山口、桜)</li> <li>・鴨川倉庫に仮保管していた市内各地から回収した不法投棄廃棄物の処理</li> <li>・不法投棄対策監視カメラの活用 1台(津原に設置)</li> <li>・看板設置等による不法投棄禁止の啓発</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 投棄・漂着廃棄物処理事業費補助金 190千円							

担当課	環境課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	し尿処理						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	3 し尿処理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
63,644	57,854	財源内訳				18,880	38,974
事業の目的							
公衆衛生の確保を図るため、一般廃棄物(し尿)の適正処理を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 71千円(し尿汲取券及び日程表印刷費) 12節 役務費 370千円(郵送料、し尿処理券販売手数料) 13節 委託料 18,449千円(し尿汲取業務 2業者) 19節 負担金補助及び交付金 38,964千円(中部ふるさと広域連合負担金) し尿処理施設運営費 35,664千円 し尿処理施設建設費 3,300千円							
<b>【事業の成果】</b> し尿の適正処理を行い、公衆衛生の確保を図り生活環境の保全ができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集体制 業者委託(2業者)</li> <li>・収集回数 月2回(し尿くみ取り日程表により実施)</li> <li>・収集量 1,696,174kg</li> <li>・終末処理 中部クリーンセンター(中部ふるさと広域連合)</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> し尿汲取手数料等 18,880千円							



担当課	環境課		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	簡易水道の上水道統合							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	3 水道費	目	1 上水道費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
9,360	9,353						9,353	
事業の目的								
上水道に統合された小規模水道の起債償還金について、水道局に対し負担するもの。 (栗尾・半坂・富海、大宮)								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 9,353千円 東日本大震災被災者水道料金免除負担金 92千円(5世帯) 簡易水道統合費補助金 9,261千円(元金7,923千円 利子1,338千円)								
<b>【事業の成果】</b> 上水道に統合された小規模水道の起債償還金について、水道局に対し負担した。 ・栗尾簡易水道分 1,217千円 ・半坂簡易水道分 3,696千円 ・富海、大宮簡易水道分 4,348千円								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	環境課		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	簡易水道・小規模水道等整備							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	3 水道費	目	2 簡易水道費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
98,465	86,292					2,178	84,114	
事業の目的								
小規模水道の安全な水の確保を図るため、施設の維持管理を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 322千円 衛生管理消耗品等 264千円 福原用水施設修繕費 58千円  13節 委託料 6,273千円(専用水道等水質検査業務) 19節 負担金補助及び交付金 1,693千円(小規模水道施設整備) 28節 繰出金 78,004千円(簡易水道事業特別会計繰出)								
<b>【事業の成果】</b> 小規模水道施設の衛生管理等を行い、安全な水の確保を図った。 ・水質検査の実施 17施設(利用人口924人) ・飲料水供給施設整備補助 4施設								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 衛生管理地元負担金 2,139千円 小規模水道整備地元負担金 39千円(用水施設修繕地元負担金)								

担当課	福祉課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	社会福祉総務							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
12,420	5,050			2		10	5,038	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用推進のため、障がい者を雇用するための人件費を計上するもの。</li> <li>・社会福祉法第30条に規定する社会福祉法人の所轄庁としての役割を果たすため、必要な事務を行うもの。</li> <li>・「社会保障・税番号制度」の導入に係る情報基盤の整備を図るもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節 報酬	1,067千円	非常勤職員報酬(障がい者雇用1人)						
4節 共済費	176千円							
8節 報償費	235千円							
11節 需用費	416千円							
12節 役務費	137千円							
13節 委託料	3,002千円	社会保障・税番号制度システム整備等						
18節 備品購入費	17千円							
【事業の成果】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者を雇用した。一般就労に向けて着実に支援を行っている。</li> <li>・システム改修により情報基盤が整備され、マイナンバー制度に適切に対応した。</li> </ul>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】社会福祉統計調査費交付金 2千円								

担当課	福祉課		施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	民生委員							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,988	2,865						2,865	
事業の目的								
地域福祉の増進を図るため、民生児童委員活動に必要な支援を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
9節 旅費	13千円							
13節 委託料	2,039千円	要支援者の生活実態の把握と支援						
19節 補助金	813千円	民生児童委員連合協議会への補助金 (H30年度相談支援件数 4,682件、実態調査件数 3,815件)						
【事業の成果】								
法に基づき福祉・社会奉仕活動を実施。各民生児童委員が担当地区で支援の必要な高齢者や児童の見守り活動、住民からの相談支援を行った。高齢者及び障がい者等の実態調査を行うことにより、地域の実態を把握し、福祉ニーズのある地域住民を適切な支援機関へと繋ぐことができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	福祉課	施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	社会福祉事業団体助成						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
56,048	54,923			1,767			53,156
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の増進を図るため、地域での共助、ボランティア育成、サロン活動、見守り活動を推進する市社会福祉協議会に対して支援を行うもの。</li> <li>・障がい者就労事業所の製品の販売促進を図るため、福祉の店の運営費を助成するもの。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節 補助金 54,923千円							
〔社会福祉協議会〕 51,390千円							
役職員人件費 46,890千円							
社会福祉協議会運営費 2,500千円							
ボランティアセンター事業費 2,000千円							
〔福祉の店〕 3,533千円							
(常設販売) 人件費・事務費(家賃、光熱水費、通信費等) 2,794千円							
(移動販売) 人件費・事務費(会場借上、車借上、燃料費) 739千円							
【事業の成果】							
〔社会福祉協議会〕 社会福祉協議会の運営費、活動費の助成をし、地域福祉の増進を図った。							
〔福祉の店〕 障がい福祉事業所製品を集約して販売することで、障がい福祉事業所の周知につながった。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 福祉の店販売機能強化事業費補助金 1,767千円							

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	遺族援護関係						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
528	364			14		5	345
事業の目的							
戦没者英霊の遺徳顕彰や遺族の福祉の増進を図るため、必要な支援を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 111千円 倉吉市戦没者慰霊祭に係るもの81千円、地区・県慰霊祭に係るもの30千円							
12節 役務費 17千円 倉吉市戦没者慰霊祭に係るもの(通信運搬、看板筆耕ほか)							
19節 補助金 236千円 倉吉市遺族連合会補助金							
【事業の成果】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市戦没者慰霊祭を開催し、戦没者の追悼、平和記念、遺族の慰安を図った。</li> <li>・市遺族連合会に対し、補助金を交付し、遺族福祉の増進を図った。</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 戦傷病者特別援護費委託金 14千円							

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	行旅病人等取扱							
会計・予算科目	会計	一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,017	0							0
事業の目的								
「行旅病人及行旅死亡人取扱法」及び「墓地埋葬法第9条」の規定に基づき、市が葬祭等を実施するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 平成30年度 該当者なし								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	法外扶助							
会計・予算科目	会計	一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,325	3,977				2,519			1,458
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保護世帯で、義務教育を受けている児童生徒に対して、学習意欲の向上を図るため、修学旅行扶助費を支給するもの。</li> <li>・生活に困窮する世帯（被保護世帯、母子生活支援施設入所世帯）の生活意欲の向上を図るため、夏期（8月）に見舞金を支給するもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 20節 扶助費 3,977千円 (修学旅行扶助費) 小学校 1人 3千円 中学校 5人 50千円 (被保護者等見舞金) 夏期見舞金 496世帯 3,924千円								
<b>【事業の成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保護世帯の児童・生徒の学習意欲の維持向上を図った。</li> <li>・被保護世帯等の生活意欲の維持向上を図った。</li> </ul>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【県】</b> 被保護者等見舞金支給事務費委託金 2,519千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	特別障害者手当等給付							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
24,311	21,934			16,522				5,412
事業の目的								
在宅の重度障がい児者の経済的・精神的負担の軽減及び日常生活における生活の安定のため、経済的支援を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 12節 役務費 40千円 20節 扶助費 21,894千円 H30. 2月～3月分 (単価改正後) H30. 4月～H31. 1月分 特別障害者手当 26,810円×延104件 26,940円×延550件 計17,605千円 障害児福祉手当 14,580円×延 52件 14,650円×延241件 計 4,289千円								
【事業の成果】 ・対象者の日常生活における生活の安定を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】特別障害者手当等給付費負担金 16,522千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	自立支援制度管理							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
8,403	8,117							8,117
事業の目的								
障害者手帳・自立支援給付費・自立支援医療等の多岐にわたる障害福祉サービスの一元管理を行い、サービスの向上と効率化を図るもの。自立支援給付費に関する事業所請求に対し、システム審査を実施するとともに事業所への支払を国保連へ委託し、適正な支払事務を実施するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費 78千円 消耗品費(受給者証用他) 12節 役務費 3,382千円 国保連合会事務処理手数料 2,012千円 クラウドサーバー手数料 317千円 マイナンバー連携ユニット保守 1,001千円 その他手数料 52千円 13節 委託料 536千円 障がい者福祉システム元号改定に伴う改修業務 14節 使用料 4,121千円 障がい者福祉システム利用料 3,421千円 請求内容チェックシステム使用料 700千円								
【事業の成果】 ・システムを運用して、事務の簡素化と対象者に応じた適切なサービスを提供した。 ・事業所からの請求内容を確認し、適正な請求となるよう審査・指導等を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	福祉課	施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	地域支え愛活動支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,592	5,178		2,000				3,178
事業の目的							
災害時や災害時に備えた対応のため、災害時要援護者情報を台帳として整備するもの。また、地域での支え愛活動の推進を図るため、地域住民への助言・指導を行う非常勤職員の雇用及び自治公民館へ必要な経費を支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 1節 報酬 3,761千円 非常勤職員(2人) わが町支え愛マップ作成時の助言指導ほか 4節 共済費 574千円 非常勤職員に係るもの 9節 旅費 1千円 先進地視察旅費 12節 役務費 639千円 通信運搬費140千円 システム保守料499千円 19節 負担金補助及び交付金 203千円 ・先進地視察参加負担金 3千円 ・わが町支え愛マップ推進事業補助金 200千円(自治公民館数:初回作成6、ステップアップ1)							
【事業の成果】 ・システムを活用して名簿を管理することで、災害時避難行動要支援者(高齢者・障がい者等)を把握し、災害時の避難体制の整備を行うことができた。 ・非常勤職員による自治公民館への助言・指導を行ったことにより、わが町支え愛マップの作成が進み、地域での支え愛活動の推進が図れた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】生活困窮者就労準備事業費補助金 2,000千円							

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	生活困窮者自立支援						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
24,937	21,693		15,426	2,098			4,169
事業の目的							
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者世帯に対し、家計相談支援、就労準備支援、子どもの学習支援及び住居確保給付金の支給等を一体的に実施するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 13節 委託料 21,624千円 ・自立相談支援事業委託料 11,705千円 相談支援件数 161件 ・家計相談支援事業委託料 3,111千円 相談支援件数 24件 ・就労準備支援事業委託料 3,308千円 利用者数 5人 ・子どもの学習支援事業委託料 3,500千円 利用者数 25人 20節 扶助費 69千円 住居確保給付金2世帯							
【事業の成果】 ・自立相談支援事業・家計相談支援事業 仕事や生活で困っている相談者の状況に合わせ、支援プランを作成し、専門機関・団体と連携しながら、問題解決に向けた総合的な支援を行った。 ・就労準備事業 就労体験や模擬面接等により就労意欲を高めるなどの支援を行った。 ・子どもの学習支援事業 市内の小中学生に対し、個々に合った方法で学習の習慣付けを行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】生活困窮者自立相談事業費負担金 10,978千円 生活困窮者就労準備事業費補助金 4,448千円 【県】ひとり親家庭学習支援事業費補助金 1,752千円 生活困窮世帯等子ども学習支援事業費補助金 346千円							

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	障害支援区分認定審査							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,898	4,656	財源内訳					4,656	
事業の目的								
自立支援給付を利用する障がい者等にサービスの適正な支給量を決定するため、障害支援区分認定調査員等により障害支援区分の認定事務を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節 報酬 1,865千円 非常勤職員(1人)								
4節 共済費 281千円 非常勤職員に係るもの								
9節 旅費 22千円								
12節 役務費 717千円 医師意見書作成手数料								
19節 負担金 1,771千円 障害者総合支援認定審査負担金								
【事業の成果】								
障害者支援区分の認定審査の事務を鳥取中部ふるさと広域連合で実施することで、効率的で、公平かつ適正に実施することができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	自立支援給付事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,260,007	1,241,365	財源内訳	630,003	315,002			296,360	
事業の目的								
障がい者等が自己の有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスを提供するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
20節 扶助費 1,241,365千円 件数:13,164件								
(内訳)								
居宅介護(1,542件) 63,710千円 重度訪問介護(127件) 12,790千円								
行動援護(36件) 1,932千円 同行援護(97件) 1,902千円								
療養介護(136件) 33,601千円 生活介護(1,875件) 350,460千円								
高額障害福祉サービス費(300件) 1,283千円 短期入所(160件) 7,449千円								
施設入所支援(1,173件) 132,336千円 共同生活援助(981件) 151,127千円								
宿泊型自立訓練(133件) 15,162千円 就労移行支援(53件) 7,799千円								
就労継続支援(A型)(453件) 66,735千円 就労継続支援(B型)(2,748件) 349,874千円								
就労定着支援(10件) 294千円 計画相談支援(1,335件) 21,953千円								
特定障害者特別給付費(2,004件) 22,904千円 特例介護給付(1件) 54千円								
【事業の成果】								
障がい者の能力及び適性に応じた自立支援給付を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】自立支援給付費国庫負担金 630,003千円								
【県】県自立支援給付費負担金 315,002千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	地域生活支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
104,214	90,082		29,093	24,217			36,772	
事業の目的								
障がい者が地域で安心して日常生活や社会生活を送るため、必要な福祉サービスの提供及びサービス利用支援並びに相談支援体制の充実を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
8節 報償費 648千円 成年後見制度利用支援助成金								
11節 需用費 1千円								
13節 委託料 35,150千円								
障がい者自立支援協議会運営 2,549千円								
障がい者相談支援事業 23,629千円								
聴覚障がい者意思疎通支援(手話通訳派遣) 7,321千円								
手話奉仕員養成研修 933千円								
点訳・朗読奉仕員養成研修 124千円								
聴覚障がい者生活支援事業 594千円								
20節 扶助費 54,283千円								
日常生活用具給付 13,035千円								
訪問入浴 1,450千円 実利用人員2人								
日中一時支援 27,106千円 実利用人員72人(身体42人・知的24人・精神6人) 延4,300日								
移動支援 12,692千円 実利用人員69人(身体18人・知的44人・精神7人) 延5,136時間								
<b>【事業の成果】</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業は、委託で実施したことにより、障がい者及びその家族の地域における生活の支援、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用等の情報提供が専門職の者により行われ、障がい者の自立と社会参加の促進につながった。</li> <li>・日常生活用具を給付することで、障がい児・者の日常生活が容易になり、社会参加の促進につながった。</li> <li>・日中一時支援や移動支援により、障がい者の社会参加の促進を図った。</li> </ul>								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 地域生活支援事業費補助金 29,093千円								
<b>【県】</b> 地域生活支援事業費補助金 24,217千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	障がい児・者在宅生活支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,590	0						0	
事業の目的								
日常的に医療行為の必要な重症心身障がい児者等が日中活動のできる場所を確保するため、生活介護事業所等が看護職員を配置する経費を助成するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
平成30年度 該当事業所なし								
主な特定財源(名称、金額等)								



担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	身体障がい者福祉運営対策						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
290	194						194
事業の目的							
身体障がい者福祉の増進を図るため、必要な経費を執行するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 12節 役務費 194千円 71千円 電話使用料 123千円 自立支援医療等レセプト審査手数料 (審査件数) 更生医療2,545件 療養介護136件 <b>【事業の成果】</b> ・自立支援医療等の適正な給付を行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	身体障害者更生医療・補装具給付事業						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
86,414	82,545		43,207	21,664			17,674
事業の目的							
<b>【更生医療】</b> 身体障がい者の障がいを軽減、除去し、日常生活能力等の回復を目的とする医療について、医療費負担の支援を行うもの。 <b>【補装具給付】</b> 身体障がい児者の身体の一部欠損又は機能の障がいを補うため、補装具を給付するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 20節 扶助費 82,545千円 〔更生医療〕 64,902千円 心臓や関節の手術、肝臓又は肝臓移植後の免疫抑制療法、血液透析等 153人 〔補装具給付〕 7,773千円 身体障がい児・者の身体の一部の欠損、機能の障がいを補うための義肢・補装具等の給付、修理 延74件 〔療養介護医療〕 9,870千円 実利用者数 12人 <b>【事業の成果】</b> 〔更生医療〕 経済的負担の軽減により、対象となる医療を安心して受けることができた。 〔補装具給付〕 障がい者の障がい自体の軽減や日常生活及び社会生活の負担の軽減が図られた。 〔療養介護医療〕 病院での適切な医学的管理等の下で介護を受けることができ、安定した療養生活を送ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 自立支援給付費国庫負担金 5,943千円 障害者医療費国庫負担金 37,264千円 <b>【県】</b> 県自立支援給付費負担金 2,971千円 県自立支援医療費負担金 18,693千円							

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	障がい者福祉一般単独							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
2,254	2,231	財源内訳						2,231
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者が地域で安心安全に相談できる相談支援体制確保のため、障がい者相談員や障がい者虐待防止センター専用電話を設置するもの。</li> <li>障がい者の社会参加やスポーツ振興のため、障がい者団体活動やスポーツ事業に対する支援を行うもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 299千円 身体障がい者相談員8人・知的障がい者相談員3人・精神障がい者相談員2人 12節 役務費 40千円 障がい者虐待防止センター電話料 19節 負担金補助及び交付金 601千円 倉吉市身体障害者福祉協会補助 195千円 県身体障がい者体育大会負担金 349千円 車いすマラソン大会負担金 57千円 20節 扶助費 1,291千円 自動車運転免許取得助成費 4件 400千円 自動車改造助成費 5件 500千円 重度身障者住宅改良助成費 2件 372千円 福祉電話維持費 1台 19千円 <b>【事業の成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域で、障がいのある当事者及びその家族が相談業務にあたることで、経験に基づいた助言が行われるなど相談支援体制の充実につながった。</li> <li>身体障害者福祉協会、各種スポーツ大会等への支援を行うことで障がい者の社会参加、自立に向けた活動の活性化が図られた。</li> </ul>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	障がい者グループホーム設置運営支援							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
1,650	1,039	財源内訳			519			520
事業の目的								
障がい者の利用するグループホームに夜間世話人等を配置している社会福祉法人等に対し、夜間世話人等の人件費の一部補助を行うことにより、利用者の安全と安心を確保するとともに、グループホームの設置促進及び運営の安定化を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 19節 補助金 1,039千円 利用者の障害支援区分と利用者数に応じた夜間世話人の配置について補助 厚生事業団 7人 724千円 仁厚会 2人 315千円 <b>【事業の成果】</b> 障がい者の安全が確保され、グループホームの設置促進及び運営の安定化につながった。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 障がい者グループホーム夜間世話人等配置事業費負担金 519千円								

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する			
事業名	障がい者等交通費助成						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
13,152	10,368						10,368
事業の目的							
<p>重度障がい児者が地域で安心して生活していくため、社会活動の参加及び経済的負担の軽減を目的として、交通費の一部を助成するもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  11節 需用費 198千円 タクシーチケット印刷費  20節 扶助費 10,170千円  〔タクシー助成〕 4,741千円 乗車券交付 対象者624人  〔通院費助成〕 5,429千円  人工透析患者 対象者 74人  精神障がい者 対象者 255人  難病患者 対象者 38人</p> <p><b>【事業の成果】</b>  〔タクシー助成〕 重度障がい児者に対し、タクシー料金の一部を助成し、日常生活の利便の向上及び社会活動への参加の拡大を図った。  〔通院費助成〕 重度障がい児者に対し、人工透析療法等に係る通院に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	福祉課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する			
事業名	障がい児・者地域生活体験事業						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
103	65			32			33
事業の目的							
<p>在宅の障がい児者が将来自立した地域生活を営むことができるようにするため、生活技術と自立意欲を高める支援を受けながら地域生活を体験する事業に対し支援を行うもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  20節 扶助費 65千円 生活体験ホーム助成費 利用者2人</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【県】</b> 障がい児・者地域生活体験事業費補助金 32千円</p>							

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	重度障がい児者支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 障がい者福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
7,200	3,514				1,757			1,757
事業の目的								
重症心身障がい児者の日中の活動支援及び家族の精神的・経済的負担の軽減のため、重症心身障がい児者の受入れを行う社会福祉法人等に対し助成を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 補助金 3,514千円 生活介護(4事業所)実利用人員8人・利用延日数 1,120日 短期入所(1事業所)実利用人員1人・利用延日数 27日 放課後デイサービス(1事業所)利用実人員1人・利用延日数 45日								
【事業の成果】 重症心身障がい児者の受入れをする法人の支援体制の充実が図られた。支援体制が整うことで対象者も利用しやすくなり、重症心身障がい児者及びその家族の負担軽減に繋がった。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】重度障がい児者支援事業費補助金 1,757千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	生活保護							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	3 生活保護費	目	2 扶助費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
1,155,851	985,613			852,146	29,607		17,400	86,460
事業の目的								
生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長するための支援を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 1節 報酬 4,648千円 適正化推進員(1人)、就労支援員(1人)、嘱託医 4節 共済費 570千円 適正化推進員及び就労支援員に係る社会保険料 9節 旅費 87千円 全国研修参加旅費等 11節 需用費 1,009千円 消耗品、参考図書、公用車燃料費、封筒作成等 12節 役務費 4,770千円 システム利用料、診療報酬・介護審査手数料等 13節 委託料 10,884千円 被保護者就労準備支援事業委託料(7,638千円)、レセプト点検委託料(459千円)等 14節 使用料及び賃借料 1,079千円 公用車、コピー機リース 18節 備品購入費 327千円 文書庫購入 20節 扶助費 962,239千円 ・保護世帯・人員数(平均):517世帯 661人 (生活扶助)267,115千円 (住宅扶助)122,599千円 (教育扶助)5,666千円 (介護扶助)24,017千円 (医療扶助)482,034千円 (その他扶助)4,179千円 (施設事務費)56,629千円								
【事業の成果】 ケースワーカーによる対応のもと、適正な保護と保護世帯の自立の助長がなされた。 保護開始 63件 保護廃止 73件(うち就労による自立 18件)								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】生活保護費国庫負担金 843,651千円 生活困窮者自立相談事業費国庫負担金 1,681千円 生活困窮者就労準備事業費補助金 6,814千円								
【県】生活保護費県負担金 29,607千円								
【その他】生活保護費返還金 17,400千円								

担当課	福祉課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	中国残留邦人等支援給付						
会計・予算科目	会計一般	款 3 民生費	項 3 生活保護費	目 2 扶助費			
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
524	510		465				45
事業の目的							
生活保護を受給している中国帰国者の社会的・経済的自立の助長を図るため、自立指導員を配置し、日本語学習や日常生活について支援を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 487千円 自立指導員(1人)配置 9節 旅費 23千円 研修旅費  <b>【事業の成果】</b> 対象者世帯に対し、生活上の相談・助言、日本語習得等の支援を行うことで、地域生活における自立を助長した。 訪問(派遣)支援 24回							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 生活困窮者就労準備事業費補助金 465千円							

担当課	子ども家庭課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	公共施設等緊急安全確保対策						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
355	355						355
事業の目的							
平成30年大阪府北部地震で発生したブロック塀の倒壊と同様の事故を防ぐため、市の施設において緊急に必要なとされる対策を講じるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】 委託料 355千円 関金児童館 ブロック構造物撤去、外構再構築</p> <p>【事業の成果】 児童の安全安心な生活環境の整備、周辺環境に配慮した施設管理を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	子ども家庭課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	婦人保護						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	6 婦人保護費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,482	2,375		549				1,826
事業の目的							
売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、要保護女子の未然防止、保護更正を図るため、婦人相談員を配置するとともに、要保護女子等の発見、相談、指導、配偶者からの暴力等に係る相談、保護、自立支援を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人相談員1人(非常勤職員)</li> <li>・婦人(女性)相談 実人員118人 延168件</li> <li>・相談の内容に応じた助言・指導を行った。また、配偶者等からの暴力等に係る相談については、庁内関係課等と連携して自立に向けた各種支援を行うとともに、緊急な場合など、必要に応じて保護機関につなぐなどの保護を行った。</li> </ul> <p>報酬 2,039千円 共済費 322千円 旅費 3千円 需用費 9千円 負担金補助及び交付金 2千円</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の話を傾聴する中で、自己決定を支援するとともに、少しでも不安や悩みが軽くなるよう助言した。</li> <li>・DV相談については、重篤になってからの相談や危険を伴う場合等は、早期に保護機関につなげるなど、安全の確保を優先して対応した。</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金(DV女性保護対策等支援事業) 549千円							

担当課	子ども家庭課		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	児童福祉総務							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
134,783	113,934		46,719	23,373		117	43,725	
事業の目的								
児童、児童家庭の育成・支援及び児童の養護・保護を行うため、児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づく事業を実施するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 児童福祉施設併設型民間児童館事業委託料(3施設) 28,500千円 母子生活支援施設措置委託料(4施設) 84,331千円 特別児童扶養手当給付に関する事務の実施  報酬 90千円 報償費 12千円 旅費 39千円 需用費 509千円 役務費 268千円 使用料及び賃借料 85千円 負担金補助及び交付金 100千円								
<b>【事業の成果】</b> 児童福祉法に規定される児童、児童家庭の育成・支援及び児童の養護・保護等を実施することにより、対象児童の心身の健全な育成に資することができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 児童措置費負担金 46,546千円 特別児童扶養手当事務取扱交付金(国庫委託金) 173千円(事務費単価×受給権者数) <b>【県】</b> 児童措置費負担金 23,273千円 アートスタート活動支援事業費補助金 100千円 <b>【その他】</b> 児童措置費負担金(徴収金) 117千円								

担当課	子ども家庭課		施策	9 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる				
事業名	児童委員							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,039	2,039						2,039	
事業の目的								
児童及びひとり親世帯を支援するため、民生児童委員に委託して日常的に児童母子等の実態把握を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 児童及びひとり親世帯を支援するため、民生児童委員に委託して日常的に児童・母子等の実態把握を行った。 児童・母子実態調査業務委託料 2,039千円								
<b>【事業の成果】</b> 各地域における児童及びひとり親家庭の実態を把握する中で、児童や家庭等の状況に応じて、相談及び支援制度につなげた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	子ども家庭課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	児童手当給付						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
705,863	705,077		489,896	107,079			108,102
事業の目的							
<p>家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、中学校卒業まで児童を養育している者に児童手当を支給するもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給対象児童 延 63,006人</li> <li>・支給額 704,070千円(扶助費)</li> <li>役務費 1,007千円</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、児童の健やかな成長に資することができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p>【国】児童手当交付金 489,896千円</p> <p>【県】児童手当支給事業費負担金 107,079千円</p>							

担当課	子ども家庭課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	災害遺児手当給付						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
360	266			133			133
事業の目的							
<p>災害遺児の健全な育成を図り、その福祉を増進するため、義務教育修了前の児童で、その養育者が天災または交通事故、自死、その他の事故により死亡又は障がいの状態となった場合に、災害遺児手当を支給するもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給月額 対象児童1人につき2,000円</li> <li>・支給対象児童 12人</li> <li>・支給額 266千円(扶助費)</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>災害遺児の生活に対して、経済的支援を行うことができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p>【県】災害遺児手当支給事業費補助金 133千円 ※補助対象は所得税非課税世帯</p>							



担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	児童扶養手当						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
303,245	282,847		94,730			2,707	185,410
事業の目的							
離婚等により父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童を育成する母又は父又は養育者に児童扶養手当を支給するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 ひとり親家庭等の児童(18歳の年度末まで、ただし、支給要件に該当する障がいがある場合は20歳未満まで)を育成する母または父、養育者に対して子育てにかかる費用の支援として、手当を支給。 ・支給者 延 6,778人 ・支給額 282,196千円(扶助費) 需用費 77千円 役務費 574千円							
【事業の成果】 ひとり親家庭等に対して、児童扶養手当を支給することにより、児童の心身の健やかな成長に寄与することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】児童扶養手当給付費負担金 94,730千円 【その他】児童扶養手当返還金 2,707千円							

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する																																											
事業名	児童健全育成																																													
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費																																							
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源																																							
91,998	91,926		30,963	30,963		30,000	0																																							
事業の目的																																														
保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学する児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与える事業を委託するもの。																																														
事業の実績、成果(振返り、効果等)																																														
【事業の実績】 ◆民間事業者への運営委託 12カ所 放課後児童健全育成事業委託料 90,437千円 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:30%; text-align: center;">《実施場所》</td> <td style="width:30%; text-align: center;">《登録児童数》</td> </tr> <tr> <td>ぶるーむ学級1組</td> <td>上灘児童センター</td> <td>70名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>ぶるーむ学級2組</td> <td>上灘小学校</td> <td>30名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>倉吉東児童クラブ</td> <td>倉吉東児童センター</td> <td>69名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>倉吉東第2学童クラブ</td> <td>旧河北中学校</td> <td>54名</td> </tr> <tr> <td>みのり学級</td> <td>社児童センター</td> <td>63名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>成徳学童クラブ</td> <td>成徳小学校</td> <td>54名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>上北条児童クラブ</td> <td>上北条放課後児童クラブ室</td> <td>65名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>灘手児童クラブ</td> <td>灘手小学校</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>上小鴨学童クラブ</td> <td>あたごふれあい人権文化センター</td> <td>37名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>社児童クラブ</td> <td>社ふれあい会館</td> <td>82名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>おがもさんさん児童クラブ</td> <td>さんさんプラザ倉吉</td> <td>59名 障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>西郷児童クラブみらい</td> <td>西郷小学校地内</td> <td>45名 障がい児受入</td> </tr> </table> 使用料及び賃借料 1,489千円									《実施場所》	《登録児童数》	ぶるーむ学級1組	上灘児童センター	70名 障がい児受入	ぶるーむ学級2組	上灘小学校	30名 障がい児受入	倉吉東児童クラブ	倉吉東児童センター	69名 障がい児受入	倉吉東第2学童クラブ	旧河北中学校	54名	みのり学級	社児童センター	63名 障がい児受入	成徳学童クラブ	成徳小学校	54名 障がい児受入	上北条児童クラブ	上北条放課後児童クラブ室	65名 障がい児受入	灘手児童クラブ	灘手小学校	25名	上小鴨学童クラブ	あたごふれあい人権文化センター	37名 障がい児受入	社児童クラブ	社ふれあい会館	82名 障がい児受入	おがもさんさん児童クラブ	さんさんプラザ倉吉	59名 障がい児受入	西郷児童クラブみらい	西郷小学校地内	45名 障がい児受入
	《実施場所》	《登録児童数》																																												
ぶるーむ学級1組	上灘児童センター	70名 障がい児受入																																												
ぶるーむ学級2組	上灘小学校	30名 障がい児受入																																												
倉吉東児童クラブ	倉吉東児童センター	69名 障がい児受入																																												
倉吉東第2学童クラブ	旧河北中学校	54名																																												
みのり学級	社児童センター	63名 障がい児受入																																												
成徳学童クラブ	成徳小学校	54名 障がい児受入																																												
上北条児童クラブ	上北条放課後児童クラブ室	65名 障がい児受入																																												
灘手児童クラブ	灘手小学校	25名																																												
上小鴨学童クラブ	あたごふれあい人権文化センター	37名 障がい児受入																																												
社児童クラブ	社ふれあい会館	82名 障がい児受入																																												
おがもさんさん児童クラブ	さんさんプラザ倉吉	59名 障がい児受入																																												
西郷児童クラブみらい	西郷小学校地内	45名 障がい児受入																																												
【事業の成果】 制度改正に伴う対象年齢の拡大に対応するため、施設の充実、受入体制を整え、仕事と子育ての両立支援、安全安心な子育て環境の整備を推進した。																																														
主な特定財源(名称、金額等)																																														
【国】子ども・子育て支援交付金 35,395千円(うち事業充当額 30,963千円) 【県】鳥取県子ども・子育て支援交付金 35,395千円(うち事業充当額 30,963千円) 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 30,000千円																																														

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	障がい児支援給付事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
89,345	82,108		36,839	21,837		61	23,371	
事業の目的								
障がい児の心身の健やかな成長と、保護者の介護、経済的負担の軽減を図るため、児童福祉法及び障害者総合支援法等に基づき、移動、通所等の支援給付及び利用者負担の助成を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 障がい児が地域で安心して生活でき、保護者の介護負担の軽減のために、必要なサービスを提供し、給付した。 (障害者総合支援法に基づく事業) 自立支援給付事業：9,699千円 居宅介護 延利用者121人・短期入所 延利用者5人 地域生活支援事業：32,769千円 移動支援事業 実利用者38人・日中一時支援事業 実利用者36人 自立支援医療(育成医療)：340千円 給付申請件数 12件 (児童福祉法に基づく事業) 障害児通所給付事業：38,651千円 児童発達支援 延179人 医療型発達支援 延171人 放課後等ディサービス 延696人 保育所等訪問支援延94人 (利用者負担軽減、助成金等) 児童発達支援センター利用者負担軽減：4人 障害児通所支援費助成：24人 需用費 19千円 役務費 342千円 負担金補助及び交付金 11千円 扶助費 277千円								
<b>【事業の成果】</b> 障がい児の心身ともに健やかな成長と当該児童の保護者の介護負担の軽減に寄与した。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 障害児施設給付費等負担金ほか負担金 26,134千円 地域生活支援事業費補助金 10,705千円 <b>【県】</b> 障害児施設給付費等負担金ほか負担金 12,752千円 地域生活支援事業費補助金ほか補助金 9,085千円								

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する					
事業名	子育て支援事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
14,458	13,995		5,940	6,965		64	1,026	
事業の目的								
子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備するため、子育て支援拠点として子育て支援センターを設置し、運営するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 子育て中の親子が気軽に集い交流する場を提供するとともに、育児相談、情報提供、子育てセミナー・親支援セミナーの開催、小・中学生と赤ちゃんのふれあい会等を行った。 利用人数 ・子育て総合支援センター 延 14,179人 ・倉吉東こども園 延 4,022人 地域子育て支援センター事業委託料4,920千円 報酬 3,899千円 共済費 801千円 賃金 2,053千円 報償費 108千円 旅費 32千円 需用費 1,327千円 役務費 811千円 使用料及び賃借料 42千円 負担金補助及び交付金 2千円								
<b>【事業の成果】</b> 育児に悩む母親等の子育てを支援し、また、実際に赤ちゃんに触れ合う体験を通じて、小・中学生等に命の尊さを伝えることができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 子ども・子育て支援交付金 6,950千円(うち事業充当額 5,940千円) <b>【県】</b> 鳥取県子ども・子育て支援交付金 6,950千円(うち事業充当額 5,940千円) 子育て応援市町村交付金 1,025千円								

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	子どもの発達支援体制整備							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,061	580	財源内訳	357	60			163	
事業の目的								
発達障害者支援法に基づき、発達障がい者(児)の自立及び社会参加に資するよう生活全般に渡る支援を行うため、継続した支援体制整備を図るもの。また、発達障がい者(児)の早期発見及び適切な支援を行うため、関係者の資質向上のための研修事業等を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> ・保育園・認定こども園の訪問指導等(のべ数) (健診後フォロー園訪問(保健師)27回、保育所等への訪問相談(児童指導員・保健師)111回、 専門家による訪問指導(聾学校・作業療法士)2回、発達検査25件) ・支援会議参画239回、移行支援会議41人 ・通所指導教室の実施(通所型開催回数 77回、参加児数 実19人、のべ218人) ・親子通所教室の実施(開催回数 30回、参加児数 実4人、のべ30組) ・定住自立圏形成協定に伴う、子どもの発達支援に関わる研修会の実施(2回) ・各種研修事業(特別支援リーダー育成研修4回、 感覚運動研修会2回、各種研修会等への派遣)								
報償費 250千円 旅費 40千円 需用費 165千円 役務費 6千円 使用料及び賃借料 101千円 負担金補助及び交付金 18千円								
<b>【事業の成果】</b> ・発達障がい支援体制整備検討会を開催し、地域の関係機関相互の情報交換と、体制整備に向けた地域のネットワークづくりの課題を整理した。 ・各種研修会や訪問指導等を実施する中で、事業に係るリーダー育成、保育の質の向上に向けた実務職員の資質向上、児童の発達支援を行うことができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 子ども子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金 357千円 <b>【県】</b> 子育て応援市町村交付金 60千円								

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	ファミリーサポートセンター事業						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,849	2,580	財源内訳	933	933			714
事業の目的							
地域の中で子育て家庭を支援するため、育児の援助を行いたい者と育児の支援を受けたい者を会員として組織し、会員相互の育児に関する援助活動を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 援助提供会員 43人 援助依頼会員 308人 両方会員 2人 活動実績 110件							
共済費 349千円 賃金 2,142千円 旅費 1千円 需用費 9千円 役務費 79千円							
<b>【事業の成果】</b> 子どもを持つ労働者が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるシステムとして、多くの会員に利用してもらうことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 子ども・子育て支援交付金 933千円 <b>【県】</b> 鳥取県子ども・子育て支援交付金 933千円							

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する																																					
事業名	公立放課後児童クラブ運営																																							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費																																	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源																																
68,719	67,919	財源内訳		20,028	20,028		6,644	21,219																																
事業の目的																																								
保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学する児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与える事業を実施するもの。																																								
事業の実績、成果(振返り、効果等)																																								
【事業の実績】 公立児童クラブ運営 7ヵ所 <table border="0"> <tr> <td colspan="2">《実施場所》</td> <td colspan="2">《登録児童数》</td> </tr> <tr> <td>ポプラ学級</td><td>上井児童センター</td><td>90名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>高城児童クラブ</td><td>高城児童センター</td><td>35名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>明倫児童クラブ</td><td>中央児童館</td><td>40名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>北谷児童クラブ</td><td>北谷児童集会所</td><td>40名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>小鴨児童クラブ</td><td>小鴨児童センター</td><td>57名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>関金児童クラブ</td><td>関金児童館</td><td>48名</td><td>障がい児受入</td> </tr> <tr> <td>山守児童クラブ</td><td>旧山守小学校</td><td>15名</td><td>障がい児受入</td> </tr> </table> 報酬 52,200千円 共済費 7,879千円 賃金 1,726千円 報償費 10千円 旅費 124千円 需用費 5,242千円 役務費 362千円 使用料及び賃借料 259千円 備品購入費 117千円									《実施場所》		《登録児童数》		ポプラ学級	上井児童センター	90名	障がい児受入	高城児童クラブ	高城児童センター	35名	障がい児受入	明倫児童クラブ	中央児童館	40名	障がい児受入	北谷児童クラブ	北谷児童集会所	40名	障がい児受入	小鴨児童クラブ	小鴨児童センター	57名	障がい児受入	関金児童クラブ	関金児童館	48名	障がい児受入	山守児童クラブ	旧山守小学校	15名	障がい児受入
《実施場所》		《登録児童数》																																						
ポプラ学級	上井児童センター	90名	障がい児受入																																					
高城児童クラブ	高城児童センター	35名	障がい児受入																																					
明倫児童クラブ	中央児童館	40名	障がい児受入																																					
北谷児童クラブ	北谷児童集会所	40名	障がい児受入																																					
小鴨児童クラブ	小鴨児童センター	57名	障がい児受入																																					
関金児童クラブ	関金児童館	48名	障がい児受入																																					
山守児童クラブ	旧山守小学校	15名	障がい児受入																																					
【事業の成果】 施設設備の充実、受入体制を整え、仕事と子育ての両立支援、安全安心な子育て環境の整備を推進した。																																								
主な特定財源(名称、金額等)																																								
【国】	子ども・子育て支援交付金			20,028千円																																				
【県】	鳥取県子ども・子育て支援交付金			20,028千円																																				
【その他】	放課後児童クラブ利用者実費負担金			6,644千円																																				

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する					
事業名	放課後児童クラブ整備事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
73,267	66,378	財源内訳		24,033	10,752	22,900		8,693
事業の目的								
仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を図るため、河北小学校区における放課後児童クラブ登録児童数の増加及び現在の同地区のクラブで利用している県有施設が使用できなくなることに対応するよう、河北小学校の敷地内に学童保育施設を整備するもの。 また、関金児童クラブは、放課後児童のクラブへの移動時の安全性確保及び現在、開設している施設の老朽化に対応するよう、関金小学校の教室を改修し、学童保育室を整備するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 河北小学校区 クラブ施設の整備 木造平屋建て 延べ面積 123.8㎡ 定員70名程度 委託料 6,607千円 設計監理委託料 工事請負費 44,264千円 クラブ施設、駐車場整備、遊具移設 備品購入費 3,940千円 空調設備、据付家具ほか 関金小学校区 クラブ室の整備、機能移転 面積 135㎡ 定員 最大80名程度 工事請負費 2,206千円 保育室整備 備品購入費 3,856千円 空調設備ほか 需用費 2,300千円 修繕料 需用費 866千円 役務費 537千円 備品購入費 1,802千円								
【事業の成果】 関係機関と連携して児童クラブ整備を行い、仕事と子育ての両立支援、安全安心な子育て環境の充実、受け入れ体制を整えた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】	子ども・子育て支援整備交付金			17,708千円				
	子ども・子育て支援交付金			6,325千円				
【県】	鳥取県子ども・子育て支援整備交付金			4,427千円				
	鳥取県子ども・子育て支援交付金			6,325千円				
【地方債】	放課後児童クラブ整備事業債			20,200千円				
	公共施設等適正管理事業債			2,700千円				

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する					
事業名	保育所運営							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 保育所費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
2,001,890	1,881,711	財源内訳		582,884	379,819	13,800	319,542	585,666
事業の目的								
<p>保護者が就労や病気などで、家庭において十分に保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育するため、公立保育所の運営及び私立保育所、認定こども園へ委託を行うもの。  (公立保育所:10園うち指定管理1園、私立保育所:12園、認定こども園:4園)</p>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p><b>【事業の実績】</b>  保護者が就労や病気などのため、家庭において十分に保育することができない児童を、家庭の保護者に代わって保育を行い、併せて休日保育、一時保育、障がい児保育等の多様な保育サービスの充実を図った。</p> <p>保育所運営費委託料 997,756千円(私立保育所12施設及び広域施設)  保育所指定管理料 89,440千円  その他の委託料 77,795千円(一時保育、延長保育等)  認定こども園施設型給付費負担金 413,436千円(認定こども園4施設及び広域施設)  保育所等整備交付金 40,245千円 ※令和元年度(平成31年度)への繰越額:53,393千円</p> <p>報酬(保育士ほか)57,011千円 共済費21,778千円 賃金(保育士ほか)98,509千円  報償費57千円 旅費222千円 需用費(公立保育所運営費;賄材料費等)71,930千円  役務費4,927千円 使用料及び賃借料1,297千円 原材料費8千円 備品購入費7,250千円  公課費50千円</p> <p>◆保育料(保育所運営負担金)の収納実績  現年分(調定額合計:196,524千円 収納額194,993千円:収納率99.2%)  滞納繰越分(調定額合計:14,440千円 収納額5,905千円:収納率40.9%)</p>								
<p><b>【事業の成果】</b>  共働き等の家庭の仕事と子育ての両立を支援するとともに、児童の心身の健全な発達を図ることができた。  公立保育所における保育環境及び保育士等の職場環境の改善を図られた。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】	保育所運営費負担金	547,064千円						
	子ども・子育て支援交付金	9,657千円						
	保育所等整備交付金	26,163千円						
【県】	保育所運営費負担金	260,792千円						
	鳥取県子ども・子育て支援交付金	9,657千円						
	施設型給付費補助金	14,484千円						
	鳥取県第3子保育料無償化事業費補助金	54,754千円						
	保育サービス多様化促進事業補助金	14,916千円						
	低年齢児受入保育所保育士特別配置事業費補助金	17,219千円						
	保育対策総合支援事業費補助金	3,164千円						
	産休等代替職員費補助金、第3子保育料軽減子育て支援事業費補助金、子育て応援市町村交付金、多子及び低所得者世帯保育料軽減事業費補助金	計4,833千円						
【地方債】	保育所整備事業債	11,200千円						
	公共施設等適正管理事業債	2,600千円						
【その他】	保育料(現年・滞納)	200,898千円						
	若者の定住化促進基金繰入金	30,000千円						
	倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金	70,000千円						

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する					
事業名	病児保育事業							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 保育所費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
16,181	16,180		6,833	6,833		1,877	637	
事業の目的								
育児と就労等の両立支援を図るため、保育所等に入所している園児のうち、病気にかかっている乳幼児やその回復期にある乳幼児の保育を専用の保育室で継続して実施するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 保育所等に通園している子ども、小学校3年生までの子どもが病気になった場合、親が仕事を休むことなく子どもを預けることができる保育サービスを提供した。  病児保育事業運営業務委託料 8,840千円 利用人数 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町 計 325人(うち無料世帯 13人) うち倉吉市 227人(うち無料世帯 8人) 病後児保育事業運営業務委託料 7,119千円 利用人数 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町 計 185人(うち無料世帯 11人) うち倉吉市 150人(うち無料世帯 11人) 使用料及び賃借料 221千円  <b>【事業の成果】</b> 子育て家庭の仕事と子育ての両立支援の充実が図られた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 子ども・子育て支援交付金 6,833千円 <b>【県】</b> 鳥取県子ども・子育て支援交付金 6,833千円 <b>【その他】</b> 病児、病後児保育事業負担金 1,877千円(定住自立圏の事業利用按分等による)								

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	公立児童館運営						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
63,064	58,431					15	58,416
事業の目的							
児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、児童の健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 各種行事等の諸活動を通じて児童に健全な遊びを提供し、集団的・個別的に指導を行った。 中央児童館 延利用者数10,264人 福吉児童センター 延利用者数 6,108人 小鴨児童センター // 11,743人 上井児童センター // 15,882人 高城児童センター // 9,299人 関金児童館 // 11,916人 上米積児童センター // 3,223人  報酬 45,210千円 共済費 5,723千円 賃金 393千円 報償費 192千円 旅費 225千円 需用費 4,240千円 役務費 1,412千円 使用料及び賃借料 524千円 備品購入費 343千円 負担金補助及び交付金 169千円  <b>【事業の成果】</b> 個々の児童館の特色を生かした事業展開、運営により、人権尊重の精神を養い、情緒豊かな児童の育成を行うことができた。併せて、施設の適切な保全管理を行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 児童健全育成推進財団負担金(民間児童センター) 15千円							

担当課	子ども家庭課		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	母子福祉事務							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	4 母子福祉費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
8,841	8,454		4,035	310			4,109	
事業の目的								
ひとり親及び寡婦家庭の生活基盤の安定を図るため、相談事業をはじめ、経済的自立の支援や就学時の支援を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> ・離婚相談や家庭内の問題等に係る相談が増加する中で、相談者のよりよい自己決定ができるよう助言及び各種制度等の情報提供等を行った。 ・母子父子自立支援員(非常勤職員)1名配置 相談実人員135人(延411件) ・ひとり親家庭児童小中学校入学支度金 小学校32人、中学校30人 入学時に支給 ・母子・寡婦福祉資金の貸付相談 母子 1世帯 ・母子家庭自立支援教育訓練給付金 4人 ・母子家庭高等技能訓練促進費等給付金 5,380千円 高等技能訓練促進費 5人  報酬 2,012千円 共済費 322千円 需用費 15千円 負担金補助及び交付金 105千円 扶助費 620千円								
<b>【事業の成果】</b> 相談を通して、各家庭の課題を把握するとともに、ひとり親家庭の生活安定に向けた各種支援制度につなげることができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b> 母子家庭自立支援給付金事業補助金 4,035千円 <b>【県】</b> 子育て応援市町村交付金 310千円								

担当課	子ども家庭課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	児童集会所管理							
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	5 児童福祉施設費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
673	664						664	
事業の目的								
児童の豊かな情操と健全なる心身の育成増進を図るため、児童集会所の適切な管理、運営を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 施設の維持管理を行うとともに、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校の就学児童を対象に、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与える場所として活用を図った。  需用費 498千円 役務費 166千円								
<b>【事業の成果】</b> 施設の適切な管理運営を図るとともに、児童の豊かな情操と健全な心身の育成に寄与することができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	子ども家庭課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	家庭児童相談室運営						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	6 家庭児童相談室費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
6,719	5,189			2,580	1,248		19 1,342
事業の目的							
<p>家庭における適正な児童の養育、その他児童のいる家庭の福祉の向上を図るため、子どもに関わる各種関係機関と連携する中で、相談業務、乳児の全戸訪問、支援が必要な家庭への養育支援訪問及び子育て支援短期利用事業等を実施するもの。</p> <p>あわせて、児童福祉法に基づき設置している倉吉市要保護児童対策地域協議会の調整機関として、児童虐待の対応及び防止、支援が必要と思われる児童や特定妊婦に対する支援等を行うもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭児童相談員(非常勤職員)1名配置・児童相談協力員(非常勤職員)1名配置 児童相談:実人員66人(児童数) 婦人相談:実人員118人(延168件)</li> <li>・子育て支援短期利用事業:委託料 1,557千円 ショートステイ 18人(延252回) トワイライトステイ 3人(延7回)</li> <li>・乳児家庭全戸訪問事業 訪問家庭数337件</li> <li>・養育支援訪問事業 訪問家庭数 3件(101回)</li> <li>・要保護児童対策地域協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、個別支援会議83回(37ケース)</li> </ul> <p>報酬 1,961千円 共済費 304千円 報償費 1,217千円 旅費 59千円 需用費 81千円          役務費 10千円</p>							
<p><b>【事業の成果】</b></p> <p>訪問・相談事業や児童に係る各種関係機関等との連携により、保護又は支援の必要な児童や保護者、妊婦等を把握する中で、改善に向けた環境調整を行うとともに、各種支援機関や制度等へつなぐことができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【国】</b> 児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金(児童虐待防止対策支援事業) 1,332千円          子ども・子育て支援交付金 1,248千円</p> <p><b>【県】</b> 鳥取県子ども・子育て支援交付金 1,248千円</p>							



担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	国民健康保険特別会計繰出						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
466,314	454,221	財源内訳	51,257	174,422			228,542
事業の目的							
<p>国民健康保険事業の健全な運営のため、保険料軽減等に応じて繰出を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料軽減分：保険料軽減世帯に係る保険料軽減額に相当する額を繰り出す。</li> <li>・保険者支援分：1人当たり平均保険料算定額×保険料軽減世帯に属する一般被保険者×一定割合に相当する額を繰り出す。(※一定割合…7割軽減15%、5割軽減14%、2割軽減13%)</li> <li>・出産育児一時金に要する費用の2/3に相当する額を繰り出す。</li> <li>・財政安定化支援事業分</li> <li>・地方単独事業による国庫補助金減額分</li> <li>・事務費分</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
28節 繰出金							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険基盤安定分 300,905千円</li> <li>・出産育児一時金分 6,989千円</li> <li>・財政安定化支援事業分 75,559千円</li> <li>・地方単独事業による国庫補助金減額分 15,937千円</li> <li>・事務費分 54,831千円</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 保険者支援負担金 51,257千円							
【県】 保険者支援負担金 25,628千円							
保険基盤安定負担金 148,794千円							

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	国民年金						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 国民年金費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
3,122	3,085	財源内訳	3,085				0
事業の目的							
国民年金制度の健全な運用のため、国と市町村が協力・連携のもとに効率的かつ効果的な事務処理を進めていく。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
9節 旅費 9千円 11節 需用費 69千円 12節 役務費 48千円							
13節 委託料 2,959千円							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金生活者支援給付金に関する情報交換媒体作成システム改修業務委託料 1,350千円</li> <li>・国民年金第1号被保険者の産前産後期間の保険料の免除に係るシステム改修業務委託料 1,609千円</li> </ul>							
各種届出・申出 資格取得届 759件 資格喪失届 313件 種別変更届 116件 氏名変更届 7件							
住所変更届 35件 付加保険料申出 20件							
申請免除等 免除申請(納付猶予申請を含む) 273件 学生納付特例申請 128件							
法定免除 免除理由該当届 44件							
裁定請求 老齢基礎年金 9件 障害基礎年金 14件 遺族基礎年金 1件							
死亡一時金請求 2件							
未支給請求 老齢基礎年金 62件 老齢・通算老齢年金(旧法) 46件 障害基礎年金 6件							
各種申出 口座振替 30件 クレジットカード納付 2件 前納 23件							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 国民年金事務費交付金 2,621千円							
年金生活者支援給付金事務費交付金 464千円							

担当課	保険年金課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する			
事業名	高齢者医療一般						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
779,622	776,302				113,862		20,301 642,139
事業の目的							
後期高齢者医療に係る一般会計分の事業を行う。 ・後期高齢者医療制度に係る療養給付分の市負担金を支払う。 ・鳥取県後期高齢者医療広域連合事業への市負担金を支払う。 ・後期高齢者医療事業会計への保険料軽減分等の繰出を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 ・後期高齢者医療療養給付費負担金 582,576千円 ・鳥取県後期高齢者医療広域連合負担金 34,463千円 28節 繰出金 ・後期高齢者医療事業特別会計へ繰出 159,263千円 (保険基盤安定分 151,815千円・事務費分 7,448千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 保険基盤安定負担金 113,862千円 <b>【その他】</b> 後期高齢者医療療養給付費負担金返還金 20,301千円							

担当課	保険年金課		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する																																															
事業名	特別医療																																																		
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	5 医療助成費																																												
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源																																												
317,760	300,840				132,058		30,510 138,272																																												
事業の目的																																																			
障がいのある人(身体・知的・精神)、18歳の年度末までの人、ひとり親家庭の18歳の年度末までの人の養育者、特定疾病患者について、健康の保持及び生活の安定を図るため、医療費受給者の療養又は医療に要する費用を助成する。																																																			
事業の実績、成果(振返り、効果等)																																																			
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 153千円 12節 役務費 9,186千円 20節 扶助費 291,501千円 特別医療扶助費助成状況																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">資格者数</th> <th style="text-align: center;">給付件数</th> <th style="text-align: center;">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障がい(1・2級)</td> <td style="text-align: center;">782人</td> <td style="text-align: center;">21,610件</td> <td style="text-align: right;">114,386,433円</td> </tr> <tr> <td>知的障がい(重度)</td> <td style="text-align: center;">137人</td> <td style="text-align: center;">3,790件</td> <td style="text-align: right;">10,371,569円</td> </tr> <tr> <td>精神障がい(重度)</td> <td style="text-align: center;">36人</td> <td style="text-align: center;">815件</td> <td style="text-align: right;">5,269,610円</td> </tr> <tr> <td>小児(18歳の年度末まで)</td> <td style="text-align: center;">7,061人</td> <td style="text-align: center;">85,845件</td> <td style="text-align: right;">145,369,640円</td> </tr> <tr> <td>ひとり親家庭</td> <td style="text-align: center;">310人</td> <td style="text-align: center;">4,939件</td> <td style="text-align: right;">12,005,566円</td> </tr> <tr> <td>特定疾病</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">21件</td> <td style="text-align: right;">87,583円</td> </tr> <tr> <td>身障(3・4級)(単市)</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td style="text-align: center;">661件</td> <td style="text-align: right;">1,085,588円</td> </tr> <tr> <td>知的(重度以外)(単市)</td> <td style="text-align: center;">42人</td> <td style="text-align: center;">963件</td> <td style="text-align: right;">1,354,387円</td> </tr> <tr> <td>精神(重度以外)(単市)</td> <td style="text-align: center;">82人</td> <td style="text-align: center;">1,579件</td> <td style="text-align: right;">1,570,287円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">8,475人</td> <td style="text-align: center;">120,223件</td> <td style="text-align: right;">291,500,663円</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	資格者数	給付件数	助成額	身体障がい(1・2級)	782人	21,610件	114,386,433円	知的障がい(重度)	137人	3,790件	10,371,569円	精神障がい(重度)	36人	815件	5,269,610円	小児(18歳の年度末まで)	7,061人	85,845件	145,369,640円	ひとり親家庭	310人	4,939件	12,005,566円	特定疾病	2人	21件	87,583円	身障(3・4級)(単市)	23人	661件	1,085,588円	知的(重度以外)(単市)	42人	963件	1,354,387円	精神(重度以外)(単市)	82人	1,579件	1,570,287円	合 計	8,475人	120,223件	291,500,663円
区 分	資格者数	給付件数	助成額																																																
身体障がい(1・2級)	782人	21,610件	114,386,433円																																																
知的障がい(重度)	137人	3,790件	10,371,569円																																																
精神障がい(重度)	36人	815件	5,269,610円																																																
小児(18歳の年度末まで)	7,061人	85,845件	145,369,640円																																																
ひとり親家庭	310人	4,939件	12,005,566円																																																
特定疾病	2人	21件	87,583円																																																
身障(3・4級)(単市)	23人	661件	1,085,588円																																																
知的(重度以外)(単市)	42人	963件	1,354,387円																																																
精神(重度以外)(単市)	82人	1,579件	1,570,287円																																																
合 計	8,475人	120,223件	291,500,663円																																																
主な特定財源(名称、金額等)																																																			
<b>【県】</b> 特別医療費補助金 127,973千円 特別医療事務費補助金 4,085千円 <b>【その他】</b> 特別医療費高額医療費等清算金 30,510千円																																																			

担当課	保険年金課		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する							
事業名	未熟児養育医療										
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	5 医療助成費				
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源				
3,523	1,580			629	314		319 318				
事業の目的											
<p>身体の発育が未熟なまま出生した未熟児（医師に入院治療が必要と認められ、指定医療機関で入院治療をする場合）に対し、一定の額を除いた医療費自己負担分を助成する。</p>											
事業の実績、成果（振返り、効果等）											
<p>【事業の実績】</p> <p>11節 需用費 2千円  12節 役務費 1千円  20節 扶助費 1,577千円</p> <p>未熟児養育医療費助成状況</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>助成件数</td> <td>助成金額</td> </tr> <tr> <td>16件</td> <td>1,577,122円</td> </tr> </table>								助成件数	助成金額	16件	1,577,122円
助成件数	助成金額										
16件	1,577,122円										
主な特定財源（名称、金額等）											
【国】	未熟児養育医療費負担金	949千円（うち事業充当分 629千円）									
【県】	未熟児養育医療費負担金	314千円									
【その他】	未熟児養育医療費個人負担金	319千円									

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】10 高齢者の活躍による地域の担い手と活力をつくる				
事業名	伯耆しあわせの郷管理運営委託						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
105,423	104,653				40,200	119	64,334
事業の目的							
伯耆しあわせの郷を拠点として、高齢者を中心とした地域住民の生活文化の向上及び健康増進を図る事業を積極的に実施し、活力と潤いのある倉吉市の形成に寄与する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> ・指定管理者選定委員報酬 15千円 ・施設修繕料 940千円 ・伯耆しあわせの郷指定管理料 50,000千円 ・冷温水発生機更新工事設計監理委託料 1,804千円 ・冷温水発生機工事請負費 51,894千円  <b>【事業の成果】</b> 指定管理委託先の旭ビル㈱に対して指定管理料の支払いを行い、その都度協議しながら施設管理を行った。							
<b>【地方債】</b> 防災対策事業債 40,200千円 <b>【その他】</b> 伯耆しあわせの郷光熱水費(ガス代) 119千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	老人福祉一般						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
737,988	698,219		4,294	4,278		598	689,049
事業の目的							
高齢者に対し、介護予防及び生活支援等のための各種高齢者福祉事業を実施することにより、高齢者の自立した生活を確保し、もって福祉の増進に寄与する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績及び成果】</b> ・緊急通報システム事業委託料 緊急通報センター2箇所 端末機178台 4,065千円 ・軽度生活援助事業委託料 延1,134時間 実人員111人 898千円 ・生活管理指導短期宿泊事業委託料 延349日 実人員15人 1,598千円 ・市民後見人養成事業委託料 登録希望者8名 2,131千円 ・緊急通報システム機械借上料 991千円 ・介護保険事業特別会計への繰出金 687,635千円 ・消耗品費ほか 901千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 低所得者保険料軽減負担金 4,294千円 <b>【その他】</b> 軽度生活援助手数料ほか 598千円 <b>【県】</b> 低所得者保険料軽減負担金 2,147千円 地域医療介護総合確保基金事業費補助金 2,131千円							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる			
事業名	措置						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
164,551	159,176					30,088	129,088
事業の目的							
65歳以上の高齢者で家庭環境や経済的理由により、居宅で養護が受けられない人を対象に養護老人ホームへの入所を実施する。 老人福祉法に基づくやむを得ない措置事業を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 養護老人ホーム入所委託料 159,176千円 ・母来寮 25人(年度末の倉吉市入所者数、定員は130人) ・シルバー倉吉 48人(年度末の倉吉市入所者数、定員は50人)							
<b>【事業の成果】</b> 入所者の支援等について2か所の社会福祉法人に委託し、家庭環境や経済的理由により養護老人ホームへの入所措置が必要な高齢者の入所を実施した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 老人保護措置費負担金 30,088千円							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる			
事業名	在宅福祉(間接補助)						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,625	4,393			3,148			1,245
事業の目的							
老人クラブの活動に対して補助を行い、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。 生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担を減免し、低所得利用者の生活の安定と介護保険制度を円滑に実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> ・社会福祉法人利用者負担額軽減事業負担金 3法人 1,020千円 ・倉吉市老人クラブ助成費補助金 50クラブ・1連合会 3,373千円							
<b>【事業の成果】</b> ・生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担を減免し、低所得利用者の生活の安定と介護保険制度を円滑に実施した。 ・老人クラブの活動に対して補助を行うことで、高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 在宅福祉事業費補助金 2,248千円 介護保険利用者負担軽減事業費補助金 900千円							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる			
事業名	敬老会及び敬老の日記念						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,646	13,597						13,597
事業の目的							
75歳以上の高齢者を対象に市内13地区で敬老会を実施し、高齢者の交流の場を提供するとともに、敬老の日を記念して100歳以上の高齢者の長寿をお祝いする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 消耗品費 271千円 印刷製本費 40千円 通信運搬費 16千円 筆耕翻訳料 13千円 敬老会委託料(対象者 75歳以上8,392人) 13,030千円 自動車借上料 227千円							
<b>【事業の成果】</b> 敬老の日を記念して、100歳以上の高齢者の長寿をお祝いました。 75歳以上の高齢者を対象に、13地区の自治公民館協議会と共催で敬老会を実施した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】10 高齢者の活躍による地域の担い手と活力をつくる			
事業名	シルバー人材センター補助						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,360	9,360						9,360
事業の目的							
シルバー人材センターに対し補助金を交付することにより、高齢者の就労機会の場を提供し、生きがいのある生活への支援を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> シルバー人材センター補助金 9,360千円							
<b>【事業の成果】</b> シルバー人材センターに対して補助金を交付することにより、高齢者の就労機会の場を提供し、生きがいのある生活への支援を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる			
事業名	老人憩の家管理						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,598	1,598					85	1,513
事業の目的							
地域の高齢者に対し心身の健康の増進を図るため、教養の向上及びレクリエーション等の場を提供する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 老人憩の家(福吉町、上小鴨、高城、上米積、北谷) ・消耗品費 17千円 ・光熱水費 945千円 ・修繕料 121千円 ・通信運搬費 31千円 ・消防設備等保守手数料 454千円 ・管理委託料 30千円  <b>【事業の成果】</b> ・光熱水費・修繕費等を負担し、適切に維持管理を行った。 ・地域の高齢者に対してレクリエーション等の場を提供することで、心身の健康の増進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】老人憩の家光熱水費 85千円							

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる			
事業名	在宅福祉(単県補助)						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,899	0						0
事業の目的							
高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送るために、住環境整備の実施及び年金を受け取ることができない外国人高齢者等に対し、給付金を支給する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 高齢者居住環境整備助成金 H30年度対象者0人 介護保険の要支援・要介護認定を受けている市民税非課税世帯の人を対象に、玄関・廊下・階段 居室・浴室等住宅の改修に必要な経費(新築・増築を除く)を支援するもの。  <b>【事業の成果】</b> 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送るために、対象者が行う住環境の整備を支援するものであるが、H30年度は該当がなかった。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	高齢者生活福祉センター管理運営委託						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,248	9,248					213	9,035
事業の目的							
高齢者生活福祉センターを管理運営することにより、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者等が安心して健康で明るい生活ができるよう支援する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設修繕料 648千円</li> <li>・高齢者生活福祉センター指定管理料 8,600千円</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>指定管理委託先の(社福)倉吉市社会福祉協議会に対して、指定管理料の支払いを滞りなく行うとともに、施設管理を適切に行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】高齢者生活福祉センター行政財産使用料 213千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	認知症にかかる支援体制整備事業(定住自立圏)						
会計・予算科目	会計一般	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 老人福祉費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,966	1,955						1,955
事業の目的							
タッチパネルを利用した簡易検査で認知症を早期に発見し、医療機関との連携を図りながら適切な診断・治療を行い、認知症になっても地域で安心して暮らし続けることができるようにする。 中部成年後見支援センターの運営を支援し、認知症高齢者等の権利擁護を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>中部成年後見支援センター運営事業委託料 1,955千円 成年後見受任実績36人</p> <p>【事業の成果】</p> <p>中部地区1市4町で中部成年後見ネットワーク倉吉に「中部成年後見支援センター」の運営を委託し、委託先の「中部成年後見支援センター」は、成年後見制度の相談・情報提供・啓発、成年後見に関わる行政機関や関係団体との連絡調整を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	保健衛生一般							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
18,350	15,263						15,263	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部ふるさと広域連合負担金：中部地区の救急医療体制を確保するため、鳥取中部ふるさと広域連合に業務委託を行い、中部市町が実績に応じて負担金を支払う。</li> <li>●中部口腔衛生センター運営費補助金：歯科保健事業を推進するため、鳥取県中部歯科医師会口腔衛生センターに補助金を交付する。</li> <li>●不妊・不育治療費助成金 不妊・不育治療を受けている夫婦に対して、その治療に要する費用の一部を助成する。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節	報酬						75千円	
11節	需用費						28千円	
14節	使用料及び賃借料						16千円	
19節	負担金補助及び交付金						15,144千円	
	・負担金(鳥取中部ふるさと広域連合負担金)						10,873千円	
	(鳥取県救急電話相談事業費負担金)						47千円	
	・助成金(中部歯科医師会口腔衛生センター運営費補助金)						1,426千円	
	(特定不妊治療費助成：30件，人工授精助成：13件)						2,798千円	
【事業の成果】								
中部地区の救急医療体制や歯科保健事業の推進を行うことで、医療サービスが確保された。また、不妊治療・不育治療費の一部助成を行うことで、その治療費に係る経済的負担の軽減が図られた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	保健センター	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	1歳6か月児健康診査						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,430	1,313						1,313
事業の目的							
<p>子どもの健康問題の早期発見や心と体の成長を確認するとともに、保護者の育児不安への対応等の育児支援を実施し、子どもの健やかな成長発達を図る。</p> <p>母子保健法第12条に基づき、幼児の健康の保持及び増進を図ることと、子育て支援を目的として、1歳6か月児を対象に健康診査を実施する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
8節	報償費						836千円(医師、歯科医師等報償費)
11節	需用費						66千円(消耗品費等)
12節	役務費						53千円(郵送料)
13節	委託料						299千円
14節	使用料及び賃借料						59千円
	・1歳6か月健康診査(回数：24回，受診者：363人，受診率：98.4%)						
	・すこやか健康診査(回数：3回，受診者：延10人)						
【事業の成果】							
健診により、子どもの健やかな発育発達への支援を行うことができた。							

担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	矢櫃保健指導所						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,779	5,792			1,071			4,721
事業の目的							
へき地保健指導所運営事業に基づき、関金町矢櫃に保健指導所を設置し、保健師が住民に対し保健指導を行い健康の保持増進を図ることを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 2節 給料 3,268千円(担当保健師1名分) 3節 職員手当等 1,450千円(担当保健師1名分) 4節 共済費 956千円(担当保健師1名分) 11節 需用費 106千円(事務用品、修繕料等) 12節 役務費 3千円(郵送料) 27節 公課費 9千円(自動車重量税) ・健康相談(回数:24回,相談者:延127人) ・家庭訪問(12人) ・健康教育(回数:26回,参加者:139人,関金地区全体で合同開催)							
<b>【事業の成果】</b> 保健指導等を行い住民の健康増進が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県へき地保健指導所運営事業補助金 1,071千円							

担当課	保健センター	施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	妊産婦新生児等訪問指導						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
658	649						649
事業の目的							
母子保健法第11条、17条に基づき、妊産婦、新生児、乳幼児等を対象として、家庭訪問し健康状態の確認、必要な育児指導・助言を行い、育児不安の軽減を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 593千円(助産師) 11節 需用費 56千円(事務用品等) ・妊婦訪問(延10人),産婦訪問(延373人) ・新生児(延20人),未熟児(延7人) ・乳児訪問(延356人),幼児訪問(延12人)							
<b>【事業の成果】</b> 保健師または助産師、母子保健推進員が妊産婦、新生児、乳幼児等の家庭を訪問し、母子の健康状態の確認、育児の指導・助言、相談に応じた。訪問指導により、安心・安全な出産と、児の健やかな発育発達への支援を行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する			
事業名	6か月児健康診査						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
601	580						580
事業の目的							
母子保健法第13条に基づき、6か月児を対象として健診を実施し、乳児の健やかな発育発達を目的として、異常の早期発見と発達確認、育児指導を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 447千円(医師、栄養士) 11節 需用費 46千円(健診用消耗品等) 12節 役務費 47千円(郵送料) 14節 使用料及び賃借料 40千円(タクシー借上料) ・6か月児健康診査(回数:24回,受診者数:364人,受診率 98.9%) ・母子保健相談室の設置 妊娠届:353人 保健指導 妊産婦:369人(353人+転入16人),乳幼児:5人 ・育児相談 保健センター:乳児 延51人,幼児 延 30人  <b>【事業の成果】</b> 健診により、子どもの健やかな発育発達への支援を行った。また、保健師又は助産師が、妊娠届を受理し、母子健康手帳の交付を行うなど、妊産婦・乳幼児の保健指導を実施することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する			
事業名	5歳児発達相談						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
108	102						102
事業の目的							
5歳児を対象に集団生活における社会性や自己統制力の発達等を診ることで、発達障がい児の早期発見や、就学に向けて児の特性にあわせた適切な支援をするため、また、子育てに関する保護者からの相談に対して適切な助言等を行い子育てへの支援をするため、発達相談を実施するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 36千円(臨床心理士) 12節 役務費 5千円(郵送料) 13節 委託料 54千円 14節 使用料及び賃借料 7千円(タクシー借上料) ・5歳児発達相談(回数:3回) 相談者(医師:15人,臨床心理士:9人,教育委員会指導主事:7人)  <b>【事業の成果】</b> 発達相談が必要と思われる5歳児とその保護者を対象に、脳神経小児科医師、臨床心理士、教育委員会指導主事による個別相談を実施した。 相談結果により専門機関への紹介、保育園での対応、子育て相談など継続的な支援を行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	3歳児健康診査							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,601	3,485						3,485	
事業の目的								
母子保健法第12条に基づき3歳児に対し視聴覚や社会的発達(対人関係等)の障がいの早期発見を行い適切な支援につなげる。また、むし歯の予防、栄養、生活習慣、育児等の指導を行い、健康の保持増進と育児支援を目的に実施する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
1節 報酬	1,919千円(一般職非常勤職員1名分)							
4節 共済費	294千円(一般職非常勤職員1名分)							
8節 報償費	682千円(医師、歯科医師、栄養士)							
11節 需用費	156千円(健診用消耗品等)							
12節 役務費	86千円(郵送料)							
13節 委託料	304千円							
14節 使用料及び賃借料	44千円(タクシー借上料)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健康診査(回数:24回,受診者:371人,受診率:98.9%)</li> <li>・乳幼児期における歯科保健指導 ・フッ素塗布(48回,延638人)</li> <li>・歯科保健指導(保育園・認定こども園等 延1,613人)</li> </ul>								
<b>【事業の成果】</b>								
健診により、子どもの健やかな発育発達への支援を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	妊産婦・乳幼児健康診査							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
41,341	37,408			156			37,252	
事業の目的								
母子保健法第13条に基づき、健やかな妊娠と出産のために、医療機関に委託し、妊婦・乳児の健康診査を実施する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
11節 需用費	35千円(受診票印刷代等)							
12節 役務費	441千円(国保連合会審査支払手数料)							
13節 委託料	36,362千円							
18節 備品購入費	52千円							
20節 扶助費	518千円(妊婦歯科健診)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診 延 4,240人</li> <li>・妊婦歯科検診 149人</li> <li>・県外での妊婦健診の費用助成 延90回分</li> <li>・乳児健康診査(3~4か月) 309人 ・乳児健康診査(9~10か月) 304人</li> </ul>								
<b>【事業の成果】</b>								
各種健診により、安心・安全な出産と、児の健やかな発育発達への支援を行った。								
<b>【県】</b> 子育て応援市町村交付金 156千円								

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する			
事業名	母子健康教室						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
3,235	723	財源内訳		205			518
事業の目的							
倉吉市いきいき健康・食育推進計画の遂行に伴い、妊産婦及び乳幼児時期から健康な生活が送ることができ、あわせて子どもの成長に伴う子育ての不安を軽減し子育てを支援することを目的として、教室や相談事業を実施する。中部定住自立圏事業として、思春期を対象とした事業を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
4節 共済費	5千円						
8節 報償費	115千円(各種講演会等講師)						
11節 需用費	242千円(食材料費等)						
12節 役務費	337千円(通信運搬費113千円, 手数料142千円, 保険料82千円)						
14節 使用料及び賃借料	24千円(会場借上料18千円, 自動車借上料 6千円)						
①離乳食講習会(調理編:6回 93人, 講義編:6回 69人)							
②いのちの教育を小学校において実施(小学校9校, 児童数289人)							
③にこにこ教室(11回 延48人)							
④母親・両親学級(えっぐクラブ)(9回 妊婦49人・夫40人・夫婦39組)							
<b>【事業の成果】</b>							
「倉吉いきいき健康・食育推進計画」に基づき、妊婦及び乳幼児期から食生活や子育ての助言を行い、生涯を通じた心身の健康保持増進・生活習慣病の予防を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 子育て応援市町村交付金 205千円							

担当課	保健センター		施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める			
事業名	保健センター運営						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
10,883	8,094	財源内訳					8,094
事業の目的							
市民の健康保持、増進を図るため、乳幼児健診、がん検診、保健指導及び健康教育事業等、保健事業の拠点となる保健センターの管理運営を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
4節 共済費	1千円						
9節 旅費	156千円						
11節 需用費	110千円(消耗品費102千円, 修繕料8千円)						
12節 役務費	3,325千円(通信運搬費258千円, 健康管理システム保守管理手数料3,067千円)						
14節 使用料及び賃借料	584千円(印刷機、コピー機機械借上料)						
19節 負担金補助及び交付金	3,918千円(保健センター維持管理負担金)						
<b>【事業の成果】</b>							
保健事業の拠点となる保健センターの維持管理を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する			
事業名	妊娠・出産包括支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,883	4,809		2,001	1,686		32	1,090
事業の目的							
妊娠期から出産後までの、心身ともに不安定になりがちな妊産婦を総合的に支援することで、育児不安の早期解消を図り、児童虐待等の未然防止を図る。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
1節	報酬	3,491千円					
4節	共済費	557千円					
11節	需用費	238千円					
12節	役務費	11千円					
13節	委託料	106千円					
14節	使用料及び賃借料	406千円（自動車借上料190千円、情報サービス使用料216千円）					
【事業の成果】							
妊娠から出産、産後の切れ目のない支援として、事業担当保健師及び助産師、看護師を配置し、事業展開を行った。ハイリスク妊婦や特定妊婦等に対しては、関係機関と情報共有をし、専門的な支援を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【国】 子ども・子育て支援交付金 1,686千円（補助率1/3），母子保健衛生費補助金 315千円							
【県】 鳥取県子ども・子育て支援交付金 1,686千円（補助率1/3）							
【その他】 産後ケア利用料 32千円							

担当課	保健センター		施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める			
事業名	感染症予防						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 感染症予防費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
78	73						73
事業の目的							
感染症の予防に関する啓発及び感染症の発生が疑われる区域等の消毒を行う。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
3節	職員手当	6千円					
11節	需用費	67千円					
【事業の成果】							
感染症発生時に備え、薬液や感染防止用品を購入し、備蓄品の整備を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	個別予防接種							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 予防費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
143,020	140,093	財源内訳					140,093	
事業の目的								
各種予防接種を実施することにより、伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
1節	報酬	15千円						
9節	旅費	2千円						
11節	需用費	904千円						
12節	役務費	2,225千円（通信運搬費 2,067千円，保険料 158千円）						
13節	委託料	117,402千円						
20節	扶助費	19,545千円						
①	定期予防接種	麻疹・風しん：712人，日本脳炎：1,793人，4種混合：1,376人，不活化ポリオ：7人，2種混合：418人，BCG：349人，ヒブ：1,413人，小児用肺炎球菌：1,406人，子宮頸がん：15人，水痘：623人，B型肝炎：1,026人，高齢者用肺炎球菌：1,717人，インフルエンザ（高齢者）：9,288人						
②	任意予防接種助成事業	おたふくかぜ：355人，ロタウイルス：693人，インフルエンザ（乳幼児）：2,577人，インフルエンザ（障がい児・者）：250人						
③	定期予防接種助成	高齢者用肺炎球菌：502人，インフルエンザ（高齢者）：3,787人						
【事業の成果】								
予防接種を行うことで、伝染性の感染症予防を図ることができた。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保健センター		施策	【戦略】7 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する				
事業名	風しんワクチン接種費助成事業							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 予防費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,080	770	財源内訳		381			389	
事業の目的								
風しんの流行を予防し、生まれてくる子どもを先天性風しん症候群（CRS）から守るための対策として、風しんの抗体価が低い者へのワクチン接種の助成を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
12節	役務費	7千円（通信運搬費）						
20節	扶助費	763千円（風しんワクチン接種助成費）						
〔接種対象者〕								
妊娠を希望する女性で抗体価の低い人，抗体価の低い妊娠を希望する女性の同居者で、抗体価の低い人，妊婦の配偶者，妊婦の同居者								
・接種者数：116人								
【事業の成果】								
風しんワクチン接種を希望する者に、予防接種の費用の一部を助成することにより、予防接種の推進を図ることができた。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】風しんワクチン接種費助成事業費補助金 381千円								

担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	がん検診						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
76,127	75,143		166	388			74,589
事業の目的							
がんの早期発見及び死亡者数を減少させることを目的として、各種がん検診を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 4千円 8節 報償費 14千円 11節 需用費 922千円(消耗品費 142千円, 受診券・問診票・封筒等印刷製本費 780千円) 12節 役務費 4,011千円(通信運搬費 2,933千円, 手数料 1,078千円) 13節 委託料 70,192千円 [受診者数] 胃がん検診: 3,213人, 肺がん検診: 3,227人, 大腸がん検診: 3,384人, 子宮がん検診: 2,204人, 乳がん検診: 1,304人, 前立腺がん検診: 1,310人  <b>【事業の効果】</b> 検診によって、がんの早期発見を促すとともに、訪問・相談・健康教育等により、必要な助言や指導を行い、健康の保持増進を図ることができた。							
<b>【国】</b> 新たながん検診の総合支援事業費補助金 166千円 <b>【県】</b> 休日がん検診実施支援費補助金 346千円 大腸がん検診特別推進事業費補助金 42千円							

担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	健康教育						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
856	698			85			613
事業の目的							
生活習慣病その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各種健康教育を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 116千円 11節 需用費 381千円(健康教育関係物品消耗品) 12節 役務費 199千円(通信運搬費 176千円, 保険料 23千円) 14節 使用料及び賃借料 2千円(会場借上料) ・健康教育 開催回数: 81回, 参加者: 2,435人  <b>【事業の効果】</b> 健康教育等を通じて、健康に関する正しい知識の普及を行い、健康の保持増進を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県健康増進事業費補助金 85千円							



担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	健康相談						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
413	247			94			153
事業の目的							
健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 203千円(事務用品等消耗品費 33千円, 公用車燃料費 170千円) 12節 役務費 44千円(通信運搬費) ・健康相談(総合)回数:24回, 参加延人数:1,350人 ・健康相談(重点)回数:23回, 参加延人数:101人  <b>【事業の効果】</b> 個別に行う健康相談等により、必要な助言や指導を行い、健康の保持増進を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県健康増進事業費補助金 94千円							

担当課	保健センター	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	健康診査						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,721	2,721			1,386			1,335
事業の目的							
各種健康診査を実施し、自身の健康状態を知り、生活習慣を改善するとともに、病気の早期発見や重症化防止を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 159千円(検診票印刷費等) 12節 役務費 110千円(通信運搬費) 13節 委託料 2,417千円 (歯周疾患検診受診者数:267人, 一般健診受診者数:30人, 肝炎ウイルス検査受診者数:420人) 14節 使用料及び賃借料 35千円(会場借上料)  <b>【事業の効果】</b> 健康診査によって疾患を早期発見し、生活習慣病を予防していくことで、健康の保持増進を図ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県健康増進事業費補助金 1,386千円							

担当課	保健センター		施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	訪問指導							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
675	673			34		5	634	
事業の目的								
保健指導が必要と認められる人及びその家族に対して家庭訪問し、健康問題を総合的に把握し、必要な保健指導を行い、健康の保持増進を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>11節 需用費 257千円(消耗品費 30千円, 公用車修繕料 227千円)</p> <p>14節 使用料及び賃借料 378千円(自動車借上料)</p> <p>27節 公課費 38千円(自動車重量税)</p> <p>【事業の効果】</p> <p>保健指導が必要と認められる人及びその家族に対して、保健師・栄養士等による訪問指導等を行い、必要な保健指導等を行うことで、健康の保持増進が図られた。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】鳥取県健康増進事業費補助金 34千円								

担当課	保健センター		施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	こころの健康づくり事業							
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 健康増進費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
286	282			136			146	
事業の目的								
こころの健康に関する正しい知識を普及し、自死を未然に防止するために、関係機関と連携し自死対策を推進する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>8節 報償費 100千円</p> <p>11節 需用費 182千円(健康教育用消耗品, 啓発用物品)</p> <p>【事業の成果】</p> <p>こころの健康に関する講演会をはじめとする健康教育の場等を活用して、相談体制や正しい知識の普及を行い、こころの健康づくりについて推進することができた。</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】鳥取県市町村自死対策強化交付金 136千円								

担当課	管理計画課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	公共施設等緊急安全確保対策						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
53	52						52
事業の目的							
平成30年6月大阪府北部地震で発生したブロック塀の倒壊と同様の事故を防ぐため、市の施設で早急に対応すべきものの対策経費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 52千円 ・市有施設ブロック緊急安全確保対策(撤去)八幡児童遊園地分 52千円  <b>【事業の成果】</b> 倒壊の可能性のあるブロック塀を撤去し、安全を確保した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	管理計画課	施策	29 まちの骨格を形成する幹線道路網を整える				
事業名	道路橋梁総務(管理)						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
17,758	16,600					196	16,404
事業の目的							
認定道路の適正な管理を行うため、道路台帳システム等保守並びに台帳作成及び修正を行うもの。国県道整備に係る期成会に参画し、要望及び期成会活動等を通じて各道路の整備促進を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 09節 旅費 400千円 11節 需用費 消耗品費 245千円 事務用品 13節 委託料 15,611千円 道路台帳閲覧システム機器更新委託料 4,509千円 道路台帳システム等保守委託料 1,661千円 システム保守管理及び道路認定・修正路線の追加・修正等 道路台帳作成及び修正委託料 4,482千円 道路台帳修正対象 38路線 道路台帳データ作業業務(H28~H30) 4,959千円(H30支払分) 道路台帳のデジタル化データ作成 19節 負担金補助及び交付金 344千円 道路改良期成会負担金 271千円ほか  <b>【事業の成果】</b> 道路台帳の作成・修正及びシステム管理を行い、市道の適正な管理を図った。 国・県道等の整備促進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> コピー使用料等 26千円 期成同盟会負担金返還金 169千円							

担当課	管理計画課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	境界確定						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路維持費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
959	381						381
事業の目的							
市道や法定外公共物(赤線・青線)についての境界確定事務を迅速かつ適正に実施し、将来にわたって、これら行政財産の適切な保全並びに管理ができる体制を整えるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費							
消耗品費 114千円							
燃料費 93千円							
修繕料 13千円							
12節 役務費 161千円 境界確定に係る土地測量・調査業務及び書類作成に係る手数料(1件)							
【事業の成果】							
境界確定申請に対し立会(立会件数 101件)を行い、道路・法定外公共物の明確化を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	管理計画課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	都市計画総務(景観)						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,342	1,224					1,224	0
事業の目的							
自然と調和した快適空間の創造と総合的な土地利用の促進、良好な景観の形成を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
01節 報酬 55千円							
11節 需用費 35千円							
消耗品費 20千円							
印刷製本費 15千円							
13節 委託料 1,134千円							
屋外広告物管理システム保守業務 97千円							
都市計画道路見直し業務 1,037千円							
【事業の成果】							
良好な景観形成と公衆に対する危害防止のため、事業者に新規及び更新申請の徹底を図り、違反広告物の削減を図った。							
都市計画マスタープランに基づき、廃止する都市計画道路の手続きを開始した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】 屋外広告物許可申請手数料 1,357千円(うち事業充当分 1,224千円)							
開発行為許可申請手数料 190千円(うち事業充当分 0千円)							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える					
事業名	倉吉打吹地区街なみ環境整備							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
14,854	12,002	財源内訳			964			11,038
事業の目的								
「遙かな街との出会い」をテーマに地区の街並みが統一され、調和された倉吉特有の歴史(文化、香、水、緑)の要素を取り入れ、先人が築き上げた八橋往来、玉川沿いの歴史的建造物などの街並みを活かし、生活感があり快適で現代的要素も加味しながら街並み環境整備を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
08節 報償費 倉吉打吹地区修景整備デザイン審査会報償費 85千円								
09節 旅費 9千円								
11節 需用費 消耗品費 28千円								
14節 使用料及び賃借料 土木積算システム借上料 447千円								
19節 負担金補助及び交付金 街なみ環境整備事業費補助金 11,433千円 修景施設整備補助(対象:10件)								
【事業の成果】 まちなみ景観再生のための修景施設整備補助を実施し、社会資本総合整備計画に基づく潤いと安らぎの住環境の整備を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】街なみ環境整備等促進事業費補助金 964千円								

担当課	管理計画課	施策	38 消費生活の安全・安心を守る					
事業名	都市計画総務(管理)							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
446	338	財源内訳						338
事業の目的								
建設工事及び測量等業務に係る指名、入札等に関する業務を一元化して行っており、入札及び契約等の適正化並びに公共工事の品質確保を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節 需用費 消耗品費 67千円								
12節 役務費 通信運搬費 20千円								
14節 使用料及び賃借料 251千円 情報サービス使用料 140千円 コリンズ・テクリスWeb版検索システム ほか 機械借上げ料 111千円 コピー機								
【事業の成果】 入札及び契約等の適正化並びに公共工事の品質確保を図った。 ・建設工事入札執行 147件 ・測量等業務入札執行 59件								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	管理計画課	施策	29 まちの骨格を形成する幹線道路網を整える				
事業名	県道改良事業費地元負担金（街路事業）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
16,951	9,271						
事業の目的							
交通の難所となっている県道上井北条線の上井踏切から駅南口までの間において、倉吉駅周辺へのアクセス道路として市道駅北通り線の一部を県道として整備することで、交通の円滑化と歩行者・自転車の通行の安全を図る。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 9,271千円 県道上井羽合線の改良事業に伴う地元負担金 事業費 138,370,106 円×6.7%							
【事業の成果】 事業により幹線道路網が整えられ通行の安全性・利便性が向上した。  令和元年度（平成31年度）への繰越額：6,139千円							
主な特定財源（名称、金額等）							
【地方債】街路整備事業債 8,300千円							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	打吹公園管理						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
30,476	30,331						
事業の目的							
市民全般の休息・散歩・観賞等総合的に利用されている打吹公園の快適かつ安全・安心な魅力ある公園としての維持管理を行う。 ○公園内トイレの清掃及び遊具点検・維持管理 ○公園内の除草・植栽管理 ○動物舎の動物飼養・動物舎清掃及び維持管理 ○飛龍閣の維持管理 ○施設改修（動物舎フェンス・てすり・遊歩道）							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 01節 報酬 10,353千円 打吹公園管理人報酬（5人） 04節 共済費 1,770千円 打吹管理人社会保険料（5人） 11節 需用費 6,977千円 打吹公園内施設・設備等修繕 1,360千円 ほか 飼料費 1,794千円 ほか 12節 役務費 3,172千円 枯損木・危険木・高木伐採処理等・動物診察費 ほか 13節 委託料 6,599千円 植栽管理（打吹公園つつじ剪定・桜施肥・ナラ枯れ予防） 2,531千円 公園清掃に係るシルバー人材センター委託 3,854千円 ほか公園施設清掃 打吹山貯水槽清掃業務 214千円 14節 使用料及び借り上げ料 312千円 リース車・長谷寺土地・AED借り上げ 15節 工事請負費 975千円 羽衣池水中モーターポンプ設置工事 16節 原材料費 131千円 園内整地用真砂土・施設修繕材料ほか 18節 備品購入費 22千円 管理事務所ストーブ・カギ付き保管庫 19節 負担金補助及び交付金 20千円 大山国立公園協会会費							
【事業の成果】 ◇打吹公園利用者：延 102,000 人 ◇飛龍閣利用者：45件 約1,000人 打吹公園内施設の健全な維持管理、植栽管理を行い、来園者が安全安心して過ごしていただける環境作りを行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】 中国自然歩道管理委託金 89 千円 【その他】 公園使用料 1,235 千円 緑を守り育てる基金繰入金 4,000 千円							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	トイレ管理						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,010	3,881						3,881
事業の目的							
市内の公衆用トイレ施設4ヶ所(さわやかトイレ(ポケットパーク)・上灘多目的施設・福祉センター前トイレ・西倉吉ターミナルトイレ)の維持管理。 ○各施設清掃委託 ○施設定期清掃委託 ○各施設定期点検及び修繕							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 1,269千円 トイレ施設修繕ほか 12節 役務費 473千円 ポケットパーク剪定・トイレ排水詰まり取り除き等 13節 委託料 2,139千円 清掃管理に係るシルバー人材センター委託 対象:4施設  <b>【事業の成果】</b> トイレの適正な維持・管理を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	まちづくり管理						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,145	3,040						3,040
事業の目的							
プロムナード公園(プロムナード池周辺)・西武者緑地・小鴨地区広場・絵下谷川側道桜並木、倉吉駅南広場・伯耆回廊みちしるべ案内所、C11蒸気機関車展示場(明治町2丁目)、西倉吉工業団地緑地の維持管理。 ○各施設除草、樹木剪定及び伐採 ○各施設定期点検及び修繕							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 1,771千円 倉吉駅周辺施設修繕ほか 12節 役務費 484千円 絵下谷川側道桜並木病虫害防除 484千円 病虫害(毛虫)に対する薬剤散布2回 13節 委託料 785千円 西倉吉工業団地緑地剪定作業・みどりの彫刻プロムナード公園剪定業務 703千円 清掃管理に係るシルバー人材センター委託 82千円  <b>【事業の成果】</b> 西倉吉工業団地緑地・絵下谷川桜並木の適正な植栽管理を行った。 倉吉駅南口広場を中心とした倉吉駅の施設の修繕を行い利用者の利便性向上を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	公園管理事業						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,838	10,275					4,000	6,275
事業の目的							
<p>都市公園以外の公園施設126ヶ所の維持管理。</p> <p>○公園管理委託(地元公民館等42団体) ○ゴミ収集委託 ○各施設定期点検及び修繕 ○公園施設台帳整備  ○公園内行為及び占用許可 ○大平山公園(トイレ清掃委託/除草、樹木剪定及び伐採/浄化槽維持管理/水質検査) ○  研屋町公園(園内清掃委託)</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>11節 需用費 2,526千円  公園遊具・フェンス等施設修繕 1,999千円ほか</p> <p>12節 役務費 1,617千円  草刈・集草・樹木伐採・病虫害防除等</p> <p>13節 委託料 4,382千円  地元公民館等への管理委託 2,311千円 対象:76公園・42団体  公園清掃管理に係るシルバー人材センター委託 609千円 対象:3公園  維持管理(高木等植栽剪定・水質検査・浄化槽維持等) 1,278千円  公園遊具点検業務 184千円</p> <p>14節 使用料及び賃借料 188千円  リース車借り上げ料</p> <p>15節 工事請負費 1,533千円  公園遊具取替工事 対象:3公園、新規遊具への更新</p> <p>16節 原材料費 29千円 公園の整地・砂補充ほか</p> <p><b>【事業の成果】</b>  地元による公園の維持管理及び遊具等施設点検を行い、健全な維持管理を図った。  遊具の更新・修繕を行い、利用者の利便性の向上を図った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 4,000千円</p>							

担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	都市公園管理						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,452	9,386						9,386
事業の目的							
<p>都市公園21ヶ所の維持管理。</p> <p>○公園管理委託(地元公民館等18団体) ○ゴミ収集委託 ○トイレ及び園内清掃委託 ○公園施設台帳整備  ○各施設除草、樹木剪定及び伐採 ○各施設定期点検及び修繕 ○公園内行為及び占用許可</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>11節 需用費 2,902千円  都市公園遊具・外灯等施設修繕 2,028千円ほか</p> <p>12節 役務費 1,541千円  草刈・集草・樹木伐採等維持管理ほか</p> <p>13節 委託料 4,852千円  地元公民館等への管理委託 1,362千円 対象:27公園(その他公園含む)・20団体  都市公園清掃管理に係るシルバー人材センター委託 2,755千円 対象:13公園  植栽管理委託 459千円  都市公園遊具点検業務 276千円</p> <p>16節 原材料費 91千円 公園の整地・砂補充ほか</p> <p><b>【事業の成果】</b>  地元による都市公園施設の維持管理及び遊具等施設点検を行い、健全な維持管理を図った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							



担当課	管理計画課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	公園施設長寿命化対策支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 公園費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,728	4,727		2,145		2,100		482
事業の目的							
公園施設の更新により、公園施設の長寿命化を図るとともに安全・安心な公園として整備する。 ・小田東第二児童公園、宮川公園、福守児童公園、七峰公園の遊具取り替え							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 15節 工事請負費 4,727千円 ○小田東第二児童公園(ブランコ1基、鉄棒1基)      ○宮川公園(ブランコ1基) ○福守児童公園(滑り台1基)      ○七峰公園(スウィング遊具1基)							
【事業の成果】 老朽化した遊具を取替え、安全・安心な公園として整備した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 防災・安全交付金(公園施設長寿命化対策) 2,145千円 【地方債】 公園整備事業債 2,100千円							

担当課	管理計画課	施策	その他(鳥取県中部地震対策)				
事業名	【震災関連】被災宅地擁壁等復旧事業						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	2 住宅建設費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,172	11,515			5,758			5,757
事業の目的							
平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震により、被災した宅地の擁壁の復旧に要する経費の一部を補助し、住家の安全を確保する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 11,515千円 被災宅地擁壁等復旧事業補助金 11,515千円 21件							
【事業の成果】 補助事業を通じて、住家の安全性の早期回復を図った。  令和元年度(平成31年度)への繰越額:2,000千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】被災宅地擁壁等復旧事業費補助金 5,758千円							

担当課	管理計画課	施策	29 まちの骨格を形成する幹線道路網を整える				
事業名	県道改良事業費地元負担金【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	3 都市計画総務費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,030	5,030				4,400		630
事業の目的							
交通の難所となっている県道上井北条線の上井踏切から駅南口までの間において、倉吉駅周辺へのアクセス道路として市道駅北通り線の一部を県道として整備することで交通の円滑化と歩行者・自転車の通行の安全を図る。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金 5,030千円 県道上井羽合線の改良事業に伴う地元負担金 事業費 75,079,432円×6.7%（繰越明許分）							
<b>【事業の成果】</b> 事業により幹線道路網が整えられ通行の安全性・利便性が向上した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【地方債】 街路整備事業債 4,400千円							

担当課	管理計画課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	市道災害復旧事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	2 公共土木施設災害復旧費	目	4 公共土木施設単独災害復旧費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,100	8,100				8,000		100
事業の目的							
平成29年台風18号により、市道倉吉駅南北線の倉吉駅北口自由通路エスカレーターの下ピットに大量の雨水が流入し、冠水のためエスカレーターの機器に被害が生じ、復旧工事を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 8,100千円 ・市道倉吉駅南北線エスカレーター冠水復旧工事 8,100千円							
<b>【事業の成果】</b> エスカレーターが通常使用できるよう復旧工事を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【地方債】 公共土木施設単独災害復旧事業債 8,000千円							

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える				
事業名	土木総務（建設）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	1 土木総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
331	269					65	204
事業の目的							
工事図面作成システムの管理等、道路橋梁事業に係る事務を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 09節 旅費 23千円 11節 需用費 44千円 12節 役務費（工事図面等作成システム保守料外）198千円 19節 負担金補助及び交付金（研修会参加負担金）4千円  <b>【事業の成果】</b> 工事図面作成システムの管理等、道路橋梁事業に係る事務を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【その他】</b> 土木費雑入（設計システム使用料） 65千円							

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える				
事業名	道路橋梁総務（建設）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁総務費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,650	9,518			691	800		8,027
事業の目的							
夜間交通の安全確保を図るため、道路照明灯の管理や防犯街灯設置の支援を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費（道路照明灯電気使用料、道路照明灯修繕料）4,967千円 15節 工事請負費 983千円 ・倉吉駅南通り線LED切替工事983千円 19節 負担金補助及び交付金 3,568千円 ・防犯街灯設置費補助金（交付件数：135件）3,568千円  <b>【事業の成果】</b> 道路照明灯の維持管理や防犯街灯設置費補助金を自治公民館に交付する等により夜間通行の安全の確保を図った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【県】</b> LED防犯灯設置促進事業費補助金 691千円 <b>【地方債】</b> 地域活性化事業債 800千円							

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える					
事業名	除雪対策							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
56,538	28,101	財源内訳			947		3	27,151
事業の目的								
道路交通の円滑化を図るため、除雪を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
07節 賃金 212千円								
08節 報償費(地域除雪作業報償金) 57千円								
11節 需用費(凍結防止剤購入費、除雪車燃料費、融雪装置電気代、除雪車点検等) 6,893千円								
12節 役務費 580千円								
13節 委託料(支障木伐採撤去、支障箇所修繕、融雪装置管理業務) 2,472千円								
14節 使用料及び賃借料(除雪車、凍結防止剤散布車機械借上料等) 16,162千円								
19節 負担金補助及び交付金 1,624千円								
・除雪機械運転手育成支援事業費補助金 1,624千円								
27節 公課費 101千円								
【事業の成果】								
除雪を実施し、冬季の道路交通の円滑化を図った。								
地域での除雪作業に対する報償金の交付や小型除雪機の貸出を行い、地域除雪の推進を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】歩道除雪費委託金 139千円								
【県】除雪機械運転手育成支援事業費補助金 808千円								

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える					
事業名	道路維持(建設)							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路維持費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
165,770	159,522	財源内訳				41,200	25,038	93,284
事業の目的								
道路を適切に管理するため、道路舗装や側溝の修繕等を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
07節 賃金(市道維持作業員労務賃金) 537千円								
11節 需用費(道路修繕料等) 5,876円								
12節 役務費 190千円								
13節 委託料 道路維持業務(植樹管理、除草等) 48,477千円								
14節 使用料及び賃借料(建設機械借上料) 15,182千円								
15節 工事請負費 73,567千円								
・道路舗装等維持工事 21,784千円								
・道路舗装、側溝工事(起債対象) 45,835千円								
・交通安全施設整備、区画線復旧工事 5,948千円								
16節 原材料費(道路補修用原材料) 9,967千円								
17節 公有財産購入費(市道新町3丁目堺町3丁目線) 203千円								
22節 補償補填及び賠償金(物件移転補償金4,634千円、賠償金868千円) 5,502千円								
27節 公課費 21千円								
※ 令和元年度への繰越額(市道新町3丁目堺町3丁目線側溝改良事業) 4,000千円								
【事業の成果】								
道路舗装工事や側溝改良工事、交通安全施設整備工事等を実施し、通行者の安全確保を図った。								
自治公民館に道路補修材の支給、建設機械貸与を行い、市道等の維持管理の推進を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】地方道路等整備事業債 41,200千円								
【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 25,000千円								

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える					
事業名	一般道路新設改良							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
62,500	46,191					41,500		4,691
事業の目的								
車両通行の円滑化や歩行者の安全確保を図るため、市道の改良工事を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
04節 共済費 22千円								
07節 賃金(市道維持作業員労務賃金) 144千円								
11節 需用費 29千円								
12節 役員費 70千円								
15節 工事請負費 45,926千円								
・側溝改良工事(市道住吉町1号線) 5,931千円								
・公共施設等適正管理事業(舗装及び道路付属物修繕工事) 39,995千円								
市道野添1号線舗装工事(前払金) 3,930千円								
市道東巖城町米田町1号線舗装工事 18,039千円								
市道線小田3号線外舗装工事 14,160千円								
道路付属物(照明、標識)修繕工事 3,866千円								
※ 令和元年度への繰越額(市道野添1号線舗装工事) 7,573千円								
【事業の成果】								
市道の舗装や側溝改良工事を行い、通行の円滑化と安全の確保を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】 地方道路等整備事業債 5,300千円								
【地方債】 公共施設等適正管理事業債 36,200千円								

担当課	建設課	施策	29 まちの骨格を形成する幹線道路網を整える					
事業名	地方道路整備事業(地域活力基盤創造交付金)							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
89,966	59,801			27,534		29,000		3,267
事業の目的								
車両通行の円滑化等を図るため、市道の改良工事を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
04節 共済費 45千円								
07節 賃金 275千円								
11節 需用費 132千円								
13節 委託料(市道和田東町井手畑線) 22,265千円								
14節 使用料及び賃借料 721千円								
15節 工事請負費 34,624千円								
・市道八屋福庭線 16,924千円、								
・市道西倉吉町北野線(前払金、部分払) 17,700千円								
17節 公有財産購入費(市道小鴨福山線、市道西倉吉町北野線) 429千円								
22節 補償補填及び賠償金(市道西倉吉町北野線物件移転補償金) 1,310千円								
※ 令和元年度への繰越額(市道西倉吉町北野線道路改良事業、市道和田東町井手畑線道路改良事業) 29,622千円								
【事業の成果】								
市道の改良工事を行い、車両通行の円滑化等を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】 社会資本整備総合交付金(地域活力基盤創造交付金) 27,534千円								
【地方債】 地域活力基盤創造交付金事業債 29,000千円								

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	一般道路新設改良（緊急防災・減災事業）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
43,320	39,438	財源内訳			39,400		38
事業の目的							
減災、防災対策として避難路の整備工事を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 04節 共済費 22千円 07節 賃金 137千円 11節 需用費 98千円 15節 工事請負費（市道三明寺東12号線整備工事）39,181千円							
<b>【事業の成果】</b> 避難路整備工事を行い、減災、防災対策を推進した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【地方債】</b> 緊急防災・減災事業債 39,400千円							

担当課	建設課	施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える				
事業名	安全安心生活空間の整備（社会資本整備総合交付金）						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
306,172	257,273	財源内訳	133,959		90,600		32,714
事業の目的							
車両通行の円滑化や歩行者の安全確保を図るため、通学路の安全対策事業や道路舗装、側溝整備、橋梁点検、橋梁補修等を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 04節 共済費 455千円 07節 賃金 3,041千円 11節 需用費 1,554千円 12節 役務費 98千円 13節 委託料 82,641千円 ・橋梁定期点検36,056千円、橋梁補修設計業務（南谷橋、新野添橋、富海2号橋、沢谷大橋外）18,096円 ・市道改良工事測量設計業務14,643千円、路面下空洞調査10,139千円、工損調査3,707千円 14節 使用料及び賃借料 2,299千円 15節 工事請負費 165,351千円 ・通学路安全対策工事（市道大谷大谷茶屋線）40,580円 ・橋梁補修工事（郡家橋、神社橋、野津見橋、海田西町2号橋、丸山町北野2号橋）48,988千円 ・市道上井4号線側溝改良工事11,750千円、・市道住吉町円谷町線側溝改良工事22,000千円 ・市道うわなだ散歩道線整備工事26,336千円、・市道幸町下田中町線点字ブロック整備工事6,617千円 ・市道大谷大谷茶屋線舗装修繕工事9,080千円 17節 公有財産購入費（市道大谷大谷茶屋線）1,190千円 22節 補償補填及び賠償金（市道大谷大谷茶屋線物件移転補償金）644千円 ※ 令和元年度への繰越額（市道大谷大谷茶屋線通学路安全対策事業、神社橋・郡家橋補修工事）47,507千円							
<b>【事業の成果】</b> 通学路安全対策工事や橋梁補修工事等を行い、生活空間の安全の確保等を図った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【国】</b> 防災安全交付金（安全安心生活空間整備交付金）133,959千円 <b>【地方債】</b> 安全安心生活空間整備交付金事業債 90,600千円							

担当課	建設課		施策	30 安全な暮らしを支える生活道路を整える				
事業名	橋梁維持補修							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	4 橋梁維持費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,000	963						963	
事業の目的								
橋梁の保全と通行者の安全を確保するため、橋梁の維持を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費(橋梁維持補修) 963千円								
【事業の成果】 橋梁の維持補修を実施した。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	建設課		施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	河川総務及び維持							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
47,972	46,023		2,032	424	26,300	11,000	6,267	
事業の目的								
河川の改修や浚渫について、関係自治体と連携して国に要望活動を行い、治水・砂防事業の推進を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 01節 報酬(樋門操作員) 1,165千円 09節 旅費 248千円 11節 需用費 752千円 12節 役務費 74千円 13節 委託料 2,310千円 ・排水機場等点検操作631千円、・樋門点検操作業務569千円 ・浸水対策調査業務(福庭東) 432千円、・流木撤去業務(野添) 678千円 14節 使用料及び賃借料 99千円 15節 工事請負費 41,014千円 ・維持補修工事(悴谷川、般若川、神坂谷川、上灘樋門) 10,719千円 ・準用河川福光川改修工事22,364千円、・準用河川和田川改修工事6,933千円 ・河川浚渫工事(裏谷川) 998千円 16節 原材料費 80千円 19節 負担金補助及び交付金 281千円 ・天神川改修期成同盟会負担金113千円、・全国治水砂防協会鳥取県支部負担金20千円 ・大山砂防連絡協議会負担金20千円、・由良川水系河川改修事業促進期成同盟会負担金30千円 ・古川沢排水施設負担金98千円								
【事業の成果】 河川の浚渫工事等を行い、河川治水事業の推進を図った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】河川費委託金(樋門管理費委託金、排水機場操作費委託金) 2,032千円 【県】河川費委託金(樋門管理費委託金) 424千円 【地方債】河川整備事業債 26,300千円 【その他】倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 11,000千円								

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	小規模急傾斜地崩壊対策						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	3 河川費	目	2 砂防費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
500	486						486
事業の目的							
住民の人命及び財産の保護を図るため、国庫補助事業及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない5戸未満の急傾斜地において崩壊防止対策を実施するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 調査委託料(古川沢) 486千円  <b>【事業の成果】</b> 小規模急傾斜地の状況調査を実施した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	自然災害防止対策						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	3 河川費	目	2 砂防費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,500	1,846				1,800		46
事業の目的							
地域防災計画に掲げる災害危険区域において、災害の拡大を予防するため、砂防流路工事を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 13節 委託料 1,846千円 ・大立下谷川流路工工事測量設計等業務 1,846千円  <b>【事業の成果】</b> 県施工の砂防工事の流末部分の整備を行い、防災・減災を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 自然災害防止事業債 1,800千円							



担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる					
事業名	公共土木補助災害復旧							
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	2 公共土木施設災害復旧費	目	1 公共土木施設補助災害復旧費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
279,763	49,833		33,239		16,500		94	
事業の目的								
平成30年災(台風第24号災害)により被災した道路や河川の復旧を行うもの。 道路災害復旧箇所 11路線14箇所 河川災害復旧箇所 5河川 7箇所								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 15節 工事請負費(市道岡棕波線、般若棕波線応急工事、市道穴沢斉尾大沢線外復旧工事(前払金)) 49,361千円 22節 補償補填及び賠償金(市道沢谷藤井谷線物件移転補償金) 472千円 ※ 令和元年度への繰越額(市道岡棕波線外災害復旧工事) 229,929千円								
道路災害復旧箇所 市道岡棕波線(2箇所)、市道般若棕波線、市道沢谷藤井谷線、市道中野志津線、市道志津7号線、 市道米田町富海線、市道穴沢斉尾大沢線(2箇所)、市道大河内つつじが丘線、市道行司ヶ平線、 市道野添1号線(2箇所)、市道小泉線								
河川災害箇所 悴谷川、汗千川(2箇所)、棕波川、志村川、北谷川(2箇所)								
【事業の成果】 台風災害の復旧工事を発注し、復旧をすすめている。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金(H30年災) 33,239千円 【地方債】公共土木施設補助災害復旧事業債(H30年災) 16,500千円								

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる					
事業名	公共土木単独災害復旧							
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	2 公共土木施設災害復旧費	目	2 公共土木施設単独災害復旧費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
123,806	88,607				69,500		19,107	
事業の目的								
平成30年災(台風第24号災害)により被災した道路や河川の復旧を行うもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費(消耗品、修繕) 4,780千円 12節 役務費 45千円 13節 委託料 70,885千円 ・災害復旧工事測量設計業務 67,712千円 ・土砂撤去等業務(市道中野志津線外) 3,173千円 14節 使用料及び賃借料(機械借上) 7,456千円 15節 工事請負費(市道野田国分寺2号線外) 5,441千円 ※ 令和元年度への繰越額(市道福積沢谷線、曾谷川外) 35,179千円								
【事業の成果】 台風災害の復旧工事を発注し、復旧をすすめている。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】公共土木施設単独災害復旧事業債(H30年災) 69,500千円								

担当課	建設課		施策		29 まちの骨格を形成する幹線道路網を整える			
事業名	地方道路整備事業（地域活力基盤創造交付金）【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	5 道路新設改良費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
227	227		143				84	
事業の目的								
車両通行の円滑化等を図るため、市道の改良工事を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 19節 負担金補助及び交付金（市道小鴨福山線工事負担金）227千円  <b>【事業の成果】</b> 市道の改良を行い、車両通行の円滑化等を図った。								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【国】</b> 社会資本整備総合交付金（地域活力基盤創造交付金）143千円								

担当課	建設課		施策		30 安全な暮らしを支える生活道路を整える			
事業名	安全・安心生活空間整備事業（社会資本整備総合交付金）【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	5 道路新設改良費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
106,542	105,563		47,564		52,900		5,099	
事業の目的								
車両通行の円滑化や歩行者の安全確保を図るため、通学路の安全対策事業や道路舗装、側溝整備、橋梁点検、橋梁補修等を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 102,972千円 ・市道大原山根線通学路安全対策工事16,554千円（H29年度執行額10,130千円） ・市道みどり町中央線法面整備工事31,531千円（H29年度執行額23,280千円） ・市道下古川北条線舗装修繕工事12,320千円（H29年度執行額8,270千円） ・市道上井清谷線落石対策工事16,510千円 ・市道みどり町13号線落石対策工事4,496千円 ・市道東巖城町下田中線外舗装修繕工事21,561千円（H29年度執行額11,010千円） 22節 補償補填及び賠償金（市道大原山根線、市道みどり町中央線物件移転補償金）2,591千円  <b>【事業の成果】</b> 通学路安全対策工事や橋梁補修工事等を行い、生活空間の安全の確保等を図った。								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【国】</b> 防災安全交付金（安全安心生活空間整備交付金） 47,564千円 <b>【地方債】</b> 安全安心生活空間整備交付金事業債 33,500千円 <b>【地方債】</b> 公共施設等適正管理事業債 19,400千円								

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	河川総務及び維持【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	3 河川費	目	3 河川総務費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,979	6,979						6,979
事業の目的							
河川の改修や浚渫について、関係自治体と連携して国に要望活動を行い、治水・砂防事業の推進を図るもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 6,979千円 ・汗干川浚渫工事 6,979千円  <b>【事業の成果】</b> 河川の浚渫工事を行い、河川治水事業の推進を図った。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	建設課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	公共土木施設補助災害復旧事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	2 公共土木施設災害復旧費	目	3 公共土木施設補助災害復旧費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
95,674	94,108		60,082		29,800		4,226
事業の目的							
平成29年災（台風第18号、第21号災害）により被災した道路や河川の復旧を行うもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 94,011千円 ・市道野添1号線災害復旧工事 56,930千円 ・市道福原線災害復旧工事 3,057千円 ・市道和田北栄線災害復旧工事 34,024千円 （H29年度執行額26,040千円） 22節 補償補填及び賠償金（市道和田北栄線物件移転補償金）97千円  <b>【事業の成果】</b> 台風災害の復旧工事を行った。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【国】</b> 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金（H29年災） 60,082千円 <b>【地方債】</b> 公共土木施設補助災害復旧事業債（H29年災） 29,800千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	集落排水事業推進基金積立金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
60	21					21	0
事業の目的							
整備に必要な費用の一部を確保することで、集落排水事業の安定した執行を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 基金積立金 21 千円(平成30年度末基金残高 153,307 千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 集落排水事業推進基金 繰替運用利子 21 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	合併処理浄化槽設置推進						
会計・予算科目	会計一般	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,325	7,144		1,449	2,052			3,643
事業の目的							
合併処理浄化槽を設置することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 2 千円 12節 役務費 71 千円 19節 負担金補助及び交付金 7,071千円 合併浄化槽設置費補助金 7,039 千円ほか 5人槽(転換) 662 千円 × 2 件 = 1,324 千円 5人槽(新築) 456 千円 × 1 件 = 456 千円 7人槽(転換) 828 千円 × 5 件 = 4,140 千円 12人槽(転換) 1,119 千円 × 1 件 = 1,119 千円							
<b>【事業の成果】</b> ・補助金交付事業については、効果的な周知を図る必要がある。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 循環型社会形成推進交付金 1,449 千円 <b>【県】</b> 合併処理浄化槽設置費補助金 2,052 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	集落排水事業特別会計繰出金						
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
334,175	325,766					44,555	281,211
事業の目的							
集落排水事業特別会計の安定運営を確保する。 ・集落排水事業特別会計における赤字補填の確保。 ・事業の性質上、公共的部分に係る経費の一部を一般会計が負担する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 28節 繰出金 繰出金額    325,766 千円 うち農集分    323,856千円 うち林集分    1,910千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 集落排水事業推進基金繰入金    44,555 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	下水道繰出						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,024,092	998,924						998,924
事業の目的							
下水道事業特別会計の安定運営を確保する。 ・下水道事業特別会計における赤字補填分の確保。 ・事業の性質上、公共的部分に係る経費の一部を一般会計が負担する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 28節 繰出金 繰出金額    998,924 千円 うち公共分    903,052 千円 うち特環分    95,872 千円							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	建築住宅課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	建築指導						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	2 建築指導費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
65,157	35,818	財源内訳	15,956	7,680		3,966	8,216
事業の目的							
建築基準法に基づく建築確認等の建築指導を行い秩序あるまちづくりを行うとともに、耐震改修、アスベスト、がけ地近接住宅移転、福祉のまちづくりの推進に対する助成を通じて、震災に強いまちづくり、市民の生命、健康及び財産の保護を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 建築確認件数 141件 完了検査件数 121件 1節 報酬 1,886千円〔非常勤職員報酬(建築指導員)、倉吉市建築審査会委員報酬〕 4節 共済費 303千円 9節 旅費 120千円 11節 需用費 403千円 12節 役務費 1,648千円 ・建築行政共用データシステム保守料 1,304千円 13節 委託料 4,027千円(木造住宅耐震診断事業委託料 40件) 19節 負担金補助及び交付金 27,431千円 ・震災に強いまちづくり促進事業費補助金 46件 14,965千円 戸建住宅(耐震診断 8件、耐震設計 12件、耐震改修 5件、建替え 5件、除却 4件) 建築物(耐震診断 1件、耐震設計 1件) ブロック塀(除却 7件、除却+改修 3件) ・アスベスト緊急撤去支援事業費補助金 含有調査 2件 370千円 ・福祉のまちづくり推進事業費補助金 12件 5,244千円 ・がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金 1件 6,688千円							
【事業の成果】 市民の生命、健康及び財産の保護を図り、公共の福祉の増進に寄与。 既存建築物の安全性の向上を図り震災に強いまちづくりの促進に寄与。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】社会資本整備総合交付金 15,956千円 【県】土木管理費補助金 7,680千円 【その他】確認申請等審査手数料 3,703千円							

担当課	建築住宅課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	営繕						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	2 建築指導費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,112	928	財源内訳					928
事業の目的							
市有建築物の営繕業務に関する設計、工事監理及び設計・監理業務委託の指導及び監督を行うもの。 合理的な市有建築物の建設・改修を行い、利用する市民の利便の向上を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 営繕工事20件及び委託業務21件に係る設計、工事監督及び指導監督の外、施設の修繕及びエアコン設置等に対する助言を行うと共に、予算要求に伴う積算資料52件の作成を行った。 9節 旅費 77千円 11節 需用費 183千円 12節 役務費 146千円 14節 使用料及び賃借料 421千円(積算資料情報サービス利用料) 19節 負担金補助及び交付金 101千円							
【事業の成果】 営繕工事に係る予算の範囲内における品質の向上に寄与した。 市有施設の災害復旧に迅速に対応した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	建築住宅課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える					
事業名	空き家対策							
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	2 建築指導費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
9,325	5,826	財源内訳		1,562	1,781			2,483
事業の目的								
危険家屋を含めた管理不全な状態にある空き家等について、行政指導、行政処分を行うとともに、老朽危険空き家の除却を行う者への助成を通じて、空き家の老朽化による倒壊などを未然に防止し、生活環境の保全と安全で安心な市民生活を確保するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
管理不全な空き家件数 289件、改善に向けた文書指導件数 33件								
1節 報酬 80千円(空き家等対策審議会委員報酬)								
4節 共済費 270千円								
7節 賃金 1,772千円								
9節 旅費 24千円								
11節 需用費 14千円								
12節 役員費 344千円(空き家情報管理システム保守料)								
13節 委託料 162千円(空き家緊急安全措置委託料)								
19節 負担金補助及び交付金 3,160千円								
・老朽危険空き家等除却支援事業費補助金 2件 3,125千円								
【事業の効果】								
空き家対策条例による調査及び判定、所有者の特定、改善に向けた助言・指導指導等により除却された件数 25件								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】社会資本整備総合交付金 1,562千円								
【県】空き家等対策支援事業費補助金 1,781千円								

担当課	建築住宅課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える							
事業名	市営住宅維持管理									
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費			
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源		
37,031	36,860	財源内訳					36,860	0		
事業の目的										
公営住宅法に基づく公営住宅、改良住宅、市単独住宅、特定公共賃貸住宅及び都市再生住宅の適正な維持管理をするもの。										
事業の実績、成果(振返り、効果等)										
【事業の実績】										
管理戸数：市営住宅420戸、特公賃住宅12戸、改良住宅24戸、市単独住宅11戸、都市再生住宅18戸 計485戸										
1節 報酬 1,970千円{非常勤報酬(収納嘱託員・住宅管理人)}										
4節 共済費 421千円										
7節 賃金 1,235千円										
9節 旅費 68千円										
11節 需用費 16,270千円										
・住宅維持管理修繕料 15,753千円										
12節 役員費 9,180千円										
・受水槽清掃手数料 1,258千円									・消防用設備保守点検料 1,707千円	
・量水器満了交換 2,347千円									・樹木剪定防除作業 1,394千円	
・入居前清掃 1,075千円										
13節 委託料 7,419千円										
・エレベータ保守点検委託料 3,222千円									・市営住宅定期点検委託料 1,127千円	
・簡易訴訟代理等業務委託料 1,163千円									・水道料金等徴収業務委託料 1,849千円	
14節 使用料及び賃借料 122千円										
19節 負担金補助及び交付金 175千円										
【事業の成果】										
公営住宅、改良住宅、市単独住宅、特定公共賃貸住宅及び都市再生住宅の適正な維持管理を行った。										
主な特定財源(名称、金額等)										
【その他】市営住宅家賃 36,065千円										
公営住宅修繕退去者負担金 786千円										

担当課	建築住宅課	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	県営住宅維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,946	2,946			2,945			1
事業の目的							
<p>県より管理代行している県営住宅6団地の維持管理をするもの。  (三明寺団地・北野団地・小鴨団地・東和田団地・高城第1団地・高城第3団地)</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  住宅管理戸数：県営住宅(管理代行分)70戸  2節 給料 338千円  4節 共済費 176千円  7節 賃金 570千円  9節 旅費 23千円  11節 需用費 1,648千円  ・住宅維持管理修繕料 1,381千円  12節 役務費 111千円  14節 使用料及び賃借料 61千円  19節 負担金補助及び交付金 19千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>  県営住宅の適正な維持管理を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【県】</b> 県営住宅管理費委託金 2,945千円</p>							

担当課	建築住宅課	施策	その他(鳥取県中部地震対策)				
事業名	<b>【震災関連】</b> 鳥取県中部地震被災者向け民間賃貸住宅家賃補助事業						
会計・予算科目	会計一般	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
820	820			410			410
事業の目的							
<p>平成28年鳥取県中部を震源とする地震により住宅が被害を受け、長期に渡り住宅に居住できない方に対して、民間賃貸住宅への入居にかかる家賃の一部又は全部を助成することにより被災者の経済的負担の軽減を図るもの。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  民間賃貸住宅家賃補助件数 8件  19節 負担金補助及び交付金 820千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>  被災者の経済的負担の軽減を図るため、避難先の民間賃貸住宅の入居にかかる費用の支援を行った。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【県】</b> 鳥取県中部地震被災者向け民間賃貸住宅家賃補助金 410千円</p>							



担当課	教育総務課		施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	公共施設等緊急安全確保対策							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
506	188	財源内訳						188
事業の目的								
平成30年大阪府北部地震で発生したブロック塀の倒壊と同様の事故を防ぐため、市の施設において緊急に必要なとされる対策を講じるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節	消耗品費	98千円	(小鴨小花壇ブロック囲いコーン等)					
13節	設備等撤去委託料	90千円	(上小鴨小バックネット撤去)					
【事業の成果】								
撤去・復旧を行うことで、児童・生徒に良好な教育環境を提供・維持することができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	教育総務課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	教育振興基金積立金							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
461	460	財源内訳					460	0
事業の目的								
平成5年度に故石谷文海氏の遺志による寄附を受けた1億5千万円を原資として、次代を担う児童、生徒等のスポーツの奨励、文化活動の振興及び国際交流の促進を目的とした「教育振興基金」を創設した。 この基金の運用利子を基金に積み立て、一部を児童生徒のスポーツ・文化活動振興等のために活用するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
25節	積立金決算額	460千円						
	(H30年度末基金残高)	169,364千円						
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】								
基金利子 460千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	教育委員会							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,349	2,319	財源内訳					2,319	
事業の目的								
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置されている教育委員会の委員の活動や、研修等に係る経費を計上するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節	報酬	2,256千円						
	委員会	14回(定例会12回 臨時会2回)						
11節	消耗品費	20千円						
19節	負担金	43千円						
	市町村教育委員会研究協議会負担金(教育委員研修会、研究協議会)	3回						
【事業の成果】								
計14回の教育委員会の定例会及び臨時会を開催し、学校計画訪問、公民館訪問、意見交換会・諸行事、研修会への参加等、積極的な活動を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	教育委員会事務局							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
47,907	45,962	財源内訳				3,292	42,670	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局の運営</li> <li>・臨時職員(学校主事等)の雇用</li> <li>・経済的理由により修学が困難な大学生等を対象とする奨学金の貸与等を行うもの。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
4節	社会保険料	5,167千円						
7節	事務賃金	32,247千円	(学校主事の配置 18人 18校)					
8節	報償金	12千円						
9節	普通旅費	683千円	(学校主事管内旅費ほか)					
10節	交際費	36千円						
11節	需用費	938千円	(事務用消耗品費ほか)					
12節	通信運搬費ほか	130千円						
14節	機械借上料ほか	723千円	(電子複写機ほか)					
19節	教育長協議会等負担金	26千円						
21節	奨学資金貸与金	6,000千円						
【事業の成果】								
・奨学資金貸与:経済的な理由により、修学が困難な大学生等を対象として、月額5万円の奨学金を貸与 大学生等 10人 6,000千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】								
奨学資金貸与金元利収入 3,292千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	輝く人育成						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,193	928	財源内訳				928	0
事業の目的							
故石谷文海氏の遺志による1億5千万円の寄付金を原資とした教育振興基金の果実を活用し、スポーツ・文化活動の振興とともに、次代を担う人材の育成を図るもの。 ・打吹公園だんご教育奨励賞の授与 ・児童生徒全国大会出場激励費の支給							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 8節 報奨金 916千円(現金及び記念品) 11節 需用費 12千円(消耗品費、印刷製本費)							
【事業の成果】 小中学校の最高学年に在籍し、特に他の模範となる児童生徒に教育奨励賞の授与を行った。 ・教育奨励賞 18人 ・教育奨励賞選考委員会 1回  スポーツ文化等の全国大会等に出場する者又は団体を支援するために激励費を支給した。 ・児童・生徒大会出場激励費(全国大会等へ出場する団体・個人) 18団体、個人90名 総支給額653千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】 教育振興基金繰入金 928千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	特別支援学校通学支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,095	1,965	財源内訳		1,965			0
事業の目的							
通学バスや公共交通機関などで介助があっても県立特別支援学校への通学が困難な児童生徒を対象に、自動車を使用する通学の送迎に対して支援を行い、児童生徒の通学の安全確保及びその保護者の負担軽減を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 13節 委託料 1,965千円(通学支援業務)							
【事業の成果】 倉吉養護学校に就学する医療的ケアの必要な児童生徒の通学のため、居住地から学校までの間の送迎を行った。 ・対象者2名 201日(486回)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】特別支援学校通学支援交付金(10/10) 1,965千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	小学校運営（総務）							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
129,581	125,781	財源内訳				1,979	123,802	
事業の目的								
倉吉市が設置する小学校13校を管理運営し、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、児童・教職員に良好な教育環境を確保するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
11節	需用費	80,153千円						
	・消耗品費	10,928千円						
	・光熱水費、燃料費	7,332千円						
	・校舎等修繕	18,525千円ほか						
12節	役員費	10,828千円						
	・手数料	6,906千円（施設点検手数料等）						
	・通信運搬費	3,810千円（電話料等）ほか						
13節	委託料	14,636千円						
	・ゴミ収集、電気保安業務、警備委託料ほか	8,836千円						
	・測量設計監理委託料	948千円						
	・建物点検委託料	4,852千円						
14節	使用料及び賃借料	6,327千円						
	・複写機等機械借上料	5,967千円ほか						
15節	維持補修工事	9,225千円（上北条小・上灘小プール改修工事ほか）						
16節	原材料費	233千円（校庭修繕材料費ほか）						
18節	備品購入費	4,007千円（高城小学校特別支援教室エアコン、児童・教師用机椅子ほか）						
19節	負担金	2千円（学校田賦課金）						
22節	賠償金	370千円（民家屋根損壊に係る損害賠償金）						
【事業の成果】								
小学校における良好な教育環境を確保した。								
学校施設の使用状況 屋内運動場、屋外運動場外使用許可申請件数 134件								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】								
・使用料及び手数料 校舎等使用料 1,515千円								
・学校災害賠償補償保険金 370千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	小学校保健							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
8,879	8,419	財源内訳				1,113	7,306	
事業の目的								
学校における保健管理及び安全管理を行うとともに、児童及び教職員の健康の維持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
1節	報酬	805千円（就学时健康診断学校医報酬）						
11節	需用費	317千円（消耗品費、印刷製本費）						
12節	役員費	4,362千円						
	・プール水質検査、教職員健診ほか手数料	4,153千円						
	・全国市長会保険料	174千円ほか						
14節	使用料及び賃借料	187千円						
	・自動車借上料（健診・緊急用タクシー）							
18節	庁用器具費	289千円						
19節	負担金補助及び交付金	2,459千円						
	・日本スポーツ振興センター負担金	2,336千円						
【事業の成果】								
学校における保健管理及び安全管理を行うとともに、児童及び教職員の健康の維持増進が図れた。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】 日本スポーツ振興センター保護者負担金 1,113千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
610,863	317	財源内訳	105		200		12
事業の目的							
倒壊の危険性のあるブロック塀等の撤去や、熱中症対策として空調設備を整備し、児童の安全と健康を守る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 13節 委託料 317千円 明倫小学校ブロック塀撤去 90千円 明倫小学校ブロック塀撤去後フェンス設置 227千円							
【事業の成果】 撤去・復旧を行うことで、児童・生徒に安全な教育環境を提供・維持することができた。							
[R1への繰越額 610,546千円(工事、設計監理業務)]							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 105千円 【地方債】学校教育施設整備等事業債 200千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	小学校教材整備						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
54,703	53,156	財源内訳	1,032				52,124
事業の目的							
小学校における教育活動(授業)の充実及び読書活動の推進 教材備品、児童用図書の計画的な購入整備により、良好な教育環境を創り、更なる学校教育の充実に資するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 11節 需用費 14,678千円(教材消耗品ほか) 12節 手数料 391千円(ピアノ調律代) 14節 機械借上料 26,039千円 ・情報教育用LANシステム借上料 24,831千円 ・コンピューターソフト使用料 1,208千円 18節 備品購入費 12,048千円 ・児童用図書 3,731千円 ・理科教育設備 2,066千円 ・庁用備品ほか 6,251千円							
【事業の成果】 教材備品の購入整備、教育用コンピュータの借上等により、小学校における教育活動(授業)の充実及び図書活動の推進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】国庫支出金 理科教育振興費国庫補助金 1,032千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	小学校遠距離通学費補助							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
549	536	財源内訳						536
事業の目的								
片道の通学距離が4km以上となる児童の保護者に対して補助金を交付し、市立小学校における遠距離通学児童の遠距離通学対策を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 536千円 ・補助対象者 23人(高城小、北谷小、社小、関金小)								
【事業の成果】 通学に係る費用の保護者負担を軽減し、義務教育の公平化が図れた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	小学校給食							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
226	214	財源内訳						214
事業の目的								
学校給食の普及・充実を図るために、給食用消耗品購入の支援を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費 214千円(給食用消耗品)								
【事業の成果】 学校給食の普及・充実を図ることができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	小学校就学援助						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
9,495	7,851	財源内訳	710				7,141
事業の目的							
経済的理由によって就学困難と認められる児童の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する。また、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な援助を与え、特別支援教育の振興に資する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
20節 扶助費 7,851千円							
・要保護・準要保護生徒就学援助費扶助費 6,513千円							
要保護認定児童数 21人 準要保護認定児童数 300人、入学前支給者 29人							
<援助内容> 学用品費、通学用品費、修学旅行費、通学費、校外活動費、新入学用品費、医療費							
・特別支援教育就学奨励費扶助費 1,338千円							
特別支援認定児童数 48人							
【事業の成果】							
経済的理由で就学が困難な児童や特別支援学級に在籍する児童の保護者に援助を行い、経済的負担の軽減が図れた。入学前に新入学児童学用品費を支給したことにより、保護者の負担軽減が図れた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】要保護児童就学援助費補助金 42千円							
【国】特別支援教育就学奨励費補助金 668千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校運営(総務)						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
61,275	59,898	財源内訳			1,600	618	57,680
事業の目的							
倉吉市が設置する中学校5校を管理運営し、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、生徒・教職員に良好な教育環境を確保するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節 需用費 36,100千円							
・消耗品費 5,864千円							
・光熱水費、燃料費 22,555千円							
・校舎等修繕 6,814千円ほか							
12節 役務費 4,674千円							
・手数料 2,643千円(施設点検手数料等)							
・通信運搬費 1,942千円(電話料等)ほか							
13節 委託料 6,855千円							
・ゴミ収集、電気保安業務、警備委託料ほか 3,180千円							
・設計監理委託料 1,053千円							
・建築物定期点検委託料 2,621千円							
14節 使用料及び賃借料 2,796千円							
・複写機等機械借上料 2,655千円ほか							
15節 工事請負費 7,912千円							
・西中学校屋内運動場トイレ外部配水管・屋根改修工事							
・鴨川中学校寄宿舎床Pタイル改修工事							
・久米中学校プール循環配管改修工事ほか							
16節 原材料費 96千円(校庭修繕材料費ほか)							
18節 備品購入費 1,465千円(視力検査機、生徒・教師用机椅子、ストーブほか)							
【事業の成果】							
中学校における良好な教育環境を確保した。							
学校施設の使用状況 屋内運動場、屋外運動場外使用許可申請件数 43件							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】一般単独債(石綿対策) 1,600千円							
【その他】使用料及び手数料 校舎等使用料 418千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	中学校保健							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,788	3,153	財源内訳				519	2,634	
事業の目的								
学校における保健管理、安全管理を行うとともに、生徒及び教職員の健康の維持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
8節	報償費	20	千円					
11節	需用費	84	千円(消耗品費)					
12節	役員費	1,856	千円					
				・プール水質検査、教職員健診ほか手数料 1,772千円				
				・全国市長会保険料 84千円				
14節	使用料及び賃借料	38	千円					
				・自動車借上料(健診・緊急用タクシー)				
19節	負担金補助及び交付金	1,155	千円					
				・日本スポーツ振興センター負担金ほか				
【事業の成果】								
学校における保健管理及び安全管理を行うとともに、児童及び教職員の健康の維持増進が図れた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】日本スポーツ振興センター保護者負担金 519千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
311,978	0	財源内訳					0	
事業の目的								
倒壊の危険性のあるブロック塀等の撤去や、熱中症対策として空調設備を整備し、児童の安全と健康を守る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
[R1へ全額繰越 311,978千円(工事、設計監理業務)]								
主な特定財源(名称、金額等)								



担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校教材整備						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
27,736	27,305	財源内訳	492				26,813
事業の目的							
中学校における教育活動(授業)の充実及び読書活動の推進 教材備品、生徒用図書の計画的な購入整備により、良好な教育環境を創り、更なる学校教育の充実に資するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
11節	需用費	6,159千円	(教材消耗品ほか)				
12節	手数料	131千円					
14節	機械借上料	12,306千円					
	・情報教育用LANシステム借上料	11,842千円					
	・コンピューターソフト使用料	464千円					
18節	備品購入費	8,709千円					
	・児童用図書	2,501千円					
	・理科教育設備	990千円					
	・教材備品ほか	5,218千円					
【事業の成果】							
教材備品の購入整備、教育用コンピュータの借上等により、中学校における教育活動(授業)の充実及び図書活動の推進を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】国庫支出金 理科教育振興費国庫補助金 492千円							

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校遠距離通学費補助						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4,770	4,481	財源内訳					4,481
事業の目的							
片道の通学距離が6km以上となる生徒の保護者に対して補助金を交付し、市立中学校における遠距離通学生徒の遠距離通学対策を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】							
19節	負担金補助金及び交付金	4,481千円					
補助対象者数 59名(東中・久米中・西中・鴨川中)							
【事業の成果】							
通学に係る費用の保護者負担を軽減し、義務教育の公平化が図れた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	教育総務課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校給食							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
82	80							80
事業の目的								
学校給食の普及・充実を図るために、給食用消耗品購入の支援を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費 80千円(給食用消耗品)								
【事業の成果】 学校給食の普及・充実を図ることができた。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	教育総務課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校就学援助							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
12,172	11,121			888				10,233
事業の目的								
経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する。また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な援助を与え、特別支援教育の振興に資する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業実績】 20節 扶助費 11,121千円 ・要保護・準要保護生徒就学援助費扶助費 9,537千円 要保護認定生徒数 19人 準要保護認定生徒数 173人、入学前支給者 61人 <援助内容> 学用品費、通学用品費、修学旅行費、通学費、校外活動費、新入学用品費、医療費 ・特別支援教育就学奨励費扶助費 1,584千円 特別支援認定生徒数 36人								
【事業の成果】 経済的理由で就学が困難な生徒や特別支援学級に在籍する生徒の保護者に援助を行い、経済的負担の軽減が図れた。入学前に新入学生徒学用品費を支給したことにより、保護者の負担軽減が図れた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】要保護生徒就学援助費補助金 96千円 【国】特別支援教育就学奨励費補助金 792千円								

担当課	教育総務課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校寄宿舎運営						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,103	833		177			29	627
事業の目的							
片道の通学距離が 6km以上となる生徒の通学の負担を軽減するため、冬季期間寄宿舎を運営する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> ※鴨川中(1~2月・7名入寮) 7節 賃金 191 千円(寄宿舎調理員3名) 11節 需用費 629 千円 ・燃料費・光熱水費 268 千円 ・賄材料費 225 千円ほか 12節 役務費 10 千円(クリーニング代ほか) 14節 使用料及び賃借料 3 千円  <b>【事業の成果】</b> 冬季期間寄宿舎を運営することにより、生徒の通学の負担軽減が図れた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> へき地児童生徒援助費補助金 177千円							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	教育総務						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9,021	8,669			1		58	8,610
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の教育課題解決を図るため、審議会を開催するもの。</li> <li>本市に愛着と豊かな心を持つ児童生徒の育成を図るため、「菜の花プロジェクト」を継続実施するもの。</li> <li>児童生徒の不登校状態の改善を図るもの（中部子ども支援センター）。</li> <li>教職員の資質向上推進を図るもの。</li> </ul>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
1節	報酬	500千円	倉吉市学校教育審議会3回、倉吉市青少年問題対策協議会定例会・調査委員会開催				
8節	報償費	382千円	菜の花プロジェクト、中学校区合同研修会等講師謝金				
9節	旅費	140千円	先進地視察等				
11節	需用費	605千円	消耗品費、印刷製本費(学校教育関係要覧)等				
14節	使用料及び賃借料	192千円	公用車借上料				
19節	負担金補助及び交付金	6,850千円					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中部子ども支援センター負担金 3,583千円</li> <li>中部地区教科用図書採択協議会負担金 11千円</li> <li>学校業務支援システム負担金 3,256千円</li> </ul>				
【事業の成果】							
菜の花プロジェクトを継続実施し、小中学校間や地域、関係機関との連携を図るとともに児童生徒の本市への愛着を深めた。							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】教科指導法研究事業費委託金 1千円							
【その他】「くらし風土記」有償頒布 56千円							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	児童生徒舞台芸術鑑賞						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,126	963						963
事業の目的							
次世代を担う子どもたちに対し、本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで文化芸術に親しみ、豊かな心を育む情操教育を推進する。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】							
13節	委託料	963千円					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年劇場巡回公演（灘手小6/8） 310千円</li> <li>青少年劇場小公演（上小鴨小・北谷小10/29） 216千円</li> <li>芸術鑑賞教室（河北中10/15） 437千円</li> </ul>				
【事業の成果】							
本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術への親しみや豊かな心を育むことができた。また、この経験を授業や音楽会などに生かすことができた。							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	スクールソーシャルワーカー活用						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,215	3,402			2,268			1,134
事業の目的							
不登校を含む長期欠席者の出現率が高い本市の課題克服のため、社会福祉士等の資格を有する者を雇用し、学校や児童生徒、保護者への支援を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 7節 賃金 3,402千円 雇用人数3名							
<b>【事業の成果】</b> 不登校を含む長期欠席者の出現率が高い本市の課題克服のため、スクールソーシャルワーカーを3名雇用し、学校や児童生徒、保護者への支援を行い、学級担任が一人で問題を抱え込まず、学校全体がチームとして支援する体制づくりが推進できた。また、児童生徒の支援について関係機関と連携・協議し対応することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金(2/3) 2,268千円							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	人権同和教育推進						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,564	1,847						1,847
事業の目的							
本市学校教育における人権同和教育のより一層の推進に資するため、本市が制定した「第5次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」を基本とし、様々な人権問題を主体的に解決する力を育成することをめざす。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 1,264千円 PTA及び教職員人権同和教育研修会、地区学習会等講師謝金 11節 需用費 333千円 校内研修、地区学習会等消耗品費 13節 委託料 220千円 人権同和教育委託料(中学校区) 19節 負担金補助及び交付金 30千円 中部地区人権教育懇談会負担金							
<b>【事業の成果】</b> 小中学校教職員や保護者の人権同和教育啓発事業・地区学習会推進事業を展開し、人権同和教育のより一層の推進を図った。小中学校：PTA人権教育研修会6校、地区学習会等301回実施した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	元気はつらっプラン						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
19,004	19,003					18,000	1,003
事業の目的							
特別支援学級に限らず、通常学級にも配慮を要する児童生徒が多数在籍し、その数は増加の一途をたどっている。小中学校に「元気はつらっプラン教員補助職員」を配置し、個別の対応によって児童生徒が落ち着いて学習、生活できるようにする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 元気はつらっプラン教員補助職員18名 4節 共済費 169千円(社会保険料18名) 7節 賃金 18,834千円							
<b>【事業の成果】</b> 市内16小中学校(北谷小、灘手小以外)に臨時職員を配置。河北小、小鴨小に各校2名配置、残りの14小中学校には各校1名を配置し、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな支援を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 18,000千円							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	ふるさと鳥取見学(県学)支援事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
297	202			202			0
事業の目的							
鳥取県の将来を担う子どもたちが鳥取県についての理解と関心を深め、ふるさとを愛する心を育てるため、小学校の社会科見学において、県の財産である素晴らしい自然環境、公共施設、文化財、建造物、工場などを広く見学できるように支援する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 14節 使用料及び賃借料 202千円 バス借上料 ・小鴨小学校(10/25 5年生児童77名参加) 84千円 見学先: 日本海テレビ、鳥取県立博物館、鳥取栽培漁業センター ・小鴨小学校(10/25 6年生児童79名参加) 77千円 見学先: 妻木晩田遺跡、水木しげるロード、海とくらし資料館 ・北谷小学校(11/13 5年生児童13名、6年生児童7名参加) 41千円 見学先: 日本海テレビ、鳥取県立博物館、鳥取栽培漁業センター							
<b>【事業の成果】</b> 鳥取県の将来を担う子どもたちが、県の財産である素晴らしい自然環境、公共施設、建造物などを見学したことで、鳥取県について理解と関心を深めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> ふるさと鳥取見学(県学)支援事業費補助金(10/10) 202千円							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	土曜授業実施事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
500	263			255			8
事業の目的							
倉吉市教育振興基本計画の学校教育分野の重点施策⑤「倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成」に掲げるとおり、子ども達が倉吉に自然や歴史、文化などに誇りと愛着を持てるよう、地域の特色を生かし人材や歴史、自然などの財産を基に、子どもたちが倉吉を「知る・楽しむ・育む」ことのできる取組として土曜授業を活用する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 97千円 小中学校外部講師謝金 11節 需用費 166千円 学習教材に係る消耗品等 <土曜授業開設日:5月26日、7月7日(台風のため臨時休校)、9月29日、11月10日、1月19日>							
<b>【事業の成果】</b> 各学校が創意工夫して地域・保護者と協働した活動を展開した。「ふるさと学習」を意識した取組となるよう周知し、ふるさとについて改めて知ったり考えたりする機会となった。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(補助対象額255千円×補助率10/10) 255千円							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	適正配置準備						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
989	829						829
事業の目的							
学校や地域の課題を1つずつ検証していき、適正配置について意見の集約を図る。また、協議会だよりを配布し地域の問題として共有した上でその解決策を議論し、意見がまとまれば統合準備委員会を立ち上げ統合を推進していく。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 消耗品費 9千円 14節 使用料及び賃借料 ・自動車借上料 820千円 集合学習輸送バス20回分							
<b>【事業の成果】</b> 該当地区の代表の方と協議を重ね、適正配置協議会の委員を出してもらうことができた。 集合学習では、適正配置対象校が相互に行き来しながら、互いの学習成果を交換したり、それぞれの地域を理解したりするなど、たくさんの人数で教育活動を展開することができ、親交を深めることもできた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	幼保小連携推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
400	294			294			0
事業の目的							
<p>幼児期の育ちを小学校へ円滑に接続するため、接続期のカリキュラムの作成・実践（園と小学校との交流活動の充実）を通して、幼児教育・保育と小学校教育をつなぐ取組を進めるもの。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p><b>【事業の実績】</b>  8節 報償費 99千円 幼保小連携推進担当者会講師謝金 11/26 元東京成徳大学特任教授（東京都）  9節 旅費 103千円 幼保小連携推進モデル事業視察等  11節 需用費 92千円 図書購入、教材作成・交流活動材料費等</p>							
<p><b>【事業の成果】</b>  園と小学校との合同の講演会を通して、接続期のカリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）の必要性を共通理解し、全市で接続期のカリキュラムの作成・改善を行った。また、交流活動の充実を図るため学習公開を行い、互恵性のある交流活動とするためのポイントも共通理解した。年間交流計画をもとに見通しを持った交流、また保育所・幼稚園・小学校の連携の中で小学校区での共通実践を行い、同じ視点で子どもたちの育ちをつなごうとする教職員の意識が定着してきた。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
<p><b>【県】</b> 幼保小連携推進事業費補助金(10/10) 294千円</p>							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	地域学校協働活動推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,936	1,567			1,044			523
事業の目的							
<p>幅広い地域住民などの参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で次代を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進するもの。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p><b>【事業の実績】</b>  8節 報償費 852千円 地域コーディネーター活動謝金・地域学校委員会講師謝金  11節 需用費 581千円 地域学校委員会消耗品・ボランティアグッズ等  12節 役務費 134千円 ボランティア保険 350円×382人分</p>							
<p><b>【事業の成果】</b>  学校と地域・保護者が次代を担う子どもたちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、連携・協働して取組を推進することができた。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
<p><b>【県】</b> 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(2/3) 1,044千円</p>							



担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	地域未来塾事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,200	717			478			239
事業の目的							
経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生への地域と学校の連携・協働による学習支援。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 586千円 学習指導者謝金(はばたき教室34回、交流プラザ教室28回) 9節 旅費 106千円 学習指導旅費(鳥取環境大学、島根大学学生等7名分) 11節 需用費 25千円 学習教材等消耗品  <b>【事業の成果】</b> はばたき人権文化センター(毎週木曜日、生徒数13名、指導者:教員OB6名・地域1名・大学生1名)、倉吉交流プラザ(毎週土曜日、生徒数11名、指導者:教員OB1名、大学生7名)で実施。主に中学3年生を対象に、それぞれの生徒が希望する進路を叶えるための学習支援ができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(2/3) 478千円							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	教科指導法研究事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,209	3,075			3,075			0
事業の目的							
通常の学級において発達障害の可能性のある児童生徒が、学習上つまづくポイントを教科毎に明らかにし、効果的な教科指導の在り方について調査研究を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 2,552千円 非常勤職員報酬費 教科教育スーパーバイザー1名雇用 4節 共済費 417千円 社会保険料 8節 報償費 61千円 指導者研修会講師謝金 1/21 京都大学准教授(京都府) 9節 旅費 19千円 管内旅費 11節 需用費 26千円 消耗品費  <b>【事業の成果】</b> 体育科(小学校1年生)の指導法を中心に、体の発達や不器用さに対する理解を研修会で深めるとともに、発達を促す指導法や支援について研究を行った。また、発達障がい支援アドバイザーが小学校1年生担任や特別支援教育担当教職員と連携し、困り感のある児童生徒に対し効果的な指導・支援方法について助言を行い、授業改善や個別指導に活かすことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】教科指導法研究事業費委託金(10/10) 3,075千円							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	人権教育研究指定校事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
315	238	財源内訳		238			0
事業の目的							
文部科学省から鳥取県が本事業の委託を受け、市内小学校2校が指定を受ける事業。人権意識を培うための学校教育の在り方について、県教委と連携・協力のもとで幅広い観点から実践的な研究を実施し、人権教育に関する指導方法などの改善及び充実に努めるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 148千円 指導者研修会講師謝金(北谷小、河北小) 11節 需用費 90千円 消耗品費、食糧費、印刷製本費  <b>【事業の成果】</b> 1校は道徳、もう1校は特別活動を中心に、人権教育に関する指導方法の研究を行った。授業研究会は市内の他の学校にも参加を呼びかけたり、成果を県の報告会、倉吉市人権主任会で発表したりするなどして、普及に努めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】人権教育研究指定校事業費委託金(10/10) 238千円							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	小学校運営(学校)						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
55,037	53,457	財源内訳		250			53,207
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な就学を図るための就学指導委員会を開催する。</li> <li>学校医、学校薬剤師、学校歯科医、学校耳鼻科医、学校眼科医を各校1名ずつ配置する。</li> <li>学校図書館司書を全小学校へ配置し、図書館の機能充実に努める。</li> <li>情報教育指導員を配置する。</li> <li>35人学級実施、複式学級解消のための教員を加配し、生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実、学校生活への適応を図る。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 34,551千円 非常勤職員報酬 (学校図書館司書、校医・歯科医・薬剤師、情報教育指導員、複式学級解消補助教員2名) 4節 共済費 4,719千円 社会保険料 7節 賃金 163千円 LD等支援員賃金(河北小1名配置) 8節 報償費 375千円 【補助対象】金管バンド指導者謝金(合計500時間×750円) 9節 旅費 31千円 図書館司書等管内旅費 11節 需用費 1,981千円 消耗品費(教師用教科書・指導書等) 12節 役務費 23千円 郵便料、手数料 13節 委託料 3,381千円 関金小学校スクールバス運行管理業務、眼科・耳鼻科検診委託 19節 負担金補助及び交付金 192千円 修学旅行引率教職員費用負担金 26節 寄附金 8,000千円 教員加配費用協力金 ・少人数学級協力金:2,000千円×4学級(河北小5年・小鴨小4・5年、上灘小6年) 27節 公課費 41千円 スクールバス重量税 <b>【事業の成果】</b> 倉吉市が設置する小学校13校について、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図り児童・教職員の良好な教育環境を確保した。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(補助対象額375千円×補助率2/3) 250千円							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	小学校教育研修							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,133	4,044						4,044	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学力実態を測り、学力向上を推進するため諸検査を実施するもの。</li> <li>・いじめ等の問題行動の未然防止を図るため集団適応検査を実施するもの。</li> <li>・宿泊訓練のバス代経費の助成により、保護者の経済的負担軽減を図る。</li> <li>・喫煙の弊害を指導することにより、喫煙防止を図る。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 54千円 小中学生のための喫煙防止教育講師謝金 11節 需用費 1,907千円 知能検査・全国標準学力検査等用紙代 12節 役務費 1,737千円 知能検査・全国標準学力検査等診断料 14節 使用料及び賃借料 346千円 宿泊訓練バス借上料  <b>【事業の成果】</b> 諸検査の実施及び診断により、学力や学級内における周りの児童との関係について実態把握するとともに、その後の教育実践の検討材料とした。また、宿泊訓練のバス代補助を行い保護者の経済的負担を軽減した。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	初等教育研究							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,267	3,061						3,061	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教育関係団体に対する支援を行い、義務教育の充実に資する。</li> <li>・各学校が児童や地域の課題解決をめざし、独自の特色ある学校づくりを推進する。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 30千円 夏季統一研究会講師謝金 7/31 関西大学教授(大阪府) 11節 需用費 149千円 消耗品費 12節 役務費 65千円 児童体育祭駐車場警備手数料 14節 使用料及び賃借料 823千円 中部・県水泳大会、県陸上大会バス借上料 19節 負担金補助及び交付金 1,994千円 ・教育研究等負担金(中部小学校体育連盟負担金等) 163千円 ・教育研究会等補助金(倉吉市創意と特色ある学校づくり推進事業等) 1,831千円  <b>【事業の成果】</b> 各教育団体に対する支援を行い、教育団体の取組の充実が図れた。また、各大会派遣費の保護者負担を軽減した。								
主な特定財源(名称、金額等)								



担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校教育研修						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,896	5,479						5,479
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学力実態を測り、学力向上を推進するため諸検査を実施するもの。</li> <li>・いじめ等の問題行動の未然防止を図るため集団適応検査を実施するもの。</li> <li>・喫煙の弊害と性への正しい理解を図り、心身ともに健康な生徒の育成を目指して外部講師招へいを行うもの。</li> <li>・諸行事の運営に対し適切な補助を行い、保護者の負担軽減を図るもの。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 133千円 喫煙防止教育、性教育講座、キャリア教育講演会等講師謝金 11節 需用費 1,584千円 知能検査・全国標準学力検査等用紙代 12節 役務費 1,698千円 知能検査・全国標準学力検査等診断料、職場体験活動賠償責任保険料 13節 委託料 1,077千円 学力到達度調査業務 14節 使用料及び賃借料 370千円 宿泊訓練バス借上料 19節 負担金補助及び交付金 617千円 全国中学校ソフトボール大会負担金							
<b>【事業の成果】</b> 外部講師を招いた生徒対象の講演会などにより、心身ともに健康で将来への見通しを持った生徒の育成に資することができた。また、諸検査の実施及び診断により、学力や学級内の周りの生徒との関係について実態把握するとともに、その後の教育実践の検討材料とした。 宿泊訓練のバス代補助を行い保護者の経済的負担を軽減した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	中学校教育研究						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,830	8,102						8,102
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教育関係機関に対する支援を行い、義務教育の充実に資する。</li> <li>・各学校が生徒の学力などの課題解決をめざし、独自の特色ある学校づくりを推進する。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 14節 使用料及び賃借料 4,780千円 バス借上料 ・中部総体 1,752千円・県総体 1,280千円・中部地区新人戦 881千円 ・中部文化祭 232千円・駅伝中部、県大会 344千円・吹奏楽 291千円 19節 負担金補助及び交付金 3,322千円 ・教育研究等負担金(県中学校体育連盟生徒負担金等) 793千円 ・教育研究会等費補助金(倉吉市創意と特色ある学校づくり推進事業等) 2,529千円							
<b>【事業の成果】</b> 各教育団体に対する支援を行い、教育団体の取組の充実が図れた。また、大会派遣費の保護者負担を軽減した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	中学校図書館ネットワーク事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
582	582						582
事業の目的							
<p>学校図書館の蔵書をデータベース化し、コンピュータによる貸し出しや蔵書管理を可能とする。さらに市立図書館とネットワークを結ぶことで、より利便性を向上させる。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  12節 役務費 420千円 学校図書システムサポート、ウイルス対策ソフトライセンス  14節 使用料及び賃借料 162千円 システム機器借上料等</p> <p><b>【事業の成果】</b>  学校図書館のコンピュータによる貸し出しや蔵書管理が可能となり、利便性が向上した。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課		施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する			
事業名	語学指導等外国青年招致						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
21,605	20,236					1,576	18,660
事業の目的							
<p>外国青年を招致し、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流の推進を図る。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  1 節 報酬 13,768千円 非常勤職員報酬：英語指導助手4名  4 節 共済費 2,105千円 社会保険料  9 節 旅費 424千円 管内旅費(通勤手当・出張旅費)  11節 需用費 78千円 消耗品費  14節 使用料及び賃借料 3,049千円 建物借上料  19節 負担金補助及び交付金 812千円  ・外国青年傷害保険負担金 88千円  ・自治体国際化協会負担金 724千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>  小学校、中学校で教員を補佐し、外国人補助教員が主に英会話の指導にあたった。英語を母語とする外国人が指導することで生きた英語を子どもたちに伝え親しませたり、異文化に触れさせたりすることができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【その他】</b>建物借上個人負担金 1,576千円</p>							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	心の教室相談						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,236	4,236						4,236
事業の目的							
生徒の学校への適応を援助したり、悩みなどを気軽に相談しストレスを和らげたりするため第三者的な存在となり得る「心の教室相談員」を配置し、生徒指導上の諸問題の解決、改善に資する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 7節 賃金 4,236千円 「心の教室相談員」を5校全中学校に配置(週4日・1日6時間勤務)							
<b>【事業の成果】</b> 悩みなどを気軽に相談できる環境を整えることにより生徒のストレスを和らげ、生徒指導上の諸問題を改善することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校教育課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	運動部活動外部指導者活用						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
841	777			388			389
事業の目的							
中学校の運動部活動において、地域の専門的指導者を派遣して運動部活動と地域社会との連携を進め、運動部活動の活性化を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 755千円 外部指導者謝金 9節 旅費 5千円 指導者研修会旅費 12節 役務費 17千円 外部指導者スポーツ保険料 外部指導者10名：東中(ソフトボール、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール) 西中(バドミントン・剣道) 久米中(卓球男子・女子、バスケットボール) 河北中(バレーボール)							
<b>【事業の成果】</b> 教員が不慣れな競技などの指導を外部指導者と協力して行い、生徒の競技力向上と教員の負担軽減につながった。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 運動部活動外部指導者活用事業費補助金(1/2) 388千円							

担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する					
事業名	社会教育総務							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
18,894	17,909						17,909	
事業の目的								
生涯学習全般についての助言、会議（社会教育委員協議会、公民館管理委員長会等）を開催する。 公民館長の配置、職員の研修を行い、各地域の生涯学習内容の充実を図る。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 報酬 15,339千円 ・社会教育委員報酬（12人 社会教育委員協議会 2回開催）85千円 ・公民館長報酬（13館 13人）15,254千円 公民館長会及び館長研修会9回、主事研修会9回、全体研修1回、初任者研修3回 共済費 2,048千円 報償費 115千円 旅費 105千円（公民館長費用弁償104千円 ほか） 需用費 246千円（消耗品費146千円 ほか） 役務費 2千円 使用料及び賃借料 10千円（機械借上料） 負担金補助及び交付金 44千円（負担金）								
<b>【事業の成果】</b> ・社会教育委員協議会で研修や情報交換を行い、委員の率直な意見を今後の社会教育の参考とした。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	生涯学習課	施策	【戦略】18 子どもたちがどこに行っても自慢したくなる、倉吉の愛着と誇りづくりを進める				
事業名	成人式						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,552	1,255						1,255
事業の目的							
多くの市民で新成人を祝う成人式を開催する。「新成人から感謝を伝えよう」をテーマに新成人等有志で実行委員会を構成し企画運営する。中学生・高校生のボランティア参加を呼びかけ、将来の実行委員の育成につなげる。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 報償費 13千円（公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会ほか） 需用費 442千円（印刷製本費358千円（記念写真・しおり）ほか） 役務費 187千円（通信運搬費：記念写真郵送） 委託料 455千円（成人式運営委託） 記念品（マグボトル）、成人式企画（合唱、恩師からのビデオレター・サプライズ登場、チェキ撮影）、企画会議等 実行委員14人、実行委員会6回 新成人参加者352人（対象者469人／参加率75.1%）、来賓・一般参加者331人 中高生ボランティア33人 実行委員会OB5人 使用料及び賃借料 158千円（会場借上料：倉吉未来中心）							
<b>【事業の成果】</b> ・実行委員会では「大人とは何か。～感謝から開ける明日、新成人としての歩み～」をテーマに、企画を行った。恩師からのビデオレターの上映及びサプライズ登場を行い、会場全体で「友～旅立ちの時～」 「旅立ちの日に」を合唱し、成人としての決意、地元への想いを全体で共有した。実行委員会OBの協力者が増え、企画会議や当日の運営など実行委員をサポートするなど実行委員経験者の連携に繋がってきた。							
主な特定財源（名称、金額等）							



担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	生涯学習推進						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 成人教育費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
207	147						147
事業の目的							
<p>様々な専門知識や技術を習得された方々を人材銀行に登録し、子ども会や自治公民館など市内の地域活動団体等が主催する諸活動、学級講座等に講師として派遣することで、学習活動を支援する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  報償費 140千円  ・人材銀行派遣事業 (登録100人 派遣35回・派遣者35人) 報償金 140千円  地域の諸活動や学級・講座に登録者を派遣、講座等参加者 659人  需用費 7千円(消耗品費)</p> <p><b>【事業の成果】</b>  ・専門的知識を持った方の指導者登録の拡大に努め、登録者の充実を図った。(新規登録者7人)  ・ホームページや市報での啓発に努めた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	成人教育						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 成人教育費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
544	481					82	399
事業の目的							
<p>市民の高度な学習要求に対応し、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座や生涯学習講座等により専門的な学習機会を提供する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b>  報償費 100千円 女性連絡会開催(代表者会1回・運営員会1回・中学校区活動4回・全体研修1回、参加者181人)  生涯学習講座(座学4回・市内研修1回、特別講座1回、参加者延べ373人)  需用費 31千円(消耗品費)  委託料 350千円 鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座委託料(5回、参加者延べ480人)</p> <p>参考：生涯学習講座・若者講座(県民カレッジ講座2回、市単独事業1回、参加者延べ48人)</p> <p><b>【事業の成果】</b>  ・生涯学習講座は「美の匠～つながる美の系譜～」と題し、倉吉の美術界を育んだ先人や次世代アーティストについて学習する機会を提供。  ・県教委と連携し、若者を対象とした連続講座を実施。  ・鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座は「学び続けて生きる～自然から学ぶ・人から学ぶ・地域から学ぶ～」を総合テーマとし、自然・人との関わり・地域・文化など、専門的学術的な知見を切り口に学び考えた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	公民館管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 公民館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
116,539	110,012				1,300	43	108,669
事業の目的							
住民が気軽に集い、継続して学習できる環境を整備するため地区公民館の維持管理運営を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 需用費 4,493千円(修繕料4,444千円 ほか) ・各地区公民館修繕・保守 灘手公民館空調取替1,512千円、成徳公民館昇降機修繕626千円、西郷公民館昇降機修繕518千円 灘手公民館サッシ取替295千円、明倫公民館分電盤改修374千円、明倫公民館駐車場舗装修繕486千円 他 計4,444千円 委託料 105,140千円 ・公民館管理運営委託(13地区公民館 公民館の管理運営を委託) (管理費・人件費・事業費・管理委員会費) 101,250千円 [各公民館指定管理料] 上北条7,421千円、上 井9,412千円、西 郷7,307千円、上 灘9,698千円、成 徳8,207千円 明 倫8,162千円、灘 手7,803千円、社 7,287千円、北 谷6,972千円、高 城6,936千円 小 鴨8,104千円、上小鴨7,203千円、関 金6,738千円 [その他委託料] 公民館定期点検委託983千円、消防設備管理委託691千円、清掃業務委託 2,216千円 使用料及び賃借料 379千円(機械借上料(AED))							
<b>【事業の成果】</b> ・老朽化により機能不全に陥った空調機の取替及び昇降機等の修繕、突発的に必要となった施設の修繕を実施した。 ・学習の拠点、地域づくりの核として各種団体と連携しながら公民館の役割を果たすことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 地域活性化事業債 1,300千円							

担当課	生涯学習課	施策	【戦略】23 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる				
事業名	公民館活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 公民館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,522	1,343						1,343
事業の目的							
地域における多様な生涯学習活動を推進するため、地域課題や現代的課題に関する学習機会を地域住民に提供し、住民が主体となって企画・運営を行い、中長期的な視野で課題を解決する「研究指定事業」として開催する。 地区公民館の日頃の活動・学習の成果を広く市民に発表する「公民館まつり」を開催する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 委託料 1,343千円 ・公民館まつり委託料(作品展・公民館活動発表) 576千円 ・公民館研究指定事業委託料(13公民館) 767千円							
<b>【事業の成果】</b> ・公民館まつりを通して、日頃の公民館での活動、学習成果を広く市民に周知した。 ・地域の課題や現代的課題を解決することを目的とした研究指定事業を実施し、課題を解決する学習を通して地域住民が主体的に学習する機会を提供することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する				
事業名	青少年教育						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 生涯学習費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,322	3,141						3,141
事業の目的							
<p>青少年の健全育成を図るため、倉吉市青少年育成協議会、青少年育成鳥取県民会議、倉吉市子ども会連絡協議会、倉吉地区青少年補導センターとの連携・支援を図る。</p> <p>「中部ものづくり道場（鳥取大学・鳥取県連携）」支援により指導者の養成と子どもたちのものづくり体験機会の充実を図る。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>報償費 45千円          需用費 19千円（消耗品費）          委託料 589千円</p> <p>・青少年育成協議会委託料（13地区各45千円、青少年育成鳥取県民会議4千円） 589千円          子ども会リーダー研修会（2回 参加者延55名）          子ども会指導者・育成者研修会（2回 参加者55名）</p> <p>使用料及び賃借料 9千円（バス借上料）          負担金補助及び交付金 2,479千円</p> <p>・倉吉地区青少年補導センター負担金（少年補導事業の支援、市町負担分の2/3を負担） 2,379千円          評議員会2回、運営委員会6回、街頭補導毎週実施</p> <p>・中部ものづくり道場負担金（鳥取大学・鳥取県連携）100千円</p> <p>【事業の効果】</p> <p>・青少年の健全育成に必要な事業を各地域ごとに取り組み、地域性を活かした事業を展開した。          ・少年の非行防止を目指して小中高の教員と地域住民が連携し、下校時やイベント時など巡回による啓発活動を行った。          また、青少年のインターネット端末機の利用に関する意識を高めるため、ペアレンタルコントロールの街頭啓発を行った。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	生涯学習課	施策	【戦略】18 子どもたちがどこに行っても自慢したくなる、倉吉の愛着と誇りづくりを進める				
事業名	放課後子ども教室推進事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 生涯学習費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,623	2,759			1,822			937
事業の目的							
<p>倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成を図るため、地域の方々の参画を得て各地区に安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の特色を生かした体験活動、交流活動を推進する。</p>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>報償費 1,831千円          需用費 229千円（消耗品費ほか）          役務費 405千円（保険料378千円ほか）          使用料及び賃借料 294千円（バス借上料268千円ほか）</p> <p>子どもいきいきプラン（放課後、土日、休業日） 13地区154回、参加3,386人          上北条3回45人、上井5回98人、西郷15回266人、上灘9回319人、成徳14回393人、          明倫13回176人、灘手2回36人、社5回245人、北谷7回218人、高城7回104人、          小鴨10回231人、上小鴨3回36人、関金37回745人（内まなび教室29回559人）          関金わくわく教室（放課後、土日、休業日） 24回474人</p> <p>【事業の成果】</p> <p>・放課後、土日、長期休業日における子どもたちの安心・安全な居場所づくりと体験活動を通して、親子及び異世代交流を図った。          ・関金地区で平日の放課後に宿題支援を行う「まなび教室」を開催し、地域の人材を活かした取り組みを実施した。          ・児童館との連携事業「関金わくわく教室」を関金児童館で開催した。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
【県】学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 1,822千円							

担当課	生涯学習課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	社会体育総務						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
740	556						556
事業の目的							
スポーツ振興に係る事務費等経費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 需用費 106千円(消耗品費 41千円 ほか) 使用料及び賃借料 450千円(公用車リース料 363千円 ほか)							
<b>【事業の成果】</b> ・所管施設の状況確認や事業実施を円滑に行うことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	学校体育施設開放						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,399	1,237						1,237
事業の目的							
地域住民のスポーツ活動の場として、学校体育施設を有効利用し、市内の小学校(13校)と中学校(5校)の体育施設を地域住民に開放して地域スポーツの振興を図るため、学校体育施設ごとに設置されている学校体育施設開放企画運営委員会へ運営委託する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 委託料 1,237千円 ・学校体育施設開放企画運営委託料 1,237千円 企画運営委員会 18校(16委員会)							
<b>【事業の成果】</b> ・地域住民のスポーツ活動の場として学校の体育施設を広く住民に開放することで、地域スポーツの振興を図った。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	生涯スポーツ振興						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
383	164						164
事業の目的							
生涯スポーツの普及促進を図るため、各地区でスポーツ教室を実施し、スポーツ活動参加への動機づけ並びに継続活動の基盤となる仲間づくりを図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 報償費 24千円(スポーツ教室講師謝金) 需用費 140千円(スポーツ教室教材費等) スポーツ教室 ファミリーバドミントン 13教室・全41回開催・参加734人							
<b>【事業の成果】</b> ・今年より全市統一してファミリーバドミントンを実施したことにより、参加者が大幅に増加した。健康の保持増進に対する住民の意識が高まってきている。スポーツ活動参加への動機付けと活動継続のための仲間づくりとなった。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	くらよし女子駅伝競走大会						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
5,143	1,828						1,828
事業の目的							
南部忠平杯第33回くらよし女子駅伝競走大会(1チーム5区間21.0975km)を開催し、市民のスポーツ活動への意識高揚を図るとともに、スポーツを通じた地域活性化を図る。 新日本海新聞社に開催業務を委託し、運営業務の効率化・経費の軽減を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 委託料 1,828千円 ・南部忠平杯第33回くらよし女子駅伝競走大会委託料							
<b>【事業の成果】</b> ・毎年多数のチームが参加し、スポーツを通じた地域活性化を図っていたが、今年度は台風25号接近のため大会を中止した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める				
事業名	社会体育振興						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
9,854	7,626	財源内訳					7,626
事業の目的							
スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を開催するもの。 地域住民に対する実技指導・助言及び地域スポーツの振興を目的としたスポーツ推進委員の資質向上を図るため、研修会(講習会・実技研修・ニュースポーツ交流会他)を実施する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 報酬 1,765千円(スポーツ推進委員報酬) スポーツ推進委員51人 研修会・各種大会協力7回 報償費 208千円 旅費 15千円 需用費 5千円 役務費 100千円(90千円(保険料)、10千円(広告料)) 負担金補助及び交付金 5,533千円 負担金 126千円 ・県体育協会負担金 24千円 ・鳥取県スポーツ推進委員協議会負担金 77千円 ほか 補助金 5,407千円 ・補助金:桜杯争奪相撲選手権大会事業補助金 218千円 桜相撲大会(35校選手222人) 倉吉市体育協会補助金 3,440千円 体育団体の育成(体育協会23団体、スポーツ少年団18団) 市民体育大会の開催 競技数:16競技 参加人数:1,512人 全国大会出場費補助金 1,354千円 児童生徒の参加費補助 23件 日本海競争駅伝補助金 195千円 全日本クライングニュース選手権大会補助金 200千円							
【事業の成果】 ・「生涯スポーツ社会」の構築を目的として市民体育大会(市・教育委員会・体協共催)を開催するとともに、上位チームを県民スポレク祭に派遣した。 ・各種スポーツ団体の育成、支援及び青少年の心身の健全育成、競技力の向上を図るため日本海駅伝競走大会、桜相撲大会等の開催、運営を支援した。 ・全国的な規模のスポーツ競技大会に参加する児童生徒の参加費を補助し活動を支援した。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	生涯学習課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	体育施設維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
139,988	44,182	財源内訳	18,500		13,600	4	12,078
事業の目的							
利用者が安心安全に利用できるよう体育施設等の老朽化・経年劣化による不良箇所の修繕・整備を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 需用費 5,805千円(修繕料:市営温水プールシーケンサー交換修繕 2,970千円 ほか) 委託料 11,076千円 ・市営野球場バックスクリーン改修工事の実施設計業務 1,739千円 ・市営陸上競技場インフィールド改修基本設計業務 7,882千円 ・市営野球場バックスクリーン改修工事監理業務 1,280千円 ほか 使用料及び賃借料 58千円 工事請負費 27,216千円 ・市営野球場バックスクリーン改修工事 27,216千円 原材料費 27千円							
【事業の成果】 施設の改修・整備をすることで利用者が安心・安全に利用できるようになった。							
令和元年度繰越額 92,802千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 社会資本整備総合交付金 18,500千円 【地方債】 体育施設整備事業債 13,600千円							

担当課	生涯学習課	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	体育施設管理運営						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
93,123	93,097	財源内訳				500	92,597
事業の目的							
<p>体育施設及び温水プールを利用者が安心安全に利用できるよう指定管理者制度により適切に管理し、スポーツの振興と健康増進を図るもの。また温水プールについては高齢者の健康増進を目的に70歳以上の者を無料とし、その減免分を一定額支出する。</p> <p>体育施設指定管理協定が平成30年度で満了するため、選定委員会を設置し、次期指定管理者を選定した。</p> <p>体育施設 15施設 (株)ミズノに委託 26～30年度  倉吉スポーツセンター(合宿所・体育館)、体育センター、陸上競技場、庭球場、野球場、武道館、相撲広場、射撃場、東巖城町河川敷スポーツ広場、ラグビー場、関金野球場、関金テニスコート、関金多目的広場、関金屋根付多目的広場、関金健康増進施設  市営温水プール (株)リースキン倉吉に委託 27～令和元年度</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> 報酬 50千円 委託料 93,000千円 ・体育施設等指定管理料 ミズノグループ 48,000千円							
施設利用状況 (人)							
施設名		利用人数		施設名		利用人数	
倉吉スポーツセンター(合宿所)		3,415		河川敷スポーツ広場		4,973	
倉吉スポーツセンター(体育館)		16,672		ラグビー場		3,405	
体育センター		13,882		関金野球場(総合運動公園)		5,803	
陸上競技場		19,838		関金テニスコート(総合運動公園)		1,573	
庭球場		6,659		関金多目的広場(総合運動公園)		3,508	
野球場		8,287		関金屋根付多目的広場(総合運動公園)		2,302	
武道館		13,908		関金健康増進施設		5,664	
相撲広場		950		計		111,076	
射撃場		237					
<p>・市営温水プール指定管理料 (株)リースキン倉吉 43,500千円 利用者66,959人  ・高齢者健康増進事業(温水プールの利用料金 70歳以上無料化) 1,500千円 利用者6,748人  使用料及び賃借料 47千円(AEDリース料)</p>							
【事業の成果】							
市民の健康増進・アミューズメント施設として多くの者が利用し、健康増進が図られた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】 指定管理協定事項負担金 500千円							

担当課	生涯学習課	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	関金B&G海洋センター管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育施設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4,060	2,274	財源内訳				229	2,045
事業の目的							
海洋性スポーツ・レクリエーション活動を通じて青少年の健全育成、生涯スポーツの普及促進を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> 共済費 212千円 賃金 1,405千円 臨時職員2名(4～9月) 旅費 218千円 需用費 118千円(修繕料14千円 ほか) 役務費 148千円(手数料99千円 ほか) 負担金補助及び交付金 173千円 <p>艇庫利用者1,307人(うち教室参加者836人)</p>							
【事業の成果】							
<p>・幼児から高齢者まで楽しめることから多くの者が利用し、生涯スポーツの普及促進が図られた。</p> <p>・教室受講者の中から毎年全国大会入賞が続いており財団から高い評価を得ている。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】 関金B&G海洋センター使用料ほか 229千円							

担当課	生涯学習課	施策	その他（鳥取県中部地震対策）					
事業名	体育施設災害復旧事業【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	3 その他の公共施設災害復旧費	目	3 教育施設災害復旧費（繰越明許）	
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
7,624	6,123	財源内訳				5,300		823
事業の目的								
鳥取県中部地震等により被災した倉吉市営射撃場等を復旧する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 工事請負費 6,123千円 ・市営射撃場射台コンクリート補修工事 648千円 ・市営射撃場法面復旧工事 5,343円 ・市営射撃場射台屋根復旧工事 132千円  <b>【事業の成果】</b> 鳥取県中部地震により被災した体育施設の復旧工事を行い、施設の安全性を確保した。								
<b>【地方債】</b> 教育施設災害復旧事業債 5,300千円								



担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	文化財保護						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
3,459	2,918	財源内訳				9	2,909
事業の目的							
貴重な国民的財産である文化財を適切に保存して次世代に継承していくため、その保存及び活用のために必要な措置等を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】				【事業の成果】			
1節 報酬 (文化財保護審議会委員95千円、非常勤職員473千円)		568千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会(2回)、同専門委員会(1回)を開催。</li> <li>指定、登録有形文化財、未指定文化財を、調査、保護。</li> <li>旧小倉家住宅の新国登録、賀茂神社の国登録具申。</li> <li>文化財説明版新調(満正寺木造地藏菩薩立像)修理(伯耆国庁、三度舞大將塚古墳)</li> <li>文化財マップ「倉吉文化財さんぽ」作成。</li> </ul>				
4節 共済費		77千円					
8節 報償費 (指定文化財等管理者報償金)		489千円					
9節 旅費		287千円					
11節 需用費		691千円					
12節 役務費		64千円					
13節 委託料		92千円					
14節 使用料及び賃借料 (公用車リース料等)		583千円					
19節 負担金補助及び交付金		50千円					
27節 公課費 (自動車重量税)		17千円					
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】9千円(倉吉の鋳物師売払収入)							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	市内遺跡分布調査						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
10,000	9,244	財源内訳	4,500	2,250			2,494
事業の目的							
市内の埋蔵文化財包蔵地における各種開発について、埋蔵文化財の保護を図るため、また開発事業との調整を行うために試掘・確認調査を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】				【事業の成果】			
4節 共済費		36千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>石塚・福山地区(国道313号改良工事)453m<sup>2</sup>(奈良時代~中世)、国府地区(産廃処分場造成)249m<sup>2</sup>(縄文時代~弥生時代)大谷地区(工業団地整備)外5地区 計913.3m<sup>2</sup></li> </ul>				
7節 賃金(発掘、内務作業員)		8,448千円					
11節 需用費		526千円					
12節 役務費		16千円					
14節 使用料及び賃借料(仮設トイレ)		218千円					
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】埋蔵文化財発掘調査費補助金			4,500千円				
【県】埋蔵文化財発掘調査費補助金			2,250千円				

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	市内埋蔵文化財緊急発掘調査						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,000	0	財源内訳					0
事業の目的							
当初計画にない開発事業に対応し、緊急に発掘調査を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
実施なし。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	史跡維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
11,710	10,958	財源内訳				336	10,622
事業の目的							
貴重な歴史文化遺産である史跡を適切に保存して次世代に継承していくため、その維持管理を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>			<b>【事業の成果】</b>				
1節 報酬(非常勤職員)	1,011千円		・伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡・大御堂廃寺跡についてはトイレ等の清掃業務及び植栽樹芝管理等の業務を委託。				
11節 需用費	725千円		・市内5カ所の史跡において、除草、植栽樹、芝管理等の維持管理を実施(伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡・大御堂廃寺跡・阿弥大寺古墳群・伯耆国庁跡)。市民の史跡への理解と積極的な利用・活用を図った。				
12節 役務費	379千円						
13節 委託料	8,702千円						
(除草委託料925千円、清掃等委託料1,135千円、植栽樹芝管理委託料6,642千円)							
22節 補償補填及び賠償金(車両損害賠償金)	141千円						
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 336千円(歴史公園使用料、賠償保険等)							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
130,936	74,069	財源内訳	50,394	7,187		14,104	2,384
事業の目的							
倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区に所在する伝統的建造物の歴史的景観を守り、地区住民の住環境を整備し、これを市内外に発信し伝建地区の活性化を図るため、建造物等の修理・修景を支援するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】				【事業の成果】			
1 節 報酬 2,063千円 (審議会委員170千円、非常勤職員1,893千円)				・鳥取県中部地震で被災した伝統的建造物のうち特定物件31棟の災害復旧事業を行い、歴史的景観を守った。			
4 節 共済費 277千円				・倉吉町並み保存会に「くら用心」の管理を委託。保存会の協力を得ながら災害復旧事業を行い、伝建制度の周知及び伝建地区内の活性化を図った。			
9 節 旅費 514千円				令和元年度への繰越額 26,271千円			
11 節 需用費 168千円							
12 節 役務費 47千円							
13 節 委託料 250千円							
19 節 負担金補助及び交付金 70,750千円 (全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金 50千円 建築物保存修理修景事業費補助金 70,700千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 伝統的建造物群保存事業費補助金 50,394千円							
【県】 伝統的建造物群保存事業費補助金 7,187千円							
【その他】 14,104千円 (ふるさと未来づくり基金 14,000千円 くら用心使用料 104千円)							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	指定文化財保存整備						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
17,391	16,349	財源内訳		114	1,500	9,108	5,627
事業の目的							
国・県・市指定文化財の建造物、工芸品等を適切に保存して次世代に継承していくため、その保護、保存修理、保全及び整備を行うもの。 また指定文化財を広く一般に公開し、これを活用したまちづくりを進めるため、保存整備事業を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】				【事業の成果】			
11 節 需用費 731千円				・小川氏庭園(環翠園)の公開に向け、茶室など本格的に整備着手し、樹木の修復剪定を行った。			
12 節 役務費 173千円				・倉吉淀屋の屋外トイレを新設し、利便性が向上した。			
13 節 委託料 3,347千円 (倉吉淀屋管理2,500千円、淀屋トイレ工事設計454千円、淀屋鳥飼家消防設備保守点検76千円、関金シイ剪定317千円)				・倉吉淀屋の来館者数が増加した。			
15 節 工事請負費(淀屋トイレ工事) 3,017千円				・波波伎神社社叢再生事業として、調査報告会を実施した。			
19 節 負担金補助及び交付金 9,081千円 (長谷寺厨子管理13千円、小川氏庭園保存処理9,068千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】 指定文化財補助金 114千円							
【地方債】 文化財施設整備事業債 1,500千円							
【その他】 9,108千円 (ふるさと未来づくり基金9,000千円、淀屋鳥飼家使用料108千円)							

担当課	文化財課		施策		その他（鳥取県中部地震対策）			
事業名	【震災関連】指定文化財保存整備							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,853	3,574						3,574	
事業の目的								
鳥取県中部地震により被災した県指定保護文化財の修理及び修理費の補助。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】			【事業の成果】					
19節	負担金補助及び交付金 （文化財保存・保護事業費補助金）	3,574千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定保護文化財不入岡の石仏の修理が完了した。</li> <li>・県指定保護文化財桑田家住宅主屋の躯体修理が完了した。</li> </ul>					
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	文化財課		施策		20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える			
事業名	史跡大御堂廃寺跡整備事業							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費	
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,000	2,000		1,000	200			800	
事業の目的								
本史跡の隣接地に建設が決定した県立美術館の建設計画との整合性を図りながら、活用の相乗効果を期待できるような整備を進めるため、平成30年度より2ヵ年計画で保存活用計画を策定する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】			【事業の成果】					
8節	報償費(策定委員会)	70千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡大御堂廃寺跡保存活用計画策定委員会」を設置し、委員委嘱を行った。</li> <li>・策定委員会を3回開催し、策定計画の素案の前半部分について協議を行い次年度の計画完成へ引き継げるようまとめた。</li> </ul>					
9節	旅費	175千円						
11節	需用費	15千円						
12節	役務費	13千円						
13節	委託料(計画策定業務委託料)	1,727千円						
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】史跡活用整備費補助金		1,000千円						
【県】史跡活用整備費補助金		200千円						

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	両長谷遺跡第2次発掘調査						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
13,800	13,800	財源内訳				13,800	0
事業の目的							
民間業者からの受託事業。産業廃棄物処分場造成に伴い、影響を受ける範囲について発掘調査を実施し、記録保存する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>				<b>【事業の成果】</b>			
1節	報酬(非常勤職員)		473千円	・両長谷遺跡(倉吉市国府)の調査を行った(調査面積3,800㎡)。			
4節	共済費		125千円	・弥生時代後期の集落跡を調査し、焼失した建物や市内最大規模の建物を含む9棟の竪穴建物跡を確認した。			
7節	賃金(発掘、内務作業員)		11,663千円	・出土遺物整理、図面整理を行った。			
11節	需用費		537千円				
12節	役務費		74千円				
14節	使用料及び借上げ料 (自動車借上げ料、コンピューターソフト使用料)		928千円				
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】13,800千円(遺跡発掘調査事業費収入)							

担当課	文化財課	施策	その他(鳥取県中部地震対策)				
事業名	【震災関連】くら用心災害復旧						
会計・予算科目	会計一般	款	11 災害復旧費	項	3 その他の公共施設災害復旧費	目	1 教育施設災害復旧
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,305	1,528	財源内訳	1,069	85	300		74
事業の目的							
鳥取県中部地震により被災したくら用心の復旧を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>				<b>【事業の成果】</b>			
13節	委託料(設計監理委託料)		189千円	・土蔵2棟の修理が完了した。これによりくら用心全体の復旧が完了した。			
15節	工事請負費		1,339千円				
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】伝統的建造物群保存事業費補助金 1,069千円							
【県】伝統的建造物群保存事業費補助金 85千円							
【地方債】教育施設災害復旧事業債 300千円							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 文化事業費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
100,934	83,624	財源内訳	60,785	7,740		15,099	0
事業の目的							
倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区に所在する伝統的建造物の歴史的景観を守り、地区住民の住環境を整備し、これを市内外に発信し伝建地区の活性化を図るため、建造物等の修理・修景を支援するもの。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 83,624千円 (建築物保存修理修景事業費補助金)				【事業の成果】 ・鳥取県中部地震で被災した伝統的建造物のうち特定物件38棟の災害復旧修理事業を行い、歴史的景観を守った。			
主な特定財源（名称、金額等）							
【国】 伝統的建造物群保存事業費補助金 60,785千円 【県】 伝統的建造物群保存事業費補助金 7,740千円 【その他】 平成29年度ふるさと未来づくり基金既収入 16,000千円（うち充当額 15,099千円）							

担当課	文化財課	施策	20 貴重な歴史文化遺産を守り、伝える				
事業名	津原遺跡群発掘調査【繰越明許】						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 文化事業費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
5,944	5,944	財源内訳				5,944	0
事業の目的							
県道倉吉東伯線（津原工区）改良工事に伴い、影響を受ける範囲を記録保存するため、発掘調査を実施するもの。（中部総合事務所県土整備局からの受託事業）							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
【事業の実績】 4節 共済費 19千円 7節 賃金(作業員) 5,130千円 11節 需用費 702千円 12節 役務費 8千円 13節 委託料 3千円 14節 使用料及び借上げ料 82千円 (自動車借上げ料、コンピューターソフト使用料)				【事業の成果】 ・倉吉市津原字西焼ス、字下焼スの調査を行った(2,150㎡)。 ・平成29年度から始まった道路改良工事に伴う発掘調査の繰越事業。 ・弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴建物跡、古墳時代前期から中期の古墳、奈良・平安時代の掘立柱建物跡等を確認した。 ・遺物整理、図面整理、調査報告書の作成・刊行を行った。			
主な特定財源（名称、金額等）							
【その他】 5,944千円（遺跡発掘調査事業費収入）							

担当課	図書館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	図書館運営						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 図書館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
52,256	51,053					127	50,926
事業の目的							
倉吉市立図書館・せきがね図書館運営 ①図書貸出・情報提供業務(登録・閲覧・貸出・返却・予約・相互貸借・複写・調査援助・リクエスト)②対象者別業務(障がい者サービス・児童サービス・ヤングアダルトサービス・高齢者サービス、多文化提供サービス・ボランティア、学校図書館、類縁機関等との連携)③図書館システム維持管理業務④統計・広報・職員研修業務							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
1節 報酬8,600千円 4節 共済費4,096千円 7節 賃金17,893千円 9節 旅費35千円 11節 需用費3,291千円 12節 役務費2,507千円 14節 使用料及び賃借料6,623千円 18節 備品購入費7,999千円 19節 負担金補助及び交付金9千円							
【事業の実績】 開館日数：倉吉295日、せきがね290日 個人貸出冊数：304,038冊 登録者数(個人)：39,316人 相互貸借(借用)：4,335冊 相互貸借(貸出)：891冊 団体貸出冊数(セット除く)：17,929冊 コピーサービス：9,865枚 図書購入冊数：4,624冊 図書購入費：8,000千円 蔵書冊数(視聴覚資料を除く)：261,807冊(倉吉226,188冊 せきがね35,619冊) 利用の指標(対象人口：48,340人) 市民1人当たり貸出冊数：6.28冊 市民1人当たり図書購入冊数：0.10冊 登録者1人当たり貸出冊数：7.73冊 市民1人当たり資料購入費：165.4円 登録率：81.339% 資料購入平均単価：1,730.1円							
【事業の成果】 多様なニーズに応える図書・資料を備えるとともに県立図書館など他館から図書を借用し、多くの市民に利用していただいた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】コピー使用料等 127千円							

担当課	図書館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	読書活動推進						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 図書館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,374	1,100			320			780
事業の目的							
子どもを中心とした多くの人々が本と触れ合う機会を作るため、読み聞かせや読書について啓発・普及活動を行い、生涯を通じた読書習慣の育成を目的に推進活動を行うもの。読書習慣の定着から、情報・知識の積極的な取得や文化芸術の理解の促進を図り、豊かな人間性の醸成や生きる力の育成を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
8節 報償費181千円 9節 旅費44千円 11節 需用費857千円 12節 役務費18千円							
【事業の実績】 ・ブックスタート(6か月児) 368人(1歳6か月児) 368人 ・子育て講演会(絵本作家武田美穂氏) 95人 ・ストーリーテリング 9人 ・読み聞かせ連続講座 2回17人 ・地震講演会 23人 ・おはなしかい 20回100人 ・あかちゃんのおはなしかい 40回378人 ・むかし話をきく会 12回94人 ・おでかけおはなし隊 27回439人 ・その他外国語でのおはなしかい等 7回92人 ・よみきかせ体験 10人 ・大人のためのおはなしかい 20人 ・ぬいぐるみのおとまりかい 16人 ・小道具づくり 17人 ・夏休み行事：おてんきひろば 100人、一日図書館員 24人、工作教室 20人 ・スタンプラリー 22人 ・読書週間行事：本/新聞のリサイクル市 113人 ・雑誌のリサイクル市 200人 ・ビジネス支援事業 230人 ・職場体験学習受入 5校11人16日間 ・図書館ボランティア受入 30人6団体 ・講師派遣、出前図書館 14回 ・サイエンスアカデミー 91人							
【事業の成果】 ブックスタート事業では絵本をプレゼントし、読み聞かせの指導を行い、乳幼児への読み聞かせの普及を図った。 子育て講演会では、絵本作家武田美穂氏の読み聞かせを軸にした講演と、キラキラバッチづくりのワークショップをしていただき、読書への関心を高めた。また、学校での講演会・ワークショップもあわせて実施していただき、ひろく子どもたちの読書推進を行った。 読み聞かせ連続講座を実施し、ボランティア養成を図るとともに子育て世代への読み聞かせに対する理解を深めた。夏休み行事の一日図書館員体験などにより図書館への理解を深めた。職場体験学習では普段あまり目にするものの少ない裏方の作業なども体験してもらい、利用者のニーズに応じた各種サービスを図書館が行っていることを理解してもらった。また、ぬいぐるみのおとまりかいなど様々なイベントの企画を行うことで図書館利用の活性化及び読書推進につなげた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【県】社会教育市町村補助金(子育て応援市町村交付金) 320千円							

担当課	図書館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	パークスクエア管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 図書館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,560	14,011				700	74	13,237
事業の目的							
○倉吉パークスクエア施設の維持管理 植栽・噴水・広場・遊具・屋外トイレ・駐車場・通路等の施設維持管理、警備業務、ニホンリス展示飼養 ○広場内行為許可等(行為許可の手続き、使用料の收受等)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業実績】 11節 需用費 5,008千円 ・修繕料 3,023(遊具1,722 その他1,301) ・光熱水費 1,541 ・飼料費 168 ・消耗品等 276 12節 役務費 1,623千円 ・遊具点検手数料 294 ・植栽剪定、除草、除雪等業務手数料 1,329 13節 委託料 7,380千円 ・トイレ及び周辺清掃 3,436 ・警備業務 3,108 ・噴水設備維持管理 458 ・トイレ定期清掃 216 ・ゴミ収集業務 162							
【事業の成果】 屋外遊具のある多目的広場、噴水設備のあるふれあい広場、図書館外廻池周辺の集いの広場、屋外トイレ等の維持管理を行い、安心・安全な施設提供を行った。ニホンリスオープンケージの一般公開を実施(1,245人来園)し、自然の大切さと人と動物の共生に向けた体験学習の場を提供できた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】公共施設等適正管理事業債 700千円 【その他】パークスクエア広場使用料 43千円 水道使用料 31千円							

担当課	図書館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	交流プラザ総務管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 図書館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
29,720	29,173					3,249	25,924
事業の目的							
○交流学习等の支援及び推進を図る施設運営 倉吉交流プラザ研修室等の運営管理・利用案内、使用許可手続き、施設使用料の收受等 ○倉吉交流プラザ施設の維持管理(清掃業務・建物総合管理業務、施設修繕等)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業実績】 倉吉交流プラザ年間利用者数 26,542人 1節 報酬 879千円(夜間看守業務) 4節 共済費 3千円 11節 需用費 16,951千円 ・光熱水燃料費 14,562 ・修繕料 1,645 ・消耗品等 744 12節 役務費 1,582千円 ・手数料 1,018 ・通信運搬費 479 ・保険料 85 13節 委託料 9,243千円 ・交流プラザ清掃 2,862 ・空調設備点検 2,754 ・昇降機保守点検 1,187 ・機械警備 648 ・中央監視制御設備保守点検 562 ・建築物環境衛生管理 393 ・自家用電気工作物 443 ・消防用設備 216 ・地下タンク 92 ・給排水設備 86 14節 使用料及び賃借料 506千円(コピー機、印刷機借り上げ料等) 27節 公課費 9千円							
【事業の成果】 図書館と交流学习の機能を合わせ持つ倉吉交流プラザ施設の維持管理業務を行った。丁寧な利用案内、窓口対応に心がけ、利用者の交流学习等の支援ができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】交流プラザ使用料 2,318千円 電気使用料 390千円 利用促進協力金 194千円 行政財産使用料 107千円 広告掲載料ほか 240千円							



担当課	図書館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	山上憶良短歌募集						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 図書館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
1,077	962						962
事業の目的							
<p>山上憶良にちなみ、優れた歴史文化資源を持つ倉吉を広く発信するため全国を対象に作品を公募し、小・中・高・一般の部門ごとに審査し優秀な作品を表彰する。また、受賞作品集を配布することにより山上憶良短歌賞を宣伝し全国的な賞に成長させ、市民の誇りと自己肯定感、地域づくりへの積極的な態度を醸成する。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>8節 報償費(選者謝金、入賞者副賞) 380千円 9節 旅費24千円 11節 需用費(チラシ・作品集印刷費、消耗品等) 209千円 12節 役務費(チラシ運搬費、雑誌広告料、作品データ入力料) 331千円 14節 使用料及び賃借料18千円</p> <p><b>【事業の実績】</b>      応募数 5,518首(昨年度 5,495首)      (市内) 小:549首、中:606首、高:475首、一般:37首 小計:1,667首      (県内) 小:377首、中:250首、高:2首、一般129首 小計:758首      (県外) 小:171首、中:733首、高:1,370首、一般:819首 小計:3,093首      入賞者副賞費(憶良賞4人、入選20人、佳作40人) 79千円      印刷費 チラシ(20,000枚) 73千円 受賞作品集(1,000冊) 84千円</p> <p><b>【事業の成果】</b>      今回は47都道府県から前年度を上回る5,518首の作品が寄せられ、歴史文化資源に富む倉吉を全国にPRすることができた。前年度に引き続き小学生を対象とした山上憶良を知る学習、作歌学習、大人を対象とした鑑賞・作歌教室などを実施し、憶良の人物像や当時の生活、そして短歌の鑑賞方法や作り方を学習した。表彰式に合わせて開催した短歌講演会には選者の永田和宏氏を講師として招き、山上憶良と大伴家持の父、旅人との交流を紹介していただいた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する					
事業名	博物館資料整備基金							
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
2	1						1	0
事業の目的								
博物館の資料整備を目的として寄附金を積立て、運用していく。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 25節 積立金 1千円 ※平成30年度末基金残高 2,971千円								
【事業の成果】 博物館資料購入費に充てるため、博物館資料整備基金の運用利子を基金に積み立てた。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】基金利子 1千円、寄附金 300千円(うち事業充当分 0千円)								

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する					
事業名	市展							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
1,109	976						285	691
事業の目的								
倉吉市並びに県中部地域において創作活動をする人たちの発表の場として開催し、併せて芸術文化活動の振興、幅広い創作者の発掘・育成を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 7節 賃金 288千円(展示監視員3人) 8節 報償費 296千円(審査員謝金230千円、賞賜金66千円 特賞・市展賞) 11節 需用費 70千円 12節 役務費 27千円 13節 委託料 295千円(展示作業)								
◆第64回倉吉市美術展覧会 (前期)会期:6/10~6/19(10日間) 出品数:108点 入館者数:1,015人 部門:日本画・工芸・書道・デザイン (後期)会期:6/24~7/3(10日間) 出品数:106点 入館者数:1,170人 部門:洋画・版画・彫刻・写真 (関連イベント) ・前期ギャラリートーク 6/10 参加者:37人 ・後期ギャラリートーク 6/24 参加者:57人 ・市展体験講座(洋画)(博物館講座) 7/1 参加者:15人								
【事業の成果】 創作活動する人たちの発表の場として開催できた。また、期間中はギャラリートークや体験講座などを実施し、芸術文化に親しむ来館者の増大と創作活動への興味・関心を高める取組を行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】入館料 85千円、市展作品搬入料 200千円								

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	創作文華展						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
285	264					143	121
事業の目的							
倉吉市美術展覧会の構成部門以外の分野で創作活動する人たちに作品発表の場を提供し、多くの美術愛好者に観覧していただくことで、美術創作活動の振興を図る。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 7節 賃金 72千円(展示監視員2人) 8節 報償費 44千円(運営委員謝金25千円、賞賜金19千円 創作文華展賞) 11節 需用費 51千円 12節 役員費 6千円 13節 委託料 91千円(展示作業)							
◆第42回倉吉市創作文華展 会期:3/19~3/24(5日間) 出品総数:127点 入館者数:733人 部門:俳画・水墨画・ちぎり絵・切り絵・押し絵・絵手紙・押花絵・その他(8部門) (関連イベント) ・創作文華展体験講座(切り絵)(博物館講座) 3/21 参加者:23人							
【事業の成果】 市展構成部門以外の分野で創作活動する人たちの作品発表の場として開催できた。また、期間中は創作する喜びを感じていただけるよう体験講座を実施し、創作活動への興味・関心を高める取組を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】入館料 16千円、創作文華展作品搬入料 127千円							

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	県展						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
210	204						204
事業の目的							
鳥取県美術展覧会を中部で鑑賞する機会を創出することを目的として実施。展覧会の運営について、展示会場施設として参画し、運営のあり方等の協議にも加わり、親しみやすかつ質の高い美術展開催を目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 13節 委託料 204千円(展示作業)							
◆第62回鳥取県美術展覧会 (前期)会期:11/10~11/16(7日間) 入館者数:749人 部門:洋画・版画・彫刻・写真 (後期)会期:11/20~11/26(7日間) 入館者数:639人 部門:日本画・書道・工芸・彫刻・デザイン							
【事業の成果】 東部・中部・西部・日野郡と県内を巡回する県展の中部会場として、倉吉博物館が共催で開催することができ、市民並びに中部地区住民の方に鑑賞する機会を提供できた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	博物館維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
30,656	28,878					71	28,807
事業の目的							
博物館の施設維持管理と運営を統括する事業。来館者に親しみやすく、安全安心な鑑賞環境を提供するための整備・充実化を目的とする。また、博物館の運営を効率的で円滑にすすめるため、非常勤職員配置や博物館協議会委員等の選任による運営を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節 報酬	5,387千円	(委員:専門委員5人・協議会委員8人、非常勤嘱託:嘱託1人・受付2人)					
4節 共済費	1,373千円						
7節 賃金	3,593千円	(臨時職員2人)					
8節 報償費	200千円	(文化顧問2人)					
9節 旅費	377千円						
11節 需用費	11,755千円	(燃料費2,077千円、光熱水費7,916千円、絵画ラックほか修繕料872千円)					
12節 役務費	963千円	(手数料846千円)					
13節 委託料	4,833千円	(エレベータ保守管理648千円、植栽管理1,382千円、清掃1,354千円)					
14節 使用料 及び賃借料	337千円	(自動車借上料156千円、機械借上料160千円)					
19節 負担金補助 及び交付金	60千円						
<b>【事業の成果】</b>							
博物館の運営について、博物館協議会委員、各専門委員、文化顧問等の指導を受けながら円滑な事業運営につなげることができた。また、博物館棟の消防設備・空調設備等の各設備に係る保守点検、そして館内清掃を業者委託により、施設の維持管理のため実施できた。収蔵庫棟の絵画を収める絵画ラックの修繕ができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 会場使用料 44千円 ほか							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	博物館普及活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
209	198					10	188
事業の目的							
博物館の役割である普及活動として、子どもから高齢者まで幅広い市民に博物館資料や歴史文化に興味関心を持ってもらうことを目的に、「親しみ学ぶ機会の提供できる博物館」を基本方針として、市内全域を対象とした講座等を実施。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
8節 報償費	135千円	(講師謝金、活動協力者謝金)					
11節 需用費	59千円						
12節 役務費	4千円						
◆倉吉博物館講座(倉吉の魅力再発見 歴史・美術・考古・自然) 合計10回 参加者:478人							
◆土曜授業(小鴨小・鴨川中) 合計2回 参加者:84人							
◆学校から依頼の講演会(成徳小・社小) 合計2回 参加者:101人							
◆地区公民館、外部団体などからの講演依頼 合計16回 参加者:653人							
◆博物館実習・職場体験学習(奈良大学:1人・河北中:2人)							
<b>【事業の成果】</b>							
郷土の歴史や文化を学ぶ場として収蔵作品や地域の文化財を題材に10回の講座を開催したほか、学校や地区公民館等地域からの講演依頼を受けて普及活動を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 倉吉博物館講座受講料 10千円							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	博物館調査研究活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
257	206						206
事業の目的							
倉吉市内ほか周辺地域から博物館資料を収集・保管し、展示公開や顕彰活動へ繋げることを目的として、学芸員による専門的な調査研究を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 50千円(調査研究協力者謝金3人) 9節 旅費 117千円(資料調査出張旅費等) 11節 需用費 6千円 12節 役務費 4千円 18節 備品購入費 29千円(図書)  ◆外部専門家による調査研究活動への指導・協力 ◆人間国宝・大坂弘道氏からの新規作品寄贈に向けた調査  <b>【事業の成果】</b> 美術部門では、美術所蔵品の保管方法について指導・協力をいただいた。また、大坂弘道氏から新たに寄贈を受ける作品の制作過程の調査研究を実施し、美術所蔵品展等により公開することができた。自然部門では、「打吹山ウォッチングガイド」の作成で協力をいただいた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	博物館資料収集保存活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
11,276	10,085					1,620	8,465
事業の目的							
博物館資料の充実を図るとともに、貴重な資料を後世に継承するため、資料の保全を目的に修復等を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 2,149千円(考古資料・絵画修復費) 12節 役務費 7,936千円(全館燻蒸)  ◆考古資料(鉄製鋤先・馬形埴輪) ◆絵画(中井金三)  <b>【事業の成果】</b> 公益財団法人住友財団助成金を活用して考古資料の保存修復をすることができた。また、鳥取県中部地震からの復旧工事のため害虫が多く館内に侵入していたことから、全館燻蒸の実施により収蔵品を害虫から守ることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 文化財維持・修復事業助成金(公益財団法人住友財団) 1,620千円							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	自然科学						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
658	588						588
事業の目的							
総合博物館として自然科学分野の展示・調査研究及び普及活動を実施する。身近な動植物や天体などの観察を通して、自然に触れ合い親しむ機会を提供し、自然や自然環境についての興味・理解を深めてもらうことを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 7節 賃金 137千円(展示監視員2人) 8節 報償費 100千円(自然ウォッチング講師謝金) 11節 需用費 139千円 12節 役務費 12千円 13節 委託料 100千円(展示作業) 14節 使用料 100千円(自然科学展展示物借上料)及び賃借料  ◆自然ウォッチング 合計12回(天体3回、動植物9回) 参加者:483人 ◆夏休み自然科学展 会期:8/4~8/26(20日間) 入館者数:2,502人(うち、保育園・児童クラブ等団体利用 7回、109人) 分野:天体、鳥、昆虫、植物、魚、鉱物(関連イベント) ・体験講座(8/11)、石の観察(8/12、18) 参加者:96人  <b>【事業の成果】</b> 天体観測や動植物観察会を通して、四季折々に見られる本市周辺の自然環境に親しむ機会を提供した。また、倉吉自然科学研究会との共催で夏休み期間中に自然科学展を開催し、自然科学6分野の収集資料等の展示や体験講座等により教育普及活動につなげることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	特別展 前田寛治大賞展						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
12,386	11,531					866	10,665
事業の目的							
博物館が開館以来実施している、独自の写実主義を提唱した郷土の洋画家・前田寛治の画業を顕彰する事業として、将来を嘱望される作家による展覧会を開催し、上質な絵画作品を鑑賞する機会を市民に提供することを目的とするもの。合わせて、大賞・市民賞作品を買い上げ貴重な財産とし、展示活用することを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 7節 賃金 389千円(展示監視員3人) 8節 報償費 3,069千円(審査員謝金5人、大賞・市民賞買上) 9節 旅費 767千円(審査会、東京会場開会式参加) 11節 需用費 1,415千円(図録、ポスター・チラシ、チケット印刷) 12節 役務費 629千円(作品撮影手数料) 13節 委託料 5,262千円(展示作業)  ◆第10回前田寛治大賞展 (倉吉会場)会期:9/8~10/8(27日間) 入館者数:1,647人 (東京会場)会期:8/8~8/14(7日間) 入館者数:1,970人 (関連イベント) ・大賞作家ワークショップ(博物館講座) 9/8 参加者:先着15人 ・ギャラリートーク 9/8 参加者:83人 ・トークイベント 9/9 参加者:34人  <b>【事業の成果】</b> 推薦委員による指名公募制の大賞展として、現在活躍中の画家28名の作品を審査し、大賞作品及び市民賞作品を買い上げることができた。また、全国レベルの大賞展として認知され、東京の日本橋高島屋においても展覧会を開催することで前田寛治の画業を顕彰するとともに、多くの来場者に本市をPRすることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 入館料 433千円、図録等販売代 248千円、展示作品搬入料 185千円							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	博物館展示活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,349	1,202					622	580
事業の目的							
博物館の美術・考古・自然の各部門の収蔵資料を中心に調査研究を行った成果を市民はじめ多くの人にわかり易く伝えるため展示公開活動を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 8節 報償費 160千円(展示作品借上謝金) 11節 需用費 149千円 12節 役務費 8千円 13節 委託料 885千円(展示作業)							
◆常設展示(共催展、貸館展、普及活動、館外活動を含む) ※博物館及び歴史民俗資料館共通 開館日数:209日 入館者数:10,661人 うち、博物館目的の団体利用(常設展示) 10回 入館者数:239人							
<b>【事業の成果】</b> 定期的にテーマ設定や展示資料を入れ替えて常設展示を行いながら、市内外の各種団体や小学校の学習で利用していただくことで美術所蔵品や考古資料に親しんでいただくことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 入館料 390千円、図録等販売代 232千円							

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	鳥取県の郷土刀						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,772	1,772		805				967
事業の目的							
日本美術刀剣保存協会鳥取県支部と共催して実行委員会を組織し、鳥取県の郷土刀を中心に展示、日本刀のふるさと倉吉を広く紹介することを目的とするとともに、「大山開山1300年祭」の連携事業として実施、大山東麓の豊かな歴史や文化を紹介する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 162千円(修繕料) 19節 負担金補助 1,610千円(伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会負担金及び交付金)							
◆伯耆因幡・鳥取県の郷土刀展 会期:8/4~8/26(20日間) 入館者数:2,502人 (関連イベント) ・記念講演会(生涯学習講座連携)(博物館講座) 8/4 参加者:129人 ・研師による日本刀研磨の実演 8/19 参加者:141人							
<b>【事業の成果】</b> 伯耆因幡の刀匠による刀剣類の展示により、日本刀の祖 伯耆安綱・真守の技と精神を紹介できた。また、米子市美術館の展覧会と同時期に開催したことにより、双方を観覧する来館者や県外から訪れる愛刀家の姿も多く、日本刀のふるさと倉吉をPRすることができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【国】</b> 地方創生推進交付金 805千円							

担当課	博物館	施策	21 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する				
事業名	特別展 山本二三展						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 博物館費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,001	2,000	財源内訳					2,000
事業の目的							
行政と地元マスメディアが共催し、互いのノウハウを活かすことにより、効率的・効果的な文化芸術振興事業を開催するもの。春祭りの期間の賑わいの創出も目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 7節 賃金 971千円(展示監視員10人) 19節 負担金補助 1,029千円(特別展開催負担金)及び交付金  ◆日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 会期:4/14~5/20(33日間) 入館者数:19,433人 (関連イベント) ・ギャラリートーク 4/14、15 参加者:60人 ・トークショー&サイン会 4/14 参加者:先着50人  【事業の成果】 本展では、名作アニメーション用の背景画を中心に、倉吉の白壁土蔵群を描いたご当地作品など約220点を展示し、県内外から多くの方に来場いただいた。また、白壁土蔵群周辺の店舗やフィギュアミュージアムと割引特典等を盛り込んだ「まちなか周遊コラボ企画」を実施し、春の倉吉を散策いただくことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	資料館維持管理						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 歴史民俗資料館費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4,134	3,763	財源内訳			1,300		2,463
事業の目的							
歴史民俗資料館の維持管理事業を統括し、よりよい鑑賞環境整備に努め、展示スペースだけでなく、収蔵庫、作業室、研修室等が全て安全安心な施設となるよう維持管理を行うことを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 11節 需用費 2,164千円(光熱水費240千円、空調機器修繕料1,512千円) 12節 役員費 53千円 13節 委託料 1,202千円(消防設備186千円、清掃978千円) 18節 備品購入費 342千円(中量ラック) 19節 負担金補助 2千円及び交付金  【事業の成果】 歴史民俗資料館棟の消防設備・空調設備等の各設備に係る保守点検、そして館内清掃を業者委託により施設の維持管理のため実施できた。また、地域活性化事業債を活用し故障した空調機器を修繕することができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】地域活性化事業債 1,300千円							



担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	資料館展示活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 歴史民俗資料館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
341	304						304
事業の目的							
倉吉の農業・産業・風俗などについて、歴史民俗資料館が収蔵する資料を中心として調査研究を行った成果を展示公開し、市民をはじめ多くの来館者に対して、「学び」と「楽しみ」を体感していただく施設としての役割を果たすことを目的とする。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 ・委託料：304千円(展示作業)							
◆常設展示(共催展、貸館展、普及活動、館外活動) ※博物館及び歴史民俗資料館共通 開館日数：209日 入館者数：10,661人 ※再掲 うち、歴史民俗資料館目的の団体利用(常設展示) 12回 入館者数：288人							
【事業の成果】 定期的にテーマ設定や展示資料を入れ替えて常設展示を行いながら、市内外の各種団体や小学校の学習で利用していただくことで倉吉の歴史民俗資料に親しんでいただくことができた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	資料館調査研究活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 歴史民俗資料館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
60	35						35
事業の目的							
民俗資料館が収蔵する資料を活用し、質の高い展示公開や分類保存などを行うため学芸員による専門的な調査研究を行うことを目的とする。資料の収集、収蔵物の調査研究活動の重要性や意義について、多くの市民の理解・協力を繋げていくもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 8節 報償費 10千円(調査研究協力者謝金1人) 11節 需用費 25千円							
◆外部専門家による調査研究活動への指導・協力							
【事業の成果】 所蔵する刀剣の保存方法等について指導・協力をいただいた。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	博物館	施策	19 一人ひとりライフステージに応じた学習・スポーツの機会を確保する				
事業名	資料館資料収集保存活動						
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 歴史民俗資料館費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
10	10						10
事業の目的							
<p>収蔵する民俗資料の適正保存を目的として資料収集等を行い、後世に永く継承していくことを目的とする。</p>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】 11節 需用費 10千円</p> <p>【事業の成果】 特段の修理・修復・保存活動は行っていないが、資料整理のための消耗品を購入した。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	学校給食センター	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	給食センター							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	3 学校給食センター費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
404,671	386,514	財源内訳			4,100	202,963	179,451	
事業の目的								
市内の小学校13校と中学校5校に、安全・安心で栄養バランスの取れた給食を提供するとともに食育の推進を図るもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 給食数(教職員含む) 小学校 13校 113学級 平均 190回 延 528,919食 中学校 5校 40学級 平均 187回 延 235,316食 年間給食提供回数 201回 1食単価 小学校 283円 中学校322円  11節 需用費 賄材料費 233,665千円 13節 委託料 学校給食輸送委託料 30,996千円 調理等業務委託料 81,441千円 15節 工事請負費 維持補修工事 4,247千円 その他(1節 報酬67、8節 報償費315、11節 需用費[賄材料費を除く] 25,398、12節 役務費4,933、 13節 委託料[輸送・調理を除く] 4,590、14節 使用料及び賃借料747、18節 備品購入費104、 19節 負担金補助及び交付金3、27節 公課費8) 計 36,165千円								
<b>【事業の成果】</b> 安全・安心で栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、栄養教諭・学校栄養職員が学校を訪問し食育の推進を図ることができた。								
(学校給食費徴収状況)								
	年度区分	調定額(円)	収入済額(円)	徴収率(%)				
	現年分	205,175,312	198,959,349	96.9%				
	滞納繰越分	39,341,187	3,105,994	7.8%				
	計	244,516,499	202,065,343					
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【地方債】</b> 公共施設等適正管理事業債 4,100千円 <b>【その他】</b> 学校給食費 202,065千円								

担当課	学校給食センター	施策	【戦略】17 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する					
事業名	給食センター【繰越明許】							
会計・予算科目	会計一般	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	4 学校給食センター費(繰越明許)	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,426	1,307	財源内訳					1,307	
事業の目的								
学校給食センター施設外周に埋設した水道管の漏水について調査及び修繕をするもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 修繕料(学校給食センター漏水調査修繕業務) 1,307千円								
<b>【事業の成果】</b> 漏水箇所を特定し漏水していた水道管の取り替えを行った。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	会計課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	出納事務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 会計管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,695	2,409						2,409
事業の目的							
歳入及び歳出が適法かつ効率的に執行されるよう、適正な管理に努め、財政の健全性の確保に資するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
9節 旅費	2千円	研修旅費					
11節 需用費	526千円	消耗品費、印刷製本費等					
12節 役務費	1,772千円	公金振替通知書郵送料、ファームバンキング、コンビニ収納、 収納事務取扱、公共料金明細サービスほか手数料					
14節 使用料及び賃借料	109千円	コピーカウンター料金					
<b>【事業の成果】</b>							
公金支払事務、公金管理事務、決算調整事務、物品の出納及び保管、指定金融機関に関する事務を適正かつ効率的に執行することができた。							
・支出命令書処理 48,544件							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	会計課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	用品調達基金						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,450	2,450					2,400	50
事業の目的							
行政事務で使用する用品の集中購買を実施することにより、用品の取得及び管理事務を円滑かつ効率的に行うために用品調達基金を設け、基金運用により用品の調達を行う。(基金5,000千円で、平成29年積立金2,550千円に対し不足額2,450千円を一般会計から繰出し、基金運用を行う。また、50千円を積み立てる。)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
28節 繰出金	用品調達基金への繰出 2,450千円(平成30年度末基金残高 2,600千円)						
<b>【事業の成果】</b>							
基金運用したことにより、用品の取得管理に関する事務を円滑かつ効率的に行うことができた。							
(運用状況実績)							
・基金積立 50千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 用品調達基金繰入金 2,400千円							

担当課	議会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	議会事務局費							
会計・予算科目	会計一般	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費	
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
168,455	161,196	財源内訳					1	161,195

事業の目的

議会は市政の「意思決定機関」であり、行政をチェックする役割を担う。議会事務局は、議長をはじめ各議員がその役割を十分に果たすことができるよう活動を支援・補佐する。また、本会議、委員会等の議事運営が円滑に行うことができるように事務を執行する。

事業の実績、成果(振返り、効果等)

【議員数】 条例定数：17人 現員数：15人  
 【職員数】 事務局長：1人 書記：4人  
 【事業の実績】 1節 報酬 79,428千円  
 3節 職員手当等 31,751千円  
 4節 共済費 30,613千円  
 9節 旅費 4,754千円 (費用弁償 3,550千円)  
 10節 交際費 173千円  
 11節 需用費 2,973千円 (印刷製本費 2,132千円)  
 12節 役務費 1,432千円 (手数料 1,216千円)  
 13節 委託料 6,577千円 (会議録検索システム業務委託料 773千円、会議録作成委託料 1,588千円、テレビ中継委託料 3,899千円)  
 14節 使用料及び賃借料 379千円  
 19節 負担金補助及び交付金 3,116千円 (負担金 737千円、補助金(政務活動費) 2,379千円)

【事業の成果】

・議会

(1) 市長提出付議事件の件数 活発な議論が展開され、市民の代表として審査できた。

区分	原案可決・同意・認定	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	その他	計
法第96条 第1項	条例(1号)	23	0	0	0	0	0	23
	予算(2号)	36	0	0	0	0	0	36
	決算(3号)	16	0	0	0	0	0	16
	4号～14号	1	0	0	0	0	0	1
法第96条第1項第15号及び第2項を含むその他全て	20	0	0	0	0	0	0	20
計	96	0	0	0	0	0	0	96

議決結果

区分	承認	不承認	計	
専決処分 (第179条)	条例(1号)	2	0	2
	予算(2号)	7	0	7
	決算(3号)	0	0	0
	契約	0	0	0
	その他	1	0	1
計	10	0	10	

(2) 議員提出付議事件の件数

	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了・撤回・その他	計
条例	1	0	0	0	0	1
規則	0	0	0	0	0	0
意見書	6	0	0	0	0	6
決議	1	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	0	0	2
計	10	0	0	0	0	10

(3) 請願・陳情の処理状況 請願のみならず、多くの陳情についても積極的に審議し、議会の意思を示した。

	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	取り下げ	審議未了	継続審査	その他	計
請願	2	0	0	1	0	0	0	0	3
審査した陳情	4	0	3	2	0	0	0	2	11
計	6	0	3	3	0	0	0	2	14

(4) その他

	投票	指名推選	計
選挙	0	2	2

- ・ 会議 常任委員会は詳細にわたり付託案件の審査を行った。懸案事項は特別委員会を設置のうえ調査した。定例会…4回(79日間)、臨時会…2回(13日間)、全員協議会…2回、議会運営委員会…23日  
 常任委員会…総務建設常任委員会 8回/視察1回、企画産業常任委員会 6回/視察1回、教育福祉常任委員会 7回/視察1回  
 特別委員会…県立美術館建設推進調査特別委員会 4回、中心市街地活性化調査特別委員会 3回
- ・ 委託料 開かれた議会として、会議録の公開、テレビ中継等を行った。
- ・ 行政視察来庁 他自治体からの行政視察を積極的に受け入れ、その際に市内で食事・宿泊してもらおうよう促した。  
 自治体 10件/51人

主な特定財源(名称、金額等)

【その他】 公文書開示に要する費用 1千円

担当課	監査委員事務局		施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する			
事業名	監査事務						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	6 監査委員費	目	1 監査委員費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
2,445	2,410						2,410
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算審査、定期監査、例月出納検査等の実施</li> <li>・ 各都市監査委員会参加（全国、西日本、中国、山陰）</li> </ul>							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 1 節 報酬 2,004千円 9 節 旅費 296千円 11 節 需用費 26千円 19 節 負担金補助及び交付金 84千円 <b>【事業の成果】</b> ・ 非常勤監査委員 3人 ・ 定期監査 1回（11/6～28） ・ 決算審査 1回（6/28～7/26） ・ 健全化判断比率・資金不足比率審査 1回（8/1～8/3） ・ 例月出納検査 12回 ・ 全国都市監査委員会総会・研修会（福井市）（7/12～13） ・ 西日本都市監査事務研修会（周南市）（10/25～26） ・ 中国都市監査委員会（東広島市）（5/25） ・ 山陰都市監査委員会定例会（安来市）（5/11）							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	選挙管理委員会費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	1 選挙管理委員会費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,115	1,806			5			1,801
事業の目的							
選挙管理委員会の適正、円滑な運営を行うもの。 選挙管理委員会開催、選挙人名簿調整、裁判員・検察審査員候補者予定者選定事務等。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節 報酬	1,308千円	委員4人、委員会開催数 16回					
9節 旅費	136千円	連合会総会・研修会					
11節 需用費	102千円	参考図書他					
12節 役務費	195千円	パフォーマンスチャージ料等					
19節 負担金補助及び交付金	65千円	連合会負担金等					
<b>【事業の成果】</b>							
委員会を定期に開催し、選挙人名簿等の調製、選挙時の管理執行や啓発等、委員会の権限に属する事項について審議を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 在外選挙人名簿登録事務交付金 5千円							

担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	選挙啓発費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	2 選挙啓発費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
641	520						520
事業の目的							
政治意識の向上と明るい選挙の推進のための啓発を図るもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
11節 需用費	50千円	消耗品					
12節 役務費	16千円	郵便料					
13節 委託料	448千円	明るい選挙推進事業委託料					
19節 負担金補助及び交付金	6千円	鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金					
<b>【事業の成果】</b>							
有権者に政治意識の向上を図るとともに、明るい選挙の推進のための啓発活動を行うことができた。							
鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員一般選挙 街頭啓発(パープルタウン、新あじそう) 啓発グッズ配布							
各地区ごとに明るい選挙推進事業を実施							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	鳥取県知事選挙費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	3 鳥取県知事選挙費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,042	5,077			5,077			0
事業の目的							
鳥取県知事選挙を適正に執行するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
1節 報酬	465千円	3節 職員手当等	897千円	4節 共済費	50千円		
7節 賃金	700千円	9節 旅費	1千円	11節 需用費	345千円		
12節 役務費	1,593千円(入場券等郵送料、選挙公報封詰等)						
13節 委託料	993千円(ポスター掲示場設置管理撤去)						
14節 使用料及び賃借料	33千円						
<b>【事業の成果】</b>							
鳥取県知事選挙を公平、公正に執行するため準備を進め、期日前投票を適正に執行した。							
告示日：平成31年3月21日 選挙期日：平成31年4月7日							
期日前投票期間：平成31年3月22日～平成31年4月6日							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県知事選挙市町村交付金 5,133千円(うち事業充当分 5,077千円)							

担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	鳥取県議会議員一般選挙費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	4 鳥取県議会議員一般選挙費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,849	1,668			1,668			0
事業の目的							
鳥取県議会議員一般選挙を適正に執行するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
4節 共済費	49千円	7節 賃金	503千円				
11節 需用費	98千円	12節 役務費	25千円				
13節 委託料	993千円(ポスター掲示場設置管理撤去)						
<b>【事業の成果】</b>							
鳥取県議会議員選挙を公平、公正に執行するため準備を進め、期日前投票を適正に執行した。							
告示日：平成31年3月29日 選挙期日：平成31年4月7日							
期日前投票期間：平成31年3月30日～平成31年4月6日							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【県】</b> 鳥取県議会議員選挙市町村交付金 1,668千円							



担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	市長選挙費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	5 市長選挙費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,845	1,773						1,773
事業の目的							
市長選挙を適正に執行するもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 1千円 7節 賃金 111千円 13節 委託料 1,661千円(ポスター掲示場設置管理撤去)							
<b>【事業の成果】</b> 公平な選挙を執行管理し、前年度市長選挙の後処理をした。 (H29年度事業成果 参考) 告示日：平成30年3月18日 選挙期日：平成30年3月25日 当日有権者数 39,793人 投票者数 15,701人(うち期日前投票者数 3,662人、不在者投票者数 256人) 投票率 39.46%							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	選挙管理委員会事務局	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	土地改良区総代選挙費						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	6 土地改良区総代選挙費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
128	80					80	0
事業の目的							
土地改良区総代選挙を執行するもの。 大鴨土地改良区							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 65千円 選挙長・立会人・事務従事者報酬 11節 需用費 4千円 消耗品 12節 役務費 11千円 郵便料等							
<b>【事業の成果】</b> 土地改良区総代選挙の公平、公正な管理執行を行った。 ・大鴨土地改良区総代選挙 告示日：平成30年7月12日 選挙期日：平成30年7月19日 選挙区：2選挙区 総代の数：37人 全選挙区 無投票							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 土地改良区総代選挙受託収入 80千円							

担当課	公平委員会	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する				
事業名	公平委員会						
会計・予算科目	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	8 公平委員会費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他 一般財源
1,105	1,042						1,042
事業の目的							
職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分に関する審査請求を審査し、並びにこれについて必要な措置を講ずる。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 委員3人 822千円 9節 旅費 全国公平委員会連合会理事会・総会、中国支部理事会・総会 174千円 11節 需用費 参考図書、事務用消耗品 13千円 19節 負担金補助及び交付金 総会等出席者負担金、公平委員会連合会負担金 33千円  <b>【事業の成果】</b> 事案が発生した際に対応するため事例研究等を行った。 措置要求及び審査請求件数0。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農業委員会							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
14,955	13,539	財源内訳		4,609		49	8,881	
事業の目的								
農業委員会等に関する法律並びに農業委員会憲章等に沿って農業の健全な発展に努めるため、農業委員会組織運営にあたる。 農地移動の適正管理、農業委員会の組織運営、農業委員等の研修会等への参加。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
1節 報酬	10,090千円	農業委員18人、農地利用最適化推進委員9人(平成31年3月31日現在)						
8節 報償費	23千円	農家相談会謝金						
9節 旅費	603千円	全国会長大会、会長代表者集会、県外視察研修						
10節 交際費	21千円	会長交際費						
11節 需用費	294千円	事務用消耗品、参考図書、食糧費、農業委員会だより印刷						
12節 役務費	1,350千円	農地台帳システム利用料、公務災害補償保険料						
14節 使用料及び賃借料	687千円	バス借上料、会場借上料、コピー機借上料、水土里情報システム借上料						
19節 負担金補助及び交付金	471千円	会長協議会負担金、農業会議負担金、中部協議会負担金						
<b>【事業の成果】</b>								
農業委員会等に関する法律などにより農地の権利移動の適正管理、農業委員会の組織運営。 総会 1回、委員会会議 12回(毎月1回)、総務委員会 3回、企画委員会 2回、編集委員会 2回 平成31年農作業労働標準賃金の決定 農地賃借料情報の提供 定例農家相談会 12回(毎月1回)、農業委員会だより発行 1回								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【県】</b> 鳥取県農業委員会補助金 4,609千円								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農地法に基づく許認可・利用調整							
会計・予算科目	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
113	89	財源内訳					89	
事業の目的								
農地法に基づく農地の権利移動・設定関係の許認可、利用調整事務を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
8節 報償費	48千円	農地転用現地調査謝金						
11節 需用費	41千円	事務用消耗品、食糧費						
<b>【事業の成果】</b>								
農地法第3条許可	55件	95筆	96,289.69㎡					
農地法第4条許可	8件	8筆	8,484.72㎡					
農地法第5条許可	31件	37筆	23,431.85㎡					
農地転用確認調査	24件	43筆	22,669.06㎡					
農地法第18条合意解約	69件	147筆	228,392.00㎡					
非農地証明	25件	31筆	14,236.69㎡					
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農業者年金業務							
会計・予算科目	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
581	581						581	0
事業の目的								
農業者年金基金からの受託により、農業者年金の加入推進、脱退、死亡等の諸手続き事務を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 2節 給料 581千円 事務担当者給料  <b>【事業の成果】</b> 新規加入者数 1人 受給者数 225人								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】農業者年金業務委託手数料 581千円								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農地中間管理機構特例事業							
会計・予算科目	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
24	20						20	0
事業の目的								
公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構が実施する農地中間管理機構の特例事業受託業務で、農地の売買等の調整、契約・登記手続き、書類の収集、連絡調整を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 20千円 事務用消耗品  <b>【事業の成果】</b> 農地売買等事業 買入 3件 売渡 2件								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】農地中間管理機構の特例事業業務委託費 20千円								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	国有農地の管理・処分							
会計・予算科目	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費
最終予算額	決算額(千円)		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
31	31				31			0
事業の目的								
国有農地の管理・処分の事務を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節 需用費	29千円	事務用消耗品						
12節 役務費	2千円	後納郵便料						
【事業の成果】								
耕作目的	2件 3筆	1,268.00㎡						
転用目的	1件 31筆	16,134.29㎡						
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】鳥取県農業経営基盤強化事業事務取扱交付金 31千円								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農用地利用権設定等促進事業							
会計・予算科目	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費
最終予算額	決算額(千円)		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,359	1,241							1,241
事業の目的								
農地の有効利用のため、農地の利用集積、遊休農地の発生防止、解消対策等に取り組む。 農業経営基盤強化促進法に基づき利用権の設定・所有権移転の受付・登記事務を行う。 遊休農地、違反転用の調査のため、農地パトロールを実施する。 遊休農地解消対策のため、遊休農地解消対策助成金を交付する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
8節 報償費	27千円	全市一斉農地パトロール(利用状況調査)謝金						
11節 需用費	241千円	利用権設定管理台帳等代金、事務用消耗品、食糧費						
12節 役務費	59千円	後納郵便料						
19節 負担金補助及び交付金	914千円	遊休農地解消対策事業助成金						
【事業の成果】								
農地利用状況調査(農地パトロール)の実施								
利用権設定	868件 2,044筆	3,033,536㎡						
所有権移転	13件 38筆	40,196㎡						
利用権設定等面積(平成30年12月31日現在)ストック								
1年未満	0.8ha	(田 0.8ha	畑 0.0ha	樹 0.0ha)				
1~2年	87.4ha	(田 64.6ha	畑 22.8ha	樹 0.0ha)				
3~5年	696.9ha	(田 573.3ha	畑 121.1ha	樹 2.5ha)				
6~9年	78.4ha	(田 61.2ha	畑 17.2ha	樹 0.0ha)				
10年以上	231.0ha	(田 175.8ha	畑 51.4ha	樹 3.8ha)				
合計	1,094.5ha	(田 875.7ha	畑 212.5ha	樹 6.3ha)				
遊休農地解消対策事業 7件 31,179㎡(田 5筆 1,638㎡ 畑 11筆 29,541㎡)								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	農業委員会事務局		施策	【戦略】2 魅力と可能性を最大限に引き出し、80歳まで稼げる農林水産業を確立する				
事業名	農地調整事務処理							
会計・予算科目	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費
最終予算額	決算額（千円）		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
15	0		財源内訳					0
事業の目的								
農地の利用関係の紛争発生の際の和解仲介を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
対象無し。								
主な特定財源（名称、金額等）								

# 特別会計目次

	ページ
国民健康保険事業特別会計	261
介護保険事業特別会計	277
後期高齢者医療事業特別会計	293
簡易水道事業特別会計	297
温泉配湯事業特別会計	304
住宅資金貸付事業特別会計	305
土地取得事業特別会計	307
下水道事業特別会計	308
駐車場事業特別会計	321
集落排水事業特別会計	322
高城財産区特別会計	326
小鴨財産区特別会計	328
北谷財産区特別会計	329
上北条財産区特別会計	330

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	総務管理							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
32,805	24,356	財源内訳					24,356	0
事業の目的								
国保事業に係る一般事務費(保険証・高齢受給者証等の印刷・発送、共同処理・電算処理等手数料、システム保守等)、高額医療費貸付 ほか 被保険者数(平成31年3月31日現在) 10,753人(6,867世帯)								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節	需用費	1,628千円						
12節	役務費	17,446千円(電算共同処理手数料ほか)						
13節	委託料	610千円(システム改修委託料)						
19節	負担金補助及び交付金	4,095千円(国保連合会負担金ほか)						
21節	貸付金	577千円(高額医療費貸付金)						
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】 高額療養費貸付金元利収入 249千円 一般会計繰入金 24,105千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	医療費適正化特別対策							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
15,373	14,188	財源内訳			4,701		9,487	0
事業の目的								
医療費適正化を推進するための事業を行う。 レセプト点検員の雇用、医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の実施 ほか								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
1節	報酬	3,306千円(レセプト点検員報酬)						
4節	共済費	802千円(臨時、非常勤職員社会保険料)						
7節	賃金	1,543千円(臨時職員事務賃金)						
8節	報償費	232千円						
11節	需用費	772千円						
12節	役務費	2,299千円(医療費通知等郵送料ほか)						
13節	委託料	4,797千円(ジェネリック差額通知委託料ほか)						
14節	使用料及び賃借料	437千円						
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 4,701千円 【その他】 一般会計繰入金 9,487千円								



担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	賦課徴収							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
24,714	21,416	財源内訳					21,416	0
事業の目的								
国民健康保険料の賦課・徴収に係る事務を行う。 督促・催告、資格・賦課システム等に係る経費。 滞納管理システム保守、滞納整理に係る鳥取県中部ふるさと広域連合への負担金に係る経費。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
○国民健康保険料収納状況								
		区分	調定額	収納額		収納率		
						H30	H29	
		現年度分	958,794,000円	914,483,037円		95.4%	95.0%	
		滞納繰越分	137,180,156円	57,399,394円		41.8%	38.6%	
		合計	1,095,974,156円	971,882,431円		88.7%	86.8%	
【事業の実績】								
4節 共済費 285千円 (臨時職員社会保険料)								
7節 貸金 1,805千円 (臨時職員事務貸金)								
11節 需用費 652千円 (納付書、督促状、封筒等印刷ほか)								
12節 役務費 4,406千円 (納付書、督促状等郵送料、収納取扱等手数料ほか)								
19節 負担金補助及び交付金 14,268千円 (中部ふるさと広域連合負担金、日本マルチペイメントネットワーク推進協議会)								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】督促手数料 424千円 一般会計繰入金 20,992千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	運営協議会							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
590	246	財源内訳					246	0
事業の目的								
国民健康保険事業運営に関する重要事項の審議を行うための国保運営協議会を開催する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
協議会委員16名 平成30年度2回開催								
1節 報酬 125千円 (国保運営協議会委員報酬)								
11節 需用費 41千円								
12節 役務費 80千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】一般会計繰入金 246千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	事務費共同事業拠出金							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
5	1	財源内訳					1	0
事業の目的								
<p>県内の共通的な事務を国保連合会において行うための事業。          国保連合会において年金受給者情報をとりまとめ、各市町村に情報提供する経費を拠出する。</p>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】          19節 負担金補助及び交付金          ・共同事業事務費拠出金          年金受給者一覧表作成事務 1千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【その他】一般会計繰入金 1千円</p>								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	財政調整基金積立金							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
150,604	150,604	財源内訳					47	150,557
事業の目的								
<p>国民健康保険財政調整基金の運用利子及び前年度の決算剰余金等を基金に積み立てる。</p>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】          25節 積立金 150,604千円（財政調整基金積立金）          積立金決算額 150,604千円          30年度末基金残高 662,629千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【その他】基金利子 47千円</p>								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	被保険者還付金等							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
3,520	2,390	財源内訳						2,390
事業の目的								
被保険者に係る過年度保険料の還付を行う。 被保険者に係る保険料の還付加算金を支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
1 一般被保険者保険料還付金 23節 償還金利子及び割引料 2,374千円								
2 退職被保険者等保険料還付金 23節 償還金利子及び割引料 0円								
3 一般被保険者保険料還付加算金 23節 償還金利子及び割引料 16千円								
4 退職被保険者等保険料還付加算金 23節 償還金利子及び割引料 0円								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	国県等償還金							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
35,178	35,177	財源内訳						35,177
事業の目的								
前年度国県等負担金・補助金・交付金等について、精算に基づき返還を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
23節 償還金利子及び割引料 ・療養給付費等負担金返還金ほか 35,177千円								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者療養給付費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	1 療養諸費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
3,112,721	2,974,590	財源内訳			2,970,418		3,974	198
事業の目的								
一般被保険者に係る診療報酬を支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 医療費から被保険者一部負担金を除いた保険者負担分の経費 19節 負担金補助及び交付金 一般被保険者診療報酬 2,974,590千円								
〔給付状況〕								
給付件数	177,310件		年間平均被保険者数	10,925人				
医療給付費用額	4,064,603千円		(一人あたり平均)	372,046円)				
保険者負担額	2,969,236千円		(一人あたり平均)	271,784円)				
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】 保険給付費等交付金 2,970,418千円 【その他】 一般被保険者第三者納付金 1,356千円 一般被保険者返納金 2,618千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	退職被保険者等療養給付費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	1 療養諸費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
40,650	30,015	財源内訳			30,015			0
事業の目的								
退職被保険者等に係る診療報酬を支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 医療費から被保険者一部負担金を除いた保険者負担分の経費 19節 負担金補助及び交付金 退職被保険者等診療報酬 30,015千円								
〔給付状況〕								
給付件数	1,648件		年間平均被保険者数	106人				
医療給付費用額	43,056千円		(一人あたり平均)	406,189円)				
保険者負担額	30,015千円		(一人あたり平均)	283,160円)				
主な特定財源（名称、金額等）								
【県】 保険給付費等交付金 30,015千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	1 療養諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
8,423	6,389	財源内訳			6,366		23	0
事業の目的								
一般被保険者に係る療養費の現金給付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 保険を使用せず医療費を全額自己負担したときや、治療上必要な補装具等を購入したときの保険者負担分の経費 19節 負担金補助及び交付金 一般被保険者療養費現金給付 6,389千円								
[給付状況]								
療養件数				1,068件				
療養費用額				8,722千円		(一件あたり平均		8,167円)
保険者負担額				6,366千円		(一件あたり平均		5,961円)
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 6,366千円 【その他】 一般被保険者返納金 23千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	退職被保険者等療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	1 療養諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
123	81	財源内訳			81			0
事業の目的								
退職被保険者等に係る療養費の現金給付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 保険を使用せず医療費を全額自己負担したときや、治療上必要な補装具等を購入したときの保険者負担分の経費 19節 負担金補助及び交付金 退職被保険者等療養費現金給付 81千円								
[給付状況]								
療養件数				5件				
療養費用額				115千円		(一件あたり平均		23,000円)
保険者負担額				81千円		(一件あたり平均		16,200円)
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 81千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	審査支払手数料							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	1 療養諸費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
12,096	11,221	財源内訳			11,160			61
事業の目的								
診療報酬等審査に要する経費を国保連合会へ支払う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
12節 役務費 11,221千円(診療報酬等審査支払手数料)								
			区分	件数	支払手数料			
			診療報酬審査(一般)	177,669件	11,049,447円			
			診療報酬審査(退職)	1,780件	109,850円			
			療養費審査(一般)	982件	61,236円			
			療養費審査(退職)	6件	368円			
			合計	180,437件	11,220,901円			
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 11,160千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者高額療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	2 高額療養費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
477,853	454,908	財源内訳			454,908			0
事業の目的								
一般被保険者に係る高額療養費の給付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
被保険者の所得に応じた自己負担限度額を超えた部分(高額療養費)に相当する額の経費の給付								
19節 負担金補助及び交付金 一般被保険者高額療養費 454,908千円								
[給付状況]			給付件数	6,244件	(一件あたり平均		72,855円)	
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 454,908千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	退職被保険者等高額療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	2 高額療養費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
7,076	6,565	財源内訳			6,565			0
事業の目的								
退職被保険者等に係る高額療養費の給付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 被保険者の所得に応じた自己負担限度額を超えた部分(高額療養費)に相当する額の経費の給付 19節 負担金補助及び交付金 退職被保険者等高額療養費 6,565千円								
[給付状況] 給付件数 45件 (一件あたり平均 145,889円)								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 6,565千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者高額介護合算療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	2 高額療養費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
300	40	財源内訳			40			0
事業の目的								
一般被保険者に係る高額医療・高額介護合算療養費の給付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 1年間分の介護及び医療の自己負担額を合算し、基準額を超えた部分に相当する額を介護・医療で按分して支払う。 19節 負担金補助及び交付金 一般被保険者高額介護合算療養費(医療分) 4件 40千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険給付費等交付金 40千円								

担当課	保険年金課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	退職被保険者等高額介護合算療養費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	2 高額療養費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
100	0	財源内訳						0
事業の目的								
退職被保険者等に係る高額医療・高額介護合算療養費の給付を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 1年間分の介護及び医療の自己負担額を合算し、基準額を超えた部分に相当する額を介護・医療で按分して支払う。 19節 負担金補助及び交付金 退職被保険者等高額介護合算療養費 0件								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	移送費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	3 移送費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
20	0	財源内訳						0
事業の目的								
医療行為として必要な被保険者の移送に要した費用を支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 1 一般被保険者移送費 19節 負担金補助及び交付金 0件 0千円 2 退職被保険者等移送費 19節 負担金補助及び交付金 0件 0千円								
主な特定財源（名称、金額等）								



担当課	保険年金課		施策		12 社会保障制度を適正に運用する			
事業名	出産育児一時金							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	4 出産育児諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
16,800	11,374						6,989	4,385
事業の目的								
国保被保険者が出産したときに、出産育児一時金を支給する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 国保被保険者の出産1件あたり404,000円を支給 ※「産科医療補償制度」に係る出産の場合は16,000円を加算  19節 負担金補助及び交付金 出産育児一時金 27件 11,374千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【その他】</b> 一般会計繰入金 6,989千円								

担当課	保険年金課		施策		12 社会保障制度を適正に運用する			
事業名	審査支払手数料							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	4 出産育児諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
9	6							6
事業の目的								
出産育児一時金事務に要する経費を国保連合会へ支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 12節 役務費 27件 6千円（出産育児一時金事務手数料）								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	葬祭費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	2 保険給付費	項	1 保険給付費	目	5 葬祭諸費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
2,000	1,780	財源内訳						1,780
事業の目的								
国保被保険者が亡くなったとき、葬儀等を行った人に葬祭費を支給する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 葬祭1件あたり20,000円を支給 19節 負担金補助及び交付金 葬祭費 89件 1,780千円								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者医療給付費分							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 国民健康保険事業費納付金	目	1 国民健康保険事業費納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
953,615	951,982	財源内訳					311,260	640,722
事業の目的								
医療給付費に係る納付金（一般被保険者分）を県に支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 国保事業費納付金（一般被保険者医療分） 951,982千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】一般会計繰入金 311,260千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	退職被保険者等医療給付費分							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 国民健康保険事業費納付金	目	1 国民健康保険事業費納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
10,401	10,400	財源内訳						10,400
事業の目的								
医療給付費に係る納付金（退職被保険者分）を県に支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
19節 負担金補助及び交付金 国保事業費納付金（退職被保険者医療分） 10,400千円								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等分							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 国民健康保険事業費納付金	目	1 国民健康保険事業費納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
269,891	269,890	財源内訳					61,061	208,829
事業の目的								
後期高齢者支援金等に係る納付金（一般被保険者分）を県に支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
19節 負担金補助及び交付金 国保事業費納付金（一般被保険者支援金分） 269,890千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】一般会計繰入金 61,061千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	退職被保険者等後期高齢者支援金等分							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 国民健康保険事業費納付金	目	1 国民健康保険事業費納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
3,588	3,588	財源内訳						3,588
事業の目的								
後期高齢者支援金等に係る納付金（退職被保険者分）を県に支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
19節 負担金補助及び交付金 国保事業費納付金（退職被保険者支援金分） 3,588千円								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	介護納付金分							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 国民健康保険事業費納付金	目	1 国民健康保険事業費納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
98,912	98,912	財源内訳					20,081	78,831
事業の目的								
国保加入者で介護保険第2号被保険者分の介護保険料に係る納付金を県に支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
19節 負担金補助及び交付金 国保事業費納付金（介護分） 98,912千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】 一般会計繰入金 20,081千円								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	保健事業費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	4 保健事業費	項	1 保健事業費	目	1 保健事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
12,618	8,806				5,464			3,342
事業の目的								
国保被保険者の健康増進のために行う保健事業の事務費等 医療費分析、糖尿病性腎症重症化予防事業の実施等								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 11節 需用費 194千円 12節 役務費 734千円 13節 委託料 7,878千円(食生活改善地区組織活動事業、医療費分析、糖尿病性腎症重症化予防)								
主な特定財源(名称、金額等)								
【県】 保険事業費等交付金 5,464千円								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	人間ドック							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	4 保健事業費	項	1 保健事業費	目	1 保健事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
6,264	5,938							5,938
事業の目的								
国保被保険者を対象に、がんや生活習慣病などについての総合的な健診を行い、疾病の早期発見、早期治療につなげる。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】 国保人間ドック受診者 372人(定員なし)  11節 需用費 128千円 13節 委託料 5,810千円(人間ドック検査委託料)								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	脳ドック							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	4 保健事業費	項	1 保健事業費	目	1 保健事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
3,709	1,412							1,412
事業の目的								
40歳以上70歳未満の国保被保険者を対象に、脳動脈瘤・脳梗塞や初期の認知症等についての健診を行い、疾病の早期発見、早期治療につなげる。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 国保脳ドック受診者 56人(定員なし) 11節 需用費 42千円 13節 委託料 1,370千円(脳ドック検査委託料)								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める																											
事業名	特定健康診査等事業																													
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	4 保健事業費	項	1 保健事業費	目	1 保健事業費																						
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源																						
20,485	19,527				7,972			11,555																						
事業の目的																														
40歳以上の国保被保険者を対象に、心臓病・糖尿病などの生活習慣病の予防改善を目的としたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)についての健診を行うとともに、健診結果で改善が必要という結果となった人を対象に医師・保健師等による保健指導を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげる。また、特定健診で異常値が出たまま医療機関を受診していない人や高血圧症及び糖尿病の治療を中断している人を対象に、保健師が訪問指導を行う。																														
事業の実績、成果(振返り、効果等)																														
<b>【事業の実績】</b> 平成30年度 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               ○特定健康診査実績  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>対象者</td><td>8,637人</td></tr> <tr><td>受診者</td><td>2,041人</td></tr> <tr><td>  うち集団</td><td>647人</td></tr> <tr><td>  うち個別</td><td>1,394人</td></tr> <tr><td>受診率</td><td>23.63%</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               ○特定保健指導実績  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>動機づけ支援</td><td>54人</td></tr> <tr><td>積極的支援</td><td>11人</td></tr> </table>               ※平成29年度継続中を含む                 ○訪問指導実績  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>健診異常値放置者</td><td>40人</td></tr> <tr><td>生活習慣病治療中断者</td><td>41人</td></tr> <tr><td>重複頻回受診者</td><td>1人</td></tr> </table> </td> </tr> </table> 8節 報償費 164千円 11節 需用費 295千円 12節 役務費 2,070千円 13節 委託料 16,945千円(特定健康診査委託料、特定保健指導委託料) 14節 使用料及び賃借料 53千円									○特定健康診査実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>対象者</td><td>8,637人</td></tr> <tr><td>受診者</td><td>2,041人</td></tr> <tr><td>  うち集団</td><td>647人</td></tr> <tr><td>  うち個別</td><td>1,394人</td></tr> <tr><td>受診率</td><td>23.63%</td></tr> </table>	対象者	8,637人	受診者	2,041人	うち集団	647人	うち個別	1,394人	受診率	23.63%	○特定保健指導実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>動機づけ支援</td><td>54人</td></tr> <tr><td>積極的支援</td><td>11人</td></tr> </table> ※平成29年度継続中を含む  ○訪問指導実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>健診異常値放置者</td><td>40人</td></tr> <tr><td>生活習慣病治療中断者</td><td>41人</td></tr> <tr><td>重複頻回受診者</td><td>1人</td></tr> </table>	動機づけ支援	54人	積極的支援	11人	健診異常値放置者	40人	生活習慣病治療中断者	41人	重複頻回受診者	1人
○特定健康診査実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>対象者</td><td>8,637人</td></tr> <tr><td>受診者</td><td>2,041人</td></tr> <tr><td>  うち集団</td><td>647人</td></tr> <tr><td>  うち個別</td><td>1,394人</td></tr> <tr><td>受診率</td><td>23.63%</td></tr> </table>	対象者	8,637人	受診者	2,041人	うち集団	647人	うち個別	1,394人	受診率	23.63%	○特定保健指導実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>動機づけ支援</td><td>54人</td></tr> <tr><td>積極的支援</td><td>11人</td></tr> </table> ※平成29年度継続中を含む  ○訪問指導実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>健診異常値放置者</td><td>40人</td></tr> <tr><td>生活習慣病治療中断者</td><td>41人</td></tr> <tr><td>重複頻回受診者</td><td>1人</td></tr> </table>	動機づけ支援	54人	積極的支援	11人	健診異常値放置者	40人	生活習慣病治療中断者	41人	重複頻回受診者	1人									
対象者	8,637人																													
受診者	2,041人																													
うち集団	647人																													
うち個別	1,394人																													
受診率	23.63%																													
動機づけ支援	54人																													
積極的支援	11人																													
健診異常値放置者	40人																													
生活習慣病治療中断者	41人																													
重複頻回受診者	1人																													
主な特定財源(名称、金額等)																														
<b>【県】</b> 保険事業費等交付金 7,972千円																														

担当課	保険年金課		施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	国民健康保険	款	5 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
22,843	0	財源内訳						0
事業の目的								
想定外の予算執行に対応するための経費。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	一般管理費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
7,737	7,556			1,650			5,906	0
事業の目的								
介護保険事業に係る一般的な事務を円滑に実施する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>介護保険事業に係る一般事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 414千円</li> <li>・ 通信運搬費 96千円</li> <li>・ 介護保険システム保守料 1,814千円</li> <li>・ 介護保険システム機器改修委託料 5,223千円</li> <li>・ 介護給付費単位数表マスタ情報使用料 9千円</li> </ul>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 介護保険事業費補助金 1,650千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 5,590千円 雑入 316千円</p>								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	国保連合会負担金							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	2 国保連合会負担金
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,340	1,408						1,408	0
事業の目的								
介護給付に係る事務のうち、各保険者が単独で実施するよりも共同で行うことにより効率化が図られる事務について国保連合会に委託し、事務の効率化を図る。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
共同処理手数料（高額介護サービス費審査支払、主治医意見書料支払事務等） 1,408千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】 一般会計繰入金 1,408千円								



担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	賦課徴収費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	2 徴収費	目	1 賦課徴収費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,455	2,891					2,891	0	
事業の目的								
第1号被保険者保険料の賦課及び徴収を適正に実施する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
保険料額決定通知書等の印刷製本費等、納入通知書等の通信運搬費等 ・需用費(消耗品、印刷製本費(普通徴収納入通知書、保険料額決定通知書ほか)) 499千円 ・通信運搬費(保険料額通知書等郵送料ほか) 1,918千円 ・手数料(口座振替手数料、コンビニ収納サービスほか) 396千円 ・備品購入費(プリンター) 78千円 <b>【保険料収納状況】</b>								
65歳以上の1号被保険者の所得状況を確認し、適切な賦課を行い、保険料徴収ができた。	徴収区分		調定額(円)	収納額(円)	収納率(%)			
	現年分	特徴	1,054,917,100	1,055,151,100	100.0%			
		普徴	81,512,100	72,930,613	89.5%			
	計		1,136,429,200	1,128,081,713	99.3%			
	滞納繰越分		17,943,990	3,843,460	21.4%			
合計		1,154,373,190	1,131,925,173	98.1%				
(収納額に未還付分 特徴234,000円、普徴2,900円を含む)								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 一般会計繰入金 2,773千円 督促手数料 104千円 延滞金 14千円								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	介護認定審査会費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	3 介護認定審査会費	目	1 介護認定審査会費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
6,863	6,863					6,863	0	
事業の目的								
要介護認定事務のうち、認定審査会に係る事務を広域連合で実施することにより、二次判定の公平性を担保するとともに各市町間での事務の効率化を図る。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
中部ふるさと広域連合に対する負担金 認定審査会運営負担金 6,863千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 一般会計繰入金 6,863千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	認定調査等費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	3 介護認定審査会費	目	2 認定調査等費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
29,498	23,069						23,069	0
事業の目的								
要介護認定事務を円滑かつ適正に実施する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤嘱託職員報酬（認定調査員4人） 7,540千円</li> <li>・非常勤嘱託職員共済費 1,454千円</li> <li>・事務賃金（要介護認定事務補助職員1人） 1,760千円</li> <li>・旅費 28千円</li> <li>・需用費 68千円</li> <li>・役務費（認定審査ソフト保守料、主治医意見書料ほか） 10,546千円</li> <li>・訪問調査委託料 調査委託料 1,382千円</li> <li>・自動車リース料（H26導入分） 291千円</li> </ul>								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】一般会計繰入金 23,069千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	いきいき長寿社会推進協議会費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	4 いきいき長寿社会推進協議会費	目	1 いきいき長寿社会推進協議会費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
130	0							0
事業の目的								
介護保険制度運営において、広く意見を聞くことが法的に位置づけられていることから「いきいき長寿社会推進協議会」を設置し、高齢者施策全般はもとより介護保険事業計画策定委員会等の機能を当協議会に付与し、制度の円滑な運営を図る。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議事項が無かったため未開催。</li> </ul>								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	趣旨普及費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	1 総務費	項	5 趣旨普及費	目	1 趣旨普及費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
939	932						932	0
事業の目的								
介護保険制度の理解・啓発及び制度の周知を図る。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>・印刷製本費（介護保険パンフレット） 932千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】一般会計繰入金 932千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	居宅介護サービス給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,632,344	1,560,937			398,727	225,426		618,323	318,461
事業の目的								
要介護者が指定居宅サービス事業者から受けた居宅介護サービスに対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第42条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>居宅サービス（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与）に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：25,176件／年 給付額：1,560,937千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 286,293千円、調整交付金 112,434千円</p> <p>【県】 負担金 225,426千円</p> <p>【その他】一般会計繰入金 198,486千円、2号被保険者保険料 419,837千円</p>								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	地域密着型介護サービス給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,009,197	978,592			249,972	141,325		387,642	199,653
事業の目的								
要介護者が指定地域密着型サービス事業者から受けた地域密着型介護サービスに対する保険給付を行う。（法定給付：介護保険法第42条の2）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>地域密着型サービス（夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設）に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：4,824件／年 給付額：978,592千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 179,484千円、調整交付金 70,488千円</p> <p>【県】 負担金 141,325千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 124,436千円、2号被保険者保険料 263,206千円</p>								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	施設介護サービス給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,620,444	1,561,359			398,834	225,487		618,490	318,548
事業の目的								
要介護者が介護保険施設から受けた施設介護サービスに対する保険給付を行う。（法定給付：介護保険法第48条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>施設介護サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：5,831件／年 給付額：1,561,359千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 286,370千円、調整交付金 112,464千円</p> <p>【県】 負担金 225,487千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 198,539千円、2号被保険者保険料 419,951千円</p>								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	居宅介護福祉用具購入給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
3,099	3,099		792	448		1,227	632	
事業の目的								
要介護者が指定福祉用具販売事業者から購入した特定福祉用具の費用に対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第44条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>特定福祉用具（福祉用具のうち入浴又は排泄の用に供するもの、その他厚生労働大臣が定めるもの）の購入に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：105件／年 給付額：3,099千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【国】</b> 負担金 569千円、調整交付金 223千円 <b>【県】</b> 負担金 448千円 <b>【その他】</b> 一般会計繰入金 394千円、2号被保険者保険料 833千円								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	居宅介護住宅改修給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,065	6,560		1,676	947		2,599	1,338	
事業の目的								
要介護者が手すりの取り付け等の住宅改修を行った費用に対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第45条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>住宅改修（手すりの取り付け、段差解消、便器の取替え等厚生労働大臣が定める種類の住宅の改修）に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：104件／年 給付額：6,560千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【国】</b> 負担金 1,203千円、調整交付金 473千円 <b>【県】</b> 負担金 947千円 <b>【その他】</b> 一般会計繰入金 834千円、2号被保険者保険料 1,765千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	居宅介護サービス計画給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 介護サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
182,125	176,208			45,010	25,447		69,800	35,951
事業の目的								
要介護者が指定居宅介護支援事業者から受けた指定居宅介護支援（ケアプラン作成等）に対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第46条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
居宅介護支援に要する費用の10割を支給  給付件数：12,096件／年 給付額：176,208千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 負担金 32,318千円、調整交付金 12,692千円 【県】 負担金 25,447千円 【その他】一般会計繰入金 22,406千円、2号被保険者保険料 47,394千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	介護予防サービス給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
169,788	166,175			42,448	23,998		65,826	33,903
事業の目的								
要支援者が指定介護予防サービス事業者から受けた介護予防サービスに対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第53条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
介護予防サービス（介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問看護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防居宅療養管理指導、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所療養介護、介護予防特定施設入居者生活介護、介護予防福祉用具貸与）に要する費用の7～9割を支給  給付件数：9,121件／年 給付実績：166,175千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 負担金 30,478千円、調整交付金 11,970千円 【県】 負担金 23,998千円 【その他】一般会計繰入金 21,131千円、2号被保険者保険料 44,695千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	地域密着型介護予防サービス給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
14,878	14,877			3,800	2,149		5,893	3,035
事業の目的								
要支援者が指定地域密着型介護予防サービス事業者から受けた地域密着型介護予防サービスに対する保険給付を行う。 (法定給付：介護保険法第54条の2)								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
地域密着型介護予防サービス（介護予防認知症対応型通所介護、介護予防小規模多機能型居宅介護、介護予防認知症対応型共同生活介護）に要する費用の7～9割を支給  給付件数：193件／年 給付実績：14,877千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 負担金 2,729千円、調整交付金 1,071千円 【県】 負担金 2,149千円 【その他】 一般会計繰入金 1,892千円、2号被保険者保険料 4,001千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	介護予防福祉用具購入給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
1,782	1,781			455	257		705	364
事業の目的								
要支援者が指定介護予防福祉用具販売事業者から購入した特定介護予防福祉用具の費用に対する保険給付を行う。 (法定給付：介護保険法第56条)								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
特定介護予防福祉用具（福祉用具のうち入浴又は排泄の用に供するものその他厚生労働大臣が定めるもの）の購入に要する費用の7～9割を支給  給付件数：75件／年 給付額：1,781千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 負担金 327千円、調整交付金 128千円 【県】 負担金 257千円 【その他】 一般会計繰入金 226千円、2号被保険者保険料 479千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	介護予防住宅改修給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
8,011	8,011			2,046	1,157		3,173	1,635
事業の目的								
要支援者が手すりの取り付け等の住宅改修を行った費用に対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第57条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>介護予防住宅改修（手すりの取り付け、段差解消、便器の取替え等厚生労働大臣が定める種類の住宅の改修）に要する費用の7～9割を支給</p> <p>給付件数：122件／年 給付額：8,011千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 1,469千円、調整交付金 577千円</p> <p>【県】 負担金 1,157千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 2,154千円、2号被保険者保険料 1,019千円</p>								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	介護予防サービス計画給付費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス等諸費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
29,340	28,596			7,305	4,130		11,328	5,833
事業の目的								
要支援者が指定介護予防支援事業者から受けた介護予防支援（ケアプラン作成等）に対する保険給付を行う。 （法定給付：介護保険法第58条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>介護予防支援に要する費用の10割を支給</p> <p>給付件数：6,540件／年 給付額：28,596千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 5,245千円、調整交付金 2,060千円</p> <p>【県】 負担金 4,130千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 3,636千円、2号被保険者保険料 7,692千円</p>								



担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	審査支払手数料							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	3 その他諸費	目	1 審査支払手数料
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
6,209	6,055			1,547	874		2,399	1,235
事業の目的								
介護保険法第41条第10項他の規定に基づき、介護給付費等の審査及び支払事務を鳥取県国民健康保険団体連合会に委託し、請求内容を適正に審査し、各事業者に支払いを行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>国保連合会に対する審査支払手数料</p> <p>給付件数：63,781件／年 給付額：6,055千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 1,111千円、調整交付金 436千円</p> <p>【県】 負担金 874千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 770千円、2号被保険者保険料 1,629千円</p>								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	高額介護サービス費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	2 保険給付費	項	4 高額介護サービス等費	目	1 高額介護サービス費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
101,036	101,035			25,808	14,591		40,022	20,614
事業の目的								
所得が低い者等の負担を軽減するため、世帯全員の住民税課税状況に基づく利用者負担の上限額を超えた額を高額介護サービス費として支給する。 （法定給付：介護保険法第51条）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>利用者負担上限額</p> <p>1 高齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税又は生活保護の受給者：15,000円</p> <p>2 住民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下：15,000円</p> <p>3 住民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超：24,600円</p> <p>4 一般：44,400円</p> <p>5 現役並み所得者：44,400円</p> <p>給付件数：9,355件／年 給付額：101,035千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【国】 負担金 18,531千円、調整交付金 7,277千円</p> <p>【県】 負担金 14,591千円</p> <p>【その他】 一般会計繰入金 12,847千円、2号被保険者保険料 27,175千円</p>								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	高額医療合算介護サービス費						
会計・予算科目	会計介護保険	款	2 保険給付費	項	4 高額介護サービス等費	目	1 高額介護サービス費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
22,227	11,395		2,911	1,646		4,514	2,324
事業の目的							
介護保険と医療保険を利用した時の自己負担額が年間で高額になった時、それらを合算して年額で限度額を設け、限度額を超えた分について支給する。 (法定給付：介護保険法第51条の2)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
1年間の自己負担限度額							
70歳未満の方がいる世帯				70歳以上の方がいる世帯			
所得区分(国保加入世帯の場合)		自己負担限度額		所得区分(世帯)		自己負担限度額	
年間所得901万円超または未申告者がいる世帯		212万円		課税所得690万円以上		212万円	
年間所得600万円超901万円以下		141万円		課税所得380万円以上690万円未満		141万円	
年間所得210万円超600万円以下		67万円		課税所得145万円以上380万円未満		67万円	
年間所得210万円以下		60万円		課税所得145万円未満		56万円	
住民税非課税世帯		34万円		住民税非課税世帯		31万円	
年間所得は、総所得金額から基礎控除額を引いた額				世帯に70歳以上と70歳未満の方がいる場合、70歳以上にかかる負担額に区分の限度額を適用し、残りの負担額と70歳未満の負担額を合算した額に区分の限度額を適用します。			
給付件数：463件／年 給付額：11,395千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 負担金 2,090千円、調整交付金 821千円							
【県】 負担金 1,646千円							
【その他】 一般会計繰入金 1,449千円、2号被保険者保険料 3,065千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	特定入所者介護サービス費						
会計・予算科目	会計介護保険	款	2 保険給付費	項	5 特定入所者介護サービス等費	目	1 特定入所者介護サービス費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
153,025	147,304		37,627	21,273		58,350	30,054
事業の目的							
施設サービスを利用している者の居住費・食費は施設との契約により決定されるものであるが、所得の低い者については、所得区分に応じて設定された上限額を上回る額を特定入所者介護サービス費として支給する。 (法定給付：介護保険法第51条の3)							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
所得区分							
1 高齢福祉年金受給者であって住民税非課税世帯							
2 住民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以下							
3 住民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超							
給付件数：4,415件 給付額：147,304千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 負担金 27,017千円、調整交付金 10,610千円							
【県】 負担金 21,273千円							
【その他】 一般会計繰入金 18,731千円、2号被保険者保険料 39,619千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	一般介護予防事業費						
会計・予算科目	会計介護保険	款	3 地域支援事業費	項	1 介護予防・日常生活支援総合事業費	目	1 介護予防・日常生活支援総合事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
21,847	18,701		6,435	3,124		7,732	1,410
事業の目的							
介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し、健康教育、健康相談等の取組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、介護予防の活動の育成・支援を行う。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤嘱託職員報酬 5,682千円</li> <li>・非常勤嘱託職員共済費 1,167千円</li> <li>・事務賃金 1,757千円</li> <li>・なごもう会在宅看護師報償金 1,554千円</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業報償金 136千円</li> <li>・介護支援ボランティア報償金(52名) 129千円</li> <li>・需用費(消耗品費、介護予防教室食材費、公用車燃料代および修繕料ほか) 810千円</li> <li>・役務費(郵送料、なごもう会運転業務手数料、なごもう会等参加者保険料) 1,275千円</li> <li>・介護支援ボランティア事業委託料 1,882千円</li> <li>・介護予防教室事業委託料 4,175千円</li> <li>・特定高齢者通所事業委託料 134千円</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 地域支援事業交付金 6,435千円 【県】 地域支援事業交付金 3,124千円 【その他】 一般会計繰入金 2,333千円、2号被保険者保険料 5,361千円 通所介護手数料 38千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	介護予防・生活支援サービス事業費						
会計・予算科目	会計介護保険	款	3 地域支援事業費	項	1 介護予防・日常生活支援総合事業費	目	1 介護予防・日常生活支援総合事業費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
149,256	141,907		48,926	23,744		58,496	10,741
事業の目的							
平成29年4月より介護保険サービスの予防給付のうち「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」が全国一律の基準に基づくサービスから、地域の実情に応じて市町村が効果的かつ効率的に実施することができる総合事業へ移行されるもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント業務委託料 14,323千円</li> <li>・介護予防・生活支援サービス事業費 127,584千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問介護 2,766件 45,728千円</li> <li>通所介護 3,905件 81,606千円</li> <li>高額介護サービス費 250千円</li> </ul> </li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【国】 地域支援事業交付金 48,926千円 【県】 地域支援事業交付金 23,744千円 【その他】 一般会計繰入金 17,738千円、2号被保険者保険料 40,758千円							

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	審査支払手数料							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	3 地域支援事業費	項	1 介護予防・日常生活支援総合事業費	目	1 介護予防・日常生活支援総合事業費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
660	634		218	100		271	45	
事業の目的								
介護保険法第115条第45の3の5規定に基づき、介護予防・日常生活支援総合事業支給費等の審査及び支払事務を鳥取県国民健康保険団体連合会に委託し、請求内容を適正に審査し、各事業者に支払いを行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
審査支払手数料 634千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 地域支援事業交付金 218千円 【県】 地域支援事業交付金 100千円 【その他】一般会計繰入金 79千円、2号被保険者保険料 192千円								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	包括的支援事業費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	3 地域支援事業費	項	2 包括的支援事業・任意事業費	目	1 包括的支援事業・任意事業費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
99,071	86,783		29,920	14,518		16,706	25,639	
事業の目的								
高齢者が住みなれた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務等の地域包括支援事業を行う。認知症でも地域で生活できるよう認知症地域支援推進員による相談支援等を行う。生活支援コーディネーターや協議体の設置を通じて、地域における高齢者のニーズとボランティア等とのマッチングを行うことにより、生活支援の充実を推進する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント業務：特定高齢者に対する介護予防ケアプランの作成等。</li> <li>・総合相談支援業務：地域における関係者のネットワークを構築し、支援を必要とする高齢者に対し、保健・医療・福祉サービス等の適切な支援へつなぎ、継続的な見守りを行った。</li> <li>・権利擁護業務：地域福祉権利擁護事業、成年後見制度などの権利擁護を目的とするサービスや制度を活用するなど、ニーズに即した適切なサービスや機関につないだ。</li> <li>・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務：地域の連携・協力体制を構築し、地域の介護支援専門員が抱える困難事例等について、適宜、支援方針を検討し、指導助言等を行った。</li> </ul> <p>非常勤職員報酬・共済費 4,480千円、報償費 96千円、旅費 213千円、需用費 45千円 包括的支援事業委託料（5法人） 70,990千円、 認知症予防事業委託料（5法人） 400千円、認知症絵本教室事業委託料（5法人） 248千円、 生活支援体制整備事業委託料 10,273千円、認知症地域支援推進員研修会参加負担金 38千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 地域支援事業交付金 29,921千円 【県】 地域支援事業交付金 14,518千円 【その他】一般会計繰入金 16,706千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	任意事業費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	3 地域支援事業費	項	2 包括的支援事業・任意事業費	目	1 包括的支援事業・任意事業費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
28,980	25,577			5,996	2,929		11,534	5,118
事業の目的								
高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護するもの等に対し、必要な支援を行う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
非常勤嘱託職員報酬・共済費（適正化業務調査員1人、介護相談員4人） 5,346千円、 報償費（成年後見制度利用支援助成金）3,484千円 旅費 329千円、需用費 160千円、役務費 146千円、 研修会参加負担金 99千円、 配食サービス事業委託料 14,737千円、 扶助費（家族介護用品購入助成費） 1,276千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【国】 地域支援事業交付金 5,996千円 【県】 地域支援事業交付金 2,929千円 【その他】 一般会計繰入金 3,347千円、配食手数料 8,187千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	財政調整基金積立金							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	4 基金積立金	項	1 基金積立金	目	1 財政調整基金積立金
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
18,804	18,804						44	18,760
事業の目的								
介護保険給付事業から生じる剰余金及び特例交付金を積み立て、被保険者の負担の軽減や将来の給付事業財源を確保する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
財政調整基金積立金 18,760千円 財政調整基金積立金(基金利子分) 44千円  30年度末基金残高 111,953千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】 基金利子 44千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	第1号被保険者保険料還付金							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	5 諸支出金	項	1 償還金及び還付加算金	目	1 第1号被保険者保険料還付金
最終予算額	決算額(千円)		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
700	459						459	0
事業の目的								
第1号被保険者の過年度収納分に係る介護保険料について、賦課更正に伴い生じる過誤納金の還付を行う。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
第1号被保険者保険料還付金 459千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】繰越金 459千円								

担当課	長寿社会課		施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる				
事業名	償還金							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	5 諸支出金	項	1 償還金及び還付加算金	目	2 償還金
最終予算額	決算額(千円)		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
70,259	70,258						68,790	1,468
事業の目的								
介護給付費に対する国庫負担金、県費負担金及び第2号被保険者保険料分の交付金に係る前年度交付額の精算に伴い発生する超過額を返還する。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
平成29年度介護給付費負担金交付額の確定に伴う返還金(国庫) 21,922千円 平成27年度介護給付費負担金交付額の確定に伴う返還金(国庫) 14千円 平成29年度地域支援事業交付金額の確定に伴う返還金(国庫) 15,685千円 平成29年度鳥取県介護給付費負担金交付額の確定に伴う返還金(県費) 9,552千円 平成29年度鳥取県地域支援交付金額の確定に伴う返還金(県費) 9,697千円 平成29年度介護給付費財政調整交付金の確定に伴う返還金(財調) 143千円 平成29年度介護給付費交付金額の確定に伴う返還金(基金) 9,299千円 平成29年度地域支援事業交付金額の確定に伴う返還金(基金) 3,946千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】繰越金 68,790千円								

担当課	長寿社会課	施策	【戦略】11 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる					
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	介護保険	款	6 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳		国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0							0
事業の目的								
会計年度の途中において予定外の支出や予算額を超過した支出へ対応する。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	一般管理費							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費
最終予算額	決算額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
9,124	8,223		2,700			5,523	0	
事業の目的								
後期高齢者医療制度に係る被保険者資格管理等の事務を行う。(保険証送付、システム保守等) 被保険者数(平成31年3月31日現在)8,166人								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節	需用費	94千円						
12節	役務費	4,792千円	(保険証・給付関係通知郵送料、後期高齢システム保守手数料ほか)					
13節	委託料	2,700千円	(システム改修委託料)					
18節	備品購入費	637千円	(パソコンほか)					
主な特定財源(名称、金額等)								
【国】 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 2,700千円 【その他】 一般会計繰入金 5,523千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	徴収費							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	1 総務費	項	2 徴収費	目	1 徴収費
最終予算額	決算額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
2,099	1,326					1,326	0	
事業の目的								
後期高齢者医療保険料の賦課・徴収に係る事務を行う。 ・未申告者等の所得照会 ・賦課決定通知書の送付 ・納付書、督促状、催告書の送付 ・公金取扱手数料の支払い ほか								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
○保険料収納状況								
	区分	調定額	収納額	収納率	前年度			
	現年度分	418,013,200円	417,299,800円	99.8%	99.8%			
	滞納繰越分	2,685,929円	1,149,670円	42.8%	44.6%			
	合計	420,699,129円	418,449,470円	99.5%	99.3%			
【事業の実績】								
11節	需用費	155千円						
12節	役務費	1,171千円	(賦課決定通知等郵送料ほか)					
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】 一般会計繰入金 1,268千円 督促手数料 58千円								



担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	後期高齢者医療広域連合納付金							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	2 後期高齢者医療広域連合納付金	項	1 後期高齢者医療広域連合納付金	目	1 後期高齢者医療広域連合納付金
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
573,033	569,409					569,409	0	
事業の目的								
鳥取県後期高齢者医療広域連合への負担金を納付する。 ・保険料（特別徴収、普通徴収）分・保険基盤安定事業分・延滞金分								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 19節 負担金補助及び交付金 後期高齢者医療広域連合納付金 569,409千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】後期高齢者医療保険料 417,575千円 一般会計繰入金（基盤安定）151,816千円 延滞金 18千円								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	特定健康診査等事業費							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	3 保健事業費	項	1 特定健康審査等事業費	目	1 特定健康審査等事業費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
9,867	5,438					5,438	0	
事業の目的								
生活習慣病の早期発見・予防のため、長寿健診を実施し、被保険者の健康増進を図り、医療費の削減に資する。 （鳥取県後期高齢者医療広域連合からの事業委託）								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】 平成30年度 後期高齢者医療特定健康診査（長寿健診）受診者数								
		集団健診	208人					
		個別健診	416人					
		合計	624人					
11節 需用費	29千円							
12節 役務費	604千円							
13節 委託料	4,805千円（特定健康診査委託料）							
主な特定財源（名称、金額等）								
【その他】特定健康診査等受託料 4,782千円 一般会計繰入金 656千円								

担当課	保険年金課	施策	13 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める					
事業名	重複・頻回受診者訪問指導事業							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	3 保健事業費	項	2 重複・頻回受診者訪問指導事業	目	1 重複・頻回受診者訪問指導事業
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
116	84					84	0	
事業の目的								
医療機関への重複受診者及び頻回受診者を対象に訪問指導を行い、適正な受診や疾病の重症化予防を図る。 (鳥取県後期高齢者医療広域連合からの事業委託)								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 平成30年度訪問指導件数 10件 8節 報償費 64千円 11節 需用費 20千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【その他】</b> 受託事業収入 84千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する					
事業名	還付加算金							
会計・予算科目	会計	後期高齢者	款	4 諸支出金	項	1 償還金及び還付加算金	目	1 還付加算金
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
30	1					1	0	
事業の目的								
保険料の還付加算金を支払う。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 23節 償還金利子及び割引料 還付加算金 1千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【その他】</b> 還付加算金 1千円								

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	保険料還付金						
会計・予算科目	会計後期高齢者	款	4 諸支出金	項	1 償還金及び還付加算金	目	2 保険料還付金
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
600	354					354	0
事業の目的							
過年度過誤保険料を還付する。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 23節 償還金利息及び割引料 保険料還付金 354千円							
主な特定財源(名称、金額等)							
【その他】 保険料還付金 354千円							

担当課	保険年金課	施策	12 社会保障制度を適正に運用する				
事業名	予備費						
会計・予算科目	会計後期高齢者	款	5 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
3,030	0						0
事業の目的							
想定外の前算執行に対応するための経費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	衛生管理						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	1 衛生管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
7,736	7,002	財源内訳					7,002
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令で義務付けられた水質検査を行い(水道法第20条)、安全な水を供給するため衛生管理を行う。</li> <li>・滅菌処理のための薬品等の購入。</li> <li>・簡易水道7区域の水質検査の検査機関への委託。</li> <li>・水質検査のための採水等の衛生管理負担金(水道事業会計へ)。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>11節 需用費(消毒剤、試薬等) : 432千円  12節 役務費(水質検査手数料) : 4,706千円  19節 負担金補助及び交付金(衛生管理負担金) : 1,864千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>検査項目ごとに毎日、毎月、3ヶ月毎、年1回の水質検査を行った結果、良好であり、安全な水を供給することができた。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	総務管理						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
47,807	47,702	財源内訳				37,829	9,873
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省の指針「新水道ビジョン」による「安全」「強靱」「持続」に取り組む。</li> <li>・簡易水道事業を円滑に行うための総務事務、事務処理負担金(水道事業会計へ)。</li> <li>・総務省が推奨している「経営戦略」の作成。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p>【事業の実績】</p> <p>4節 共済費 : 271千円  7節 賃金 : 1,811千円  9節 旅費 : 55千円  11節 需用費 : 135千円  12節 役務費 : 83千円  19節 負担金補助及び交付金(事務処理負担金等) : 43,621千円  23節 償還金利息及び割引料(水道料金過年度還付金) : 89千円  27節 公課費(消費税及び地方消費税) : 1,637千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>簡易水道事業の事務処理を円滑にすることができた。  「倉吉市簡易水道事業経営戦略」を策定した。</p>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p>【その他】 受託事業収入(下水道徴収事務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落排水事業特別会計より 1,974千円</li> <li>・下水道事業特別会計より 1,373千円</li> </ul> <p>一般会計繰入金(その他繰入金(衛生費より)) 32,027千円  雑入(消費税及び地方消費税過年度還付金ほか) 2,455千円</p>							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	料金賦課徴収事務						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
4,206	4,061	財源内訳				1,421	2,640
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易水道事業の安定的財源を確保するため、使用料等の賦課徴収を行う。</li> <li>・滞納者に対して、より一層の賦課徴収効果を上げるため、電話等による督促を強化し、財源の確保及び完納者との公平性の確保を目指す。</li> <li>・下水道及び集落排水施設使用料は水道の使用水量を賦課算定に使用するため、受任して一元的に賦課徴収を行う。</li> <li>・水道料金システム使用・保守・改修に係る負担金(水道事業会計へ)。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費(納入通知書等の印刷費等) : 176千円 12節 役務費(郵便料等) : 1,095千円 13節 委託料(量水器検針業務委託料) : 989千円 14節 使用料及び賃借料(公用車借上料) : 217千円 19節 負担金補助及び交付金(水道料金システム負担金) : 1,584千円							
<b>【事業の成果】</b> 給水件数 2,186件(倉吉890件、関金1,296件) 給水人口 5,393人(倉吉2,315人 関金3,078人) 水道料金 調定額 89,962千円(現年84,148千円 滞納繰越5,814千円) 収入額 85,584千円(現年82,962千円 滞納繰越2,622千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 受託事業収入(下水道徴収事務) ・集落排水事業特別会計より 838千円 ・下水道事業特別会計より 583千円							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	満了量水器取替						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,982	2,088	財源内訳				762	1,326
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計量法に基づき購入から8年経過までに宅地内の量水器(水道メーター)の取替えを行う。</li> <li>・量水器の購入と修理(満了量水器を1回のみ修理して再利用可能)。</li> <li>・満了量水器の取替えの委託。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費(量水器の修繕) : 604千円 13節 委託料(満了量水器取替委託料) : 1,484千円							
<b>【事業の成果】</b> 満了量水器取替 倉吉地区 160個 関金地区 176個 計 336個 満了期超過個数なし							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 受託事業収入(下水道徴収事務) ・集落排水事業特別会計より 449千円 ・下水道事業特別会計より 313千円							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える					
事業名	配給水管維持管理							
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,543	3,937	財源内訳				985	2,952	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロスのない安定的な水の供給を行うため、また、公道等の安全を確保するため、配水管から宅地内の量水器までの漏水の修繕等を行う。</li> <li>・配給水管及び消火栓の修繕。</li> <li>・配給水管修繕に伴う公道の路面復旧。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>11節 需用費(公道修理路面復旧費、消火栓修繕等) : 2,169千円</p> <p>12節 役務費 : 50千円</p> <p>14節 使用料及び賃借料(公道修理機械借上料) : 740千円</p> <p>16節 原材料費(公道修理用工事材料費) : 978千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>公道部の水道管の漏水の修繕及び消火栓の修繕等を行い、安定的な水の供給、公道等の安全確保を図った。</p> <p>公道部水道管修繕等 62件</p> <p>消火栓修繕 1件</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
<p>【その他】一般会計繰入金(消防設備整備費繰入金(消防費より)) 513千円</p> <p>受託事業収入(工事補償金) 472千円</p>								

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える					
事業名	水源地・配水池維持管理							
会計・予算科目	会計簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
18,891	18,808	財源内訳					18,808	
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な水の供給を行うため、水源地、配水池の維持管理を行う。</li> <li>・流量計と減圧弁の修繕。</li> </ul>								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>11節 需用費(電気使用料、水源地及び配水池設備修繕等) : 9,028千円</p> <p>12節 役務費(簡易水道施設草刈業務等) : 1,125千円</p> <p>14節 使用料及び賃借料(土地借上料等) : 293千円</p> <p>16節 原材料費 : 1,439千円</p> <p>19節 負担金補助及び交付金(施設管理負担金) : 6,923千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>水源地・配水池等33ヶ所の施設点検を行い、修繕することにより安定的な水の供給を図った。</p> <p>配水量等</p> <p>総配水量 927,692m<sup>3</sup> (倉吉323,615m<sup>3</sup> 関金604,077m<sup>3</sup>)</p> <p>有収水量 581,863m<sup>3</sup> (倉吉202,969m<sup>3</sup> 関金378,894m<sup>3</sup>)</p> <p>有収率 62.7% 一日最大配水量 3,106m<sup>3</sup> 一日平均配水量 2,542m<sup>3</sup></p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	水道局		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	地方公営企業法適用							
会計・予算科目	会計	簡易水道	款	1 維持管理費	項	2 施設管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
972	972					900		72
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易水道会計を水道事業会計システムに取り込みシステムを試行する際、テストデータベースを作成して運用する必要があるため、テストデータベースの作成を行う。</li> </ul>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】</p> <p>13節 委託料（簡易水道事業統合支援業務）：972千円</p> <p>【事業の成果】</p> <p>テストデータベースの作成を行い、試行した。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】簡易水道整備事業債 900千円								

担当課	水道局		施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	久米簡易水道整備							
会計・予算科目	会計	簡易水道	款	2 改良事業費	項	1 改良事業費	目	1 施設整備費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
2,343	1,003					800		203
事業の目的								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な水の供給を行うため、老朽化した配水管及び施設等の整備を行う。</li> <li>・前年度に更新工事を行った路線の舗装復旧を行う。</li> </ul>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】</p> <p>15節 工事請負費：769千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉野舗装復旧工事：769千円</li> </ul> <p>18節 備品購入費：196千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝負谷受水槽送水ポンプ1号機：196千円</li> </ul> <p>19節 負担金補助及び交付金（平成30年度久米簡易水道設計監理負担金）：38千円</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉野舗装復旧工事</li> <li>舗装工 アスファルト舗装工 A=82m<sup>2</sup></li> </ul>								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】簡易水道整備事業債 800千円								

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	富海簡易水道整備						
会計・予算科目	会計 簡易水道	款 2 改良事業費	項 1 改良事業費	目 1 施設整備費			
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
25,812	24,703				24,200	435	68
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富海簡易水道水源地からの給水を中止し、上水から富海簡易水道全区域へ分水する対策を行い恒常的な安全を図る。</li> <li>・富海簡易水道受水槽設置に伴う用地取得。</li> <li>・将来上水道へ統合するための老朽管更新。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>13節 委託料：124千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富海簡易水道加圧ポンプ施設用地測量・分筆登記業務：97千円</li> <li>・富海簡易水道加圧ポンプ施設用地所有権移転登記業務：27千円</li> </ul> <p>15節 工事請負費：23,639千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富海配水管布設工事第1工区：18,242千円</li> <li>・富海配水管布設工事第2工区：5,397千円</li> </ul> <p>17節 公有財産購入費：15千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富海簡易水道加圧ポンプ施設用地取得費：15千円</li> </ul> <p>19節 負担金補助及び交付金(平成30年度富海簡易水道設計監理負担金)：925千円</p> <p><b>【事業の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富海簡易水道加圧ポンプ施設用地測量・分筆・所有権移転登記業務</li> <li>・富海簡易水道加圧ポンプ施設用地取得37㎡</li> <li>・富海配水管布設工事第1工区 水道配水用ポリエチレン管φ75 L=216.7m 配水用高密度ポリエチレン管W75 L=477.0m ポリエチレン1種二層管φ40 L=46.0m ソフトシール仕切り弁φ75 N=2基 給水管切替φ20 N=7箇所 地下式消火栓φ75 N=1基</li> <li>・富海配水管布設工事第2工区 配水用高密度ポリエチレン管W40 L=189.0m アラミドがい装ポリエチレン管W40 L=18.5m 給水管切替工φ20 N=1箇所</li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
<p><b>【地方債】</b> 簡易水道整備事業債 24,200千円</p> <p><b>【その他】</b> 一般会計繰入金(消防施設整備費繰入金(消防費より)) 435千円</p>							



担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	関金簡易水道整備						
会計・予算科目	会計 簡易水道	款 2 改良事業費	項 1 改良事業費	目 1 施設整備費			
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
4,382	4,051				3,800		251
事業の目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な水の供給を行うため、老朽化した配水管及び施設等の整備を行う。</li> <li>・水道管の耐震化及び消火栓の放水能力を上げるため、ダグタイル鋳鉄管φ100に布設替する。</li> <li>・前年度に更新工事を行った路線の舗装復旧を行う。</li> </ul>							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>8節 報償費：笹ヶ平新水源開発アドバイザー謝金(1人×3回)：27千円</p> <p>15節 工事請負費：3,881千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関金宿舗装復旧工事：998千円</li> <li>・関金宿配水管布設工事：2,883千円</li> </ul> <p>18節 備品購入費：143千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関金配水池遠隔式水道メーター：97千円</li> <li>・関金配水池遠隔個別カウンター：46千円</li> </ul> <p><b>【事業の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関金宿配水管布設工事 GX形ダグタイル鋳鉄管φ100 L=50.0m GX形ソフトシール仕切弁φ100 N=1基 既設管連絡工 N=2箇所 給水管切替工 N=5箇所</li> <li>・関金宿舗装復旧工事 舗装工(配水部)表層工A=119m<sup>2</sup> (給水部)表層工A=11m<sup>2</sup></li> </ul>							
主な特定財源(名称、金額等)							
【地方債】簡易水道整備事業債 3,800千円							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	公債費（元金、利子）						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	3 公債費	項	1 公債費	目	
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
88,603	88,602	財源内訳				45,978	42,624
事業の目的							
・簡易水道整備に係る長期借入金の元金・利子の支払い。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】</p> <p>23節 償還金利子及び割引料：88,602千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元金償還 72,207千円</li> <li>・長期借入金利子 16,395千円</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>前年度末未償還元金＋本年度借入金－本年度償還金＝本年度末未償還元金</p> <p>937,786千円 ＋ 29,700千円 － 72,207千円 ＝895,279千円</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							
<p>【その他】 一般会計繰入金（元金分） 37,461千円</p> <p>一般会計繰入金（利子分） 8,517千円</p>							

担当課	水道局	施策	32 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える				
事業名	予備費						
会計・予算科目	会計簡易水道	款	4 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0	財源内訳					0
事業の目的							
・想定外の予算執行に対応するための経費。							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p>【事業の実績】及び【事業の成果】</p> <p>予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、全額不用となった。</p>							
主な特定財源（名称、金額等）							

担当課	関金支所	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	施設管理						
会計・予算科目	会計温泉配湯	款	1 維持管理費	項	1 施設管理費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
9,067	8,902	財源内訳				7	8,895
事業の目的							
関金温泉配湯施設の管理及び修繕、改良を行うもの。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
関金温泉配湯施設の管理及び修繕・改良。							
11節	需用費						
	消耗品費	99千円					
	光熱水費(ポンプ電気代等)	2,716千円					
	修繕料	源泉等施設修繕	1,482千円	(加圧ポンプ・中継ポンプ修繕、配湯管路保護ほか)			
12節	役務費						
	通信運搬費	30千円					
	手数料	297千円		(レジオネラ菌検査、6号源泉土地分筆登記ほか)			
13節	委託料						
	温泉送湯ポンプ設備維持管理	308千円					
16節	原材料費	工事材料費	12千円				
18節	備品購入費						
	10号源泉深井戸水中ポンプ	651千円					
25節	積立金						
	温泉配湯事業積立基金	3,307千円					
<b>【事業の成果】</b>							
源泉 7ヶ所(温泉配湯所で集中管理) 温泉全体の汲上量…200ℓ/分							
①1号源泉 関金宿1499-4 ②4号源泉 関金宿1503-4・-7 ③6号源泉 関金宿202-7							
④9号源泉 関金宿1513-3 ⑤10号源泉 関金宿1525-4 ⑥南源泉 関金宿1442-3							
⑦11号源泉 関金宿1407-28							
配湯所 1ヶ所 関金宿1499-4							
配湯先 13施設 配湯口数 194口							
①グリーンコーレせきがね 50口 ②美章苑 4口 ③丸山陽雅 2口 ④(財)動物臨床医学研究所 5口							
⑤希望の家 10口 ⑥榊菅組 8口 ⑦倉吉市社会福祉協議会関金支所 10口							
⑧湯楽里 10口 ⑨医療法人至誠会 20口 ⑩(社福)みのり福祉会(グループホーム) 10口							
⑪(社福)みのり福祉会(デイサービス) 10口 ⑫湯久里庵 5口 ⑬湯命館 50口							
温泉使用料収入状況							
	調定額	収入済額	収入率	収入未済額			
現年分	9,018千円	8,886千円	98.54%	132千円			
滞納分	2,825千円	0千円	0.00%	2,825千円			
合計	11,843千円	8,886千円	75.03%	2,957千円			
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 基金利子 7千円							

担当課	関金支所	施策	44 公共施設の維持管理の最適化に向けた取組を進める				
事業名	予備費						
会計・予算科目	会計温泉配湯	款	2 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
100	0	財源内訳					0
事業の目的							
想定外の予算執行に対応するための経費。							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
予算内の執行により歳出予算に不足が生じなかったため、全額不用となった。							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める								
事業名	住宅資金貸付償還推進助成										
会計・予算科目	会計	住宅資金貸付	款	1	住宅資金貸付事業費	項	1	住宅資金貸付事業費	目	1	住宅資金貸付事業費
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源			
1,241	474				352		122	0			
事業の目的											
平成8年度で貸付けを終了し、貸付金の管理・回収業務を行う。											
事業の実績、成果（振返り、効果等）											
【事業の実績】											
9節	旅費						8千円				
11節	需用費（消耗品・燃料費等）						253千円				
12節	役務費（通信運搬費等）						46千円				
14節	使用料及び賃借料（電子複写機借上料）						167千円				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・完済18件 貸付残件数60件（うち、滞納件数 50件 36人）</li> <li>・納付書送付 7回 計87件、督促状送付 5回 計54件、催告書送付 3回 計72件</li> <li>・毎月定期的に訪問徴収を実施した。</li> <li>・保証人の通知と返済協議を行った。</li> </ul>											
【事業の成果】											
・償還金の回収に努め、前年度の収納率を上回った。											
主な特定財源（名称、金額等）											
【県】 住宅新築資金等貸付助成事業費補助金 352千円											
【その他】 繰越金 122千円											

担当課	人権政策課	施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める								
事業名	公債費（元金、利子）										
会計・予算科目	会計	住宅資金貸付	款	2	公債費	項	1	公債費	目		
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源			
14,278	14,278						14,278	0			
事業の目的											
市債の償還を行うもの。											
事業の実績、成果（振返り、効果等）											
【事業の実績】											
23節	償還金利子及び割引料										
	・償還金利子及び割引料（償還金）						13,460千円				
	・償還金利子及び割引料（利子）						818千円				
【事業の成果】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰上償還が無く、公債費（元金）の償還に必要な貸付金元金は約94%を確保した。公債費（利子）の償還に必要な貸付金利子は100%を確保した。公債費（元金）は繰越金からの充当が必要となった。</li> <li>・償還金（元金・利子）の収納率が前年度を上回ったが、継続して財源の確保に努める必要がある。</li> </ul>											
主な特定財源（名称、金額等）											
【その他】 貸付金元利収入（元金） 12,702千円											
貸付金元利収入（利子） 1,042千円											
繰越金 534千円											

担当課	人権政策課		施策	15 だれもが認め合い、理解し合い、協力し合える人権尊重のまちづくりを進める				
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	住宅資金貸付	款	3 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
38,218	0	財源内訳						0
事業の目的								
住宅資金貸付事業特別会計の健全な運営を図る。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】及び【事業の成果】          予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、全額不用となった。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	財政課	施策	43 安定的に自主財源を確保する					
事業名	土地取得							
会計・予算科目	会計	土地取得	款	1 土地取得事業費	項	1 土地取得事業費	目	1 事業費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
20,000	0						0	
事業の目的								
<p>公共の利益のため、土地開発基金により土地を先行取得するもの。  土地開発基金は、公用又は公共用に供する土地、公共の利益のために取得する必要のある土地等をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため設置された基金である。</p>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>先行取得すべき土地がないため、実績なし。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	財政課	施策	43 安定的に自主財源を確保する					
事業名	繰出金							
会計・予算科目	会計	土地取得	款	2 諸支出金	項	1 繰出金	目	1 繰出金
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
16,007	7					7	0	
事業の目的								
<p>土地開発基金が保有する土地の売払い収入等を土地開発基金に繰り出すもの。</p>								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>28節 繰出金 7千円</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								
<p>【その他】基金利子 7千円</p>								

担当課	職員課	施策	40 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する					
事業名	人件費（一般職）							
会計・予算科目	会計	下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	
最終予算額	決算額（千円）		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
69,681	68,440		財源内訳				68,440	0
事業の目的								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 職員（管理費） 6人 38,010千円 （建設費） 5人 30,430千円  給料 38,074千円 職員手当 18,438千円 共済費 11,928千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【その他】</b> 下水道使用料（管理費） 26,725千円 一般会計繰入金（管理費） 11,285千円 一般会計繰入金（建設費） 30,430千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	汚水維持管理・特定環境保全公共下水道汚水維持管理業務						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
617,283	591,951	財源内訳				582,850	9,101
事業の目的							
公共下水道区域及び特定環境保全公共下水道区域の汚水を速やかに流域下水道へ排除するための安全運営を確保するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>	(公共下水道事業)		(特定環境保全公共下水道事業)				
1節 報酬	1,688	千円		32	千円		
4節 共済費	260	千円		-			
9節 旅費	4	千円		-			
11節 需用費	12,251	千円		1,250	千円		
修繕料	[ 28 件 ]			[ 2 件 ]		ほか	
12節 役務費	907	千円		204	千円		
13節 委託料	53,086	千円		186	千円		
マンホールポンプ管理	ほか						
14節 使用料及び賃借料	197	千円		11	千円		
15節 工事請負費	28,410	千円		-	千円		
19節 負担金補助及び交付金	423,179	千円		30,845	千円		
流域下水道管理負担金	ほか						
23節 償還金利子及び割引料	3,155	千円		1,064	千円		
使用料還付							
27節 公課費	30,764	千円		4,458	千円		
消費税及び地方消費税							
<使用料賦課徴>							
現年度 調定額	787,236	千円		60,399	千円		
収納額	781,362	千円		59,862	千円		
収納率	99.3	%		99.1	%		
滞納分 調定額	28,303	千円		4,550	千円		
収納額	8,793	千円		1,553	千円		
収納率	31.1	%		34.1	%		
<b>【事業の成果】</b>	・管路施設のカメラ調査及び補修工事を実施し、不明水逋減に努めた。						
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b>	公共下水道使用料 494,958 千円 特定環境保全公共下水道使用料 32,863 千円 消費税及び地方消費税還付金 54,921 千円						



担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	水洗便所等普及業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
78	43	財源内訳				43	0
事業の目的							
下水道施設への接続率向上を図るため、その啓発を行うもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 43 千円 排水設備シールほか  <b>【事業の成果】</b> ・供用開始から3年となる未接続者に対する、下水道接続の啓発に努めた。 ・適正な新規接続工事により下水道へ接続されるよう、指導・監督に努めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 公共下水道使用料 21 千円 一般会計繰入金 22 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	水質規制等・特定環境保全公共下水道水質規制等業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,261	756	財源内訳				756	0
事業の目的							
公共下水道区域及び特定環境保全公共下水道区域内施設の機能を保持するため、悪質水質を監視するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> (公共下水道事業) (特定環境保全公共下水道事業) 13節 委託料 水質分析業務 703 千円 [11事業場] 53 千円 [1事業場]							
<b>【事業の成果】</b> ・特定事業場から排除される汚水の水質を監視し、悪質な汚水排水の抑制に努めた。 規制値を超える事業場・・・該当なし							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 一般会計繰入金 756 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	水洗便所改造資金貸付業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,041	10,017					10,017	0
事業の目的							
公共下水道区域における排水設備工事の促進を図るための経済的支援措置を行うもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
12節 役務費			17 千円				
21節 貸付金			10,000 千円				
排水設備改造資金貸付							
<新規貸付>			0 件				
<償還未済>			4 件				
<b>【事業の成果】</b>							
・平成30年度は新規貸付がなく、近年の実績も考慮し、令和元年度は予算規模を縮小した。 今後も見直しを図る。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 貸付金元利収入 10,000 千円							

担当課	下水道課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	雨水維持管理業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
25,797	25,788					25,788	0
事業の目的							
雨水による浸水の防止を図るもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
11節 需用費	7,961 千円						
修繕料 ほか							
舗装・幹線補修 [5件]							
12節 役務費	5,937 千円						
災害(台風)対応 ほか							
13節 委託料	11,691 千円						
雨水排水ポンプ場管理 ほか							
14節 使用料及び賃借料	24 千円						
18節 備品購入費	175 千円						
<b>【事業の成果】</b>							
・台風による豪雨時、雨水排水ポンプの稼働・管理体制の整備等により被害軽減を図った。 ・排水路の浚渫、機器修理の実施等により、雨水排除に支障をきたすことのないよう努めた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 一般会計繰入金 25,716 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	受益者負担金徴収・特定環境保全公共下水道受益者負担金徴収業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,429	1,411	財源内訳				1,411	0
事業の目的							
負担の公平化を図るため、公共下水道事業費及び特定環境保全下水道事業費の一部を賦課徴収するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>		(公共下水道事業)		(特定環境保全公共下水道事業)			
8節 報償費							
前納報奨金 821 千円 [80件] -							
11節 需用費 80 千円 -							
12節 役務費 160 千円 1 千円							
14節 使用料及び賃借料 175 千円 174 千円							
<受益者負担金賦課徴収>							
現年度 調定額 17,085 千円 26 千円							
収納額 16,264 千円 26 千円							
収納率 95.2 % 100.0 %							
滞納分 調定額 4,945 千円 380 千円							
収納額 672 千円 10 千円							
収納率 13.6 % 2.6 %							
<b>【事業の成果】</b>							
・報奨金制度の活用を促すことで一括納付の件数が増え、滞納を抑制する一定の効果をえた。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 公共下水道使用料 1,236 千円 特定環境保全公共下水道使用料 175 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	受託工事						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
800	0	財源内訳					0
事業の目的							
他事業執行に伴う下水道施設の移転工事を行うもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b>							
・執行なし							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	一般管理業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
248	205					205	0
事業の目的							
日本下水道協会の運営に参画し、先進地視察、講習及び研修への参加等職員の資質向上を図るもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 9節 旅費 普通旅費                    1千円 19節 負担金補助及び交付金 下水道協会会費          204千円  <b>【事業の成果】</b> ・研修会等への参加により、自己研鑽に努めた。参加にあたっては、協会からの助成金を活用した。 (下水道協会幹旋の研修会出席：4件)							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【その他】</b> 公共下水道使用料 205千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	公営企業会計移行・特環公共下水道公営企業会計移行業務						
会計・予算科目	会計 下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
10,115	10,115				10,000	115	0
事業の目的							
公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業における経営の健全化、財務状況の明確化及び下水道施設の効率的な維持管理を図るため、官庁会計から企業会計へ移行し安定的な事業運営を目指すもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> (公共下水道事業)                  (特定環境保全公共下水道事業) 13節 委託料                            9,157千円                            958千円 下水道台帳、固定資産台帳整備 ほか							
<b>【事業の成果】</b> ・下水道資産の調査等を実施。企業会計への移行(令和2年度)に向けて現在も作業を進めている。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 10,000千円 <b>【その他】</b> 一般会計繰入金 115千円							

担当課	下水道課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	汚水補助事業							
会計・予算科目	会計	下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額(千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
77,233	63,315		財源内訳	30,720		27,062	5,533	0
事業の目的								
公共下水道計画区域内の管路施設を整備するもの								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 136 千円 7節 賃金 893 千円 11節 需用費 315 千円 12節 役務費 18 千円 13節 委託料 13,884 千円 測量設計 [ 2区域 ] ほか 14節 使用料及び賃借料 655 千円 機械借上 ほか 15節 工事請負費 47,111 千円 整備工事 [ 管路延長 : 389 m、舗装復旧 : 766 m <sup>2</sup> ] 22節 補償補填及び賠償金 303 千円 水道管移転補償 [ 1件 ] (翌年度繰越額 10,682 千円)								
<b>【事業の成果】</b> ・下水道未整備地区(補助路線)での整備工事実施により、下水道普及率の向上を図った。 <整備地区> 上北条、上井、社、明倫地区								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【国】</b>	社会資本整備総合交付金			28,100 千円				
	防災・安全社会資本整備交付金			2,620 千円				
<b>【地方債】</b>	下水道事業債			27,062 千円				
<b>【その他】</b>	公共下水道事業受益者負担金			2,913 千円				
	一般会計繰入金			2,620 千円				

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	汚水単独事業						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
62,040	48,094				45,600	2,494	0
事業の目的							
公共下水道区域内の管路施設を整備するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 4節 共済費 278 千円 7節 賃金 1,598 千円 9節 旅費 93 千円 11節 需用費 293 千円 12節 役務費 12 千円 13節 委託料 7,439 千円 14節 使用料及び賃借料 555 千円 15節 工事請負費 37,794 千円 整備工事 [ 管路延長:250 m、舗装復旧:263 m <sup>2</sup> ] 19節 負担金補助及び交付金 32 千円  <b>【事業の成果】</b> ・下水道未整備地区(単独路線)での整備工事实施により、下水道普及率の向上を図った。 <整備地区> 上北条、上井、上灘、小鴨、成徳、明倫、社地区							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 45,600 千円 <b>【その他】</b> 公共下水道事業受益者負担金 2,494 千円							

担当課	下水道課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	雨水単独事業						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
12,020	7,051				1,100	5,951	0
事業の目的							
雨水による浸水を防止するため、公共下水道計画区域内の雨水排除施設を整備するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 51 千円 13節 委託料 6,486 千円 測量設計 [ 1区域 ] ほか 15節 工事請負費 514 千円 整備工事 [ 法面整備 ]  <b>【事業の成果】</b> ・効率的に雨水を排除するため、排水路の整備工事を実施した。 <整備地区> 上井地区							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 1,100 千円 <b>【その他】</b> 一般会計繰入金 5,951 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	流域下水道・特定環境保全公共下水道流域下水道事業						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
51,251	26,747	財源内訳			22,700	4,047	0
事業の目的							
流域下水道建設事業における地元負担金を支払うもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> (公共下水道事業) (特定環境保全公共下水道事業) 19節 負担金補助及び交付金 24,237 千円 2,510 千円 流域下水道建設負担金 (翌年度繰越額 24,268 千円)							
<b>【事業の成果】</b> ・施設老朽化に伴い、改良工事を行っている。平成30年度においては、主に汚泥脱水設備の改築及び幹線管渠の更正工事に係る費用の負担を行った。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 22,700 千円 一般会計繰入金 4,047 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	特定環境保全公共下水道汚水単独事業						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	1,000	財源内訳			900	100	0
事業の目的							
特定環境保全公共下水道計画区域内の管路施設を整備するもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
<b>【事業の実績】</b> 15節 工事請負費 1,000 千円 整備工事 [ 舗装復旧 : 63 m <sup>2</sup> ] ほか							
<b>【事業の成果】</b> ・前年度に施工した汚水柵設置箇所の舗装本復旧及びマンホール <sup>®</sup> の改修工事を実施。							
主な特定財源(名称、金額等)							
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 900 千円 <b>【その他】</b> 負担金 36 千円 一般会計繰入金 64 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	建設事業（一般）						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
2,177	1,128	財源内訳			338	790	0
事業の目的							
下水道建設費用の円滑な運営を図るもの							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 985 千円 4節 共済費 143 千円  <b>【事業の成果】</b> ・適正な土木設計監理を執行した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【地方債】</b> 下水道債 338 千円 <b>【その他】</b> 一般会計繰入金 790 千円							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	特定環境保全公共下水道汚水補助事業						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	2 建設費
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
21,457	19,661	財源内訳	9,261		10,400		0
事業の目的							
特定環境保全公共下水道計画区域内の管路施設を整備するもの							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<b>【事業の実績】</b> 11節 需用費 27 千円 14節 使用料及び賃借料 555 千円 15節 工事請負費 19,079 千円  <b>【事業の成果】</b> ・施設の老朽化対策として、マンホール <sup>ホ</sup> ソ <sup>ン</sup> プ <sup>プ</sup> の制御盤、水位計等の更新工事を実施した。							
主な特定財源（名称、金額等）							
<b>【国】</b> 防災・安全社会資本整備交付金 9,261 千円 <b>【地方債】</b> 下水道事業債 10,400 千円							



担当課	下水道課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	雨水補助事業						
会計・予算科目	会計 下水道	款 1 下水道費	項 1 下水道費	目 2 建設費			
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他 一般財源	
20,000	0					0	
事業の目的							
雨水による浸水を防止するため、下水道計画区域内の雨水排水施設の建設や既存施設の計画的な更新を行うもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 ・執行なし  (翌年度繰越額 20,000 千円)							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる			
事業名	公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業公債費(元金及び利子)					
会計・予算科目	会計 下水道	款 2 公債費	項 1 公債費	目		
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他 一般財源
1,625,444	1,625,442				412,700	1,212,742 0
事業の目的						
公共・特定環境保全公共下水道整備のために行う借入金に係る元金及び利子を償還するもの						
事業の実績、成果(振返り、効果等)						
【事業実績】 (公共下水道事業) (特定環境保全公共下水道事業)						
○元金償還						
23節 償還金利子及び割引料						
元金償還金 1,212,241 千円 126,696 千円						
(年度末償還残高 15,273,198 千円 1,287,002 千円)						
○利子償還						
23節 償還金利子及び割引料						
利子償還金 262,792 千円 23,713 千円						
【事業の振り返り】						
・毎年の償還額を超える新規起債借入は予定していないため、今後も穏やかに減少していくことを見込む。						
主な特定財源(名称、金額等)						
【地方債】下水道事業債 412,700 千円						
【その他】公共下水道使用料 266,992 千円 特定環境保全公共下水道使用料 28,377 千円						
公共下水道事業受益者負担金 11,529 千円						
一般会計繰入金 905,844 千円						

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	予備費						
会計・予算科目	会計下水道	款	3 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
1,000	0	財源内訳					0
事業の目的							
想定外の予算執行に対応するためのもの							
事業の実績、成果(振返り、効果等)							
【事業の実績】 ・執行なし							
主な特定財源(名称、金額等)							

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる										
事業名	流域下水道・特定環境保全公共下水道流域下水道事業【繰越明許】												
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	3 建設費(繰越明許)						
最終予算額	決算額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源						
17,832	17,832	財源内訳			17,500	332	0						
事業の目的													
流域下水道建設事業における地元負担金を支払うもの													
事業の実績、成果(振返り、効果等)													
<b>【事業の実績】</b> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:35%; text-align:center;">(公共下水道事業)</td> <td style="width:35%; text-align:center;">(特定環境保全公共下水道事業)</td> </tr> <tr> <td>19節 負担金補助及び交付金 流域下水道建設負担金</td> <td style="text-align:center;">16,159 千円</td> <td style="text-align:center;">1,673 千円</td> </tr> </table>									(公共下水道事業)	(特定環境保全公共下水道事業)	19節 負担金補助及び交付金 流域下水道建設負担金	16,159 千円	1,673 千円
	(公共下水道事業)	(特定環境保全公共下水道事業)											
19節 負担金補助及び交付金 流域下水道建設負担金	16,159 千円	1,673 千円											
<b>【事業の成果】</b> ・施設老朽化に伴い、改良工事を行っている。 当該繰越事業においては、脱水機の改築に係る費用負担を行った。													
主な特定財源(名称、金額等)													
<b>【地方債】</b> 下水道事業債 17,500 千円 <b>【その他】</b> 繰越金 332 千円													

担当課	下水道課	施策	36 災害に強いまちをつくる				
事業名	雨水補助事業【繰越明許】						
会計・予算科目	会計下水道	款	1 下水道費	項	1 下水道費	目	3 建設費（繰越明許）
最終予算額	決算額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
137,900	136,745	財源内訳	67,545		69,200		0
事業の目的							
雨水による浸水を防止するため、下水道計画区域内の雨水排除施設の建設や既存施設の計画的な更新を行うもの【平成29年度国の補正予算に係る事業】							
事業の実績、成果（振返り、効果等）							
<p><b>【事業の実績】</b></p> <p>4節 共済費 137 千円</p> <p>7節 賃金 864 千円</p> <p>11節 需用費 99 千円</p> <p>13節 委託料 76,838 千円</p> <p>雨水排水ポンプ場条寿命化事業 ほか</p> <p>14節 使用料及び賃借料 555 千円</p> <p>15節 工事請負費 58,252 千円</p> <p>雨水排水路工事〔管路延長：233 m〕</p> <p><b>【事業の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づくディーゼル機関の更新を実施し、雨水排水ポンプ場施設の長寿命化を図った。</li> <li>・その他、近年発生する豪雨への対策として、雨水排水路の整備を順次実施している。</li> </ul>							
主な特定財源（名称、金額等）							
<p><b>【国】</b> 防災・安全社会資本整備交付金 67,545 千円</p> <p><b>【地方債】</b> 下水道事業債 69,200 千円</p>							

担当課	財政課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する					
事業名	駐車場（新町）							
会計・予算科目	会計	駐車場	款	1 駐車場費	項	1 駐車場費	目	1 駐車場費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
15,987	15,743					15,471	272	
事業の目的								
新町駐車場の施設管理・運営を行うもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 収容台数 112台（定期92台、一般20台） 11節 需用費 消耗品費、電気代 420千円 12節 役員費 新町定期駐車場ブロック解体撤去業務ほか 1,773千円 13節 委託料 管理委託 70千円 14節 使用料及び賃借料 料金精算システムリース料 152千円 15節 工事請負費 維持補修工事 駐車場塗装改修工事 13,328千円								
主な特定財源（名称、金額等）								
<b>【その他】</b> 駐車場使用料 6,480千円 一般会計繰入れ 8,978千円								

担当課	財政課	施策	【戦略】28 にぎわいのあるまちなかを再生する					
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	駐車場	款	2 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
200	0						0	
事業の目的								
予算外の支出又は予算超過の支出に充てるもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<b>【事業の実績】</b> 予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、執行なし。								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	農業集落排水管理業務							
会計・予算科目	会計	集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
11,158	10,908	財源内訳					10,908	0
事業の目的								
集落排水事業運営全般に係る管理及び使用料の賦課徴収等を行うもの								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
・処理可能面積等 (処理区域面積) 1044.3ha (戸数) 居住: 2,621戸 接続: 2,063戸 接続率: 78.71% (人口) 居住: 6,864人 接続: 5,632人 接続率: 82.05%								
・集排使用料賦課徴収 (現年度) 調達: 89,130千円 収納: 88,306千円 収納率: 99.1% (滞繰分) 調達: 3,588千円 収納: 1,391千円 収納率: 38.8%								
1節 報酬 63 千円 11節 需用費 213 千円 12節 役務費 204 千円 14節 使用料及び賃借料 201 千円 19節 負担金補助及び交付金 5,416 千円 徴収負担金 5,396 千円ほか 23節 償還金利子及び割引料 214 千円 使用料還付 27節 公課費 4,597 千円 消費税及び地方消費税								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 消費税及び地方消費税還付金等 10,689 千円 一般会計繰入金 219 千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	農業集落排水処理施設維持管理業務							
会計・予算科目	会計	集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の		国	県	地方債	その他	一般財源
81,076	77,588	財源内訳					77,588	0
事業の目的								
農業集落排水処理施設(13箇所)の安全運転及び安定稼働を目的に、定期的な維持管理により、処理排水水質を適正に管理するもの								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b>								
11節 需用費 24,736 千円 消耗品費、光熱水費、修繕料(18件) 12節 役務費 24,966 千円 汚泥採取、通信費ほか 13節 委託料 27,886 千円 処理施設保守委託								
<b>【事業の成果(振返り、効果等)】</b>								
・昨年度決算に比べ2,176千円の増。主に光熱水費(1,486千円)と修繕料(1,318千円)の増加によるもの。 ・施設の老朽化により、今後更に修繕料の増加が見込まれるため、長寿命化事業等により施設を改修し、長期のスパンで見た維持管理経費の削減が必要。								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 農業集落排水施設使用料 71,087 千円 一般会計繰入金 6,501 千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	農業集落排水管路施設維持管理業務							
会計・予算科目	会計集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
19,627	18,610					18,610	0	
事業の目的								
農業集落排水管路施設の良好な維持管理により、発生した汚水を速やかに処理場に排除するもの ・マンホール中継ポンプ場(152箇所)								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
11節 需用費	10,848 千円	光熱水費、修繕料(20件)ほか						
12節 役務費	3,245 千円	通信費、手数料ほか						
13節 委託料	4,457 千円	ポンプ施設保守委託						
14節 使用料及び賃借料	42 千円	土地借上料						
19節 負担金補助及び交付金	18 千円	電波利用負担金						
【事業の成果(振返り、効果等)】								
・施設の老朽化による修繕費が増加するなど、維持管理経費全体が増加傾向にある。 ・長寿命化事業等により管路(ポンプを含む)施設を改修し、長期のスパンで見た維持管理経費の削減が必要。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】農業集落排水施設使用料 18,610 千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	林業集落排水維持管理業務							
会計・予算科目	会計集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費	
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
955	803					803	0	
事業の目的								
林業集落排水処理場(1箇所)及び管路施設の保守管理により、処理施設からの排水水質を適正に管理するもの								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
【事業の実績】								
・処理可能面積等 (処理区域面積) 0.6ha (戸数) 居住: 8戸 接続: 8戸 接続率: 100% (人口) 居住: 26人 接続: 26人 接続率: 100%								
・集排使用料賦課徴収 (現年度) 調定: 324千円 収納: 318千円 収納率: 98.1% (滞繰分) 調定: 67千円 収納: 18千円 収納率: 26.5%								
11節 需用費	85 千円							
12節 役務費	334 千円	汚泥抜取ほか						
13節 委託料	334 千円	処理施設保守						
14節 使用料及び賃借料	10 千円							
19節 負担金補助及び交付金	27 千円	徴収負担金						
23節 償還金利子及び割引料	13 千円	使用料還付						
【事業の成果(振返り、効果等)】								
・安定的に処理をするための処理施設及び管路(ポンプを含む)施設の管理はほぼ行え、施設の老朽化はみられるものの、維持管理経費は横ばい傾向にある。 ・長寿命化事業等により処理施設及び管路(ポンプを含む)施設を改修し、長期のスパンで見た維持管理経費の削減が必要。								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】林業集落排水施設使用料 336 千円 一般会計繰入金 398 千円 消費税還付金 69 千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	農業・林業集落排水公営企業会計移行業務							
会計・予算科目	会計	集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,271	7,271				7,200	71	0	
事業の目的								
農業集落排水事業及び林業集落排水事業における経営の健全化、財政状況の明確化及び処理施設の効率的な維持管理を図るため、官庁会計から企業会計へ移行し安定的な事業運営を目指すもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
13節 委託料 (農業集落排水事業) (林業集落排水事業)								
企業会計移行業務 6,757 千円 514 千円								
【事業の成果（振返り、効果等）】								
・企業会計への移行（令和2年度）に向けて現在も作業を進めている。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 集落排水事業債 7,200 千円								
【その他】 一般会計繰入金 71 千円								

担当課	下水道課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	農業集落排水施設災害復旧事業（管理）							
会計・予算科目	会計	集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
35,328	1,053				1,000	53	0	
事業の目的								
台風により被災した農業集落排水処理施設の復旧を行うもの								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
【事業の実績】								
11節 需用費 5 千円 修繕料								
13節 委託料 1,048 千円 津原地区農業集落排水処理施設災害復旧測量設計業務								
(翌年度繰越額 18,588 千円)								
【事業の成果（振返り、効果等）】								
・平成30年台風24号により被災した施設の管渠修繕及び津原処理施設の測量設計業務を行った。 令和元年度に修繕及び災害復旧工事を行う。								
主な特定財源（名称、金額等）								
【地方債】 地方公営企業災害復旧事業債 1,000 千円								
【その他】 一般会計繰入金 53 千円								

担当課	下水道課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる																												
事業名	公債費（農業集落排水事業・林業集落排水事業）（元金、利子）																															
会計・予算科目	会計	集落排水	款	1 集落排水費	項	1 集落排水費	目	1 管理費																								
最終予算額	決算額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源																								
451,812	451,810					132,800	319,010	0																								
事業の目的																																
農業・林業集落排水施設整備に要した資本費のうち元金及び利子を償還するもの																																
事業の実績、成果（振返り、効果等）																																
<b>【事業実績】</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">（農業集落排水事業）</td> <td style="text-align: center;">（林業集落排水事業）</td> </tr> <tr> <td>○元金償還</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  23節 償還金利子及び割引料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    元金償還金</td> <td style="text-align: right;">366,420 千円</td> <td style="text-align: right;">1,272 千円</td> </tr> <tr> <td>（年度末償還残高）</td> <td style="text-align: right;">4,898,492 千円</td> <td style="text-align: right;">14,312 千円</td> </tr> <tr> <td>○利子償還</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  23節 償還金利子及び割引料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    利子償還金</td> <td style="text-align: right;">83,892 千円</td> <td style="text-align: right;">226 千円</td> </tr> </table>										（農業集落排水事業）	（林業集落排水事業）	○元金償還			23節 償還金利子及び割引料			元金償還金	366,420 千円	1,272 千円	（年度末償還残高）	4,898,492 千円	14,312 千円	○利子償還			23節 償還金利子及び割引料			利子償還金	83,892 千円	226 千円
	（農業集落排水事業）	（林業集落排水事業）																														
○元金償還																																
23節 償還金利子及び割引料																																
元金償還金	366,420 千円	1,272 千円																														
（年度末償還残高）	4,898,492 千円	14,312 千円																														
○利子償還																																
23節 償還金利子及び割引料																																
利子償還金	83,892 千円	226 千円																														
<b>【事業の振返り】</b> ・毎年の償還額を超える新規起債借入は予定していないため、今後も穏やかに減少していくことを見込む。																																
主な特定財源（名称、金額等）																																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><b>【地方債】</b> 農業集落排水事業債</td> <td style="text-align: right;">132,800 千円</td> </tr> <tr> <td><b>【その他】</b> 受益者分担金</td> <td style="text-align: right;">2,356 千円</td> </tr> <tr> <td>一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">316,654 千円</td> </tr> </table>									<b>【地方債】</b> 農業集落排水事業債	132,800 千円	<b>【その他】</b> 受益者分担金	2,356 千円	一般会計繰入金	316,654 千円																		
<b>【地方債】</b> 農業集落排水事業債	132,800 千円																															
<b>【その他】</b> 受益者分担金	2,356 千円																															
一般会計繰入金	316,654 千円																															



担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	財産管理							
会計・予算科目	会計	高城財産区	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
6,340	1,618		財源内訳				1,618	0
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 1節 報酬 委員報酬 342千円 4節 共済費 労災保険料 30千円 7節 賃金 労務賃金 504千円 8節 報償費 退任記念品 270千円 11節 需用費 インク代ほか 304千円 12節 役務費 通信用ハガキ 12千円 19節 負担金補助及び交付金 水源林造林協議会会費ほか 156千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 基金繰入金 1,618千円								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	財政調整基金積立金							
会計・予算科目	会計	高城財産区	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	2 財政調整基金費
最終予算額	決算額(千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
13	13		財源内訳				13	0
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<b>【事業の実績】</b> 25節 積立金 13千円 平成30年度末基金残高 38,847千円								
主な特定財源(名称、金額等)								
<b>【その他】</b> 基金利子 13千円								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	高城財産区	款	2 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額 (千円)		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
50	0							0
事業の目的								
予算外の支出又は予算超過の支出に充てるもの。								
事業の実績、成果 (振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、執行なし。</p>								
主な特定財源 (名称、金額等)								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	財産管理							
会計・予算科目	会計	小鴨財産区	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,513	10						10	
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> 19節 負担金補助及び交付金 広域基幹林道円谷広瀬線緑を守り育てる会負担金ほか 10千円								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	小鴨財産区	款	2 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,187	0						0	
事業の目的								
予算外の支出又は予算超過の支出に充てるもの。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> 予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、執行なし。								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	財産管理							
会計・予算科目	会計	北谷財産区	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 財産管理費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1	0						0	
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】</p> <p>財産管理に関する事務が発生しなかったため、執行なし。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	北谷財産区	款	2 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
786	0						0	
事業の目的								
予算外の支出又は予算超過の支出に充てるもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】</p> <p>予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、執行なし。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	財産管理							
会計・予算科目	会計	上北条財産区	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	1 財産管理費
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
114	3					3	0	
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>1節 報酬 非常勤職員報酬 3千円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】土地貸付収入 3千円								

担当課	財政課	施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる					
事業名	繰出金							
会計・予算科目	会計	上北条財産区	款	2 諸支出金	項	1 繰出金	目	1 繰出金
最終予算額	決算額(千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
1,300	1,300					71	1,229	
事業の目的								
財産区有の財産の管理に関する事務。								
事業の実績、成果(振返り、効果等)								
<p>【事業の実績】</p> <p>28節 繰出金 一般会計への繰出し 1,300千円</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【その他】預金利子 5千円 土地貸付収入66千円								

担当課	財政課		施策	33 水と緑の豊かな自然環境を守り、育てる				
事業名	予備費							
会計・予算科目	会計	上北条財産区	款	3 予備費	項	1 予備費	目	1 予備費
最終予算額	決算額（千円）		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
15,444	0		財源内訳					0
事業の目的								
予算外の支出又は予算超過の支出に充てるもの。								
事業の実績、成果（振返り、効果等）								
<p>【事業の実績】</p> <p>予算内の執行により歳出不足が発生しなかったため、執行なし。</p>								
主な特定財源（名称、金額等）								